

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

inches

cm

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18

書誌第3號B

# 樺太南部沿岸千島列島水路誌

千島列島 樺太南部

昭和12年3月刊行



水路部

水-88



\*1200701477946\*

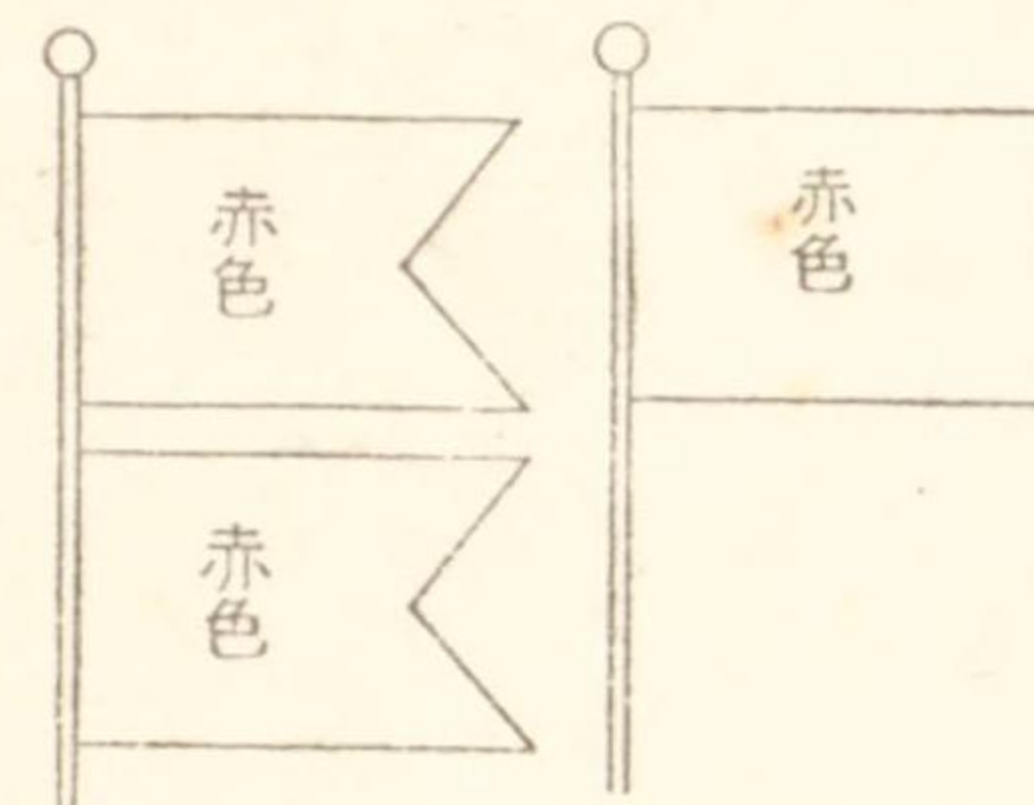


海軍省令第4號 (大正13年4月10日官報)

(昭和10年10月19日官報海軍省令第11號改正)

帝國領海内及其附近ニ於テ潜水艦作業中認識困難ヨリ生スル衝突等ノ危害ヲ豫防スル爲潜水艦所在ノ海面ヲ通航シ若ハ同海面附近ニ作業スル船舶ハ次ノ諸號ニ注意スヘシ

- 1. 潜水艦潜航中ハ一般水上船舶ニ對シ自艦ノ所在ヲ表示スル爲潜望鏡頂又ハ假製橋頂ニ適宜帆布又ハ金屬製ノ赤色方形標識ヲ掲ク



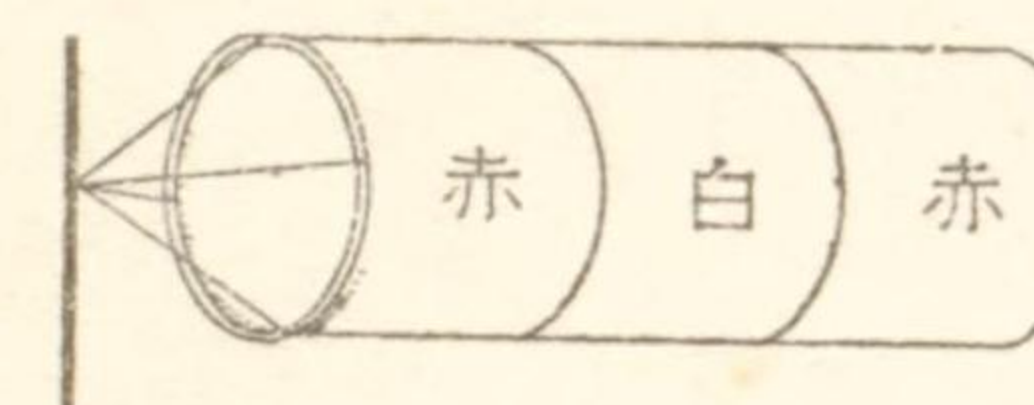
潜水艦作業中之ヲ隨伴スル艦船アルトキハ該艦船ニ於テB旗(赤旗)2箇ヲ連續橋頂又ハ桁端ニ掲揚シ以テ附近5哩以内ニ潜水艦作業中ナルヲ示シ又必要アルトキハ國際通信書(信號篇)ニ依リ自船ヲ基點トシテ潜水艦ノ所在方位ヲ示ス

- 2. 一般船舶前號ノ標識又ハ前號ノ信號ヲ掲揚スル艦船ヲ認メタルトキハ該標識又ハ該艦船ノ動靜及信號ニ注意シ且水面ノ見張ヲ最嚴ニシテ行動スヘシ
- 3. 潜水艦ハ已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外一般船舶ノ常用航路ヲ避ケ行動スヘキニ依リ一般船舶ハ可成常用航路以外ニ逸セサル様努ムヘシ

海軍省令第20號 (大正15年12月7日官報)

帝國海軍艦船、航空機作業、掃海作業、曳船作業及測量作業ニ從事中ハ衝突等ノ危險ヲ豫防スル爲下記ノ信號ヲ爲シ該艦船ノ運動自由ナラサルカ針路ノ變換困難ナルカヲ表示スルヲ以テ其ノ附近海面ヲ通航シ又ハ同海面ニ於テ作業スル船舶ハ之ニ注意スヘシ

- 1. 航空機發著作業ニ從事中ノ艦船ハ晝間最見エ易キ所ニ下圖ノ如キ吹流1箇ヲ掲揚ス



前項ノ信號ヲ爲セル艦船航進中ナルトキハ航空機發著作業中ナルヲ以テ其ノ前路ニ接近スルハ危險ナリ又該艦船停止セルトキハ航空機發著又ハ出入作業中ナルヲ以テ其ノ1,000米以内ニ接近スルハ危險ナリ

- 2. 掃海作業中ノ艦船ハ最見エ易キ所ニ晝間ニ在リテハ直徑2尺ノ黑球1箇ヲ掲揚シ夜間2隻以上ノ場合ニ在リテハ周圍少クトモ2海里ノ距離ヨリ見得ヘキ@ @ 3箇ノ燈ヲ上下ニ少クトモ4尺宛ヲ隔テテ連掲ス

前項ノ信號ヲ爲セル艦船單艦(艇)ノ場合ニハ掃海索ヲ其ノ左右斜後ニ曳航スルヲ以テ其ノ500米以内ニ接近スルハ危險ナリ又該艦船對艦(艇)又ハ群艦(艇)ノ場合ニハ翼端及後尾ノモノヨリ500米以内ニ接近スルハ危險ナリ

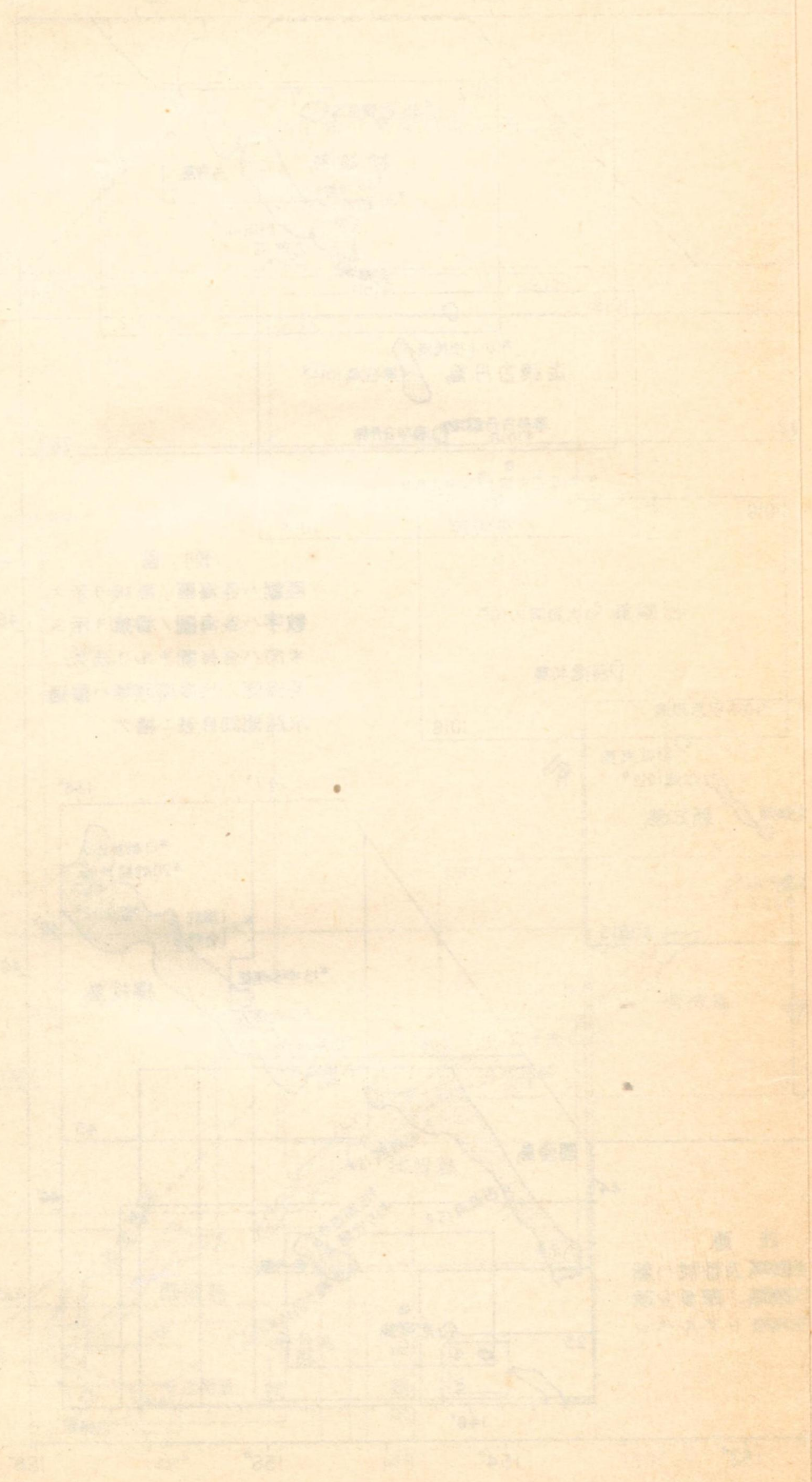
對艦(艇)ノ間ヲ航過セサル様特ニ注意スルヲ要ス

- 3. 艦船他ノ艦船又ハ艦砲射擊用標的等ヲ曳航中又ハ其ノ曳索ヲ揚收中ハ晝間最見エ易キ所ニ直徑2尺ノ黑球3箇ヲ上下ニ少クトモ6尺宛ヲ隔テテ連掲ス

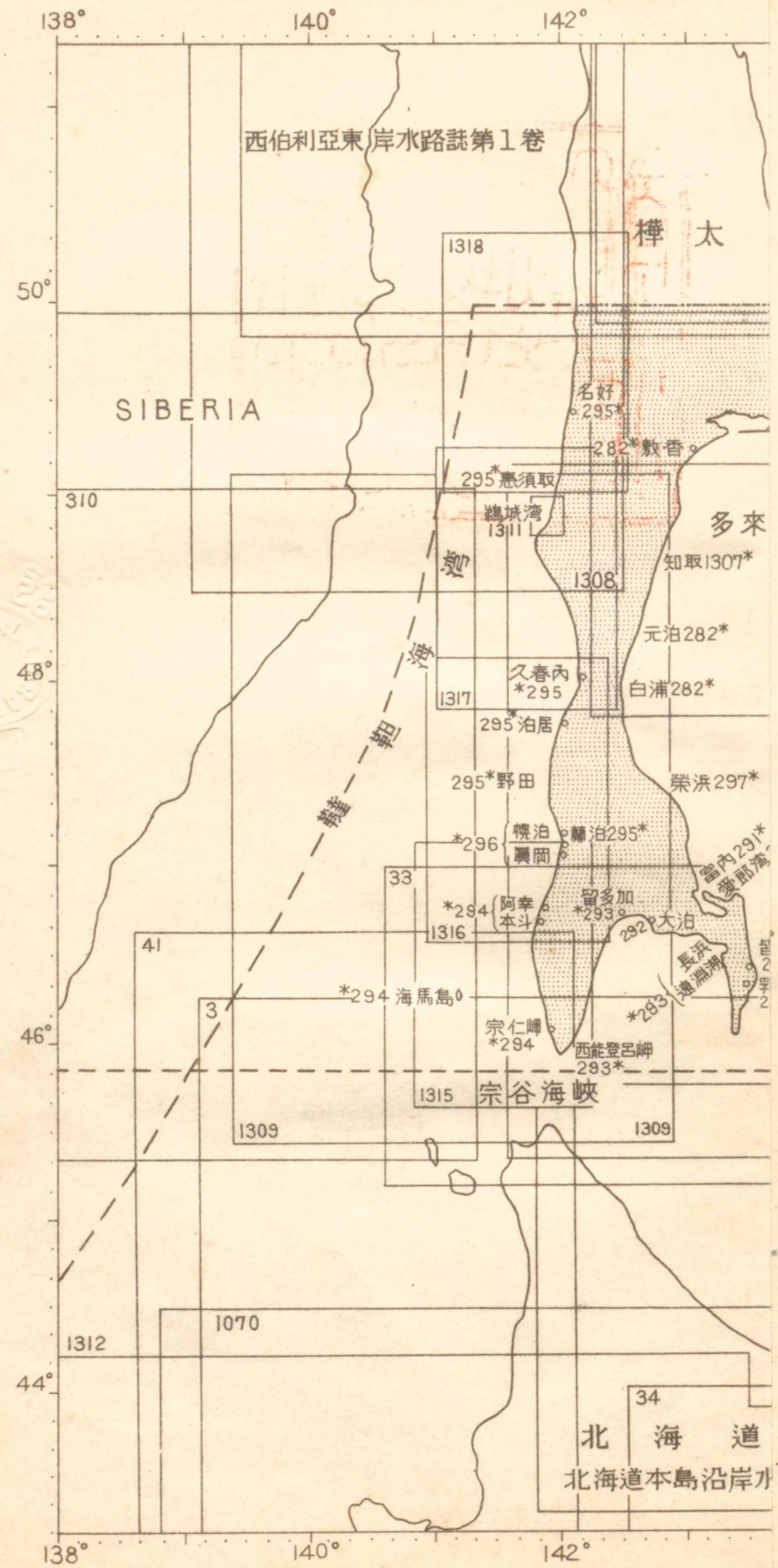
前項ノ場合ニ於テ曳索上ヲ航過スルハ最危險ナリ

- 4. 測量ノ爲停止中又ハ一定針路ヲ航行中ノ艦船ハ晝間最見エ易キ所ニ直徑2尺ノ黑球ノ下ニ少クトモ6尺ヲ隔テ日旗(白赤)1流ヲ連掲ス









書誌第3號B



# 樺太南部沿岸千島列島水路誌

千島列島 樺太南部

昭和12年3月刊行

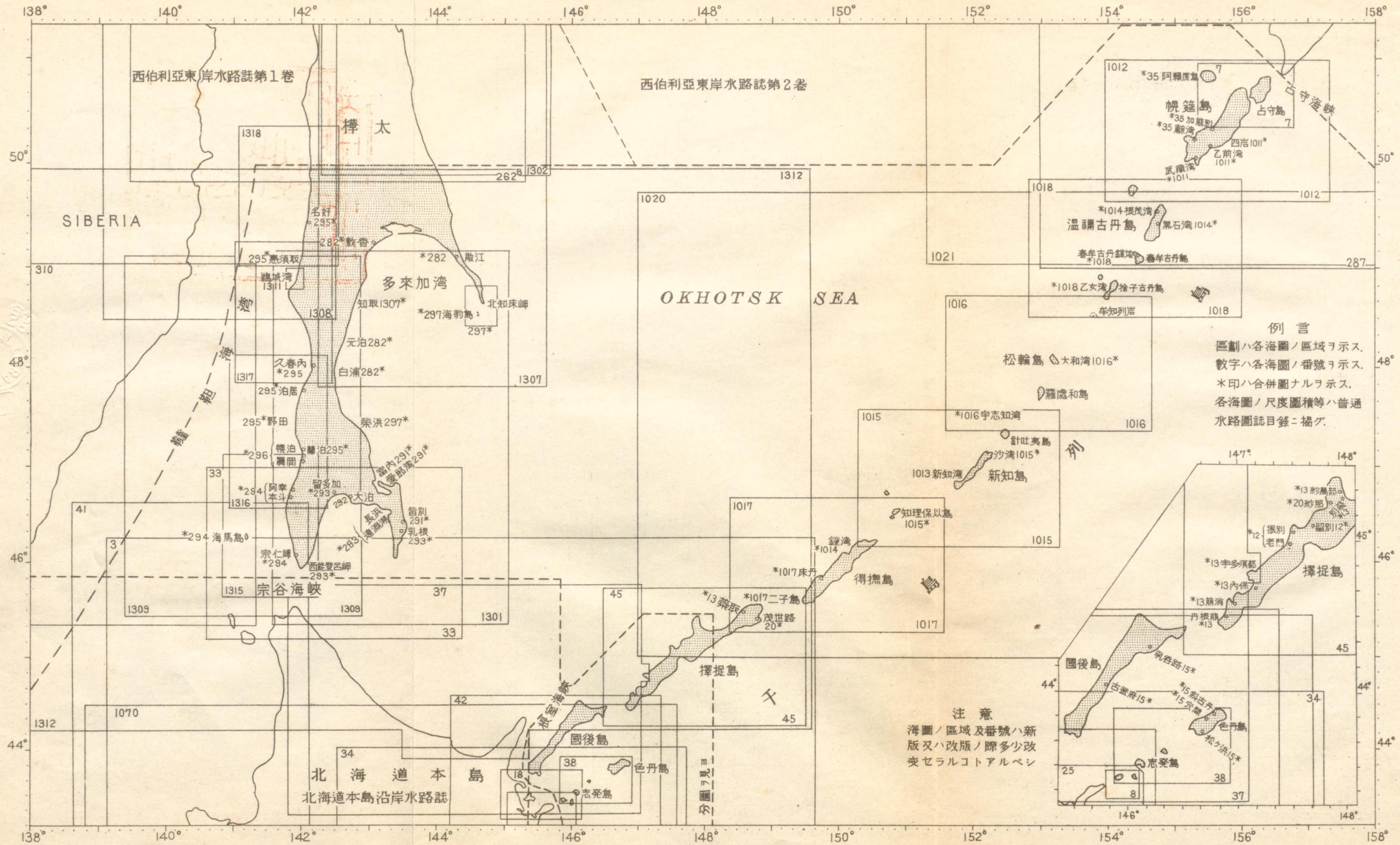


水 路 部





# 樺太南部沿岸千島列島水路誌關係區域及同海圖索引



西伯利亞東岸水路誌第1卷

西伯利亞東岸水路誌第2卷

SIBERIA

OKHOTSK SEA

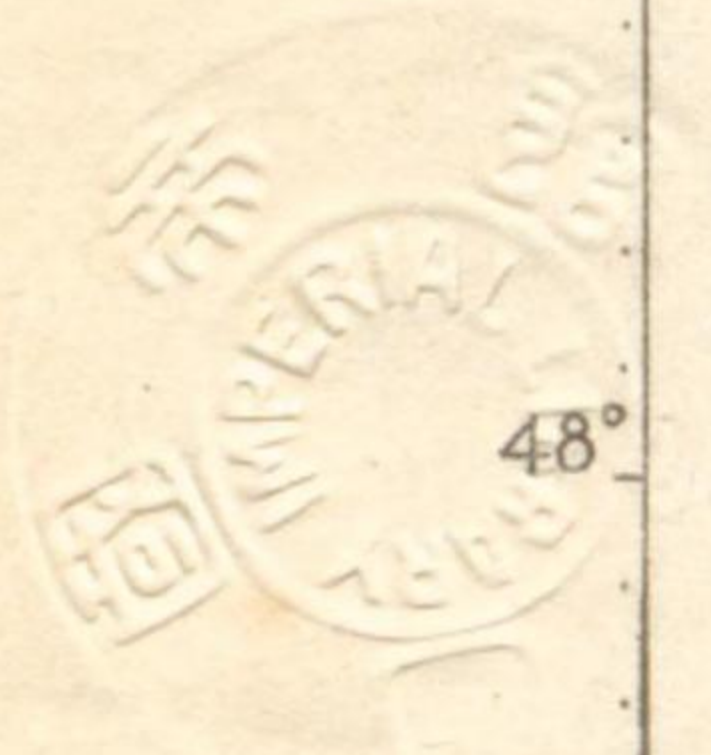
樺太

多來加湾

北海道本島  
北海道本島沿岸水路誌

例言  
區劃ハ各海圖ノ區域ヲ示ス。  
數字ハ各海圖ノ番號ヲ示ス。  
\*印ハ合併圖ナルヲ示ス。  
各海圖ノ尺度圖積等ハ普通  
水路圖誌目錄ニ掲グ。

注意  
海圖ノ區域及番號ハ新  
版又ハ改版ノ際多少改  
変セラルコトアルベシ





水  
88

## 樺太南部沿岸千島列島水路誌

### 序

本誌ハ昭和3年10月刊行ノ樺太南部沿岸千島列島水路誌(舊稱北海道樺太南部沿岸水路誌第2卷)ヲ次ノ資料ニ據リ改訂増補シタルモノナリ。

1. 昭和11年3月刊行樺太南部沿岸千島列島水路誌追補第5(舊稱北海道樺太南部沿岸水路誌第2卷追補第5)
2. 昭和11年12月12日水路告示第49號迄
3. 當部蒐集ノ各種資料

本誌ノ誤謬又ハ改補資料ハ速ニ當部ヘ速報アラシムコトヲ希望ス。

昭和12年3月

水路部長 太田垣富三郎



## 關係水路誌ノ沿革

1. 明治18年5月寰瀛水路誌第1卷下ヲ刊行ス。
2. 明治27年4月寰瀛水路誌第1卷下ヲ廢ス。
3. 明治31年3月日本水路誌第5卷ヲ刊行ス。
4. 明治38年12月日本水路誌第5卷ヲ改版刊行ス。
5. 明治45年3月日本水路誌第7卷ヲ刊行ス。
6. 大正7年11月日本水路誌第8卷及第9卷ヲ刊行ス。
7. 昭和3年10月北海道樺太南部沿岸水路誌第2卷ヲ刊行ス。
8. 昭和11年5月北海道樺太南部沿岸水路誌第2卷ヲ樺太南部沿岸千島列島水路誌ト改稱ス。
9. 昭和12年3月樺太南部沿岸千島列島水路誌ヲ改版刊行ス。



## 凡 例

1. 方位ハ主トシテ眞方位ヲ用ヒ眞北ヲ0度トシ右廻リニ360度ニ至ル、又磁針方位ヲ用フル場合ニハ點若ハ度ニ依ル。
2. 風、「ウネリ」ハ其ノ進ミ來ル方位ヲ、海流及潮流ハ其ノ流レ去ル方位ヲ示ス。
3. 燈光ノ方位ハ海方ヨリ燈光ニ向ヒテ取ル。
4. 四方點及四隅點ノ方位ニ「偏」ノ字ヲ冠シ、其ノ方位ノ左右2點以内ニ方ルモノヲ汎稱ス。
5. 「乃至」又ハ「至」ヲ以テ連記スベキ場合「一」ヲ用フルコトアリ。
6. 河川又ハ海峡ニ於テ左舷側、右舷側ト稱スルハ河口、海口ヨリ水源ニ向ヒ溯ル船ヨリ見タル左右ヲ稱ス、又河川ノ左岸、右岸ト謂フハ水源ヨリ河口ニ向ヒ左右ヲ稱スルモノトス。
7. 水深ハ基本水準面下ノモノヲ「メートル」(米)ニテ示ス。
8. 高サハ平均水面上ノモノヲ「メートル」(米)ニテ示ス。
9. 氣壓及降水量ハ耗、積雪量ハ糶、濕度ハ百分比、溫度ハ攝氏ノ度ニテ示ス。
10. 風力ハ0ヨリ12ニ至ル「ビューフォート」式ニ依リ、風速ハ毎秒米ニテ示ス。
11. 地名ト併記セル經緯度ハ通例概位ヲ示ス。
12. 地名ニ( )ヲ附セルハ舊名稱又ハ讀ミ方ヲ、[ ]ヲ附セルハ別名稱ヲ、{ }ヲ附セルハ説明ニ用ヒタルモノナルコトヲ示ス。



樺太南部沿岸千島列島水路誌目次

<b>第1編 千島列島總記</b> ……	頁 1	千島列島中部寄島禁止	…… 頁 11
地位	…… 1	海獸獵獲禁止	…… 12
港灣	…… 1	磁氣	…… 12
氣象	…… 1	地磁氣ノ分布	…… 12
風候及天候	…… 1	地方磁氣	…… 13
氣溫	…… 2	航路	…… 13
降水	…… 2	航法	…… 13
霧	…… 2	命令航路	…… 14
低氣壓	…… 4	<b>第2編 樺太南部總記</b> ……	17
氣象通報規程	…… 4	港灣	…… 17
潮汐	…… 5	氣象	…… 17
潮流	…… 6	風候及天候	…… 17
海流	…… 6	氣溫	…… 19
宗谷海流	…… 6	降水	…… 20
親潮	…… 6	濕度	…… 21
海氷	…… 7	霧	…… 21
無線方位信號所	…… 10	低氣壓	…… 23
無線電信局所	…… 10	氣象通報規程	…… 23
無線電信局	…… 10	潮汐及潮流	…… 23
標準時	…… 10	海流	…… 24
水難救濟	…… 11	海氷	…… 24
水難救護法	…… 11	無線方位信號所	…… 25
法規關係	…… 11	無線電信局所	…… 26



無線電信局	26	色丹島	37
標準時及報時信號	26	降雪	37
水難救濟	26	霧	38
水難救護法	26	潮流	38
法規關係	27	流氷	38
檢疫	27	斜古丹港	39
海獸獵獲禁止	27	松ヶ濱灣	41
磁氣	27	國後島及國後水道	42
地磁氣ノ分布	27	降雪	43
地方磁氣	27	霧	43
航路	27	風	43
航法	28	氣壓	43
命令航路	28	潮流	44
<b>第3編 千島列島南部〔南千島〕</b>	31	結氷	44
水晶諸島及色丹島	31	國後島北西岸〔根室海峽東濱〕	44
霧	31	泊灣	45
水晶諸島及色丹水道	31	國後島北岸	48
水晶島	31	國後島南東岸	51
水晶水道	32	白糖灣	52
秋勇留島	33	乳呑路泊地	54
勇留水道	33	古釜布灣	57
勇留島	33	國後水道	60
志發水道	34	潮流及海流	60
志發島	34	流氷	61
多樂水道	34	擇捉島及擇捉海峽	61
多樂島	35	雨雪	61
色丹水道	36	霧	62

風	62	床丹灣	98
潮流	63	鐘灣	100
海流	63	得撫島南東岸	104
海氷	64	得撫水道	107
擇捉島北西岸	64	南得撫水道	108
丹根崩灣	65	潮流	108
崩消灣	65	知理保以島	108
內保灣	66	霧	108
留別灣	71	南島	108
紗那灣	72	臘虎水道	109
紗萬部錨地	76	北島	109
別飛錨地	77	武魯頓島	110
藥取錨地	79	潮流	110
擇捉島東岸〔擇捉海峽西濱〕	83	地方磁氣	110
茂世路灣	83	北得撫水道	110
擇捉島南東岸	86	新知島至摺手海峽	110
單冠灣	87	氣象	110
擇捉海峽	91	潮流	113
氣象	91	流氷	113
潮流及海流	92	新知島	114
流氷	92	潮流	114
<b>第4編 千島列島中部〔中千島〕</b>	93	新知灣	115
諸海峽ノ潮流	93	武魯頓灣	116
得撫島	94	新知海峽	118
氣象	94	潮流	118
潮流	95	計吐夷島	119
得撫島北西岸	96	計吐夷海峽	120







潮汐 …… 213	白浦泊地… 254
潮流及海流 …… 214	元泊泊地… 257
海氷 …… 214	知取泊地… 259
西能登呂岬至多蘭内川 …… 215	野手戸岬至東岸國境 …… 261
西能登呂岬 …… 216	多來加灣 …… 261
東伏見灣(千歲灣) …… 220	氣象 …… 263
結氷 …… 221	潮流 …… 263
大泊港 …… 223	海氷 …… 263
對馬岬至中知床岬 …… 228	敷香泊地… 266
遠淵湖 …… 230	海豹島 …… 271
中知床岬… 233	北知床岬至東岸國境… 273
<b>第8編 樺太東岸</b> … 235	氣象 …… 274
潮汐 …… 235	潮流 …… 274
潮流及海流 …… 236	海流 …… 274
海氷 …… 236	海氷 …… 274
中知床岬至野手戸岬 …… 238	
中知床岬至愛郎岬	<b>氣象表</b>
{知床半島東岸} …… 238	凡例
潮流 …… 238	關係各地氣象觀測所一覽
愛郎岬至榮濱泊地 …… 242	第1 紗那氣象表
愛郎灣 …… 243	第2 眞岡氣象表
富内泊地… 244	第3 大泊氣象表
榮濱泊地至野手戸岬… 249	第4 落合氣象表
氣象 …… 250	第5 敷香氣象表
潮流 …… 250	<b>地名索引</b>
海氷 …… 250	<b>尋米、米尋、呎米換算表</b>
榮濱泊地… 251	

樺太南部沿岸千島列島水路誌挿圖目次

對景圖

第1	南東方ヨリ國後島東端ヲ望ム…	對面頁 50
第2	南東方ヨリ島登山附近ヲ望ム…	} 60
第3	南南東方ヨリ島登山及羅白嶽ヲ望ム…	
第4	西方ヨリ散布半島ヲ望ム…	} 74
第5	北西方ヨリ散布半島ヲ望ム…	
第6	北西方ヨリ擇捉島東端部ヲ望ム…	78
第7	東南東方ヨリ知理保以島及武魯頓島ヲ望ム…	} 108
第8	西北西方ヨリ武魯頓島ヲ望ム…	
第9	南方ヨリ新知島ヲ望ム…	114
第10	北西方ヨリ計吐夷海峽及摺手海峽ヲ望ム…	} 120
第11	南東方ヨリ羅處和海峽ヲ望ム…	
第12	西北西方ヨリ捨子古丹海峽及春牟古丹海峽ヲ望ム…	128
第13	西方ヨリ幌筵島附近ヲ望ム…	142
第14	加熊別灣北方ヨリ幌筵島北西岸ヲ望ム…	146
第15	南西方ヨリ諏野埼ヲ望ム…	} 160
第16	北東方ヨリ阿頼度海峽及幌筵海峽ヲ望ム…	
第17	南南西方ヨリ宗仁岬附近ヲ望ム…	} 172
第18	北西方ヨリ宗仁岬附近ヲ望ム…	
第19	南東方ヨリ海馬島ヲ望ム…	} 176
第20	西方ヨリ氣主岬附近ヲ望ム…	
第21	南西方ヨリ仁多須山附近ヲ望ム…	} 188
第22	北西方ヨリ杜門嶽附近ヲ望ム…	
第23	北西方ヨリ鶴城灣ヲ望ム…	198







# 樺太南部沿岸千島列島水路誌

## 第1編 千島列島總記

本誌ハ千島列島ト樺太南部沿岸トニ關シテ記述ス。  
本編ニハ千島列島及之ヲ包括スル海區ニ關スル一般記事ヲ収録ス。  
千島列島内各島ノ記事ハ列島南端ヨリ順次北方ニ及ビ、各島内ハ概ネ其ノ南西端ヲ起點トシ時計ノ針ト同方向ニ北西岸、南東岸ノ順序ニ記載ス。

### 地位

千島列島ハ高峻ナル火山質島脈ニシテ北海道本島納沙布埼及知床岬間ノ略中央ヨリ Kamchatka 南端ニ至ル迄北東—南西ノ方向ニ碁布セル國後、擇捉、得撫、幌筵諸島ノ第1列ト、之ニ平行シテ其ノ北西側ニ散點セル武魯頓、雷公計、知林古丹、越湯磨、磨勘留、志林規、阿頼度諸島ノ第2列トノ2大島脈ト、納沙布埼ヨリ北東方ニ連互セル水晶諸島竝ニ色丹島ノ島群トヨリ成ル○列島ノ北西側ハ「オホツク」海ニ面シ南東側ハ太平洋ニ面ス。

千島列島ハ行政上北海道廳根室支廳ノ管下ニ屬ス。

### 港灣

本列島ニハ開港又ハ設備アル港灣現在皆無ナリ。

### 氣象 (日本近海ノ氣象海流圖參照)

**風候及天候** 千島列島ハ何レモ面積廣カラズ、暖季ニハ親潮、寒季ニハ黒潮末流ノ影響ヲ受クルガ故ニ寒暖共ニ比較的ニ酷烈ナラズ、而シテ寒暖兩季共ニ信風ノ影響アリ、寒季低氣壓「アジア」大陸ヨリ日本海ニ出デ東進シテ千島南方ニテ發達スルトキハ一般ニ信風極メテ優勢ト爲リ吹雪屢到リ航海困難ナルコトアリ、暖季流行スル南至南東ノ信風ハ寒季ニ比シ極メテ弱ク其ノ天候ニ及ボス影響亦顯著ナラズ、霧季節ヲ過グレバ天候一般ニ良好ト爲ルヲ例トス。



**気温** 冬季ニハ南北気温ニ大差ナク等温線ハ概ネ島列ニ竝走ス、是緯度ノ高マルト共ニ大陸ニ遠ザカル爲ナルベク、夏季ハ北上スルニ從ヒ気温一般ニ低下ス、是恐ラク海流ノ影響ニ依ルナルベシ。

**降水** 毎月降水ヲ見ザルコトナシ、紗那ニ於ケル累年平均降水日數ハ127.9日ニシテ月別平均日數ハ10月ノ18.2日ヲ最大トシ2月ノ1.1日ヲ最小トス。雪ハ11月ヨリ翌年5月迄降り6月ニモ時々之ヲ見ル、紗那ニ於ケル累年平均降雪日數ハ144.3日ニシテ降雪最多ノ月ハ1月ノ29.1日ナリ。紗那ニ於ケル累年平均降水量ハ1,012 耗ニシテ北海道本島ト大差ナシ。

**霧** 紗那ニ於ケル霧日數ニ依レバ5月至8月ヲ以テ霧季節ト謂フベク9月ニ入レバ急減ス、列島沿海ニ於ケル霧ハ「オホツク」海側ニ比較的少ク太平洋側ニ於テハ遙ニ濃霧多シ。

此等ノ海霧ハ一般ニ千島南東方海區ノ冷海面ニ高温湿润ナル偏南風吹キ來ルトキ其ノ發生ヲ見ル、故ニ列島ノ南東側ハ北西側ニ比シ概ネ頻繁ニシテ濃密ナリ。千島列島ノ霧ニ次ノ3種アリ。

- (1) 濃霧殆ド雨ニ類シ概ネ曇天ニ伴フ、之ヲ遠望スレバ頂邊平圓狀ヲ呈シ移動スルコト少シ。
- (2) 霧帯恰モ堤塘狀ヲ成シ約25米以下ニ懸リ上空ハ晴レ太陽輝ク、之ヲ遠望スレバ上邊波形ヲ呈シ又橋頭ヨリ遠距離ノ陸地ヲ認メ得ベク且消散シ易シ。
- (3) 比較的乾燥ナル場合ノ霧ニシテ通例著シキ高所ニ達シ無風時ニハ霧ノ下底ハ海面上25—30米以上ニ達シ其ノ下層ニハ全ク霧ナク、移動スルコト少シ。

霧ノ發散ハ主トシテ風向ノ如何ニ關ス、即チ朝夕及夜間ハ風向ノ變轉スルト共ニ霧モ亦急速ニ變移シテ時ニ山峯岬角ヲ露出シ明認シ得ルコト多シ。霧ハ日出後ニ於ケル其ノ日ノ天氣ニ支配セララルヲ例トス、日出後好晴ナルトキハ霧來ルコトアルモ消散速ナリ、然レドモ天候不良ノ状態ニ在ルトキハ一時霧ナキモ其ノ到ルヤ霧ルルコト頗ル遅シ。

霧ハ千島列島ノ兩側ヲ覆フコト稀ニシテ島ノ風下側ハ風上側ニ比シ一般ニ著シク尠シ、夏季ハ概ネ南至南東ノ輕風流行スル爲此ノ時ニ於テハ列島ノ北西側ニ霧少ク、又南西ノ輕風吹クトキハ列島ノ兩側ニ沿ヒテ進ムヲ以テ獨リ其ノ北東端ノミ之ヲ免ル、之ニ反シ霧ガ列島北西側ヲ擁シ南東側ニ之ナキカ或ハ少キハ西至北ノ輕風吹クトキナリトス、而シテ霧ハ概ネ南東風ニ乗ジテ來ルトキ最モ甚シクシテ消散シ難ク、南西至西ノ輕風ニハ其ノ來ルコトアルモ薄クシテ狹長ナル帶狀ヲ成シ或ハ之ヲ消散セシムルガ如シ。

千島列島方面ニ於ケル霧中航泊ニ關シ注意スベキ要點ヲ列記スレバ下ノ如シ。

- (1) 霧中ニ於テハ白聖、瀑布、波浪等白色ヲ呈スルモノ及赤崖ノ如キハ他色ヨリ比較的遠距離ニテ明瞭ニ認識シ得ベシ。
- (2) 濃霧ノ際千島列島ニ接近スルニ當リテハ島周水深27米ヨリ淺キ處ニ蕃殖セル海藻床アリテ警戒ニ資スルヲ得ベク、又千島地方特有ノ水禽及海獸ノ啼聲ニ依リ或ハ波浪アルトキハ斷崖ニ激スル浪音ニ依リ陸岸ノ近キヲ知り得ベク特ニ距岸3哩以内ノ風下側ニ在リテハ山峯ヨリ來ル硫黃臭ヲ感ズルコトアルヲ以テ能ク之ニ注意スベシ。
- (3) 千島列島中得撫島北東端、南北知理保以島間及新知島附近ハ常ニ南ヨリ北ニ向フ霧ノ通路ニ當ルヲ以テ一度此ノ霧帯ニ入ラバ何物ヲモ認ムル能ハズ、然ルニ此ノ場合ニ於テモ見島灣北方沖、知理保以島北側及新知島中央峯北方ニ到レバ殆ド多クノ場合ニ於テ一部分タリトモ山影ヲ認メ得ザルコトナシト謂フ。
- (4) 列島ハ概ネ斷崖峭壁ノ海岸ヲ有シ且海底岩多ク錨泊ニ便ナラズ、加フルニ灣入セル良港ナキヲ以テ風波ヲ保障スル安全ノ避泊地尠シ、故ニ或地點ヨリ他ノ方面ニ航海スルニハ距岸10哩以外ヲ保チテ海流ノ影響ヲ減ジ船位ヲ確實ニスルヲ利アリトス、海上ニ於テ俄然霧中ニ鎖サレタルトキ陸岸ニ接航スルハ極メテ危險ナリ、蓋シ千島列島ノ兩側ハ常ニ強勢ナル海潮流アルモ距岸10哩内外ニ到レバ其ノ力微弱ナルコトハ經驗アル航海者ノ認知スル所ナリ。



- (5) 各島間ヲ横過スル海潮流ハ列島ノ兩側ヲ沿流スル海潮流ト交叉衝觸シテ競潮ヲ生ジ小舟ニハ危險ナリ、此ノ横過流ノ盛時ニハ島ノ兩端ヨリ八文字形ノ水痕ヲ生ジ浮藻流木之ニ漂ヒ水禽ノ群集ヲ見ルコトアリ、霧中航行中此ノ現象ヲ認ムレバ須ラク陸岸ニ接近セルコトヲ推知セザルベカラズ。
- (6) 霧中入港ノ爲時鐘及號角ヲ錨地附近ノ陸上ニ豫メ備ヘ置キ其ノ音響ヲ便リニ入港スルハ汽笛ノ反響ニ依ルヨリモ確實ニシテ好結果ヲ得ルヲ例トス、又號角ハ時鐘ニ比シ有效ニシテ約1.5哩ノ遠キニ達スルヲ驗セリ。
- 10 (7) 風上側ニ於テハ濃霧咫尺ヲ辨ゼザル際風下側ニ在リテハ屢陸影ヲ認メ得ルコトアリ、新知島ノ如キ稍長大ナル島ニ於テハ特ニ然ルヲ見ル。既記ノ如ク此ノ方面ノ霧ハ概ネ5月ヨリ8月迄ニ多ク、且多クハ偏南風ニテ來襲シ偏北西風ニテ消散スルヲ例トシ、一般ニ太平洋側ニ濃密ニシテ「オホツク」海側ニ稀薄ナリ、而シテ霧發生ノ季節、去來ノ風向及濃淡等ノ狀態ハ處ニ依リ多少ノ差アリ、尙詳細ハ各地ノ記事ヲ見ルベシ。

### 低氣壓

- 颶風 [アジア]大陸ヨリ出デ日本海ヲ通過シ更ニ東進シテ本列島近海ニ來襲ス、颶風中特ニ警戒ヲ要スルモノハ寒季ノモノニシテ千島南部附近ニ達シ著シク發達シ尙東進ス、爲ニ沿海各地ニ於テ暴風猛威ヲ逞クスルコトアリ。
- 20 颶風襲來ニ當リテハ概ネ其ノ前面ニ於テハ後面ニ比シ風弱ク降雨ヲ伴フ、後面ハ風強ク寒冷ニシテ且雨雪ヲ見ルコト多シ、殊ニ冬季ニ於テハ其ノ中心過ギ去リタル後大陸高氣壓發達シテ迫リ風力著シク強ク爲リ吹雪ヲ伴フコト多キヲ以テ航海者ハ特ニ警戒スルヲ要ス。

颶風 本列島附近ニ來襲スル颶風ハ9月、10月ニ最モ多シ、但シ襲來回数ハ颶風ノ如ク多カラズ、且老衰期ニ屬スルモノ多クレドモ時ニ猛威ヲ振フモノアリ、又其ノ進行速度比較的大ナルヲ以テ豫メ此ノ點ニ留意警戒スルヲ要ス。

氣象通報規程 氣象通報ニ關スル諸規程ハ水路誌附錄第5卷ニ記載シ

アリ。

### 潮 汐

日潮不等甚ダ大ニシテ1日1回潮ト爲ルコト多ク、且地方ニ依リテ潮ノ性質ヲ異ニスルモ概要ハ次ノ如シ。

春秋ノ朔望前後ニ於テハ各地共規則正シク1日2回ノ高潮ト、1日2回ノ低潮トヲ生ジ、高潮間隙ハ諸島ノ太平洋岸及得撫島以南ノ「オホツク」海岸ニ於テハ3.5—4時、得撫島以北ノ「オホツク」海岸ニ於テハ4—5.5時ニシテ、捨子古丹島以南ノ諸島ニ於ケル高潮時ハ各地共略等シク、春秋ノ朔望ニ於テハ中央標準時ニテ約3時ナリ◎升降ハ一般ニ0.6—0.9米ナルモ、松輪島、得撫島間及擇捉島ノ北岸ニ於テハ稍小ニシテ0.4—0.5米ナリ。

春秋ノ朔望前後ヲ除ク外ハ日潮不等甚ダ大ナリ、即チ本列島(新知島以南ノ「オホツク」海沿岸ヲ除ク)ニ於テハ一般ニ潮時ノ不等ハ高潮ニ、潮高ノ不等ハ低潮ニ甚ダ大ニシテ、不等大ナルトキハ一ノ低潮ハ殆ド消失シ、他ノ低潮ハ著シク低下ス、然レドモ2高潮ノ高サノ不等ハ顯著ナラズ、此ノ低キ低潮ハ春夏ニハ晝間ニ、秋冬ニハ夜間ニ起ルヲ常トス、而シテ一般ニ高キ高潮ノ次ニ低キ低潮ト爲ルモ、溫禰古丹島以北ノ「オホツク」海ニ面スル部分ニ於テハ、低キ低潮ノ次ニ高キ高潮ト爲リ、夏冬ノ朔望前後ニ於ケル其ノ差ハ列島南部ニ於テ1.4米、北部ニ於テ1.9米ニ達ス、又日潮不等モ一般ニ北部諸島ニ於テ大ナリ◎新知島以南ノ「オホツク」海ニ面セル部分ノ潮汐ハ、略樺太東岸及南岸ニ於ケルモノニ等シク、春秋ノ朔望前後ヲ除キ高低潮共ニ著シキ潮時及潮高ノ不等アリ、一ノ高潮及之ニ次グ低潮ハ微小ト爲ルモ、他ノ高潮及之ニ次グ低潮ハ顯著ト爲リ、夏冬ノ朔望前後ニ於テ其ノ差1.3米ニ達ス、而シテ此ノ高キ高潮ハ春季ニハ午前ニ、夏季ニハ夜間ニ、秋季ニハ午後ニ、冬季ニハ晝間ニ起ルヲ常トシ、不等大ナルトキハ1日1回ノ高潮ト1回ノ低潮トヲ見ルニ至ル◎本列島ニ於テハ各月中ノ最大升降ハ、太陰ガ赤道ヲ隔ツルコト最大ナル頃即チ日潮不等最大ナル頃ニ起ルヲ常トス、例ヘバ春秋ニ於テハ兩弦(太陰ハ赤道ヲ隔ツルコト最大ナリ)ノ頃ノ升降ハ、朔望(太陰ハ赤道附近ニ在リ)ノ頃ノモノヨリモ大ナリ。



平均水面ハ占守島片岡灣ニ於テハ2月最高、8月最低ト爲ルモ其ノ差0.2米ニ達セズ。

各地ニ於ケル潮汐ノ性質ヲ明ニセンガ爲ニ、占守島東岸中川灣ニ於ケル潮候曲線(第6頁對面附圖第1)ヲ示ス。此ノ潮候曲線ハ四季ノ朔望及兩弦ニ於ケル平均ノ狀態ヲ示スモノニシテ、年ニ依リテ多少ノ差異アルベシ、同圖ノ各季ハ次ニ示ス各時期ヲ指ス。時刻ハ地方平時ヲ用ヒ、高サハ基本水準面ヨリ測ル。

- 春季 春分(3月21日頃)ノ前後
- 夏季 夏至(6月22日頃)ノ前後
- 秋季 秋分(9月23日頃)ノ前後
- 冬季 冬至(12月22日頃)ノ前後

10

本列島ノ太平洋岸及温禰古丹島ヨリ新知島ニ至ル迄ノ「オホツク」海沿岸ノ潮汐ハ、略之ト同様ノ狀況ヲ呈ス、即チ潮時(地方平時)ハ地方ニ依リテ1—2時間遅レ、升降ハ春秋ノ朔望ノ頃ニハ各地共大差ナケレドモ、其ノ他ノ時期ニ於テハ列島ヲ南方ニ行クニ從ヒテ減少シ、國後島附近ニ於テハ夏冬ノ朔望ノ升降ハ約1.7米ト爲ル。温禰古丹島以北ノ「オホツク」海沿岸ノ潮汐ハ略之ニ似タルモ、潮時ハ1—2時間遅レ日潮不等大ナルトキ低キ低潮ニ次グ高潮が最高ト爲ル。新知島以南ノ「オホツク」海沿岸ノ潮汐ニ就キテハ、大泊港潮候曲線(第214頁對面附圖第4)ヲ参照スベシ。

### 潮流

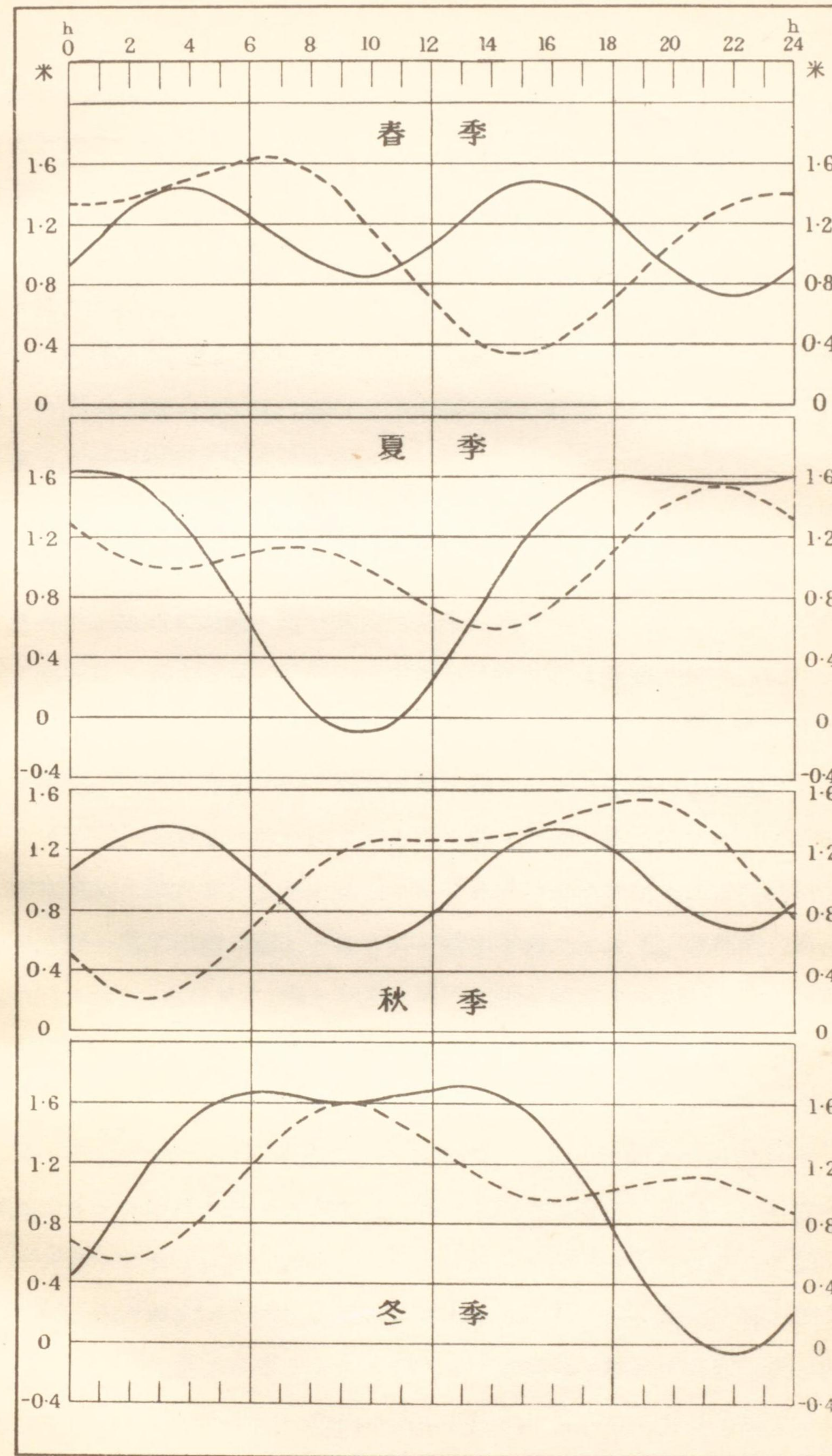
20 一般ニ潮流極メテ不等ニシテ且海流ノ影響ヲ受ケ不規則ナリ。各地ニ於ケル潮流ニ關シテハ沿岸記事ニ掲ゲアリ。

### 海流 (日本近海ノ氣象海流圖參照)

**宗谷海流** 夏季宗谷海峽ヲ出デ北海道北岸ヲ沿流南下スル所謂宗谷海流ハ知床岬ニ至リ、一部ハ北東ニ轉向シテ列島中部ニ達スルモノノ如ク他ノ一部ハ根室海峽及國後水道ニ入ル、冬季ノ宗谷海流ハ殆ド其ノ跡ヲ絶ツモノノ如シ。

**親潮** 夏季 Kamchatka 南東岸ニ沿ヒ南下シ來レル寒流ハ列島北部ニ沿ウ

附圖第1 中川灣潮候曲線





テ流レ、中部ニ於テ「オホツク」海ヨリ出デ來ル海流ヲ合スルモノノ如ク、尙南  
下ヲ繼續シ襟裳岬沖ニ至ル、其ノ流速ハ概ネ1節以下ナルガ如シ、冬季ノ親潮  
ハ明ナラズ。

### 海 氷

本誌ニ於テ海氷ト稱スルモノハ沿岸ニ於ケル結氷竝ニ其ノ破碎シテ漂流スル流  
氷ノ2者ナリ。

流氷ハ千島列島中「オホツク」海側ニテハ主トシテ北至西ノ風ニテ來リ南至南西  
ノ風ニテ去ルヲ例トスルモ白糠等太平洋側ニテハ前者ト全ク相反シ東至南ノ風  
ニテ來リ北西至南西ノ風ニテ去ル。

國後島南東岸乳呑路ニ於テ結氷期ハ1月上旬ヨリ4月上旬迄ニシテ、擇捉島ニ 10  
テハ島ノ北西側ニ流氷多ク冬季ハ氷結シテ氷原ト爲ルモ此ノ氷結ハ土地固有ノ  
モノニ非ズ、風向及海流ノ爲ニ北方ヨリ流レ來ル氷塊港灣ニ入り、或ハ海岸ニ  
觸レテ相凝結シ漸次海面ニ延長シテ數哩ニ互リ厚サ3米餘ニ達ス、而シテ南東  
側ノ沿岸ハ結氷スルコトナシ、即チ紗那ニ於テハ平均1月中旬西或ハ北西ノ風  
ニ逢ヒ沿岸ハ初メテ薄氷ヲ結ビ漸次堅密ト爲リテ1月下旬ニハ港灣全ク封鎖セ  
ラルルニ至ル、又藥取ニ於テ流氷ハ1月下旬北至西ノ風ニ吹寄セラレ沿岸ニ漂  
著シ漸次區域ヲ擴大シ、2月上旬頃ニハ視界内ハ氷原ト爲ル、擇捉島以北占守  
島ニ至ル間ハ其ノ以南ノ海上ニ比スレバ結氷非常ニ少キモ、北西側ノ海岸ハ得  
撫島以北ト雖モ「オホツク」海ヨリ來ル風ニ起因シ結氷ヲ生ズ、然レドモ占守島、  
幌筵島ヲ除キ其ノ他ノ各小島附近ハ僅ニ小氷塊ノ散亂スルニ過ギズト謂フ。 20

流氷ハ一般ニ列島ノ南西部ニ多クシテ得撫島東端ヨリ Kamchatka ニ至ル諸島  
ニハ却ツテ稀少ナリトス、又流氷ハ列島北西岸ニ多ク南東岸ニ少シ、而シテ流氷  
ノ厚薄大小モ亦兩岸ニ於テ大差アリ、即チ北西岸ニ在リテハ年トシテ流氷襲來  
ヲ見ザルコトナシト雖モ、南東岸ニ於テハ流氷ノ妨害ヲ蒙ルコト少ク偶是アル  
モ北西岸ノ如ク渺茫タル氷原ト爲ルガ如キ現象ヲ呈セズ、島民ノ言ニ依レバ南  
東岸ノ流氷ハ遠ク他ヨリ來ルモノニ非ズシテ北西岸ノ結氷ガ春暖ト共ニ融解シ  
北風ノ爲一旦南送セラレ更ニ南風ノ爲送り返サレタルモノナリト謂フ。



列島ノ南部北西側(紗那附近)ニ氷塊ノ漂流シ來ルハ2月10日頃ニ始リ此ノ氷塊ハ「オホツク」海ノ北部及北西部ニ於テ形成シタル破片ガ海流及風ノ爲ニ運バ  
ルモノニシテ時トシテハ數百哩間海岸及海峽ヲ壅塞スルコトアリ、擇捉島、  
國後島、北海道本島東岸及色丹島間ハ氷ニ封鎖セラレルコト屢ニシテ氷塊ノ厚  
サハ4—9米ナレドモ其ノ上ニ堆積セル雪ハ著シク容積ヲ大ニス、而シテ此等  
ノ氷塊ハ列島間ノ諸海峽ヲ過ギ太平洋ニ流出シ親潮ヲ離ルレバ忽テ融解シ、又  
海岸ヲ壅塞スルモノハ5月中旬以後ニ至レバ其ノ跡ヲ絶ツベシ。

大正10年前後ニ於テ4年間擇捉島留別ニ於テ根室測候所長ノ研究ニ依レバ4  
月、5月ノ候千島方面ニ來ル流氷ハ冬季樺太東岸ニ結氷セルモノニシテ3月解  
氷後風潮ニ依リ南下シ北海道本島北岸ニ至リ更ニ千島列島北西岸ヲ洗フ北東流  
10 氷後風潮ニ依リ南下シ北海道本島北岸ニ至リ更ニ千島列島北西岸ヲ洗フ北東流  
ニ乗ジテ擇捉島、得撫島、新知島沿岸ニ進出シ、一部ハ國後水道、擇捉海峽、得撫  
水道ヨリ列島東側ニ出デ更ニ親潮ニ乗ジテ南下スルモノニシテ Kamchatka 西  
岸竝ニ「オホツク」海沿岸ニ結氷スルモノハ此ノ方面ニ來ルコトナシ、而シテ流  
氷ニ遭遇スルハ概ネ4月ヨリ5月上旬迄ニシテ5月中旬ニ至レバ之ヲ見ルコト  
ナシト謂フ。

6月、7月ノ候「オホツク」海西部ニ漂フ流氷ハ必ズ濃霧ヲ伴フモ此ノ方面ニ於  
テハ氣溫水溫ノ差尠キ爲殆ド霧ヲ伴ハズ、又寒流流域地方ナレバ一般ニ海水低  
溫(1度乃至零下1度)ニシテ流氷帶附近水溫ト差ナキヲ以テ水溫ノ驗測ニ依リ  
流氷ノ存在ヲ豫知スルガ如キハ全然不可能ナリ。

20 氷塊ヲ運ブニ大ニ力アルモノハ寧ロ風力ニシテ和風スラ能ク親潮ニ逆ヒテ之ヲ  
前進セシム、蓋シ氷塊ノ表面ハ極メテ凹凸不規則ナル爲能ク風ヲ孕ミ帆ノ用ヲ  
爲スベケレバナリ。

明治38年3月1日某船ハ擇捉海峽ニ臨ミシガ吹雪ノ爲一度南方ニ引返シ更  
ニ3月3日再ビ同海峽ヲ通過セリ、當時海峽附近ニハ流氷ヲ見ズ北緯46度、  
東經148度20分ノ地ニ於テ流氷ニ出會セリ、此ノ日迄ハ無風若ハ微弱ナル  
北風ニシテ時ニ或ハ南風ヲ見タルヲ以テ海氷融解シ居リタルモノト思ハル、  
此ノ時ヨリ北西風吹起リ爲ニ流氷大ニ到リ船周ヲ圍繞セリ、其ヨリ針路ヲ反

轉シ流氷ヲ避ケツツ東方ニ向ヒタルモ夜間航行頗ル困難ナルヲ以テ晝間ノミ  
航行セシガ、夜間屢流氷ニ押サレ擇捉島「イカバノツ」岬附近ニ漂到シ頗ル危  
險ヲ感ゼシモ幸ニシテ偏南風起リ船北方ニ變流シタルヲ以テ3月16日漸ク  
「ラッキベツ」岬ノ北方ニ達シ其ヨリ擇捉海峽ヲ通過スルヲ得タリ○明治38年  
1月30日某船ハ北得撫水道ヲ通過シテ西方ニ航進シ約北緯46度18分、東  
經147度41分ノ地ニ於テ初メテ流氷ヲ見、2月1日正午約北緯46度2分、東  
經145度附近ニ達シ西進約8哩ニシテ前進ノ自由ヲ失ヒ其ヨリ漂流航進シテ  
2日午後6時30分約北緯45度7分、東經144度23分附近ニ至リテ廣大ナル  
氷原ト吹雪トニ遭遇シ、爾後殆ド流氷ノ爲ニ進退ノ自由ヲ失フコト月餘、或ハ  
流氷ニ閉込メラレ或ハ之ニ押サレツツ國後水道ヲ漂過シ、3月13日午後4時 10  
色丹島北東角附近ニ至リ初メテ進退ノ自由ヲ得タリ。

上記ノ經驗ニ依リ考フルトキハ強風ハ流氷ノ位置ヲ左右スル主力ナルコト益明  
確ニシテ、擇捉島及國後島ノ北西岸ハ其ノ海岸近傍ハ不動ノ堅氷ニ鎖サルル  
雖モ其ノ以外ノ海面ノ流氷ハ南東風若ハ南風ニハ沖合ニ運バレ北東至北西ノ風  
ニハ沿岸ニ漂來スルモノニシテ其ノ南東側ト全ク反對ノ結果ヲ見ルモノノ如  
シ、是ニ由リテ之ヲ觀レバ擇捉島及國後島ノ兩側ハ同時ニ航海ノ順境ヲ見ル  
コトハ至難ナリト判定スルヲ得ベシ、尙各地ノ海水記事ニ注意スベシ。

氷原航行中ノ注意 氷原航行中ノ諸注意ヲ列舉スレバ次ノ如シ。

- (1) 檣上見張ハ唯一ノ「パイロット」ナリ、之ニ頼リ氷原中ノ比較的脆弱部  
ヲ求メ、又裂目ヲ辿リテ縫航スルヲ最モ賢明安易ナリトス、檣上見張員 20  
少シク慣ルレバ氷狀氷色ヲ識別シテ適當ナル航路ヲ指示シ得ベキモ、  
檣上ハ特ニ暖房裝置ヲ設ケザレバ如何ニ防寒具ヲ用フルモ風雪膚ヲ刺  
シ沍寒骨ニ徹シ多大ノ勞苦ヲ免レズ。
- (2) 碎氷船等ニ於テ堅氷航行中氷上ニ海豹ノ散在シ又ハ群集スルヲ認メ之  
ニ向ヘバ水中ニ逃入スルヲ常トス、故ニ海豹ノアル所必ズ薄氷部ニ非  
ザレバ無氷罅裂部ノ存スルモノナルヲ知り得ベシ。
- (3) 一般船舶ノ氷原航行ハ必要ニ際シ全ク不可能ニ非ザルベキモ、屢之ガ



航過ヲ敢テスルトキハ必ズ船體ニ多少ノ損傷ヲ蒙ルヲ免レズ、其ノ最モ損傷シ易キハ推進機翼ニシテ前進ノ際之ニ障害ナキ氷塊モ後進ニハ渦ヲ生ズル爲撞觸シ易シ、又大氷塊ハ進行惰力ニ依リ破碎セラルルコトアリト雖モ、船體構造上特別ノ裝置ナキ限リ必ズ外板ヲ毀傷シ或ハ鉸釘ヲ弛緩スルニ至ル。

無線方位信號所

千島列島ニ在ル無線方位信號所次ノ如シ(水路誌附録第5卷參照)。

無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信局 幌筵。

無線電信局所

10 無線電信局、無線航行警報、無線電信ニ依ル緊急水路告示放送、無線電信ニ依ル氣象通報等ニ關シテハ水路誌附録第5卷ヲ見ルベシ。

無線電信局 千島列島内ニ於ケル無線電信海岸局名及同固定局名次ノ如シ、但シ幌筵無線電信局ハ毎年4月下旬至9月中旬間ノミ開局スルモノニシテ幌筵島及占守島ニ於ケル私設無線電信局亦略之ニ倣フ。

海岸局 幌筵。

固定局 色丹(小規模)、紗那、幌筵。

其ノ他漁業會社經營ノ私設無線電信局(特殊業務局ニシテ無線電信ノ取次ヲ爲ス)幌筵島ニ3箇所(加熊別灣、摺鉢灣、柏原灣)占守島ニ2箇所(片岡灣、村上崎)アリ(昭和10年調)。

20 航行警報 幌筵海岸局ハ航行上ノ危險警戒ニ必要ナル事項ノ通報ヲ受ケ又ハ自局之ヲ認識シタルトキハ自局通信圏ニ在ル各艦船ヘ之ヲ放送ス。

水路告示放送 必要ニ應ジ幌筵海岸局ハ東京中央電信局ト同一要領ニ依リ午後9時5分ヨリ同15分迄ノ間ニ於テ緊急ヲ要スル水路告示ヲ邦文又ハ英文ニテ放送スルコトアルベシ。

氣象通報 千島列島ニ於テ無線電信ニ依リ氣象放送ヲ行フ無線電信局ハ幌筵海岸局ノミトス。

標準時

標準時ハ中央標準時(東經135度ノ子午線ニ於ケル平時即チ綠威平時ヨリ早キコト9時0分0秒)ヲ使用ス○但シ幌筵、占守、阿頼度ノ3島内各漁業根據地ニ於テハ便宜上一般ニ中央標準時ヨリ1時30分早メタル時間ヲ適用シ居レト謂フ。

水難救濟

帝國水難救濟會ハ千島列島内ニ救難所等ノ施設ヲ有セズ。

水難救護法 水難救護法、水難救護法施行細則、水難救護法取扱手續等ハ水路誌附録第1卷ヲ見ルベシ。

海難救助ニ従事スル會社 海難救助ニ従事スル會社ハ日本「サルヴェージ」株式會社ナリ、救助船其ノ他必要ナル船舟要具ヲ準備シ救難作業ニ従事ス。 10

同社ハ東京ニ本社ヲ設ケ各地ニ出張所又ハ代理店ヲ置ク、出張所所在地中北海道方面ノモノハ函館及小樽ニシテ千島列島内ニハ之ヲ有セズ、所有救助船中那須丸(總噸數692噸、實馬力1,200)ハ函館港ヲ、三保丸(總噸數632噸、實馬力800)ハ小樽港ヲ定繫地トシ何レモ無線電信ヲ備フ。

法規關係

千島列島中部寄島禁止 千島列島中部〔中千島〕即チ擇捉海峽ヨリ温禰古丹海峽ニ至ル間ノ各島ハ海獸保護並ニ養狐事業ノ官營區域ト定メラレ一般船舶ノ理由ナキ寄島ヲ禁止セラル。

農林省ニ於テハ前記ノ各島中下記港灣ノ陸上ニ養狐場番舎ヲ設ケ、養狐場ハ新知島武魯頓灣ニ於テ柵圍ヲ繞ラシ飼養シアル外他ハ何レモ放シ飼ナリ、此等狐ノ捕獲狩獵ハ勿論禁制トス。 20

- 得撫島 床丹灣、見島灣、小舟港。
- 新知島 新知灣、中泊浦、武魯頓灣。
- 計吐夷島 三並灣。
- 宇志知島 北島。
- 羅處和島 村落崎。
- 松輪島 大和灣。



春牟古丹島 春牟古丹錨地。

溫禰古丹島 根茂灣。

**海獸獵獲禁止** 臘虎、臘朥獸ハ法律ニ依リ、海驢、海豹ハ省令ニ依リ、各其ノ獵獲ヲ禁止セラル、其ノ要旨下ノ如シ。

**臘虎及臘朥獸** 明治45年法律第21號參照。

(1) Bering Sea, Kamchatka Sea, [オホツク] 海及日本海ヲ包含スル北緯30度以北ノ太平洋ニ於テハ臘朥獸ノ獵獲ヲ爲スコトヲ得ズ。

帝國ノ海岸ヨリ3哩ヲ超ユル前項ノ海面ニ於テハ臘虎ノ獵獲ヲ爲スコトヲ得ズ。

10 (2) 臘朥獸ノ陸上獵獲及帝國ノ海岸ヨリ3哩ヲ超エザル範圍内ニ於ケル臘虎ノ獵獲ハ政府ニ專屬ス。

**海驢及海豹** 大正3年1月農商務省令第2號參照。

東經149度以東、北緯45度以北ノ場所ニ於テハ官廳ノ外海驢又ハ海豹ノ獵獲ヲ爲スコトヲ得ズ。

## 磁氣

**地磁氣ノ分布** 昭和7—8年ノ算定ニ係ル千島列島及其ノ附近ニ於ケル地磁氣ノ狀況ハ下ノ如シ。

**偏差** 本地方ニ於ケル偏差ハ總テ西偏ニシテ、等偏差線ハ南西—北東ノ方向ニ走リ北西ニ進ムニ從ヒ其ノ値ハ5度ヨリ7度迄増加ス、西偏6度ノ等偏差線ハ北得撫水道ヲ通過シ、之ヨリ南方ニ於テハ列島ノ南東側海上、以北ニ於テハ列島ノ北西側海上ニ在リ、從ツテ偏差ハ國後島及擇捉島ニ於テハ西偏7—6.5度ヲ示スモ、列島ニ沿ヒ北進スルニ從ヒテ漸減シ幌筵島及占守島ニ至レバ西偏5.5度ト爲ル。

**傾差** 傾差ハ列島南端ニ於テハ57度ニシテ北ニ進ムニ從ヒテ増加シ、列島北端ニ至レバ62.5度ニ達ス、等傾差線ハ略距等圈ト平行ナリ。

**水平磁力** 等水平磁力線ハ本地方ニ於テハ略距等圈ト平行ス、而シテ其ノ値ハ列島南端ニ於テ26,500 [ガムマ] ニシテ、之ヨリ緯度ノ増加ニ從ヒテ減ジ、

列島北端ニ至レバ23,100 [ガムマ] ト爲ル。

**偏差ノ年差** 本地方ニ於テハ偏差ノ値(西偏)年々1分前後増加ス、而シテ1分ノ等年差線ハ溫禰古丹島ヲ西南西—東北東ノ方向ニ通過ス。

**地方磁氣** 千島列島ニハ地方磁氣ノ存スル所多キヲ以テ磁氣羅針儀ノミニ依ル該地方ノ接岸航行ニハ注意ヲ要ス。

## 航路

**航法** 千島列島ノ兩側及列島間ノ航路ニ就テハ近海航路誌第2編第5及第206ヲ見ルベシ、但シ同誌ノ航路記ハ一般標準ヲ示セルニ過ギザルヲ以テ、航海者ハ宜シク之ヲ參考トシ季節、天候、晝夜、船舶ノ特性等ニ應ジ各自適切ナル航路ヲ選定スルヲ要ス、尙氣象ニ關シテハ近海航路誌第1編ヲ、潮流、海流、海水等ニ關シテハ同編及本編ヲ併セテ參照スベシ。

**春季及夏季ノ航海** 下記報告ハ10餘年ニ亙リ毎年4月ヨリ9月ニ至ル間約5回宛函館、根室、北千島間ノ定期航海ニ從事セシ北海道廳命令航路船小樽丸(1,464噸)ノ提出ニ係ルモノナリ。

本船ノ如キ常時定期ニ就航セルモノニ在リテモ採ルベキ航路ノ選定ニ當リテハ常ニ天候、風浪、時間、濃霧等ヲ考慮シ深甚ノ注意ヲ拂ヒテ決定ス。

採ルベキ航路ヲ次ノ3種トス。

- (1) 國後水道ヲ通過シ千島列島北西側ニ出デ、擇捉島散布半島航過後帆掛岩西方ニ定針シ、同岩航過後幌筵島北西岸ニ向フモノ、航程595哩。
- (2) 國後、擇捉兩島ノ南東側ヲ北上シ、擇捉海峡ヲ通過シテ列島ノ北西側ニ出デ爾後(1)ノ航路ヲ採ルモノ、航程600哩。
- (3) 根室港ヨリ一路列島南東側ニ沿ヒテ北上シ、溫禰古丹、志林規兩海峡ヲ通過シ幌筵島北西岸ニ向フモノ、航程620哩。

本船ハ往航ニハ初春流氷ノ危險アルトキヲ除キ(1)(2)ノ航路ヲ採ルヲ例トス、此ノ航路ニ據レバ(3)ニ比シ航程ニ於テ利スル所20哩、且優勢ナル親潮ヲ避ケテ幾分ノ順流ニ乘リ得、猶屢轉針スルノ煩ナク加之沿岸ニ接航スル危險度少シ。



然レドモ偏西、偏北西風強吹シ波浪大ナルトキ、又ハ濃霧ノ際ニハ海峽通過ヲ敢行セズ(3)ノ航路ヲ採ル、是船體小ナル本船ノ如キハ動搖大ナルトキ又濃霧中流潮強キ海峽ノ通過ハ無謀ナル冒險ナリト信ズルガ故ナリ。

**秋季航海** 海霧流水ノ顧慮ナキ10月、11月ノ候ニ於ケル千島列島方面ノ航海ハ、沿岸ニ接航セバ殆ト常時陸標ニ依リ船位ヲ確メ得ルコト可能ナルガ如シ、但シ低氣壓連續來襲スルヲ例トスルヲ以テ、時々吹雪等ニ依ル視界ノ狹小竝ニ船體ノ動搖ハ之ヲ免レザルモノト知ルベシ。

**冬季航海** 千島列島ニ於ケル冬季航海ハ其ノ實例ニ乏シキモ、大正15年2月農林省所屬白鳳丸(322噸)ハ列島各地ニ寄港シ、溫禰古丹島迄航海シタル

10 コトアリ、同船ハ夜間及風雪中ノ航海ヲ避ケ主トシテ晝間行動スル如ク計畫セリ、其ノ經驗ニ依レバ流水ハ一般ニ列島ノ太平洋側ニ少クシテ「オホツク」海側ニ多ク、又得撫島以南ニ於テハ新知島以北ニ比シ流水多ク、列島間ノ航海中概ネ北西風(風力約4)吹續キ時々吹雪ヲ交ヘ、最低氣溫—8.5度、最低水溫—4.2度ヲ示セリ、2月11日溫禰古丹島根茂灣碇泊中南東ノ大強風ニ會シ吹雪咫尺ヲ辨ゼズ双錨泊ニ依リ辛ウジテ走錨ヲ免レタリ、12日夜半最低氣壓725耗ヲ示シ風威強暴ヲ極メシモ、其ノ後2時間餘ニシテ風勢遽ニ衰ヘタルヲ以テ揚錨出港シタルニ間モナク北西強風ニ變ジタリト謂フ○某艦ハ大正15年3月17日樺太泊ヲ出港、19日國後水道ヲ通過シ釧路ニ向ヒシガ國後水道通過後色丹島南方ニ至ル迄ノ間ニ於テハ常ニ流水ニ遭遇セリト謂フ。

20 **命令航路** 定期航海船舶千島列島寄島狀況ノ概略ヲ知ル爲昭和10年度命令航路ヲ舉グレバ次表ノ如シ。

北海道廳命令航路

線名	起點地 終點地	期間	航海 回数	列島寄港地	列島臨時寄港地	受命者
函館千島線	函館 藥取	全年	36	古釜布、乳呑路、色丹、 内保、留別、紗那、紗萬 部、別飛、藥取	茂世路	近海郵船 株式會社
	函館 占守	自4月 至9月	14	摺鉢灣、壘山、千歲灣、 村上埼、鯨灣、片岡灣、 加能別、荒川、阿頼度島、		
	根室 占守	自5月 至9月	17	鯨灣、加能別、柏原灣、 壘山、摺鉢灣、	南浦(又ハ北浦) 片岡灣、村上灣、	
函館擇捉線	函館 藥取	全年	64	入里筋、具谷、丁寧、年 崩、別飛、紗那、留別、 内保、藥取	乳呑路、白糖泊、 色丹、小田崩、 茂世路	金森商船 株式會社
根室近海線	根室 色丹	全年	30	水晶島、勇留島、相泊、 志發島、多樂島、色丹	能登呂、穴澗、 崎崩	根室汽船 株式會社
	根室 白糖泊	自4月 至12月	25	東沸、古釜布、植内、乳 呑路、禮文磯、白糖泊		
	根室 泊	自4月 至11月	37	泊	古丹消	
(備考) 根室近海線根室色丹間ハ自11月至3月間(航海回数10)終點地ヲ多樂島ニ止ムルコトヲ得						



## 第 2 編

### 樺太南部總記

本編ニハ樺太南部即チ邦領樺太及之ヲ包括スル海區ニ關スル一般記事ヲ収録ス。

樺太南部ノ沿岸記事ハ同島南端西能登呂岬ヨリ西岸ヲ北上シテ國境ニ達シタル後、更ニ西能登呂岬ヲ起點トシテ南岸次デ東岸ノ順序ニ記載ス。

#### 港 灣

樺太島ハ一般ニ海岸線極メテ單調ニシテ天然ノ良港ヲ有セザルヲ以テ、樺太廳ニ於テハ内外ノ連絡港トシテ 3 築港(本斗、眞岡、大泊)ヲ設ケ、又沿岸航行ノ小形汽船及漁船ノ繫泊竝ニ避難所トシテ沿岸樞要ノ地ニ船入澗ヲ築設ス。 10

樺太南部ニ於ケル開港ハ眞岡及大泊ノ 2 港ナリ、開港ニ關シテハ水路誌附録第 1 卷ヲ見ルベシ、但シ本誌區域内ノ開港ハ開港港則チ施行セラレルモノナシ◎築港工事ハ未ダ實現ヲ見ザルモ船舶ノ出入稍盛ナル露開港トシテハ、西岸ニ野田、泊居、惠須取等、東岸ニ榮濱、元泊、知取、敷香等アリ◎船舶樺太南部各地出入ニ際シテハ樺太出入船舶届出規則(水路誌附録第 1 卷)ヲ遵守スルヲ要ス。樺太沿岸ニハ主トシテ河口附近ニ於テ海岸全ク彎入ヲ成サズ且陸上定住者皆無ナル處ト雖モ、海岸ニ接シテ汽船ヲ寄セ木材積取荷役ニ従事スルモノ多數アリ、而シテ此等ノ船舶ガ錨泊振廻リ中又ハ錨地ニ向ヒ接岸航行中未知ノ暗礁ニ觸レ、始メテ之ガ存在ヲ發見セル實例極メテ多シ。

#### 氣 象 (日本近海ノ氣象海流圖及卷末氣象表參照)

20

**風候及天候** 地形狹長ニシテ平地乏シク脊梁山脈ハ西海岸ニ接シテ竝走ス、而シテ東ハ「オホツク」海ニ臨ミ西ハ韃靼海灣ヲ隔テテ大陸ニ對シ尙沿岸



ハ寒暖兩流ニ接スルヲ以テ東西兩沿岸ニ於ケル天候ハ恰モ北越地方ト關東地方トニ於ケルガ如シ、即チ寒季ニハ西海岸ハ概ネ陰曇ニシテ降雪殆ド絶エザルモ東海岸殊ニ多來加灣ニ面スル地方ハ常ニ霽明ニシテ降雪回数少シ、暖季ハ一般ニ南風卓越スレドモ時トシテ其ノ衰退ニ因リ往々陰鬱ナル天氣打續キ恰モ内地ノ梅雨ノ如キ狀ヲ呈スルコトアリ、但シ晴天旬日ニ互リテ續クコトアリ、晴雨何レヲ問ハズ繼續スル傾向アリテ其ノ變化全般ニ互リ寒季ニ於ケルガ如ク頻繁ナラズ、然レドモ暖季ニハ海霧ノ發生最モ盛ナリ、信風變換ノ季節ニハ天候ノ變化著シキヲ例トス。

平均風向ハ各地皆特性ヲ有シ一定セズト雖モ概シテ4月至9月迄ノ6箇月間ハ  
10 偏南ノ風ニシテ其ノ他ノ6箇月間ハ偏北ノ風ナリ、其ノ北風ヨリ南風ニ變ズルハ各地共其ノ時期チ一ニスレドモ南風ヨリ北風ニ轉ズルニハ多少ノ遲速アリ、而シテ東岸北部ニ於テハ其ノ南北孰レヲ問ハズ東ニ偏スルハ5箇月間ニシテ7箇月間ハ西ニ偏スレドモ、西岸南部ニ於テハ概ネ東ニ偏シ其ノ西ニ偏スルハ僅ニ2箇月間ナリ、之ニ反シ内部ハ周年何レノ月ニ於テモ西ニ偏シ6月及7月ノ2箇月ヲ除ク他ノ10箇月ハ南風ナリトス。

平均風速ハ西岸南部ニ最大ニシテ内部ニ小ナリ、而シテ沿海地ニ於テハ秋冬ノ交ニ大ニシテ夏季ニ小ナレドモ内部ニ於テハ春季ニ大ニシテ冬季ニ小ナリ、月別ニ見レバ南部沿海地ニ於テハ其ノ最大ハ11月ニシテ最小ハ7月ナレドモ東岸北部ニ於テハ其ノ最大ハ12月及1月ニシテ最小ハ6月及7月ナリ、内部ニ  
20 於テハ其ノ最大ハ5月ニシテ最小ハ1月ナリ、想フニ嚴冬ノ候ニ於テ内部ノ氣温ノ著シク低降スルハ風速ノ小ナルコトモ其ノ一因ナラン。

最大風速25米以上ニ達スルコトハ南西沿海地方ニ於テハ10月ヨリ翌年3月迄ノ6箇月間ニ互リ、往々9月及4月ニ於テモ斯克ノ如キ大速度ヲ現ハスコトナキニ非ズ、眞岡ニ於テハ1月ニ最大31.3米ヲ、大泊ニ於テハ11月ニ最大37.1米ヲ測リタルヲ見レバ其ノ如何ニ猛烈ナルカヲ知り得ベシ、東岸北部ニ於テモ冬季3箇月間ハ23米ヲ超ユルコトアリ、又内部ニ於テハ12月ニ27.4米ニ達シタルコトアリ。

暴風日數ニ於テハ冬季3箇月間最モ多ク此ノ3箇月間ノ總日數ハ南西部ニ於テハ30日以上ニシテ北東部ニ於テモ20日以上ト爲ル、即チ本島南部ハ臺灣海峽及千島列島南部ニ次ギ本邦中暴風殊ニ多キ地方ナリ、然レドモ内部ニテハ暴風日數ハ寧ろ春季ニ多クシテ尙夏季ハ一般ニ少ク7月及8月ニ於テハ最多ノ月ニ比シ其ノ2割内外ニ過ギズ。

低氣壓後面ノ西風ハ俗ニ「吹き通シ」ト稱シ頗ル強烈ニシテ而モ突發的ニ吹き始ムルヲ以テ、東風ノ微弱ナル間ニ避難セザレバ遂ニ西風ニ翻弄セラレ操縦ノ自由ヲ失ヒ遭難スルモノ多シト謂フ、故ニ當地方ニ於テ經驗アル船長ハ東風ノ期間常ニ天候ノ推移、氣壓ノ變化等ニ注意シ低氣壓ガ北海道方面ヲ通過シ風向西ニ變ゼントスルヲ認ムルトキハ直ニ荷役ヲ中止シ夕刻迄ニ沖合20哩以上ニ出  
10 デ西風ニ因ル偏壓ニ對シ警戒シ或ハ斷然海馬島ニ避難ス、同島風下側ノ吹き嵐ハ然程強キモノニ非ズト謂フ。

**氣温** 各地共平均氣温ノ氷點以上ニ在ルハ4月至10月ノ7箇月間ニシテ其ノ他ノ5箇月間ハ氷點以下ニ在リ、但シ敷香ハ11月至翌年4月ノ6箇月間トス、各地ヲ通ジテ最寒ナルハ1月ニシテ2月之ニ次ギ年ニ依リテ2月ノ方低溫ナルコトアリ、最暖ナルハ8月ニシテ平均ニ近キハ4月ナリ、即チ本邦暖地ニ比シ氣温ノ變遷約1箇月ノ遲滯ヲ呈スルガ如キハ高緯度地方ノ通有性ナランモ寒流、積雪等ノ影響亦鮮少ナラザルベシ。

1年中ノ變化ニ就テ見レバ溫度ノ急昇スルハ融雪期ニシテ其ノ激降スルハ降雪初期ナリ、即チ3月ト4月トノ差ハ南西部ニ於テ7度内外ニシテ内部及北部ハ  
20 10度ニ達シ、10月ト11月トノ差ハ南部ニ於テ8度、北部ハ約10度ニ達ス、而シテ溫度ノ昇リ始ニ於テハ内部ハ沿海地ニ比シ著シク急激ナリトス、又各地ヲ通ジテ冬季ハ其ノ差甚ダ大ナレドモ夏季ハ小ナリ、即チ最暖ナル眞岡ハ最寒ナル敷香ニ較ブレバ冬季ニ於テ8度ノ高溫ヲ示セドモ夏季ハ其ノ差2度ニ過ギズ、而シテ内部ハ沿海地ニ比スレバ冬季著シク寒冷ニシテ夏季ハ高溫ナルガ故ニ落合ハ大泊ニ比シ4度ノ低溫ト爲リ夏季ハ殆ド差ナシ、又西岸ハ東岸ニ較ブレバ冬季ニ於テハ約3度高ク、眞岡ハ大泊ニ比スルモ1.5度内外高シトス、特



ニ海馬島ノ低溫ニ過グルハ寒流ノ影響ニ因ル特有ノ現象ナリ。

平均最高氣溫ト雖モ12月至翌年3月ノ4箇月間ハ氷點以下ニ在リ、北東部ハ11月ヲ加ヘ5箇月ニ及ベリ、平均最低氣溫ニ至リテハ11月至翌年4月ノ6箇月間ハ氷點以下ニ在リ、内部及北東部ハ10月ニ於テモ氷點ヲ降レリ、平均較差ハ内部及北部ニ在リテハ冬季殊ニ大ニシテ春夏ノ交ニ小ナレドモ西岸南部ニ於テハ初秋ノ候ニ大ニシテ冬季却ツテ小ナリトス。

氣溫零度以下ニ在ル期間ノ頗ル長キハ本島風土上ノ特徴ニシテ主要地點ニ就テ之ヲ表示スレバ次ノ如シ。

地名	最低氣溫零度以下			平均氣溫零度以下			最高氣溫零度以下					
	總日數	初日	終日	總日數	初日	終日	總日數	初日	終日			
大泊	189-0	10-10	5-26	228-3	144-2	11-14	171-6	111-3	11-12	6-6	145-2	大正14年迄20年間ノ平均
眞岡	177-5	10-14	5-17	216-5	135-7	11-4	165-4	103-5	11-13	4-1	139-8	
落合	206-0	9-25	5-28	246-5	154-6	10-27	187-1	116-2	11-11	4-9	149-1	
數香	209-0	9-30	5-23	240-7	170-5	10-26	185-5	136-4	11-5	4-15	163-7	

**降水** 降水量ハ概ネ夏季ニ多ク冬季ニ少シ、月量ニ於テハ其ノ多キモ120耗内外ニシテ少キハ20耗ニ充タズ、内部ハ沿海地ニ比スレバ多キモ尙年量900耗ニ達セズ、本邦ニ於ケル最寡雨ノ地ニシテ略北見國沿岸ニ同ジ○降水日數ハ南部ニ於テハ秋冬ノ交ニ多ク夏季ニ少キモ、北東部ニ於テハ夏季ニ多ク冬季最モ少シ、而シテ西岸南部ニ於テハ略日本海南部ニ等シク1年ノ總日數ハ200日内外ナレドモ東岸北部ハ關東地方ト大差ナク150日内外ニ過ギズ。

**降雪** 降雪ハ北部ニ早ク概ネ10月中旬ニ現ハルルモ明治39年ニハ内路附近ニ於テ10月1日既ニ15厘内外ノ積雪ヲ見タルコトアリ、然レドモ斯克ノ如キ早現ハ稀ナリ、南部ニ於テハ豊原附近ノ高山ニハ10月上旬ニ於テ冠雪スルコトアレドモ、平地ノ初雪ハ概ネ10月下旬ニ在リ、終雪ハ各地共5月中旬ノ交ニ在レドモ明治41年ニハ南部一帶6月30日ニ於テ降雪ヲ見タリ、斯克ノ如キ

20 晩雪ハ又稀ナル方ナリトス、而シテ各地共11月下旬乃至12月上旬ニハ既ニ根雪

ト爲リ通常南西部ハ4月上旬、内部ハ5月上旬ニ至ラザレバ融雪セズ。

**降雪中航海上ノ注意** 霧ハ只展望ヲ妨グルノミナレドモ降雪ハ同時ニ背面ノ陸標地物ヲモ全ク同色ナラシムルヲ以テ目標ノ發見ニ困難ヲ感ズ。

**濕度** 平均濕度ハ夏季ニ高ク春秋ニ低ク各地ヲ通ジテ月平均ハ85%ヲ超ユルコトアリト雖モ72%ヲ降ルコトナシ、總ジテ本島ハ海霧ノ發生多キガ故ニ濕度ハ一般ニ甚ダ高ク1年ノ平均78%ニ達セザルノ地ナシ、東岸北部ノ如キハ平均83%ニ上リ最乾ナル月ニ於テモ76%ニ止マレリ、本邦中北海道本島東岸ニ次ギ最多濕ノ地トス、然レドモ春季最モ能ク乾燥スルトキニ在リテハ30%以下ニ降ルコト珍シカラズ、西岸南部及内部ニ在リテハ12%ニ降ルコトアリ。

**霧** 次表ハ沿岸各地觀測所ニ於ケル霧日數ノ累年ノ統計ニシテ明治44年10以降大正14年ニ至ル15箇年ノ平均値トス、沿岸附近ノ霧分布ノ一斑ハ本表ニ依リ略之ヲ窺知シ得ベキモ本表ハ陸上ノ觀測ノミナルヲ以テ沖合ノ海霧ハ之ト多少ノ差異ヲ見ル場合アリ、又地勢上ノ影響ニ依リ觀測者ノ所在ヲ異ニスルニ從ヒ著シク變化ヲ生ズルコトアルヲ以テ本表中ニ掲ゲタル少數ノ觀測點ノ成績ノミニ依リ全般ヲ揣摩スベカラズ、即チ西能登呂岬ノ7月中ニ於ケル霧日數ハ本表中最多ヲ示スヲ以テ宗谷海峽ノ霧モ亦然ルベシト推察セラルベキモ、同海峽ニ於テハ西能登呂岬附近ニ濃霧最モ頻繁ナルニ拘ラズ海峽ヲ東スルニ從ヒ減少シ大泊ニ於テハ僅ニ前者ノ1/3強ニ過ギズ、一般ニ同海峽ノ霧ハ濃霧區域局限セラレ、根室近海ニ於ケルガ如キ廣區域ニ互リ濃霧連日ニ及ブコト稀ナリ。

月	眞 岡	西能登呂岬	大 泊	落 合	數 香
1	—	0-1	—	0-2	—
4	1-3	4-5	2-3	1-3	2-6
5	3-5	8-1	5-1	3-0	4-7
6	7-4	19-6	8-5	4-6	8-0
7	6-9	22-1	8-2	3-5	9-4



月	眞岡	西能登呂岬	大泊	落合	敷香
8	2.5	17.6	7.9	4.0	6.1
9	0.5	5.9	4.2	2.3	3.2
10	0.1	1.9	2.1	1.2	1.7
11	—	0.3	0.8	0.7	0.1

本島沿海ニ於ケル霧ノ發生ハ3月ヨリ10月ニ互リ其ノ他ノ期間ニ於テハ甚ダ稀ニシテ且薄霧ナリ、其ノ最盛期ハ6月至8月ノ3箇月間ナリ、之ガ發生ノ起因ハ素ヨリ多様ナルベキモ主トシテ寒暖兩流混淆ノ最モ著シキ北知床岬、中知床岬及西能登呂岬附近ハ殊ニ霧ノ發生多ク此等ノ附近ヲ離ルレバ頓ニ減少ス、海豹島及西能登呂岬ノ觀測ニ徴スレバ夏季3箇月間ニ於ケル海霧日數ハ40—60日ニ上リ濃霧日數ノミヲ算スルモ30—40日ニ及ベリ、本邦ニ於テ最モ多霧ナル根室及襟裳岬附近ニ比スレバ全年總計ニ於テ稍少シト雖モ又多キ方ナリ、大泊ハ之ニ比スレバ其ノ半ニ過ギズ、眞岡ニ至リテハ更ニ少シ。

霧ノ濃淡頻度ハ海流ノ消長ニ關聯スルノミナラズ風向ノ如何ニ依リ其ノ所在ヲ異ニシ流動斷續常ナラズ、之ヲ以テ夏季南風ノ日ハ概ネ多少ノ海霧ヲ生ズルモ海陸ノ向背ニ依リ著シキ差異アリ、即チ大泊ノ如キ濃霧ノ襲來時ニハ南南西風吹ケドモ敷香ハ南東風ニシテ眞岡ハ南西風ナリ、又發生ノ時刻ハ大泊及敷香ニ於テハ午前ノモノ大部ヲ占メ午後ノモノ甚ダ稀ナレドモ、眞岡ハ午前ノモノヨリ午後ノモノ寧ロ多シトス、其ノ連續時數ニ至リテハ往々斷續50時間以上ニ互ルコトアリト雖モ總ジテ10時間以上ニ及ブモノハ總回數ノ1—2割ニ過ギズ概ネ5時間以内ナリ、而シテ此等濃霧ノ發生ハ主ニ高壓部ノ移動シ來レルトキニ在リ、低氣壓ノ通過ニ伴ヒテ發生スルモノハ僅ニ總回數ノ2割ニ過ギズ、大泊、敷香ニ於テハ天氣晴朗ナルトキニ起ルモノ多ク降雨ヲ伴フモノ少キモ眞岡ニ於テハ降雨ヲ併發スルモノ多シ。

霧ノ發生ハ夏季ノ特象タル水溫ノ氣溫ヨリ低キ時期ヲ最トシ之ニ反スルトキハ

却ツテ少シ、是海霧ノ起因ヲ證スルモノノ如ク特ニ寒流區域ニ頻繁ナルヲ知リ得ベシ、試ニ月別平均氣溫ト水溫トヲ比較スレバ次ノ如シ。

月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
眞岡	7.4	6.6	3.9	1.0	-1.3	-1.9	-1.2	-0.4	0.2	1.2	1.8	6.1	2.1
大泊	8.1	7.6	4.1	0.8	-1.1	-0.7	-0.1	0.9	1.7	2.4	3.4	5.8	2.7

- 符ハ水溫ノ方氣溫ヨリ低キヲ示ス

即チ概シテ4月至8月迄ハ氣溫ハ水溫ヨリモ稍高ク此ノ時期ニ霧ノ發生最モ多ク其ノ他ノ月ニ於テハ氣溫ハ水溫ヨリ低ク其ノ差最大ナル1月、2月ノ期間ハ霧ノ發生殊ニ少シ。

**低氣壓**

**颱風** 11月至翌年3月間宗谷海峽附近ヲ通過シ本島沿岸殊ニ其ノ西岸及南岸ニ於テ暴風猛威ヲ逞ウスルモノ多シ、一般ニ颱風襲來ニ當リテ其ノ後面ハ風強ク寒冷ニシテ且地形ニ依リ雨雪ヲ見ルコト多キモ夏季ニハ其ノ勢力弱ク來襲回數モ亦稍少キヲ例トス、冬季颱風ノ中心過ギ去リタル後大陸ノ高氣壓發達シテ之ニ迫ルヲ以テ風力著シク強マル、航海者トシテ警戒スベキハ此ノ後面ノ強風及吹雪ナリ。

**颱風** 本島ニ來襲スル颱風ハ8月、9月ニ多ク8月ニハ朝鮮ヲ越エ日本海ニ出デ又ハ對馬海峽方面ヨリ來ルモノ多ク、9月ニハ本洲西部ヲ橫斷シテ日本海ニ出デ來ルモノ多シ、其ノ襲來回數ハ颱風ノ如ク多カラズ又多ク老衰期ニ屬シ其ノ猛威ヲ逞ウスルモノ少シ、只其ノ來ルヤ進行速度比較的ニ大ナルモノアルヲ以テ豫メ此ノ點ニ留意スルヲ要ス。

**氣象通報規程** 氣象通報ニ關スル諸規程ハ水路誌附錄第5卷ニ記載シアリ。

**潮汐及潮流**

樺太西岸ハ第6編第169頁至第171頁、同南岸ハ第7編第213頁至第214頁、



同東岸ハ第8編第235頁至第236頁ニ就テ各之ヲ見ルベシ。

### 海流

夏季樺太西岸ニ於ケル暖流ハ概シテ鶴城岬ノ沖合迄北上スルモノノ如ク久春内ニテハ殆ト暖流ニ接セズト謂フ。

夏季樺太東岸ニ沿ヒ南下スル寒流ハ北知床岬ヲ繞リテ多來加灣沖合ヲ中知床岬ニ向フモノノ如ク、多來加灣ニハ其ノ反流アルモノノ如シ。

冬季ノ海流ニ就テハ明ナラズ。

### 海氷

樺太南部ニ於ケル海氷ハ主トシテ沿岸ニ於ケル結氷竝ニ其ノ破碎シテ漂流スル流氷ナリ、概ネ扁平形ニシテ稀ニ凹凸數米ノ高サヲ有スルモノアリト雖モ此等ハ氷塊ノ漂流中海水ト降雪トガ附著凍結シ重疊相集リテ漸次容積ヲ増大セルモノノ連續セルモノナリ。

流氷ハ主ニ風向ニ支配セラル、東西兩岸ニ於ケル流氷去來ノ風向ヲ掲グレバ次ノ如シ。

地名	流氷ノ來ル風向	流氷ノ去ル風向
眞岡	NW	SE
舟泊	N 至 NE	W 至 NW

即チ樺太東岸ニ於テハ多ク北至北東ノ風ヲ以テ流來シ西至北西ノ風ニ依リテ流出スルモノ西岸ニ於テハ主ニ北西ノ風ニテ來リ南東ノ風ニテ去ル。

本島ハ冬季殊ニ低溫ニシテ水溫モ亦氷點下ニ降ルガ故ニ嚴冬ニ於テハ全島沿岸概ネ結氷シ春季ニ互リテ流氷ヲ見ザルコトナシ、唯眞岡以南40—50哩間ハ著シキ結氷ナシト雖モ宗仁岬附近迄ハ西能登呂岬ヲ繞リタル氷塊ニ襲ハルルガ故ニ全ク結氷ヲ見ザルハ小區域ニ過ギズ、一般ニ灣入シタル海面ニ在リテハ深サ3—5米ノ海面ニ互リテ膠著スト雖モ暴風ノ襲來若ハ氣溫ノ激變アル如キ場合ニ於テハ風ト潮流トニ依リ流動スルヲ常トス、其ノ初期ニ於テハ河川湖沼ヨリ

吐出スル氷塊ニ誘ハレ凍結ヲ促シ恰モ雪塊ヲ投入攪拌シタル如キ「クリーム」狀ヲ呈シ、或ハ暗灰色ノ氷帶ト爲リテ浮流シ平水ニ於ケルガ如キ透明ナル薄氷ヲ結ブコトハ極メテ稀ナリ、而シテ此等軟氷ハ寒威ノ増進スルニ從ヒテ發育シ風潮ニ依リテ漂動シ、日平均氣溫ノ氷點下7—8度ニ達スル候ニ於テハ水溫モ亦氷點下1度以下ニ降ルガ故ニ相當厚固ト爲リ、風潮ニ壓迫セラレテハ集合シ氷盤ト爲リテ沿岸ニ聚著シ舢舨汽艇ヲ通ゼザルニ至ル、此ノ期ハ大泊沿岸ニ於テハ大凡12月下旬ニ在レドモ敷香ハ約2旬、安別ハ約1.5旬早ク、眞岡ハ約1旬晚シトス、而シテ1月下旬頃ニ至レバ大泊地方ニ於テハ日平均氣溫ハ既ニ氷點下10度以下ニ降り水溫ハ氷點下1.5度以下ニ達シ、沿岸ノ結氷ハ愈厚固ト爲リテ岸邊ニ膠著シ厚サ0.5—1米内外ニ及ビ往々深サ5—9米内外ノ海面ニ互リテ漂動セザルガ故ニ入港船舶ハ海氷ニ嵌入シ氷上荷役ヲ爲シ得ルナリ、但シ眞岡地方ニ於テハ嚴冬1月ノ平均氣溫ト雖モ氷點下10度ヲ降ラズ、本斗地方ニ至リテハ氷點下9度ニ達セズ、水溫モ亦氷點下1度ニ降ラザルガ故ニ此ノ方面ニ於テハ著シキ結氷ヲ見ザルナリ、而シテ3月下旬頃ニ至レバ最早春暖ヲ迎ヘテ日平均氣溫ハ氷點下5度以上ニ昇リ氷下水溫ハ氷點下1度以上ニ達スルガ故ニ堅氷ト雖モ離岸流出シ流氷ト爲リテ漂動シ、風潮ニ乘ジテ南下シ往々北見沿岸ヲ襲フモノアレドモ4月、5月ノ候ニ至レバ概ネ北緯45度—46度附近ノ海面ニ於テ分潰融失スルモノノ如シ、「マカロフ」提督ノ調査ニ從ヘバ樺太寒流ハ北知床岬ヲ西方ニ迂回シ多來加灣ニ入り幌内、内淵諸河ノ流氷ト共ニ右偏シ知床半島ヲ繞リテ亞庭灣ニ入り右ヨリ左ニ廻リテ西能登呂岬ニ至リ更ニ西岸ニ沿ヒテ北上スト謂ヘリ、東岸ニ於ケル流氷ハ概ネ此ノ經路ヲ辿ルモノノ如シ。

氷原航行中ノ注意 第1編第9頁同項ヲ見ルベシ。

### 無線方位信號所

樺太南部ニ在ル無線方位信號所次ノ如シ(水路誌附録第5卷參照)。

無線標識局 西能登呂岬。

無線羅針局 西能登呂岬。

無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信局 大泊。



## 無線電信局所

無線電信局、無線電信ニ依ル氣象通報、無線航行警報等ニ關シテハ水路誌附録第5卷ヲ見ルベシ。

**無線電信局** 樺太南部ニ於ケル無線電信海岸局名及同固定局名次ノ如シ。

**海岸局** 大泊。

**固定局** 大泊、豊原。

尙大泊町所在ノ樺太廳觀測所構内ニハ報時氣象受信専用ノ無線電信所アリ。

**航行警報** 大泊海岸局(大泊郵便局無線電信分室)ニ於テハ樺太沿海航行船舶ノ危險警戒ニ必要ナル事項ヲ無線電信ニ依リ放送ス。

**氣象通報** 大泊郵便局無線電信分室ニ於テ樺太廳觀測所ヨリ發スル氣象實況報及暴風警報ヲ放送ス。

## 標準時及報時信號

標準時ハ中央標準時(東經135度ノ子午線ニ於ケル平時即チ綠威平時ヨリ早キコト9時0分0秒)ヲ使用ス。

大泊港ニテハ樺太廳觀測所報時信號標ニ於テ毎日報時信號ヲ行フ(第7編第227頁參照)。

## 水難救濟

**水難救護法** 水難救護法、水難救護法施行細則、水難救護法取扱手續等ハ水路誌附録第1卷ヲ見ルベシ。

**帝國水難救濟會** 帝國水難救濟會ハ本邦沿海ニ於ケル人命財産ノ遭難ヲ救助スル爲設ケラレタル社團法人ニシテ、明治22年ノ創立ニ係リ本部ヲ東京市深川區永代河岸ニ置キ本邦内沿岸各地ニ救難所、同支所及救難組合ヲ置ク。樺太廳管下ニ於テハ昭和4年本會樺太支部ノ設置ヲ見タリ、其ノ救難所、同支所ノ所在ハ水路誌附録第1卷ニ就テ見ルベシ。

**海難救助ニ従事スル會社** 海難救助ニ従事スル會社ハ日本[サルヴェージ]株式會社ナリ、大泊ニ其ノ代理店アリ、其ノ他第1編第11頁同項ヲ見ルベシ。

## 法規關係

**檢疫** 海外トノ交通ハ從來蘇領沿海洲ヨリ入港スル船舶少數アルノミニシテ南支那、印度、[フィリッピン]群島方面トノ交通ナク、從ツテ樺太廳管下ニ於ケル海港檢疫ニ關シテハ未ダ法規ノ制定ヲ見ザルモ、近時滿洲國方面ヨリノ入港船舶増加ノ趨勢ニ在ルヲ以テ此等船舶ノ入港ニ際シテハ醫師、警察官吏立會ノ上、船員船客ノ健康診斷ヲ行フ外貨物ノ陸揚、鼠族ノ驅除等ニ關シ監視ヲ嚴ニシツツアリ。

**海獸獵獲禁止** 臘虎、臘納獸ノ獵獲禁止ニ關シテハ第1編第12頁同項ヲ見ルベシ。

## 磁 氣

**地磁氣ノ分布** 昭和7—8年ノ算定ニ係ル樺太南部及其ノ附近ニ於ケル地磁氣ノ狀況ハ下ノ如シ。

**偏差** 本地方ニ於ケル偏差ハ總テ西偏ニシテ、等偏差線ハ南南西—北北東ノ方向ニ走リ北西ニ進ムニ從ヒ其ノ値ハ8度ヨリ10度迄増加シ、西偏9度ノ等偏差線ハ多來加灣央ヲ貫通ス、從ツテ北緯47度ニ於ケル偏差ハ東岸ハ8.5度ナルモ西岸ハ9度、北緯50度即チ國境ニ於テハ東岸ハ約9度ナルモ西岸ハ約10度ニ達ス。

**傾差** 傾差ハ西能登呂岬及中知床岬ニ於テハ60度ニシテ北ニ進ムニ從ヒテ増加シ、國境線ニ至レバ64度ニ達ス、等傾差線ハ距等圈ト略平行ナリ。

**水平磁力** 等水平磁力線ハ本地方ニ於テハ略距等圈ト平行ス、而シテ其ノ値ハ西能登呂岬ニ於テ25,600[ガムマ]ニシテ、之ヨリ緯度ノ増加ニ從ヒテ減ジ、國境線ニ至レバ23,500[ガムマ]ト爲ル。

**偏差ノ年差** 本地方ニ於テハ偏差ノ値(西偏)年々1—1.5分宛増加ス、而シテ1.5分ノ等年差線ハ東岸國境地點附近ヲ西南西—東北東ノ方向ニ通過ス。

**地方磁氣** 韃靼海灣ノ沿岸ニハ地方磁氣ノ存スル所多キヲ以テ磁氣羅針儀ノミニ依ル該地方ノ接岸航行ニハ注意ヲ要ス。

## 航 路



**航法** 樺太南部東西兩岸及其ノ間ノ航路ニ就テハ近海航路誌第2編第7, 第202, 第203及第204ヲ見ルベシ、但シ同誌ノ航路記ハ一般標準ヲ示セルニ過ギザルヲ以テ、航海者ハ宜シク之ヲ參考トシ季節、天候、晝夜、船舶ノ特性等ニ應ジ各自適切ナル航路ヲ選定スルヲ要ス、尙氣象及海象ニ關シテハ本編並ニ近海航路誌第1編ヲ參照スベシ。

**命令航路** 主ナル定期航海船舶樺太南部沿岸寄港狀況ノ概略ヲ知ル爲近年ニ於ケル命令航路ヲ擧グレバ次表ノ如シ。

遞信省命令航路 (昭和10年度)

線名	起點地 終點地	期間	航海 回数	樺太寄港地	樺太臨時寄港地	受命者
日本海航路 樺太線	函館 大泊	自4月 至11月	40	大泊、真岡		近海郵船 株式會社
	小樽 惠須取	自12月 至3月	12	真岡、惠須取		

樺太廳命令航路 (昭和11年度)

線名	起點地 終點地	期間	航海 回数	樺太寄港地	樺太臨時寄港地	受命者
大阪惠須取線	大阪	自4月 至11月	14	大泊、真岡、野田、泊居、 惠須取		近海郵船 株式會社
	惠須取	自12月 至3月	8	大泊、本斗、真岡、野田、 泊居、惠須取		
大阪敷香線	大阪 敷香	自4月 至11月	12	大泊、榮濱、元泊、知取、 内路、敷香		川崎汽船 株式會社
大阪真岡線	大阪 真岡	自4月 至11月	14	大泊、真岡		北日本汽船 株式會社
大阪大泊線	大阪 大泊	自12月 至3月	4	大泊		川崎汽船 株式會社
敦賀大泊線	敦賀 大泊	自4月 至11月	20	大泊	真岡	本郷伊吉郎
雄基惠須取線	雄基 惠須取	自4月 至11月	16	大泊、本斗、真岡、野田、泊 居、久春内、惠須取		北日本汽船 株式會社

線名	起點地 終點地	期間	航海 回数	樺太寄港地	樺太臨時寄港地	受命者
伏木敷香線	伏木 敷香	自4月 至11月	12	大泊、富内(又ハ恩洞)、 榮濱、白浦、元泊、知取、 新聞、泊岸、内路、敷香		北日本汽船 株式會社
函館安別線	函館 安別	自4月 至11月	20	海馬島、武意泊、内幌、本斗 真岡、蘭泊、野田、泊居、 名寄、久春内、牛毛、萌菱、 留久志、珍内、圓度、鶴城、 惠須取、名好、安別		
函館能登線	函館 能登	自5月 至11月	12	大泊、富内(又ハ恩洞)、野寒 榮濱、白浦、真縫、登帆、 馬群潭、元泊、知取、新聞、 泊岸、敷香、野頃、能登		北日本汽船 株式會社
小樽惠須取線	小樽	自4月 至11月	40	真岡、野田、泊居、惠須取		近海郵船 株式會社
	惠須取	自12月 至3月	15	大泊、海馬島、真岡、泊居、 惠須取		
	小樽 惠須取	自4月 至11月	32	本斗、真岡、野田、泊居、 惠須取		
小樽敷香線	小樽 敷香	自5月 至11月	30	榮濱、元泊、知取、泊岸、 内路、敷香		北日本汽船 株式會社
本斗稚内線	本斗	自4月 至11月	224	本斗		北日本汽船 株式會社
	稚内	自12月 至3月	56	本斗		
真岡安別線	真岡 安別	自4月 至11月	40	真岡、泊居、名寄、久春内、 萌菱、留久志、珍内、圓度、 鶴城、惠須取、名好、西柵 丹、安別		樺太郵船 株式會社
惠須取安別線	惠須取 安別	自4月 至10月	140	惠須取、千緒、名好、西柵 丹、沃内、安別		
本斗自主 海馬島線	本斗 自主	全 年	70	本斗、氣主、内幌、宇仁、 白牛、南名好、武意泊、 宗仁、菱苦、大和田、海馬 島、自主		本斗海陸運 輸株式會社
	本斗 海馬島		90			
大泊敷香線	大泊 敷香	自5月 至10月	18	大泊、長濱、乳根、愛郎、 富内(又ハ恩洞)、野寒、 南遠古丹、榮濱、白浦、 登帆、馬群潭、元泊、知取、 新聞、泊岸、内路、敷香		近海郵船 株式會社



線名	起點地 終點地	期間	航海 回数	樺太寄港地	樺太臨時寄港地	受命者
敷香遠内線	敷香 遠内	自6月 至10月	18	敷香、多來加、野頃、能登、 用萬、散江、淺瀬、遠内		敷香海陸運 輸株式會社
灣内線	大泊 西能登 呂	自4月 至11月	70	大泊、雨龍、麥取、泥川、 古江、内砂、孫杖、登、知志 谷、毘沙瀨、西能登呂		株式會社 森田商會
	大泊 札塔	自4月 至11月	63	大泊、女麗、長濱、遠淵、 内晉、彌滿、札塔	保多、乳根	
敷香能登線	敷香 能登	自5月 至10月	70	敷香、多來加、野頃、能登		敷香興業 株式會社

(備考)

1. 大阪惠須取線自4月至11月14回ノ内7回ハ終點地ヲ眞岡ニ止ムルコトヲ得
2. 大阪敷香線12回ノ内6回ハ終點地ヲ知取ニ止ムルコトヲ得
3. 函館能登線12回ノ内3回ハ海豹島、淺瀬及遠内迄延航ス
4. 小樽敷香線30回ノ内9回ハ知取ノミヲ寄港地トス
5. 眞岡安別線40回ノ内27回ハ終點地ヲ名好ニ止ムルコトヲ得
6. 惠須取安別線140回ノ内80回ハ終點地ヲ沃内ニ止ムルコトヲ得
7. 本斗白主海馬島線本斗海馬島間ハ單獨直通航路ト爲スコトヲ得
8. 敷香遠内線18回ノ内3回ハ海豹島ニ寄港ス
9. 灣内線大泊西能登呂間70回ノ内35回ハ終點地ヲ毘沙瀨ニ止ムルコトヲ得
10. 灣内線大泊札塔間63回ノ内自6月至9月毎月2回保多ヲ經テ乳根迄延航ス

朝鮮總督府命令航路 (昭和9年度)

線名	起點地 終點地	期間	航海 回数	樺太寄港地	樺太臨時寄港地	受命者
朝鮮北海道 大連線	仁川 大連	全年	6	大泊		嶋谷汽船 株式會社

(備考) 朝鮮北海道大連線ノ航海回数ハ年25回ナルモ内6回大泊迄延航ス

第3編

千島列島南部〔南千島〕

本編ニハ千島列島南部即チ國後、擇捉2大島ト水晶諸島及色丹島トノ記事ヲ收  
録ス○千島列島南部ハ俗ニ南千島ト稱シ島民常住スル區域ナリ。

水晶諸島及色丹島

千島列島南端附近ニ於テ列島主島脈ト離レテ其ノ南方ニ1列ヲ形成スル群島ナ  
リ、此ノ群島ハ行政上1郡ニシテ1村(色丹郡色丹村)ヲ成シ、全村ノ人口1,177  
(昭和10年調)ナリ。

霧 此ノ近海ハ南風流行時ニハ密霧起リ忽然咫尺ヲ辨ゼザルニ至ルヲ常  
トス、霧ノ殊ニ濃密ナルハ偏南東風ノ季節即チ5月下旬ヨリ7月迄ノ間トシ8 10  
月ヨリ10月迄ノ間ハ較此ノ地方好天ノ候ニシテ氣候溫和ナリ。

水晶諸島及色丹水道

上記ノ島脈中北海道本島納沙布埼ヨリ北東方30哩以内ニ竝列セル各島及岩嶼  
ノ總稱ヲ水晶諸島ト謂ヒ、其ノ内大ナルモノヲ水晶島、志發島及多樂島トス○  
水晶諸島中ノ各島ハ何レモ平低ニシテ數哩外ノ沖合ヨリ望ムトキハ恰モ散點セ  
ル木葉ノ觀ヲ呈シ、漸次近寄レバ恰モ堡砦ノ竝列スルガ如ク、志發島内西端部  
ニ在ル黑色煙突ノ外目標ニ適スルモノナシ。

水晶諸島中ノ北東端ニ在ル多樂島ト色丹島トノ間ノ海面ヲ色丹水道トス。

註 水晶諸島ト北海道本島トヲ分隔スル瑤瑤水道及其ノ東側ノ貝殼淺瀬  
ノ記事ハ北海道本島沿岸水路誌ニ記述ス。

水晶島 北海道本島納沙布埼ノ北東方約4哩ニ在リ、長サ4.5哩、高サ  
9—18米ノ亂形島ニシテ雜草茂生ス○島周ハ各方5鏈間露岩及暗礁擴延ス。



**トツカリ埼** 水晶島ノ北東端ヲ成ス○同埼ノ北東方約1.2 哩及約1.5 哩ニ各水深4.5 米及4.8 米ノ暗礁アリ、又東方約1.6 哩ニ水深2.5 米ノ淺礁アリ。

**三角埼**(オウタラウシ埼) 水晶島ノ南東端ヲ成ス○同埼ヨリ西方島ノ南岸ニ於テ最モ外方ニ在ル岩礁ハ高サ1.6 米岩ノ南方約3 鏈ニ在ル水深9.4—9.9 米礁ナリ○南岸ノ略中央ニ於テ之ニ次ギ外方ニ在ル險礁ヲ**飛礁**ト稱シ、水深2 米ヨリ淺ク礁周急深ニシテ9—22 米ノ水深ヲ有ス。

**大埼**(ベンザイトマリ埼) 島ノ南西端ヲ成ス○同埼ノ屈曲部ヨリ南東方ニ向ヒ約2.5 鏈間延伸スル礁脈上ニ露岩數箇アリ、其ノ内高サ約6 米ノ最大岩ヲ**鵜ノ岩**ト稱シ鳥糞堆積シ斑白色ナリ。

- 10 **ボキセンベ灣** 大埼ノ北側ニ在リテ水晶島中小形船舶ノ避泊ニ適スル唯一ノ小灣ナリ、灣口南西方ニ面シ灣内水深3—8 米、底質沙ニシテ錨搔キ良ク北風及東風ヲ避クルコトヲ得○灣首中央ニ小險崖岬アリテ其ノ兩側ハ礫濱ナリ、灣首北半ハ沙濱ヨリ成ル○大埼ト相對シテ灣口ノ北端ヲ成ス岬角ニ近ク**バラ島**(カワイ島)アリ、高サ4.9 米ニシテ島頂ニ雜草ヲ生ズ、此ノ島ト該岬角トノ間ハ小舟ヲ通ジ得。

**辨才泊灣** [ボキセンベ]灣ノ北隣ニ在ル開灣ナリ、根室ヨリ來リ霧ノ爲瑤瑤水道ヲ通過シ能ハザル船舶ガ一時假泊シテ霧ノ霽ルルヲ待ツニ便ナリ、但シ灣首略中央ニ於テ距岸約5 鏈ニ互リ1.8 米ヲ最小水深トスル礁脈斗出スルヲ以テ注意ヲ要ス。

- 20 **水晶水道** 水晶島ト後記勇留島トノ間ニシテ最狹部ノ幅3 哩アルモ水道全般及其ノ北方海面ニ互リ水深不規則ニシテ、殊ニ水晶島側ニ廣キ淺水地横タハリ、且處々ニ暗礁點在スルヲ以テ小形船舶ノ外通航ヲ避クルヲ可トス、本水道ハ附近ノ他ノ水道ニ比シ深水部ガ水道ノ中央ヨリ一側即チ東方勇留島側ニ偏スルヲ特異ナリトス○水道内ニ於ケル暗礁中水深5 米以下ナルハ「トツカリ」埼ノ項記載ノ水深2.5 米及其ノ東方約3.1 哩ノ水深4.8 米ノ2 孤立礁ナリ。

**潮流** 夏季大潮期ノ驗流ニ依レバ水晶島南東角ノ南東約2 哩ニ於テハ低潮後約3 時ヨリ高潮後約3 時迄ハ西方ニ、高潮後約3 時ヨリ低潮後約3 時迄ハ東

方ニ流レ、流速ハ西流0.7 節、東流1.1 節ニ達セリ。

**秋勇留島**(アキュリ) 水晶島ノ南東方約4 哩ニ在リ、島周ハ南側ヲ除ク外何レモ5 鏈間概ネ險惡地ナリ、殊ニ島ノ東端**茂尻埼**ヨリハ北方へ3 鏈間礁脈延出シ礁上許多ノ露岩アリ○島ノ北岸ノ略中央ニ位スル沙濱ヲ「ウタムエ」ト稱シ此處ニ飲用ニ供シ得ル小流アリ。

**穴間埼** 秋勇留島ノ西端ヲ成ス○同埼ヨリ北西方約5.5 鏈ニ水深2.2 米ノ險礁存在ス、礁周急深ニシテ水深8.2—26 米アリ、又同埼ノ南西方約3.5 鏈ニ水深3.2 米ノ點礁アリ、其ノ南側ハ直ニ水深13 米ト爲ル。

**ハナレ岩** 秋勇留島南端ノ南方約1.3 哩ニ在ル岩嶼ニシテ高サ1.2 米、長サ1.5 鏈、四周急深ナリ○「ハナレ」岩ヨリ北方約4 鏈ニ水深3.7 米ノ點礁アリ、10 周圍急深ナリ。

**中ノ瀬** 穴間埼ヨリ西方約1.8 哩ニ在ル東西ノ長サ約5 鏈ニ互ル險礁ニシテ礁上數箇ノ洗岩アリ、其ノ周圍ハ遠淺ナリ○中ノ瀬ノ南西方約2.7 哩ニ水深16 米ノ暗礁アリ、周圍ハ急深ニシテ水深30 米以上アリ。

**勇留水道** 秋勇留島ト勇留島トノ間ニシテ幅1.5 哩アルモ兩島側ヨリ露岩及礁脈伸出スルヲ以テ可航幅ヲ1 哩以内ニ狹ム、然レドモ水道中央ハ水深ク障碍ヲ見ズ。

**勇留島** 勇留水道ヲ隔テテ秋勇留島ノ北東方ニ在ル亂形島ニシテ東西ニ長ク、島岸ハ險崖峻壁若ハ礫沙濱ヨリ成リ、島周ハ距岸5 鏈間險惡地ナルヲ以テ20 米等深線以内ニ入ラザルヲ可トス○島ノ北岸中央ニ**トコマ埼**アリ、北面ノ彎入部ヲ東西ノ2 港ニ分ツ。 20

**トコマ港** 上記「トコマ」埼ノ西側港ニシテ港内水深5—12 米、底質沙礫ナリ、東風、南風及西風ヲ防グヲ以テ小形船舶ノ錨泊ニ適ス。

**トコモイ港** 「トコマ」埼ノ東側港ニシテ港域ハ「トコマ」港ヨリ廣シ、港口ハ幅5 鏈アレドモ東半ハ礁脈ヲ以テ塞ガガ故ニ可航幅ハ半減ス、港内水深5—18 米、東風、南風及西風ヲ防ギ船舶ノ避泊ニ適ス、但シ底質岩ノ部少カラザルガ爲港内西部底質沙ノ處ヲ選ビテ投錨スルヲ可トス○港内西側ノ溪口ヨリ淡水



ヲ得ベキモ水質良好ナラズ。

**春刈島**(ハルカル) 勇留島ノ東方約2.5 哩ニ於テ南西—北東ノ方向ニ約2.5 哩ニ互リ排列セル岩礁アリ、此ノ礁脈中ニ在ル略同高ノ岩嶼大小5 箇ノ中、中央ニ位スル大嶼(高サ35 米)ヲ春刈島ト稱シ 四周礁脈圍繞ス◎春刈島北東方小嶼3 箇ノ中、最外端ノモノヨリ北東方約3 鏈ニ1 米未滿ノ險礁アリ、四周急深ニシテ水深直ニ15 米ヨリ深ク大浪起ルトキハ破浪ヲ生ズ。

春刈島ノ南西隣ニ在リテ之ニ次グ大嶼ヲ**ボンハルカル島**ト稱シ 四周礁脈圍繞シ 且露岩散點ス◎「ボンハルカル」島南端ノ西方約3 鏈ニ高サ1.9 米ノ孤立岩アリ。

10 **志發水道**(シボツ) 勇留島ト志發島トノ間ニ在リ、可航幅僅ニ6 鏈且海底不齊潮流不規則ナルヲ以テ大形船舶ノ通航ニ適セズ◎本水道北西方ノ海面ハ水晶水道ノ北方ト共通ナリ、第32 頁水晶水道ノ項ヲ参照スベシ。

**志發島** 志發水道ヲ隔テテ勇留島ノ北北東方ニ在ル稍大ナル平低島ナリ、島ノ南部ハ高サ30 米以下ニシテ北部ハ高サ9 米ニ過ギズ。

**三角埼**(トモシリ埼) 志發島ノ北東端ヲ成ス◎同埼ヨリハ北東方ニ向ヒ長サ1 哩餘ノ間礁脈伸出ス。

**トマリ埼** 志發島ノ南端ニシテ志發水道最狹部ノ一側ヲ形成ス◎同埼ノ東方約1.2 哩、距岸約6 鏈ニ最長徑3 鏈ニ互ル岩礁存在ス、該礁ハ南東方ヲ除クノ外周圍ノ水深10 米以上アリテ強濤アラザレバ破浪セズ。

20 **相泊埼**(シレシヨウ鼻) 志發島ノ西端ヲ成ス◎埼端ヨリ内方南岸ノ相泊村落附近ニ黑色大煙突アリテ海上船舶ニ顯著ナル目標ヲ呈ス◎相泊埼ノ西南西方2.7 哩ニ水深2.8—3.5 米ノ暗岩アリ。

**多樂水道** 志發島ト次記多樂島トノ間ニ在リ、幅約6 哩ノ廣濶ナル水道ナレドモ、志發島三角埼ヨリ伸出スル礁脈及多樂島南岸險惡地ノ爲大ニ狭メラレ可航水道ノ幅僅ニ2.5 哩ニ過ギズ、可航水道ノ略中央ニハ水深7.4 米ノ處、其ノ他水深10 米ニ達セザル處散在スルノミナラズ、一般ニ海底岩礁ニシテ且水深不規則ナリ、加フルニ常ニ「ウネリ」高く、兩岸低クシテ顯著ナル目標ニ乏

シキヲ以テ、吃水深キ船舶ハ夏季濃霧起リ易キ時期ニ本水道ノ通航ヲ避クルヲ可トス。

**潮流** 多樂水道ニ於テハ漲潮流ハ南方ニ、落潮流ハ北方ニ流ルルモノノ如ク南流ハ流速1.5 節ニ達ス。

**多樂島** 多樂水道ヲ隔テテ志發島ノ北東方7 哩ニ在ル平低島ニシテ樹木ナシ、島岸ハ險岸沙濱相交リ東岸ハ1 哩、南岸ハ2 哩沖合迄險惡地ナリ◎本島ハ昆布ノ產地ナル爲附近ノ諸島ニ比シ形小ナルニ拘ラズ人口甚ダ多ク常ニ約500 ヲ算シ、昆布採獲時期ニハ急増シテ3,000 ヲ超ユルニ至ルヲ例トス。

**リヤウシ埼** 多樂島ノ北端ヲ成ス◎島ノ北岸即チ「リヤウシ」埼ト島ノ北東端ト**カリウシ埼**トノ間ハ少シク凹入シテ灣形ヲ成シ南風及西風ヲ防グヲ以テ小舟ノ避泊ニ適ス◎北岸西部ノ大釜前村落前面ニ沙濱アリ、小舟ノ達著容易ニシテ好上陸所ナリ、沙濱ノ背後ニ在ル小流ヨリ淡水ヲ汲取り得ベシ、水質良好ニシテ量亦少カラズ。

**ホロリュウヤ埼** 多樂島ノ南東端ヲ成ス◎島ノ東岸即チ「トカリウシ」埼ト「ホロリュウヤ」埼トノ間ハ、少シク凹入シテ灣形ヲ成シ西半圓各方向ノ風ヲ防グヲ以テ小舟ノ避泊ニ適ス◎東岸中央ノ温根泊村落前面ニ沙濱アリ、小舟ノ達著容易ニシテ好上陸所ナリ。

**カブ島** 「ホロリュウヤ」埼端ノ東方5 鏈ニ在ル高サ16 米ノ圓臺形小島ニシテ、樹木ナキモ孤立セルヲ以テ温根泊ニ近ヅキ投錨セントスル船舶ニハ好目標ト爲ル、但シ附近ハ礁脈ヲ以テ圍繞セラレ接近スベカラズ◎「カブ」島ノ南方約1.2 哩ニ水深5 米ノ暗礁アリ。

**汐待** 「ホロリュウヤ」埼ノ南西方約1.7 哩ニ在ル暗礁ナリ、礁上水深1.8 米、四周急深ナリ◎島ノ西端**シマヤ埼**ノ南南西方約1.8 哩ニモ同ジク汐待ト稱スル水深1.1 米ノ險礁アリテ礁脈南西方ニ延伸ス、此ノ兩礁間ニハ尙數箇ノ淺岩散點ス。

**トド島** 「ホロリュウヤ」埼ノ南東方3.5 哩ニ在ル簇岩ニシテ、遠ク之ヲ望ムトキハ恰モ1 島ノ觀ヲ呈ス、其ノ北西岩嶼ハ最大ニシテ高サ38 米アリ◎該





最大嶼ヨリ南南西方約5鏈ニ南北ノ長サ約3鏈ナル險礁存在シ其ノ南端ハ水深2米アリ、礁周ハ北方ノ外急深ニシテ26米ヨリ深ク「ウネリ」ナキトキハ破浪セズ○之ヨリ更ニ南南西方8鏈ヲ隔テ水深1.4米ノ孤立礁アリ、最南ノ險礁トス、此ノ礁ハ四周急深ニシテ同ジク26米ヨリ深ク「ウネリ」アラザレバ破浪ヲ見ズ。

「トド」島ノ北東隣ニ帆掛岩ト稱スル高サ21米ノ奇形ナル尖岩アリ、北西方若ハ南東方ヨリ望見スレバ恰モ帆ヲ張レルガ如キ觀ヲ呈シ容易ニ識別シ得ベシ。

**カブト島** 「トド」島ノ東北東方約1湮ニ於テ北西—南東ノ方向ニ約7鏈ニ互リ點列セル4岩嶼ノ總稱ナリ、其ノ最北嶼ハロウソク岩ト呼ビ高サ36米ノ奇形岩ニシテ其ノ名稱ノ如ク尖形ヲ成シ遠望頗ル顯著ナリ、其ノ南隣嶼ハ「カブト」島ト稱スル高サ42米ノ最高嶼ニシテ四周險崖ヨリ成ル、次デ高サ39米ノ第3嶼ヲ隔テ高サ11米ノ最南嶼アリ、此等ノ4岩嶼ハ深水ヲ以テ各分離シ四周急深ニシテ21米ヨリ深ク隱險ナシ。

**カナクソ岩** 上記「ロウソク」岩ノ北方約1.3湮ニ位シ相密接セル2岩ヨリ成ル、此ノ2岩ノ周圍100—200米以内ニハ礁脈アルモ其ノ外側ハ急深ナリ、此ノ岩上ニハ海獺群集シ吼聲常ニ囂々タリ、2岩中ノ南岩ハ高サ26米、大洞門ヲ有シ東西ノ方向ヨリ望ムトキハ洞見ヲ得ベク、遠ク之ヲ望メバ白堊ノ觀ヲ呈ス。

**平磯** 「カナクソ」岩ノ西南西方約1.3湮ニ在ル干出1.1米ノ岩ニシテ常時破浪シ、四周ハ直ニ水深17—27米アリ○平磯ト多樂島トノ間ヲ通航セントスル船舶ハ多樂島側ノ礁脈ヲ避クル爲平磯ニ近ク通航スルヲ要ス、而モ視界良好ニシテ尙低潮ノ場合ヲ安全トスベシ。

**色丹水道(シコタン)** 多樂島ト色丹島トノ間ニシテ幅約12湮ナルモ、水道中央ヨリ西寄ニ天城礁、「カナクソ」岩等存在スルヲ以テ天城礁以東ノ8湮間ヲ以テ其ノ通航幅トスベシ。

南方若ハ北方ヨリ色丹水道ヲ通航セント欲スル船舶ハ、水道西側ノ島嶼ハ遠方ヨリノ目標タルニ適セザルモ東側色丹島ハ高サ300米内外ノ山峯竝列スルト、

北方遙ニ國後島北東端ニ近ク尖峯茶々嶽聳立スルトニ依リ、容易ニ此ノ水道口ヲ識別スルコトヲ得。

**天城礁** 色丹水道ノ中央ヨリ西寄ニ於テ水深20米以下ノ區域ハ東西約2.5湮、南北約3湮ニ互ル廣キ岩堆ニシテ其ノ最淺部ハ水深2.4米ヲ示シ東西ノ長サ4鏈ニ及ビ、多樂島「リヤウシ」埼ノ北東方約5.4湮ニ位ス、明治19年軍艦天城ノ擱觸ニ依リ發見命名スル所ト爲レルモノナリ、岩堆上ニハ他ニ水深10米未滿ノ淺岩各處ニ散在ス。

**潮流** 夏季ノ驗測ニ依レバ色丹水道ニ於ケル潮流ハ、一般ニ漲潮流ハ南方ニ、落潮流ハ北東方ニ向フ、然レドモ日潮不等ノ影響ヲ蒙リ其ノ流向必ズシモ一定セズ時ニ或ハ落潮時ニ南流シ漲潮時ニ北東方ニ向フコトアリ、而シテ水道ノ中央部附近ニ於テハ北方ニ向流スル海流存在スルガ故ニ南流ハ之ニ逆向シテ其ノ流勢ヲ弱メ、水道ノ南口附近ニ在リテハ南流ハ漸次色丹島ニ近ク壓セラレ且流速微弱ト爲リ同海岸ニ沿ヒテ南東方ニ向フ、然レドモ北流ハ此ノ海流ト混流シテ流速ヲ増大シ流續時間モ亦比較的長キヲ常トス、大正12年8月15日色丹島能登呂埼ノ西北西方約4湮ノ地ニ於テ流速1.8節ノ東流ト、流速2節ノ北流トヲ實測シ、又同水道南口附近ニ在リテハ流速0.8節ノ南東流ト、1節ノ北流トヲ實驗セリ○多樂島ノ東方距岸3—4湮ノ地點ニ於テ北流ノ最盛時ニハ、時トシテ競潮ヲ生ジ速力微弱ノ小形汽船ハ之ニ逆航容易ナラザルコトアリト謂フ。

### 色丹島

色丹島ハ色丹水道ヲ隔テテ多樂島ノ北東方約12湮ニ在リ、南西—北東ノ長サ約15湮、幅約5湮ノ長方形島ニシテ周圍ノ水深ク、距岸0.5湮以外ニハ未ダ險處ヲ見ズ、水晶諸島ノ平低ナルニ比シ頗ル高峻ニシテ處々ニ高サ300米以上ノ山峯アリ○色丹島ニハ大小數多ノ港灣アレドモ汽船ノ碇泊ニ適スルハ北岸ニ於テ斜古丹港、南岸ニ於テ松ヶ濱灣アルノミ。

**降雪** 本島ニ於ケル降雪ハ11月中旬ヨリ始リ翌年5月ヲ以テ終リ6月中旬ニ至レバ殘雪ヲ見ルコト少シ、斜古丹港附近ハ冬季北西風猛吹スルガ爲降雪頻繁ナルニモ拘ラズ積雪一般ニ少シト謂フ。



**霧** 色丹島附近ニ於ケル海霧ノ年ヲ通ジテ最モ頻繁ナルハ6月至8月間トス、此ノ期間ニ於テハ終日好晴ナルコト甚ダ稀ニシテ2日ニ互リ好晴ヲ持續スルコト殆ドナシト謂フモ過言ニ非ズ、而シテ好晴ナル天氣ノ翌日ハ一般ニ濃霧ノ來襲アルヲ常例トス◎海霧ノ發散ハ常ニ風候ニ隨伴ス、即チ5月下旬ヨリ7月上旬迄ハ北風多キヲ以テ霧ハ島ノ北面ニ濃密ナリ、又7月中旬ヨリ8月下旬迄ハ偏西風多次ナルヲ以テ霧ハ島ノ南面ニ多シ、而シテ風上側ニ於テ濃霧咫尺ヲ辨ゼザルトキト雖モ、風下側ハ天氣晴朗ナルカ然ラザルモ海霧稀薄ニシテ海上平靜ナルコト多シ。

**潮流** 夏季ノ驗流ニ依レバ渤海別山ノ北方沖合約3哩附近ニ於テハ色丹水道ヲ北上シ來ル海流ノ影響ヲ受ケテ海水ハ漲潮中ハ北東方ニ流レテ流速2節ニ達スルモ落潮中ハ北西方ニ流レテ流速大ナラズ、又色丹島ノ北東岸沖合ニ於テハ低潮後3—4時ヨリ高潮後3—4時迄ハ北方ニ、高潮後3—4時ヨリ低潮後3—4時迄ハ南方ニ流ルルモ、國後水道ヨリ來ル南向海流ノ影響ヲ受ケテ南流ハ流速1.8節ニ達シ、流續時間著シク長ク殆ド北流ヲ見ザルコトアリ、色丹水道ニ於テハ北流ノ流續時間長ク且流速比較的大ナルモ、色丹島東側ニ於テハ上記ノ如ク南流ノ流續時間長クシテ流速亦北流ヨリ大ナルガ故ニ、南方ヨリ來リテ斜古丹港ニ向ハントスル船舶ハ色丹水道ヲ北上シ、又斜古丹港ヲ出デテ南下セントスルモノハ色丹島ノ東側ヲ迂回スルヲ得策トス。

**流氷** 色丹島附近ニ於テハ流氷ハ4月上旬迄存在スルコトアリ、同月中旬以後ニ至レバ之ヲ見ルコト稀ナリトス。

**昆布白埼(カンブウス)** 色丹島ノ南西端ヲ成シ高サ64米、平低ナル崖岬角ニシテ樹木ナシ、埼端ヨリ背後ハ約3軒ノ間山高カラズ◎埼ノ北側ニ小浦アリ、西方ニ開口シ浦口北端ヨリ干出石段伸出シテ波浪ノ侵入ヲ防グヲ以テ其ノ内方ハ小舟ノ避泊ニ適ス、浦首ニ昆布白村落アリ。

**突出山** 昆布白埼ノ北方約4.3軒ニ在リテ馬脊形ヲ成シ高サ253米、樹木ナシ、其ノ北東面ハ色丹島中部ノ諸山脈ト分離シ獨立セルガ故ニ、北西方海上ヨリ遠望スルトキハ頗ル顯著ナリ。

**能登呂港** 昆布白埼ノ北北西方約2.2哩ニ開口ヲ有スル能登呂港ハ凹入1.3哩ニ達スル深入灣ナレドモ、港口附近ニ暗岩散布スルガ故ニ小形船舶ト雖モ進入容易ナラズ。

**能登呂埼** 能登呂港西方ノ能登呂埼ハ色丹島ノ西端ニシテ色丹水道ニ突出ス、此ノ埼ヲ形成スル半島ハ其ノ北端ニ近ク高サ58米ノ小丘アル外一般ニ土地低シ。

**大埼(ヒシネベツリ)** 島ノ北西端ニシテ色丹水道北口ノ東端ヲ成ス、背後ノ山峯ハ重疊シテ海岸ニ逼リ急峻ナル崖角ト爲ル◎大埼ト能登呂埼トノ一線ヨリ少シク外方ニ當リ鱒場ノ沖合約1.2哩ニ水深10米ノ暗礁アル外、附近一帯ニ深水ニシテ大埼ノ前面ニ於ケル20米等深線ハ距岸2鏈ニ接近ス。

**穴澗灣(海圖15分圖)** 大埼ノ東北東方約6哩、色丹島北岸ノ中央ニ在リ、灣入1.3哩ニ及ブ深入灣ニシテ西方以外ノ各方向ノ風ヲ防ギ中央水深5.4—11米、底質沙泥、錨搔キ良キモ幅2鏈ニ過ギザルヲ以テ僅ニ小形船舶ノ避泊ニ適スルノミ◎灣首ニ2條ノ河流アリ、海水進入スレドモ少シク上流ニ至レバ清水ヲ得ベシ。

灣口ノ北端ヲ成ス岬角ノ西方約2鏈ニ干出0.7米ノ險岩鯨瀨アリ。

**又古丹港(海圖15分圖)** 港口ハ穴澗灣ノ北東方約3.5哩ニ在リテ北北西方ニ面ス、本港ハ灣入深ク水深5.7—11米、底質沙ニシテ偏北風以外ノ各風ヲ防グモ、高サ14米ノ島嶼及之ニ連ル礁脈ニ依リ開口部ヲ狭メ、又之ヨリ以内ハ港域狹隘ナルガ故ニ僅ニ小形船舶ノ避泊ニ適スルノミ。

港口東端附近ノ**三ツ山**ハ3頭ノ連山ニシテ、其ノ西端ニ在ル尖峯最モ高ク(高サ152米)頗ル顯著ナル錐形ヲ呈シ港口ヲ認識スル好目標ナリ。

**斜古丹港(海圖15分圖)** 又古丹港北隣灣ノ内灣ニシテ色丹島ノ北端附近ニ位ス、港口ハ北方ニ面シ幅僅ニ200米餘、其ノ中央水道ハ水深9.1—12米ニシテ、向岸風強吹スルトキハ港口ヲ横ギリテ破浪ヲ認ムルコトアリ、港内ハ北方以外ノ各方向ノ風ヲ避ケ得ベキモ、狹隘且淺水ニシテ中央部ニ於テモ水深6米内外ニ過ギザルヲ以テ大形船舶ノ入港困難ナリ、但シ吃水之ヲ許ス程度



ノ汽船1—2隻ノ錨泊ニハ頗ル安全ナリ○斜古丹港外タル灣内ノ部分ハ水深15米ヨリ深く底質沙ニシテ錨搔キ良ク、東風、南風及南西風ニハ大形船舶ト雖モ稍安全ニ錨泊スルヲ得ベシ。

斜古丹村落ハ灣首中央ヨリ少シク西方ニ偏倚シ色丹村役場、色丹郵便局、根室警察署斜古丹巡查駐在所、驛遞所等アリ、住民ハ主トシテ漁業ヲ營ミ、鯨肉、鱈、魚粕、海苔、昆布等ヲ主要産物トス○明治17年古守島幌筵島ニ居住セシ土人(クリル屬)全部97名ヲ斜古丹ニ移シ保護ヲ加フルコトト爲セシガ、爾來漸減シテ現在ハ40名(昭和8年調)ヲ算スルニ過ギズ。

**流氷** 本港ニ於ケル實驗ニ依レバ流氷ハ北西風ヲ以テ來リ南東風ヲ以テ去ル、其ノ漂來ノ期間ハ主ニ2月上旬ヨリ3月ニ至ル間ニ多クシテ、此ノ間風向ノ變化ニ依リ去來數度ニ及ビ5月ニ入レバ之ヲ見ルコトナシ、而シテ氷塊ノ大ナルモノハ1,000米餘ニ互リ厚サ3米餘ニ達スルモノアリ○明治35年ニ於テハ稍例年ト趣ヲ異ニシ1月24日北西風ニ依リ流氷始メテ港内ニ來襲シ、3—4日ニシテ退去セシガ越エテ2月3日再ビ來襲シテ港内ヲ封鎖シ、4月5日ニ至リ南東ノ暖風ニ依リ分裂融解シテ流出シ始メ、10數時間ニシテ全ク流去シ片影ヲモ見ザルニ至レリ、而シテ此ノ年ハ初回漂著以來寒風強烈一時ニ堅ク氷結セシ爲、却ツテ厚サハ平均2米内外ニ過ギザリシト謂フ。

**目標** 西方ヨリ斜古丹港ニ向フトキ港外東濱ノ高サ73米山ハ顯著ニシテ、遠ク之ヲ望ムトキハ黑色圓錐形ヲ成シ恰モ島嶼ノ觀ヲ呈ス。

**20 色丹無線電信局** 斜古丹村落内小學校ノ西方郵便局内ニ色丹無線電信局(小規模ノ固定局)アリ、落石局ト交信ス、其ノ無線電柱ハ好目標ナリ(水路誌附録第5卷参照)。

**針路法** 東西何レヨリ入港スルトキモ、港外東濱ニ近寄り斜古丹村落背後ノ△53米ヲ166度ニ保テツツ之ニ向ヒ、東洋捕鯨株式會社工場ノ煙突ヲ正横ニシテ第1錨ヲ投ジ、適宜進出ノ後第2錨ヲ投ズルヲ可トス、此ノ針路中港口西側**役場ノ鼻**(マタカ)ノ北東方以南ニ於テハ上記△53米南西方ノ73米秃山ト、其ノ南方ノ135米(樹頂)黑色山トノ一線以西ニ偏位セザルコトニ留意スル

ヲ要ス。

**上陸所** 港濱ハ一帯ニ沙濱ナルモ、風浪ナキトキト雖モ通船ヲ用フルニ非ザレバ達著困難ナルヲ以テ上陸容易ナラズ、但シ港内東濱ノ東洋捕鯨株式會社棧橋及其ノ南南東方約450米ニ在ル棧橋ハ、共ニ低潮時ト雖モ小舟ノ達著容易ニシテ上陸ニ便ナリ、尙他ニ棧橋2—3アリ。

**給水** 港内南濱ニ2溪流アリ、少シク上流ニ到レバ恰モ池水ノ如ク溜リ其ノ量多キモ、村落近傍ハ不潔ナルガ故ニ尙上流ヨリ汲取ルヲ要シ甚ダ不便ナリ、從ツテ溪水ハ飲料ニ適セズ、必要ノ場合ニハ充分煮沸シテ用フベシ。

**斜古丹埼** 斜古丹港口ノ東北東方約1.3哩ニ位ス○斜古丹港外ヨリ此ノ埼ニ至ル間ハ階段狀ヲ成セル絶壁海岸ニ臨ミテ北面シ其ノ背後ニハ數箇ノ尖峯竝列ス、其ノ東端ニ近キ最高峯ハ高サ288米ニシテ斜古丹港ニ接近スルトキノ顯著ナル目標ナリ○此ノ埼附近ノ海面ハ一帯ニ無礙深水ニシテ20米等深線ハ距岸1鏈以内迄接近ス。

**斜古丹山** 斜古丹埼ノ南東方約2.5軒ニ在リ、色丹島ノ最高峯ニシテ高サ413米、頂上樹木ナク北方ヨリ見ルトキハ圓頂ヲ呈スレドモ北東方ヨリ望メバ馬脊形ヲ成ス。

**稻茂尻灣** 色丹島南岸東部ニ在リ、偏東風以外ノ各風ヲ防グモ灣ノ中央ニ高サ47米ノ鴨島及之ニ連ル礁脈盤踞シ錨地ヲ狭ムルヲ以テ、鴨島、**ゴメ島**(高サ62米)間ノ略中央水深15米、底質沙ノ處ニ漸ク小形汽船1隻ノ錨地ヲ得ルニ過ギズ。

**大島** 「ゴメ」島ノ南西方約2.8哩ニ位スル色丹島四周中ノ最大嶼ニシテ高サ61米、陸岸トノ間ニハ狹水道アリ○大島ノ北方ニ彎入スル**崎筋港**(サキムイ)ハ定期航路船ノ臨時ニ寄港スルコトアル小港ナリ。

**松ヶ濱灣**(海圖15分圖) 大島ノ西方約3.5哩ニ在ル直徑約1哩ノ圓形灣ニシテ、南東風以外ノ諸方向ノ風ヲ防ギ灣内ノ水域斜古丹港ヨリモ廣シ、灣口ハ小島(高サ61米)ト鴨島(高サ59米)トノ間ニ在リテ南東方ニ面シ兩側ヨリ伸出スル石陂アル爲可航幅ヲ約400米ニ狹窄ス、鴨島ノ東側ニモ灣内ニ通ズル



小水道アレドモ幅狭ク浅水ナリ◎小島ノ西側ニモ小灣アリ、其ノ灣奥ハ松ケ濱灣ニ通ズル水道ヲ成セドモ、極メテ浅水ニシテ漁舟ヲ通ズルニ過ギズ。

**錨地** 灣首[サキウエンベツ]川河口ノ東北東方約2鏈ニ在ル崖頂ヲ333度ニ保チツツ灣口ノ略中央ヲ航過シ、同線上鴨島北端ノ北方約270米ニ在ル2岩ト小島北端トノ一線若ハ尙進ミテ10米等深線迄ノ間ニ投錨スルヲ可トス、該2岩ハ顯著ニシテ投錨目標ニ適スルモ、小島北端ノ北東方約300米ノ高サ0.9米岩ハ視認困難ナリト謂フ◎小形船舶ハ風向ニ依リ小島若ハ鴨島ノ島蔭ニ適當ナル錨地ヲ得ベシ。

**給水** 灣内ニハ河流多シ、何レモ清澄ニシテ雑用水ニハ好適ナレドモ稍多量ノ有機物ヲ含ムヲ以テ飲料ニハ煮沸シテ用フルヲ要ス◎灣内北西濱ノ1瀑布ヨリ流下スルモノハ水量多ク波浪ナキトキハ短艇ニテ汲取ルコト頗ル容易ナリ、又上記入進標目タル崖頂ノ東方約700米ニ於テ海岸ニ注グ水流ハ、河口ヨリ上流約35米ニテ瀧ヲ成シ短艇ニテ汲取リ得。

### 國後島及國後水道

國後島(クナシリ)ハ千島列島主島脈ノ南西端ヲ成セル大島ニシテ、南西一北東ノ長サ66哩、幅最廣部約16哩、最狭部約3哩、其ノ南半ハ北海道本島東岸及水晶諸島ニ依リテ包圍セラルルヲ以テ、南方ヨリ望ムトキハ時ニ北海道本島ノ東端ト誤認スルコトアリ◎國後島北西岸ハ即チ根室海峽東濱ニシテ、海峽ヲ挟ミテ其ノ西濱タル知床半島東岸竝ニ其ノ南方海岸ト相對ス。

20 島勢高峻ニシテ泊山、島登山、「ルルイ」山、茶々嶽等顯著ナル山峯多シ◎國後島沿岸ニ於ケル錨地ハ泊灣ヲ最良トスベク、其ノ他ニ於テハ水深適宜ノ處(主トシテ南東岸)ハ何レモ假泊シ得ベキモ通例避泊ニ選定セラルル處ハ安渡移矢半島北側錨地、安渡移矢東錨地、白糠灣、乳呑路泊地、古釜布灣等トス。

國後島ハ行政上全島ヲ以テ1郡(國後郡)トシ2箇村ヨリ成リ、南部ノモノハ泊村ニシテ北部ノモノハ留夜別村トス、泊村ハ人口5,644、留夜別村ハ同2,903(昭和10年調)ヲ算セリ。

國後島ト擇捉島トノ間ノ海面ヲ國後水道トス。

註 根室海峽ノ一般記事ハ北海道本島沿岸水路誌ニ記述ス。

**降雪** 初雪ハ11月上旬ニシテ終雪ハ5月中旬ナルヲ例トシ、1月至3月ハ降雪最モ多シ。

**霧** 國後島沿岸ニ於テハ霧ハ通例5月上旬ヨリ始リ8月下旬ニ終ル、其ノ最モ濃密ナルハ6月及7月トス、而シテ初ノ1箇月ト終ノ半箇月トハ稍稀ニシテ好天氣多シ◎此ノ時期ニ於テ霧ノ去來ト濃淡トハ全ク風向ニ因ル、即チ偏北西風ニテ消散シテ晴朗ト爲リ偏南風ニハ濃霧襲來シ、西風ニハ消散スレドモ西風ハ此ノ時期ニハ甚ダ稀ナリ、偏東風及偏北風ニハ霧稍稀薄ト爲ル、而シテ偏東風ニハ終ニ雨ニ變ズルコト多シ。

**風** 國後島沿岸ニ於テ強暴ナルハ北西烈風(方言「タマ」風)ナリ、此ノ風ハ9月上旬ヨリ翌年4月下旬ニ至ル間ニ流行スルモノニシテ、11月以後ニハ通例雪ヲ伴フ爲航海者ノ最モ危險トシテ嫌惡スル所ナリ、然レドモ9月、10月ノ2箇月ハ通例強暴ナラズ、且雪ヲ伴フコト殆ド稀ナリト謂フ、風ノ穏和ナル時期ハ5月至8月ノ4箇月トス◎島ノ北岸及南東岸ニ大浪ノ侵入シ來ルハ偏北東風ノ際ナリ、偏北東風ハ荒天風ナレドモ極メテ猛烈ナルコト甚ダ稀ナレバ北西烈風ノ如ク危險ナラズ、然レドモ通例發吹後約1晝夜ヲ經過スレバ大浪來リ全岸破浪シ小形船舶ノ交通ヲ杜絶スルニ至ルコト多シ。

**氣壓** 國後島ニ於テハ夏季ノ間晴雨計750耗以下739耗ニ下降スルモ、靜止シアル間ハ概ネ天氣靜穩ニシテ、後上昇シ始メントスルトキ若ハ少時前、北ヨリ西ニ偏スル風吹來シテ漸次晴雨計上昇シ755耗若ハ760耗ニ至リテ止マ  
20  
ルトキハ風モ亦止ミテ常態ニ復ス。

晴雨計757耗若ハ760耗ナル夏季ノ最高示度ニテ靜止スルトキハ、概ネ風向偏南且穏和ニシテ此ノ場合ニハ氣温稍高ク濃霧襲來ス◎若シ偏南風稍強ク晝夜連吹シテ漸次風力ヲ増ストキハ次デ降雨ニ變ジ晴雨計下降ス。

晴雨計757耗以下752耗以上ナル夏季高低氣壓ノ略中間ニ在ルトキハ、概ネ東風ニシテ薄霧ヲ帶ビ、若ハ曇天ニシテ航海ニ便ナルコト多シ、但シ一兩日連吹後ハ降雨ニ變ズルコト多シ。



之ヲ要スルニ根室國後近傍ニ於テハ晴雨計ノ高極ハ南風霧天ニシテ穩和、其ノ低極ハ北風又ハ偏北西風ニシテ好晴多ク、高低中間ニ在ルトキハ偏東風ニシテ、陰雲又ハ薄霧ヲ帶ビ或ハ雨ヲ來スモ危險ナル天候少シ。

晴雨計ノ漸下降ハ好天氣ノ徵ニシテ低極744耗内外ニ下降スルモ、其ノ儘靜止スルトキハ一兩日間好晴穩和ナルコト多シ、又漸昇スルトキモ穩和ニシテ高極760耗内外ニ達スベシ、依リテ國後島北岸及南東岸ニ於テハ晴雨計低キトキハ好天穩和ニシテ高キトキハ天候不良ナリト謂フヲ得ベシ、然レドモ其ノ急降急昇ハ一般ノ定則ニ從ヒ勿論天候不良ノ兆ニシテ其ノ急昇シ始ムル頃ヨリ險惡トナルコト多キガ如シ。

10 **潮流** 國後島ノ北西岸ニ於テハ一般ニ漲潮流ハ南西方ニ、落潮流ハ北東方ニ流レ略高低潮時ニ轉流スルモ南向海流ノ影響ヲ受ケテ海水ハ殆ド常ニ南方ニ流レ、漲潮ノ中期ニ於ケル流速ハ2節ヲ超ユ、然レドモ「ルルイ」岬ノ沖合ニ於テハ海水ハ殆ド常ニ東方ニ流レ、漲潮ノ中期ニ流速最強ト爲リ1.8節ニ達スルヲ驗セリ。

北岸ノ距岸約2哩ニ於テハ海水ハ殆ド常ニ東方ニ流レ、漲潮ノ中期ニ流速1節ニ達ス、南東岸ノ東半距岸2—3哩ニ於テハ漲潮流ハ西方ニ、落潮流ハ東方ニ流レ、略高低潮時ニ轉流スルモ西向海流ノ影響ヲ受ケテ西流ハ流續時間稍長ク流速大ナリ、而シテ一般ニ流速ハ東方ニ行クニ從ヒテ次第ニ増加ス、最強流速ハ大崎沖合ニ於テ西流0.8節、東流0.4節ナルモ白糖灣附近沖合4—5哩ニ於テハ西流2.1節、東流1.1節ト爲ル。

20 **結氷** 國後島ニ於テハ1月ヨリ3月迄ハ通例海岸氷結シテ船舟ノ交通ヲ杜絶ス。

**國後島北西岸〔根室海峡東濱〕**

國後島南端「ケラムイ」埼ヨリ同北端「ルルイ」岬ニ至ル間ニシテ根室海峡ニ面スル海岸ナリ。

**ケラムイ埼** 國後島ノ南端ニシテ根室海峡南口ノ北端ヲ成シ南方へ約4.5哩斗出セル低沙嘴ノ先端ナリ。沙嘴ニハ雜草繁茂シ西岸ニハ漁舍多シ。

**ムラムイ埼燈臺** 「ムラムイ」埼上ニ在リ、黑白横線塗八角形木造、燈高15米。

**霧信號** 「ケラムイ」埼燈臺ニ於テ霧鐘ニ依ル霧信號ヲ行フ。

**水底電線** 「ケラムイ」埼端ニ近キ沙嘴ノ東岸ヨリ南下シテ根室港界南端ノ南西方海岸ニ至ル水底電線1條アリ。

註 「ケラムイ」淺瀬ノ記事ハ北海道本島沿岸水路誌ニ記述ス。

**泊灣** 「ケラムイ」埼西側ノ開灣ニシテ灣口南西方ニ開ク、同埼ト「ノツテット」埼トヲ以テ灣口ノ兩端トシ幅約6哩アリ、灣内水深約6.5米内外ニテ稍齊一ナリ、灣濱ハ底質沙、遠淺ニシテ上陸ニ不便ヲ感ズ。灣ノ北濱後方ノ臺地ハ泊山ノ裾野ニシテ火山灰ヨリ成ル荒蕪地ナルヲ以テ僅ニ人家ノ周圍ノミ耕作セラル。

灣内北濱ニ位スル泊村落ハ國後島ノ主邑ナリ、此處ニ泊村役場、國後郵便局(2等局)、國後警察署、驛遞所等アリ。泊村落東方ノ植内村落ハ水産物製造地ニシテ蟹、蝦、帆立貝、北寄貝、鱒等ノ罐詰工場多シ。

**流氷** 流氷ハ一般ニ向岸風ニ依リテ襲來シ向海風ニ依リテ流去ス。明治35年ノ實驗ニ依レバ3月26日南西風ニ依リテ流氷來リ、同28日北東風ニ依リテ去リ、同30日南西風ニ依リテ再來シ、4月5日北東風ノ爲ニ流失シテ又來ラズ、而シテ氷塊ノ大ナルモノト雖モ、長サ約18米、幅9米、厚サ1米ヲ出デザリシト謂フ。大正11年ニハ2月10日初メテ流氷來リ後風向ニ依リテ數度ノ去來アリ、最終流去ハ4月11日ナリキ。

**目標** 泊村落東方小丘樹林中ニ在ル寺院ハ入港ノ際ノ好目標ナリ。同「ノツテット」埼北西方約7鏈ナル丘陵盡端ノ赭色崖モ目標ト爲スニ足ル。

**錨地** 北海道東岸ヨリ國後島擇捉島ニ至ル一帯ノ區域内ニ於テ、各方向ノ風ニ對シテ概ネ安全ニ碇泊シ得ベキハ此ノ灣ヲ措キテ他ニ求ムベカラズ。明治43年夏季軍艦武藏ハ「ケラムイ」埼燈臺ヲ南南東方3哩ニ見ル水深6.4米、底質細沙ノ處ニ碇泊セシガ單ニ偏北風ニ對シテ安全ナルノミナラズ、偏南風ニモ比較的波浪起ラザルヲ經驗セリ。夏季ニハ帆立貝採集船ノ曳船トシテ發動機船



10 數隻來泊スルコトアリ、此等小形船舶ハ其ノ吃水ニ應ジ植内村落前面ニ錨泊スルヲ常トス。

**ノッテット埼** 泊灣口北西端ノ沙嘴ニシテ 内方ニ沼澤アリ ◎埼端ヨリ南方ヘ「ノッテット」淺瀬擴延スル外、西方ニ向ツテモ水深10米以下ノ淺水地約4哩間伸出ス、「ノッテット」淺瀬脈上ニ於テ埼端ノ南西方7.5鏈ノ處ニ**オタ磯**ト稱スル礫堆アリ、之ヨリ西南西方約1.7哩ニ水深2.8—4.9米ノ淺處アリ。

註 「ノッテット」淺瀬ノ記事ハ北海道本島沿岸水路誌ニ記述ス。

**ハッチャウス鼻** 「ノッテット」埼ノ北方約7哩ニ在ル磊石濱岬ナリ。「ノッテット」埼ヨリ此ノ鼻ニ至ル間ハ沿岸階段狀ノ臺地ヨリ直下シテ海ニ入ル、此ノ間ニ漁舍點在シ過半ハ定住者ヲ有ス、此ノ區域ノ海ハ遠淺ナリ◎「ハッチャウス」鼻ヨリ北方ノ沿岸ハ概ネ險崖ニシテ岸際ヨリ直ニ山峯ト爲ル。

**泊山〔ウルチ山〕** 「ハッチャウス」鼻ヨリ東北東方約8.7軒ノ内地ニ在ル尖峯ニシテ高サ543米アリ、此ノ山ハ休火山ニシテ稍整形ノ圓錐狀ヲ成シ視界良好ノトキ遠方海上ヨリノ好目標ナリ(第60頁對面對景圖第2參照)◎泊山ノ北方ニ火山湖タル一菱内湖アリ、其ノ支湖ノ湖底ヨリ硫黃ヲ採集シ居レリ。

**イワライ山(圓山)** 泊山ノ北方約6軒餘ノ海岸ニ近キ處ニ在リ、高サ342米◎其ノ北側ニ灰黃色ノ凹形壞崖アリ、常ニ白煙ヲ吐ク、又其ノ直下ノ海岸干出礫中ニモ噴氣孔アリテ低潮時ニ白煙ヲ噴出ス◎「イワライ」山以南ハ樹木少キモ以北ハ山相一變シ鬱葱トシテ繁茂ス。

20 **古丹消(コタンケシ)** 「ハッチャウス」鼻ノ北東方約8哩ニ在ル小村落ニシテ、附近海岸ニ近ク溫泉3箇所湧出ス、村落内ニ驛遞所、製材所等アリ、此ノ海岸ニハ早春ノ候鱒漁船輻湊ス◎泊村落迄山道ヲ通ジ毎日郵便物ノ往復アリ。

**ウエンシリ埼** 古丹消村落前面開灣口ノ北端ヲ成ス岬角ニシテ、埼頂ヲ圓山ト稱シ高サ183米アリ、圓頂ニシテ雜樹茂リ海ニ面スル處ハ暗色ノ嶮崖ヲ成ス◎埼ノ北東方約1.4哩ニ於テ海岸ニ近ク**二本岩**ト稱スル高サ14米ノ2尖岩竝列ス、北方ヨリ之ヲ望ムトキハ稍顯著ナリ。

**材木岩埼** 「ウエンシリ」埼ノ北東方8.5哩ニ在ル高サ26米ノ低キ埼ニシ

テ、雜樹繁茂シ海ニ面スル處ハ黑色ノ岩崖ヨリ成リ、恰モ六角材ヲ縱列セルガ如キ觀アリ◎埼ノ東方8鏈ノ處ヲ「ヤイタイコタン」ト稱シ常住ノ民家アリ。

「ウエンシリ」埼ヨリ此ノ埼ニ至ル間ノ海岸ハ沙濱多ク岩礁沿布ス、「ウエンシリ」、小田富、「チブカラベツ」、島登等ノ漁場アレドモ常住ノ民家ナシ。

**ニキシヨロ灣** 「ノッテット」埼以北ノ國後島北西岸ニ於ケル唯一ノ灣入部ニシテ、材木岩埼ト「イカバノツ」埼トノ間ニ在リ、灣口幅約5.5哩、灣入僅ニ1.5哩ナル淺入灣ニシテ西方及北方ニ暴露シ、而モ灣濱淺礁沿布シ、且背後ノ陸地低クシテ偏東風ヲモ保障シ難キ缺點アリ◎灣首濱上ニ3箇ノ小丘竝列シ高サ北丘ハ78米、中丘ハ45米、南丘ハ59米ナリ◎南丘ノ麓ニ驛遞所アリ、其ノ前面ニ在ル干出岩ノ内側ハ稍風浪ヲ遮ルヲ以テ、北風及北西風以外ノ各風ニハ小舟ヲ著ケ得ベシ。

該3丘所在ノ狹地ノ背後ニ「ニキシヨロ」湖アリ、湖ノ東方ハ山脈全ク斷絶シ土地低キガ故ニ遠ク西方ヨリ望ムトキハ殆ド國後島ヲ兩斷セル如キ觀ヲ呈シ、漸次近接スルニ從ヒ低地上唯3丘ヲ認ムルノミナルヲ以テ直ニ灣ヲ認識シ得ベシ。

**イカバノツ埼** 「ニキシヨロ」灣口ノ北端ニシテ磊石之ヲ圍繞ス、埼上ノ山ハ直ニ高サ441米ノ隆起シ樹木繁茂ス。

**赤埼** 「イカバノツ」埼ノ北東方約3.5哩ニ在ル高サ183米ノ赤崖岬角ニシテ遠望顯著ナリ◎埼端ヨリ約2鏈間干出岩伸出ス◎埼ノ南西方1.5哩ニ高崖アリ、暗黑色ニシテ稍顯著ナリ、崖上ニ平頂峯アリ、高サ359米。

**トシヨロ高崖** 赤埼ノ北東方約5.3哩ニ在ル長サ約1.3哩、高サ約300米ノ高崖ニシテ頂點ハ高サ449米ノ圓頭峯ヲ成ス◎其ノ南麓ニ於テ漁舍アル處ヲ「トシヨロ」ト稱ス。

**エビカラウシ埼** 赤埼ノ北東方約7.3哩ニ在ル磊石岬角ニシテ高サ70米、埼上樹木繁茂ス◎埼ノ南方約800米ニ高サ524米ノ樹木茂レル山峯アリ、尖頂ニシテ南方ヨリ望ムトキハ稍顯著ナリ◎埼ノ南方3.2軒ニ顯著ナル圓頂峯**エビカリウシ山**アリ、高サ855米ニシテ樹木鬱黑タリ、其ノ東側ノ裾ハ漸降シ西側ハ急下ス。



**チャシコツ埼** [エビカラウシ] 埼ノ北東方約9.5 哩ニ在ル赭色ノ高崖岬角ナリ○埼端ヨリ南方約2 哩ノ間ハ赭色ノ高險崖連リ頗ル顯著ナリ、此ノ險崖ノ略中央崖上ニ高サ474 米ノ山峯アリ、稍圓錐形ヲ成ス○埼端至近ニ奇形ナル尖岩蠟燭岩アリ、高サ21 米ニシテ之ヲ南西方若ハ北東方ヨリ望ムトキハ頗ル顯著ナリ。

[エビカラウシ] 埼ヨリ此ノ埼ニ至ル間ハ弓形ノ灣岸ニシテ、沿岸ニ「オンネットウ」、「ホントウ」及「シベトロ」ノ3 漁場アリ、海岸ハ概ネ險崖若ハ礫濱ヨリ成ルモ、「オンネットウ」ノミハ沙濱ナルヲ以テ東風又ハ南風ニハ著舟ニ可ナリ。

**ノッカップ岬** [チャシコツ] 埼ノ北東方約6 哩ニ在リ、「ルルイ」山ヨリ下降セル麓ニシテ樹木多ク岬周礫石沿布ス○岬ノ南側ニ白色崖アリ、南西方ヨリ望ムトキハ稍顯著ナリ。

[チャシコツ] 埼ト此ノ岬トノ間ハ殆ド直條ニシテ、「チャシコツ」、「レバウス」等ノ漁場アリ○「チャシコツ」ハ「チャシコツ」埼ノ北東方約1.5 哩ニ位シ前面ニ黑色ノ岩礁散布ス、其ノ最外岩ハ**ウノトリ岩**ト稱シ高サ3.4 米。

**ルルイ山** [ノッカップ] 岬ノ東南東方約5.2 軒ニ聳立スル高サ1,506 米ノ尖頂山ニシテ島中茶々嶽ニ次グ高山ナリ、視界良好ナルトキハ何レノ方向ヨリ望ムモ頗ル顯著ニシテ、殊ニ10 月下旬ヨリ6 月下旬迄ハ積雪ヲ見ルヲ例トス。

**ルルイ岬** [ノッカップ] 岬ノ北東方4.8 哩ニ位シ國後島ノ最北端ニシテ「ルルイ」山ノ北支丘脈ヨリ下降セル草生崖岬ナリ、高サ49 米○岬端ヨリ北方約1 鏈間岩礁斗出シ礁上常ニ破浪ス。

### 國後島北岸

國後島北端「ルルイ」岬ヨリ同東端安渡移矢岬ニ至ル間ニシテ「オホツク」海ニ面スル海岸ナリ○直距離約18 哩ナル此ノ兩岬間ハ一大淺入灣ヲ成ス、其ノ西半部ハ「ルルイ」山及茶々嶽ノ兩脚ニシテ、亂岩險崖礫濱相交リ地高ク距岸少距離間ハ出沒岩脈擴延スレドモ其ノ外方ハ甚ダ深水ナリ、東半部ハ**安渡移矢半島**ノ北岸ニシテ安渡移矢岬附近ヲ除ク外ハ長キ沙濱ヲ成シ遠ク伸出スル險處ナク且水深適當ナルヲ以テ、陸風ノトキハ何レノ處ニテモ假泊シ得ベシ○此ノ沿岸

ニハ漁舍點在スレドモ殆ド永住ノモノナク5 月ヨリ10 月若ハ11 月ニ至ル鮭鱒ノ漁期ニ非ザレバ全ク人影ヲ認ムルコトヲ得ズ。

此ノ沿岸ハ夏季海面常ニ平穩ニシテ南東岸ニ比スレバ霧モ亦稀ナリ。

**ルルイ灣** [ルルイ] 岬南東側ノ小灣ニシテ灣口北東方ニ面ス、灣内北西側ハ急深ニシテ危險ナキモ他ハ岩礁脈少距離間擴延ス、灣濱ハ北西濱ヲ除ク外「ルルイ」山ヨリ急降スル山脚ニシテ岩礫交錯ス○灣内北西側ハ水深12.8—14.6 米、底質沙ニシテ小形船舶ニハ偏南風及偏西風ヲ避クルノ好錨地ナリ○上記礫濱中ニ2 條ノ溪流アリ、其ノ附近ニ人家1—2 戸アリ、海面靜穩ナルトキハ人家附近ニ短艇ヲ寄セ該2 溪流口ヨリ淡水ヲ汲取リ得ベシ。

**錐形岩** [ルルイ] 灣口ノ南東端ニ於テ海岸ニ接續シテ高サ62 米ノ黑色錐形岩頭アリ、白色崖ニ接スルガ爲何レヨリ望ムモ顯著ニシテ目標ト爲スベシ○此ノ岩ヨリ南東方1.2 哩間ハ海岸白色高崖ヨリ成リ遠望顯著ナリ○之ヨリ更ニ東南東方約1 哩ニ高サ86 米ノ黑色岩岬角アリテ之ニ接シテ小露岩アリ、又其ノ稍西方ニ海岸ニ接シテ黑色尖岩アリ、此等黑白ノ地物ハ相俟ツテ顯著ナル外觀ヲ呈ス。

**チフンベツ** 錐形岩ノ南東方約5 哩ニ位スル小淺入灣ノ灣首ノ地名ナリ○此ノ小灣ノ灣口西端ヲ成ス岬角ハ斷崖ニシテ、其ノ東方約3 鏈ニ水深0.4 米ノ礁アリ。

**ソコボイ瀑布** [ルルイ] 岬ノ南東方約6.5 哩ニ在ル岬端ハ赭色崖ヨリ成リ甚ダ顯著ナリ、此ノ岬ノ東側海岸ノ曲處ニ林間ヨリ流下スル瀑布アリテ、直下ノ幅及高サ何レモ約6 米、「ルルイ」山及茶々嶽ニ源ヲ發ス、之ヲ250 度以上ニ遠望スレバ恰モ白帆ノ如ク顯著ナリ。

**オンコツ** [ソコボイ] 瀑布ノ東南東方約2.5 哩ニ於テ岩岸ト沙岸ト分ルル部分ノ曲處ニ在リ、此處ニ永住ノ漁舍2—3 戸アリテ其ノ前岸ハ短艇ヲ寄スルニ適ス○其ノ前面ハ水深適度、底質沙ニシテ南半圓ノ風浪ヲ遮蔽スルガ故ニ假泊ニ可ナルベシ。

此ノ地ヨリ西方「ルルイ」灣ニ至ル間ハ、岸際上直ニ鬱黒タル樹林ト爲リテ内方



ニ入ルモ之ヨリ東方ハ樹林漸ク稀薄ト爲ル。

**險礁** 「オンコツ」ノ東方2.8 哩、沙濱ノ凸處ニ距濱4 鏈間擴延セル礁脈アリ、外端水深5 米、少シク距レバ9—11 米ニ増加ス。

**オタバツ山** 上記礁脈内方ノ崖上ハ茶々嶽山脚ノ凸起シタル小山脈ニシテ、2—3ノ圓頂峯ヲ成シ其ノ最高頂「オタバツ」山ハ岸ヨリ内方2 軒餘ニ在リ、高サ194 米。

**錨地** 上記礁脈ヨリ下記「ニシビロクノ」湖口附近ニ至ル海岸ノ前面距岸約1 哩ノ處ハ、北至西ノ方向ニ暴露スレドモ水深18 米、底質沙ニシテ夏季ノ假泊ニ適ス、軍艦武藏ハ嘗テ此處ニ假泊セシコトアリ。

10 **ニシビロクノ湖** 「オタバツ」山ノ東側ニ位シ、南北ノ長サ約1.5 哩アレドモ水頗ル淺ク其ノ海ヘノ流出口ハ「オンコツ」ノ東方4.5 哩ニ在リ、淺水ニシテ小舟モ入り難シ◎此ノ湖口ヨリ湖ノ東側ヲ經テ白糠灣岸ニ越ユル通路アリ、路程7.5 軒。

**稻荷山** 安渡移矢岬端ニ近ク位シ高サ151 米、樹木ナキ尖頂ノ孤立山ニシテ遠望顯著ナリ(第50 頁對面對景圖第1 參照)。

**アカンコロベ** 安渡移矢半島北岸長沙濱ノ東端ニ稻荷山ノ山脚ヲ成ス岩岬角アリ、此ノ岬角端ヨリ北西方5 鏈間ハ岩礁脈斗出シ其ノ内距岸2 鏈間ハ高潮時ノ外通例干出ス、礁脈ノ外端ハ水深2 米ヨリ淺ク其ノ外側ハ急深ニシテ水深16 米ヨリ深シ◎上記岬角竝ニ礁脈ノ西側ハ夏季小舟ノ好泊地トシ、西至北東ノ

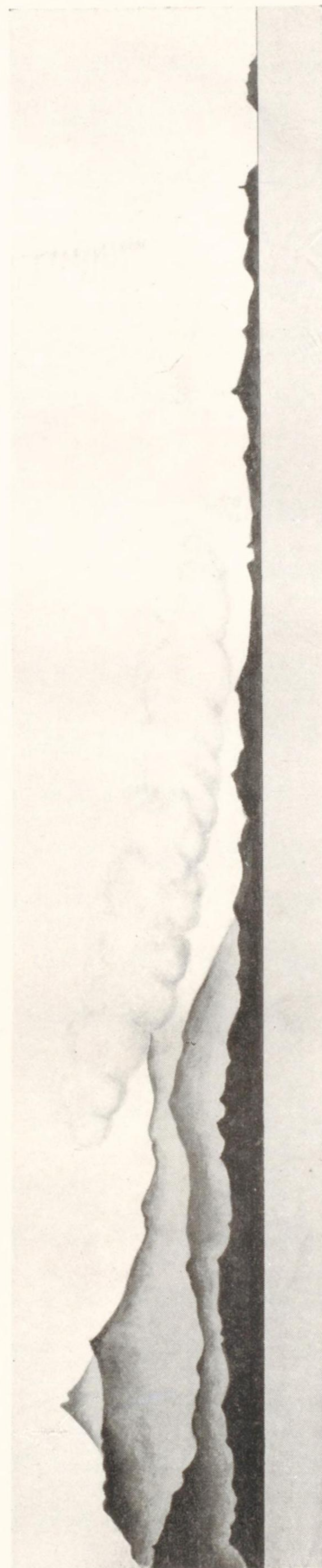
20 風浪ヲ除ク外ハ稍大形ノ船舶ニモ適スベシ、此ノ泊地ノ内奥漁家アル處ヲ「アカンコロベ」ト稱シ、漁家ノ附近岩岸ト沙岸ト相分ルル處ハ國後島北岸中最モ波靜ナル處ニシテ上陸ニ適シ何レノ風向ニモ概ネ舟艇ヲ寄せ得ベシ。

**安渡移矢岬(アトイヤ)** 國後島ノ東端ニシテ稻荷山ヨリ2 軒餘北東方ニ斗出セル低沙嘴ナリ◎此ノ岬端ノ北東方約2 鏈ニ高サ50 米ノ小岩嶼辨天島アリ、島頂ハ尖リテ雜草茂生シ島側險峻ニシテ遠望顯著ナリ◎安渡移矢岬端及辨天島ハ一帯ニ干出岩脈ヲ繞ラシ、且之ニ依リ互ニ相接續スレドモ高潮時ニハ小艇ハ其ノ間ヲ通過シ得ベシ(第50 頁對面對景圖第1 參照)。

第50 頁對面

南東方ヨリ國後島東端ヲ望ム

第1



安渡移矢岬燈臺  
316 度 9 哩

稻荷山

161 米山

茶々嶽  
1,381 米山



辨天島ヨリ尙北東方ニ干出岩脈斗出シ約7鏈ニシテ**トツカリ岩**ニ達ス、此ノ岩ハ干出1.5米、雙頂ニシテ岩上ニ海馬群集スルヲ例トス◎「トツカリ」岩ヨリ更ニ北東方1湮餘ニ互リ淺水ノ礁脈續キ外端ノ水深5.9米アリ、之ヨリ北方1.2湮間ハ水深14—18米ニシテ少シク距レバ急ニ深水ト爲リ38米ヨリ深シ◎上記連互セル一帯ノ礁脈上ハ少シク風波アレバ激浪ヲ起ス、稻荷山ト辨天島トノ一線47度(227度)ハ此ノ礁脈ノ東方3鏈以上ノ處ヲ導キ、辨天島西端ト安渡移矢半島南東端「オタツチェツプ」鼻端トノ一線22度(202度)ハ同ジク西方2鏈以上ノ處ヲ導ク。

**安渡移矢岬燈臺** 安渡移矢岬上ニ在リ、白塗六角形鐵造、燈高67米。

**霧信號** 安渡移矢岬燈臺ニ於テ霧笛ニ依ル霧信號ヲ行フ。

10

### 國後島南東岸

國後島東端安渡移矢岬ヨリ同南端「ケラムイ」埼ニ至ル間ニシテ、幅20—35湮ニ互ル海面ヲ隔テテ色丹島竝ニ水晶諸島ト相對スル海岸ナリ◎此ノ間ノ海岸ニハ數箇ノ淺入灣アリ、又赤石鼻ノ斷崖ト留夜別岬附近ノ峻壁トヲ除ク外概ネ礫濱ニシテ高カラズ◎此ノ沿岸ニハ「ケラムイ」淺瀬ノ外遠ク伸出スル險處ナシ。

**安渡移矢東錨地** 安渡移矢岬ノ東側ニ於テ稻荷山ヲ340度9鏈ニ望ム處ヲ好錨地トス、此ノ處ハ距岸5鏈、水深12.8—14.6米、底質沙ニシテ錨搔キ良シ。

**オタツチェツプ鼻** 安渡移矢岬端ノ南南西方約4.8湮ニ在リテ安渡移矢半島ノ南東端ヲ成ス斷崖高角ナリ。

**地獄山** 「オタツチェツプ」鼻ノ西南西方約3.5軒ニ在リ、安渡移矢半島ニ於ケル最高頂ニシテ高サ253米、南方ヨリ望メバ顯著ナリ。

20

**赤石鼻** 「オタツチェツプ」鼻ノ南西方約2.7湮ニ位シ、安渡移矢半島ノ南端ニシテ又白糠灣口ノ東端ヲ成ス、國後島南東岸中最高ノ險崖岬角ナルヲ以テ顯著ナリ◎鼻ノ南西側ニ接シテ高サ4.9米ノ小岩アリ、更ニ其ノ南西方1.5鏈ニ干出1.8米ノ險岩アリ、之ヲ距レバ急深ニシテ水深16米ヨリ深シ。

安渡移矢岬ヨリ此ノ鼻ニ至ル約7.5湮間ノ海岸ハ安渡移矢半島ノ南東側ニシテ多少ノ出入アリ、北部ノ2湮餘ハ沙濱ニシテ高カラザレドモ、其ヨリ南部ハ漸



次險峻ト爲リテ國後島南東岸中ノ最高地ヲ成シ險崖絶壁登リ難ク道路亦皆無ナリ、加フルニ天氣最悪ノ地ニシテ夏季ノ偏南風ハ常ニ他ノ何處ヨリモ強ク、國後島全岸中ノ最險處トシテ帆船乗員ノ最モ恐ルル處トス。

**白糠灣** 赤石鼻ト後記ノ「イカバノツ」鼻トノ間ナル開灣ニシテ、口幅約5.5 哩、灣入約2 哩、灣口南方ニ向ヒ、東方ハ赤石鼻以北ノ山脈、又西方ハ茶々嶽ニ遮蔽セラルルガ故ニ東風、北風及西風ヲ防グヲ得ベシ◎赤石鼻ヨリ北西方1.8 哩間ノ灣濱ハ石陂擴延シ距濱約5 鐘間斗出スル處アリテ、低潮時ニハ各處干出シ少シク波アレバ破浪ス◎之ヨリ西方ニ互ル大部分ノ灣濱ハ概ネ沙濱ニシテ安渡移矢半島地頸ノ南岸ヲ成ス。

10 灣内東濱ノ白糠泊及西濱ノ渡海船泊ニ各驛遞所アリ。

**流水** 白糠灣ニ於テ流水ノ來ルハ南至南東ノ風ニシテ、其ノ去ルハ北東風及南西風トス◎明治38年2月中旬某船ノ實驗ニ依レバ、此ノ灣ニ於テ風向偏南氣温上昇スレバ錨地附近ニ氷原ヲ見ル、而シテ冬季氣温ノ高マルハ南東風ノ兆ニシテ此ノ兆候アラバ直ニ出港シテ色丹島ノ北側ニ假泊シ、風向北ニ變ズルニ從ヒテ該島ノ南側ニ回航シ暫ク氷ノ去ルヲ待チテ此ノ灣ニ歸ルヲ可トスト謂フ。

**一ノ字ノ瀬** 白糠灣ノ略中央距濱1 哩ニ在ル東西ノ長サ5.5 鐘ノ岩脈ニシテ、平波ノトキノ外ハ通例破浪アルヲ以テ識別シ易シ、其ノ西端附近ハ1.5 米干出ス◎此ノ岩脈ト灣濱トノ間ハ水深不齊ニシテ夏季低潮前4時ヨリ低潮後1 20 時迄ノ驗流中海水ハ常ニ東方ニ流レ次第ニ流速ヲ増大セルヲ驗セリ。

**水底電線** 白糠灣首沙濱ノ東端附近ヨリ灣内東側ニ寄りテ赤石鼻ヲ繞リ、國後水道ヲ斜斷シテ擇捉島丹根筋ニ至ル水底電線1 條アリ。

**錨地** 後記「オカツブノ」岬ト羅白岳トヲ一線233 度ニ、赤石鼻ヲ98 度ニ望ミ水深22 米内外、底質沙ノ處ハ冬季北西風時ノ好錨地ナリ、又之ヨリ北方ニ於テ白糠泊村落ヨリ南西方水深適宜ノ處ニモ錨地ヲ得ベシ◎北以西ノ風浪アルトキ渡海船泊(小廻船ノ好泊地ナリ)ノ前面「イカバノツ」鼻北東端ノ北東方約5 鐘、水深20—22 米ノ處ハ稍錨泊ニ可ナルガ如シ。

**上陸所** 灣内東濱石陂北端附近ニ在ル干出0.3 米岩ノ東側ニ於テ白糠泊ノ前面ニ上陸所アリ、海方ヨリ來ル風浪アルトキノ外短艇ヲ著クルニ適シ灣内ニ於ケル最好上陸所トス、又此ノ石陂ノ中央漁家アル處ニモ上陸シ得ベシ。

**ヒガシビロクノ湖** 白糠灣首略中央ノ内方ニ於テ海トハ最短距離約200 米ヲ隔テテ東西ノ長サ1.4 哩、幅7 鐘ヲ有スル湖ナリ、此ノ湖ハ茶々嶽及「オタバツ」山ニ源ヲ發シ水深4.1—5 米アリ、流出口ナキモ灣首ノ沙濱ヲ通ジテ浸出シ水質鹽分ナシト謂フ。

**イカバノツ鼻** 茶々嶽ノ南東脚端タル臺形ノ陸舌ニシテ白糠灣口ノ西端ヲ成シ高サ23 米アリ、鼻ノ沿濱ハ岩沙相交リ鼻ヲ繞リテ石陂約2.5 鐘間擴延シ陂上破浪ス◎鼻附近ハ内方約300 米内外ノ間樹木ナキモ其ヨリ北方2.5 軒ハ密樹鬱葱トシテ内方ニ連ル。 10

**イタシベナイ** 「イカバノツ」鼻西側小灣ノ灣首ノ地名ナリ◎此ノ小灣ハ濱岸殆ド急深ニシテ水深適宜、底質細沙ナルヲ以テ錨地トシテ可ナルベシ、小廻船ハ北半圓ヨリ來ル風浪ノ好避泊地トシテ此處ヲ使用ス。

**茶々嶽** 「イカバノツ」鼻ノ西北西方約10 軒ニ位シ國後島中ノ最高峯ニシテ高サ1,845 米アリ、山脚ハ島ノ南北兩岸迄達シ截頭圓錐形上ニ、更ニ第2 錐形ヲ載セタルガ如ク頂極メテ尖鋭ナリ、四周何レヨリ見ルモ遠望顯著ニシテ船舶ノ好目標トス、然レドモ通例雲霧ニ蔽ハル、但シ「ルルイ」山ヨリハ較現ハルルコト多シ、此ノ兩山共偏南風時ニハ北面、偏北風時ニハ南面、偏西風時ニハ全部現ハレ、偏東風時ニハ全ク隠ルルコト普通ナルガ如シ◎根室近海ヲ往來スル小廻船乗員ハ9 月以後北西風流行スル時期ニ於テ、茶々嶽南面ノ半腹ニ搖曳スル雲ヲ見ルトキハ遠カラズシテ北西風強吹シ來ルノ兆候トシテ警戒スト謂フ(第50 頁對面對景圖第1 參照)。 20

**圓山** 茶々嶽ノ北西方ニ於テ同山及「ルルイ」山ノ兩山脚相接スル凹地ニ獨立隆起スル圓頂山ヲ圓山ト稱ス、高サ691 米ニシテ南西方及北東方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ、而シテ茶々嶽並ニ「ルルイ」山附近ノ諸高山ガ雲霧ニ蔽ハルルトキト雖モ、獨リ現ハルルコト多キガ故ニ良好ナル目標ト爲ル。



**オカップノ岬** 「イカバノツ」鼻ノ南西方約4哩ニ在ル凸角ニシテ、高サ13米ノ臺形地ヲ成シ其ノ兩側方面ヨリ望ムトキノ外ハ遠望ニ適セズ○岬端ヨリ東北東方4.5鏈ニ高サ1米ノ小尖岩、又南東方約2鏈ニ高サ1.5米ノ小尖岩アリ、後者ノ東方2.8鏈、距岸3鏈ニハ干出0.9米岩アリ、而シテ之ヨリ外方1—2鏈間ハ尙淺水ナリ。

「オカップノ」岬ヲ中點トシテ北東方「イカバノツ」鼻ニ至ル間、竝ニ西方7哩ノ後記「オダイバケ」鼻ニ至ル間ハ、共ニ茶々嶽ノ南方脚端ニシテ岩礫及沙濱交錯シ「イタシベナイ」附近ヲ除ク外距岸1—5.5鏈間險惡地ナリ、殊ニ「オカップノ」岬、禮文磯間最モ險礁擴延ス、岸上ハ直ニ臺地ヲ成シ樹木鬱葱トシテ内方ニ連リ其ノ形狀殆ド一様ニシテ特ニ顯著ナルモノナシ。

**禮文磯** 「オカップノ」岬ノ西方約2哩ニ禮文磯村落アリ、定期航路船ノ寄港地ナリ○其ノ沖合距岸4鏈ニ位スル一團ノ岩脈ヲ禮文磯岩ト謂ヒ高サ2.7米、岩頂鳥糞ヲ以テ白シ○此ノ岩ノ西側即チ定期船ノ來著スル處ハ水淺カラザルモ、南方ハ約3鏈迄又其ノ東側ハ「オカップノ」岬迄淺水地擴延ス。

**乳呑路泊地** (チノミジ) (海圖15分圖) 「オカップノ」岬ノ西方5.5哩、乳呑路村落前面ノ露開錨地ナリ○乳呑路村落附近ハ口幅約7鏈、彎入約300米ノ小淺入灣ヲ成シ灣濱ハ黒沙ヨリ成リ、濱上ハ幅狹キ草原ヲ隔テテ高サ16—33米ノ臺地ニ續キ之ヨリ鬱黒タル森林内方ニ連ル○泊地ノ海岸ハ小灣ノ灣首中央部ヲ除ク外岩礁沿布シ、距岸2—4鏈間ハ水深5米ヨリ淺キ險惡地ナリ、殊ニ小灣ノ東端植木ノ崎ヨリハ岩礁伸出シテ距岸約1.5鏈間干出シ、其ノ南端ニ干出1.5米ノ小尖頂アリ、而シテ此ノ干出岩脈ノ周圍ニハ淺水ノ岩礁多ク更ニ外方ハ水深不同ナリ。

此ノ泊地ハ露開ニシテ底質概ネ岩ナルヲ以テ風浪アルトキノ錨泊ハ好マシカラズ、夏季ハ通例穩和ニシテ小形船舶ノ出入杜絶スルコト稀ナレドモ、偏北東ヨリノ強風後ニハ好天氣ノトキト雖モ大浪襲來シテ2—3日間ハ海陸ノ交通杜絶スルコトアリ○下記「オンネベツ」川河口ノ140度約4鏈ニ一團ノ底質沙ノ處アレドモ沙層薄ク岩面ヲ覆フモノノ如シ。

乳呑路村落ニ留夜別村役場、郵便局(電信取扱)、警察分署、驛遞所等アリ。

**氣象** 11月ヨリ翌年3月迄ハ概ネ北西風ニシテ天氣晴朗ナリ、3月ヨリ6月迄ハ東風、夏季ハ南東風流行シ靄霧多ク、冬季ハ北西ヨリ北又ハ東ノ風多ク北西風ノトキハ平穩ナレドモ東風又ハ北風ノトキハ流水來襲シ概シテ波浪高シ。

**海氷** 結氷期ハ1月上旬ヨリ4月上旬迄ニシテ、流水ハ東風又ハ北風ニテ來リ5月上旬迄之ヲ見ルヲ通例トス。

**目標** 海方ヨリ此ノ泊地ニ接近スルトキノ目標トシテハ稍多數ノ人家ニ依ルノ外ナク他ニ顯著ナルモノナシ○泊地内ニ於テハ後記「オダイバケ」鼻、同「オンネベツ」川河口、小灣灣首ノ最高地ニ在ル神社及海岸附近ノ地方暴風標旗竿等ハ稍目標ト爲スニ適ス。

**地方暴風標** 乳呑路村落ニ根室測候所管下ノ地方暴風標アリ。

**上陸所** 旗竿ノ西方約1.3鏈、濱際ノ岩沙相分ルル處附近ハ波浪稍平穩ニシテ舟艇ヲ寄スルニ便ナリ。

**給水** 茶々嶽ニ源ヲ發スル**オンネベツ川**ハ小灣灣口ノ西端ニ其ノ河口ヲ有スル國後島南東岸中ノ最大河ニシテ水流速ク水質良シ、河口内ハ舟ヲ行リ難ケレドモ、平波ノ際ニハ河口ニ於テ手動唧筒ヲ使用シ多量ノ河水ヲ短艇ニ汲取り得。

**オダイバケ鼻** (海圖15分圖) 「オンネベツ」川河口ノ西方7鏈ニ在ル高サ19米ノ臺形凸角ニシテ、其ノ南側ニ樹林ノ疎立スルヲ見ル、此ノ鼻ハ臺形地ト平地トノ相分ルル處ナルヲ以テ多少遠望シ得ベシ○鼻附近ノ海岸ハ石質ニシテ干出岩脈ヲ繞ラシ距岸約3鏈間ハ淺水ノ險惡地ナリ○此ノ鼻ヨリ西方ノ海岸ニハ漁舍散列ス。

**横山** 「オダイバケ」鼻ノ西方約12.5軒ノ内地ニ在ル雙頂ノ孤立圓形山ニシテ其ノ北頂ハ稍高ク高サ476米ニ達シ遠望顯著ナリ。

**ホントマリ山** 横山ノ南方約4.5軒ニ在ル高サ242米ノ孤立山ニシテ正シキ尖頂ヲ成ス、遠望顯著目標ニ適ス。

**留夜別岬** (ルヨベツ) 「オダイバケ」鼻ノ南西方約6.5哩ニ在ル高サ141米ノ斷崖岬角ニシテ、角頂ハ圓頭ヲ成シ近傍ノ樹木鬱葱タルニ似ズ矮笹ヲ生ズ、



其ノ險崖ハ海岸ヨリ屹立シ國後島南東岸中遠望最モ顯著ナリ○本岬以北約2 哩間ノ海岸ハ亂岩及險崖ヲ成シ、北部ヨリ南部ニ進ムニ從ヒテ險峻ト爲リ岬端ニ至リテ上記ノ高サ(141 米)ニ削立ス○此ノ海岸中岬ノ北方1・2 哩ニ「ポントマリ」ト稱スル處アリ、其ノ海岸ニ接在セル2 尖岩(東方ヨリ望ムトキハ其ノ間ヨリ人家ヲ見ルベシ)間ハ大浪アルトキノ外短艇ヲ進メ得テ上陸シ易シ。

「オダイバケ」鼻ト本岬トノ間ハ海岸弓形ヲ成シ、本岬ニ近キ上記2 哩間ノ外平低ノ沙濱ニシテ濱上直ニ森林ト爲リテ内方ニ連ル○此ノ海岸ハ「オダイバケ」鼻ノ南西方約1・2 哩、距岸7・5 鏈ニ6・4 米ノ淺水部アル外、距岸少距離ニシテ急深ト爲リ險處ヲ見ザルモ南東方ニ露開シ風浪ノ保障ナキ爲、到ル處概ネ破浪シ、上記「ポントマリ」ノ外ハ舟ヲ寄セ難シ。

**荒島** 留夜別岬ノ南東方約3 鏈ニ位シ國後島南東岸中唯一ノ小嶼ニシテ、留夜別岬ト共ニ航海者ノ要標タリ、本島ハ高サ56 米ノ草生島ニシテ北側ノ斷崖ニ接シ1 露岩アリ○島周ハ急深ニシテ水深14・6—23 米、岬トノ間ハ水深14・6 米ナリ。

**瀨石(セセキ)** 留夜別岬ノ南西方約2 哩ニ在ル小村落ニシテ温泉アリ。

**植内鼻(ウエンナイ)** 瀨石ノ南西方約2 哩ニ在ル高サ86 米ノ疎樹ノ凸角ニシテ、之ヨリ干出石陂約2・5 鏈間海方ニ延出ス○植内鼻ノ南方約6 鏈ニ**メノコソリ**ト稱スル險岩アリ、東西ニ長ク其ノ最淺部ハ水深0・2 米、礁周ハ急深ニシテ水深5・4—18 米ヲ有シ礁上ハ和風ノトキト雖モ常ニ破浪アリ。

20 **植内** 植内鼻ノ西側ニ在ル小村落ニシテ此ノ近傍沿岸ノ日用品及海産物ノ集散地ナリ、此處ニ郵便局(電信取扱)、驛遞所アリ、村落中央ニ白色ノ顯著ナル人家2 戸アリ○東方ヨリ來リテ植内ニ寄港セントスル船舶ハ植内鼻ヲ1 哩以上離シタル航路ヲ採リ、植内鼻ト下記摺鉢山頂トノ一線ヲ航過シタル後右轉スレバ「メノコソリ」ヲ安全ニ避ケ得ベシ。

植内ノ西方ニ於テ海岸ヨリ屹立セル高サ392 米山、植内北方約6 軒ノ内地ニ在ル**摺鉢山**(高サ501 米)ハ共ニ海方ヨリ望ムトキハ尖頭ニシテ植内ヲ見出スノ好目標ナリ。

**キナカイ岬** 植内鼻ノ南西方約4・4 哩ニ在リテ海岸ヨリ直立セル密樹ノ岬角ナリ○岬端ニ近ク高サ2・4 米ノ小露岩アリ、低潮ニハ干出石陂ニ依リテ岬ニ連続ス。

**チカップナイ** 「キナカイ」岬ノ南西方約2 哩ニ於テ小凸出角ノ西側ニ位スル地名ナリ。

留夜別岬ヨリ「チカップナイ」ニ至ル約10 哩ノ間ハ、多クハ海岸ヨリ直立セル高サ60 米内外ノ險崖ニシテ崖下ニ漁舍羅列シ其ノ間ニ數多ノ溪流アリ、又海岸附近約2 鏈間ニハ低潮ニ露出スル石陂アリ○此ノ沿岸附近ノ内陸ハ溪谷到ル處深林密樹ヲ成シ人跡未踏ノ地ニシテ、山頂ニ近ク矮松多ク、熊、貂、狐等ノ野獸棲息ス。

「チカップナイ」ヨリ南方ハ大崎迄約3 哩ノ間平低ノ白沙濱ヨリ成リ、礁脈海岸ニ平行シ南北2 箇所ニ於テ更ニ南東方ニ擴延シ、其ノ南方ノモノノ外端ハ大崎ノ北方約1 哩ニ達ス。

**蠟燭岩** 「チカップナイ」南方白沙濱ノ北隅ニ在ル高サ31 米ノ柱形岩ニシテ顯著ナリ○上記南北支礁脈中ノ北方ノモノハ此ノ岩ノ干出石陂ヨリ斗出セル礁脈ニシテ南東方ニ擴延スルコト約1 哩、其ノ間1—2 ノ點礁アリ、其ノ最淺礁ヲ**沖ノ瀨**(水淺0・4 米)ト稱シ、此等ハ極メテ靜穩ノ日ニ非ザル限リ礁上常ニ破浪ス。

**大崎(海圖1・5 分圖)** 「チカップナイ」ノ南方約3 哩ニ在ル平低ナル岬角ニシテ、頂點ハ高サ25 米、樹木ナシ○崎ノ内方ハ南東方ニ斗出セル陸舌ニシテ遠望島ノ如シ、此ノ陸舌ノ頂點ヲ**古釜布山**ト稱シ高サ51 米アリ。

大崎ノ南東方ハ岩礁沿布シ低潮ニ干出ス、又崎端ヨリ南東方約2・3 鏈ニ水深5・4 米ノ點礁、同北東方約5 鏈ニ水深7・3 米ノ淺礁アリ、此等ノ礁ハ荒天ノトキ海水ノ隆起スルヲ見ル。

**古釜布灣(フルカマップ)**(海圖15 分圖) 大崎ト瀨石崎トノ間ニ在ル開灣ニシテ口幅約3・5 哩、彎入約1・5 哩ノ淺入灣ナリ、然レドモ國後島南東岸ノ各村落ト根室港トノ間ヲ航行スル船舶ノ唯一ノ避泊地ニシテ、險惡ノ天候ニ



際シテハ來泊スルモノ多シ○灣口兩端ニ近キ灣濱ハ50米内外ノ高地海濱ニ逼リ海岸ニ接シテ數多ノ干出岩アリ、殊ニ大崎附近ハ高サ30米内外ノ險崖連互ス、灣首ハ平坦ナル原野ニシテ廣ク北西方ニ續キ島ノ北西岸ニ達ス、此ノ平野ノ略中央ニ位スル古釜布湖ヨリ流出スル**古釜布川**ハ灣首東側ニ於テ灣内ニ注ギ高潮時ニハ小艇ヲ行リ得ベシ。

此ノ灣ハ南東至南ノ間ノ各風ヲ除ク外較安全ナル泊地ニシテ、春夏ノ交此ノ地方ノ流行風タル北東風(方言「ヤマセ」)ノ強吹スルトキハ能ク風浪ヲ遮蔽ス○冬季結氷スルコトナク唯4月若ハ5月ノ頃時トシテ流水ノ來ルコトアリ。

灣ニ臨ム村落トシテハ北部ニ沖ノ古丹、古釜布及「イツヤンベツ」、南部ニ瀨石アリ、此ノ中古釜布ヲ主邑トシ此處ニ郵便局(電信取扱)、巡查派出所、驛遞所アリ。

**目標** 灣首「イツヤンベツ」川河口ノ南方約2.4哩ニ在ル**イツヤンベツ岩**(高サ6.4米)ハ黑色尖頭ニシテ顯著ナル目標ナリ。

**隱險** 灣内東側ニ於テハ大崎ノ西方約1哩ナル**中島崎**ノ南方約4鏈ニ水深5米ノ暗礁アリ、東西ニ長ク四周水深6.4—11米ニシテ、南風大浪ノトキニ非ザレバ破浪スルコト稀ニ且航路ニ近キヲ以テ注意ヲ要ス、又中島崎ノ北北西方約1.8鏈ニ水深1.3米ノ**カジカ根**アリ○灣内中央部ニ在リテハ「イツヤンベツ」岩ノ南東方約4.2鏈ニ水深4.5米ナル底質沙ノ淺處存在ス○灣内西側ニ於テハ瀨戸崎周圍ノ險礁ノ外同崎ノ北北東方約7.3鏈、距岸1.8鏈ニ**カイガラ岩**ト稱スル暗礁アリ。

**錨地** 灣内中央部ハ障碍物ナク水深9米内外、底質沙ニシテ錨搔キ良キガ如シト雖モ、北西風強吹時ニハ山嵐猛烈ナルガ故ニ雙錨泊スルヲ安全トス○嘗テ軍艦武藏ハ「イツヤンベツ」岩ヲ346度8鏈ニ見ル水深10米、底質細沙ノ處ニ碇泊セシガ北至北西風ニ對シテハ安全ナルモ南東方ヨリノ「ウネリ」ニ對シテハ適セザルヲ驗セリ。

**針路法** 色丹水道若ハ斜古丹港方面ヨリ古釜布灣ニ到ラントスルニハ、島登山ニ向ツテ進ミ途中圓山(島登山頂ノ雲霧ニ掩ハレタルトキモ往々望見シ得

ルコトアリ)ヲ123度ニ見ルニ至ラバ、此ノ線上ニ移リテ灣ニ近ヅキ大崎端ト留夜別岬沖ノ荒島トテ一線ニ見ルニ及ビテ、「イツヤンベツ」岩ト國後島北西岸「イカバノツ」崎東方檜形山ノ北東端(高サ477米)トノ一線337度上ヲ進メバ、中島崎南方ノ水深5米礁ヲ右舷7鏈ニ避ケテ灣内ニ入り得ベシ。

**上陸所** 中島崎北方ノ蟹罐詰工場棧橋ハ舟艇ノ達著ニ差支ナク上陸所トシテ適當ナリ。

**給水** 瀨石崎ノ項ヲ見ルベシ。

**瀨石**(海圖15分圖) 古釜布灣口西端瀨石崎ノ北側ニ在ル村落ニシテ、海岸處々ニ溫泉(「セセキ」ハ土語溫泉ノ義)湧出ス○瀨石ノ西方約4軒ナル島登山腹ニ於テハ硫黃ノ採掘製煉ニ從事中ニシテ、此ノ地ノ住民ハ其ノ副業ニ依リテ生計ヲ營ム、海岸ニハ長サ約80米ノ棧橋2アリ、硫黃船積用ニ供ス。

**瀨石崎**(海圖15分圖) 古釜布灣口ノ西端ナル高サ58米ノ險崖岬角ニシテ海方ヨリ望ムトキハ尖頭ヲ成シ顯著ナリ○此ノ崎附近ニハ多數ノ嶼礁アリ、崎ニ接シテ高サ27米ノ岩嶼アリ、其ノ少シク北東方ニ**蠟燭岩**(高サ32米)アリ、之ヨリ東方ニ高サ1.8米岩、竝ニ**ボン岩**(高サ2.1米)ヲ隔テテ最外方ノ干出岩(干出0.6米)アリ、蠟燭岩ヨリ北東方約1.8鏈ニ**瀨石岩**(高サ2.1米)、又瀨石岩ノ東方約2鏈ニハ水深0.9米ノ暗礁アリ。

瀨石崎ノ南西方約5.5鏈ニ高サ63米、尖頭ニシテ樹木ナキ岬頂ヲ有スル斷崖岬**トツカリムイ崎**アリ○此ノ崎ヨリ干出石陂斗出シ東方約1鏈間擴延ス○瀨石崎ト「トツカリムイ」崎トノ略中間ニ流出口ヲ有スル**岩吉ノ澤川**ノ淡水ハ、其ノ量船舶ノ供給ニ充分ニシテ高潮時ニハ短艇ヲ以テ汲取ニ便ナリ、水質佳良ナルガ如ク附近住民ハ之ヲ飲料ト爲ス。

**圓山** 瀨石崎ノ北北西方約4.5軒ノ内方ニ在ル圓山ハ島登山脈ノ北端ニシテ高サ487米アリ、圓頂ニシテ大樹疎生シ稍顯著ナリ。

**島登山** 瀨石崎ノ西方約6軒ニ聳立ス、國後島兩岸ノ略中央ニ在ル焔火山ニシテ山頂ハ3坐ノ尖岩ヨリ成リ、最高頂ハ高サ895米ナリ、山頂ヨリ丘脈四方ニ急下シ更ニ東西數軒間緩傾斜ヲ成シ樹木多ク頗ル顯著ナリ○東側及北西側



ノ山腹ニ硫黄坑アリ、其ノ近傍ニ壞崖アリテ淡褐色ヲ呈ス(第60頁對面對景圖第2及第3参照)。

**羅臼岳** 島登山ノ南方約2軒ニ在ル圓頂ノ支峯ニシテ高サ809米ナリ、島登山ト共ニ遠望顯著ニシテ航海者ノ好目標ナリ(第60頁對面對景圖第3参照)。

**羅臼ノ岬** 瀬石崎ノ南南西方約3.8哩ニ在ル高サ55米ノ低角ナリ◎岬端ニ礁脈約2鏈間擴延ス。

軍艦葛城ハ嘗テ羅臼ノ岬ノ東方約1哩、小村落中ノ古丹ノ沖合ニ於テ島登山ヲ310度ニ、大崎ヲ32度ニ望ミ水深24米、底質沙ノ處ニ錨泊セリ。

**ボッケ埼** 羅臼ノ岬ノ西南西方約5哩ニ在リ。

10 此ノ兩岬間ノ海岸ハ岸際ヨリ直立セル高サ60米内外ノ險崖ニシテ、樹木叢生シ其ノ間ニ數多ノ溪流アリ、海岸ニハ漁舍散在スレドモ夏秋ノ漁期ニ非ザレバ住民稀ナリ◎此ノ間數多ノ岩礁アレドモ其ノ礁脈ハ遠ク擴延セズ。

**東沸(トウフツ)** 「ボッケ」埼ヲ東端トスル淺入弓形灣灣濱ノ略中央ニ在ル村落ニシテ、郵便局(電信取扱)、巡查派出所、驛遞所アリ、又附近ニ製材所アリ。

軍艦葛城ハ嘗テ東沸ノ南方約3哩ノ沖合ニ於テ島登山ヲ23度ニ、泊山ヲ264度ニ望ミ水深約13米、底質沙ノ處ニ假泊シ、風力7-8ニ堪ヘテ錨搔キ良好ナルヲ驗セリ。

泊山東方ノ海岸ハ南北ニ直走スル土質ノ斷崖ニシテ高サ40-100米、褐色ヲ呈ス。

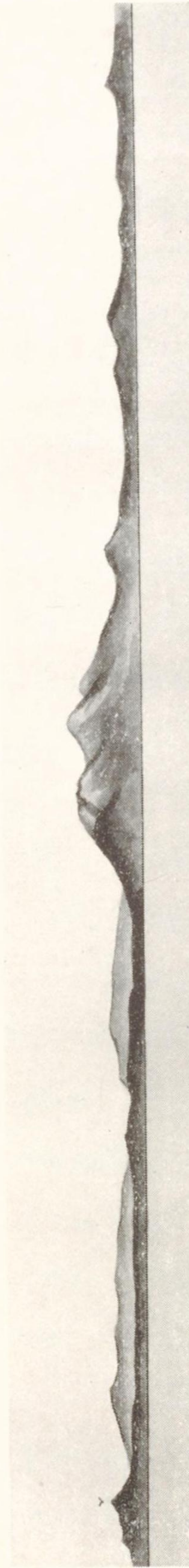
### 國後水道

國後水道ハ國後島ト擇捉島トノ間ニシテ太平洋ト「オホツク」海トノ通路ヲ成ス、其ノ幅約12哩ニシテ水深ク、水道中央部ニ於テハ兩側200米等深線間ノ幅約5哩、最深水深484米、底質礫沙ナリ、而シテ水道西側安渡移矢岬附近ノ礁脈ヲ除ク外危險物ナシ◎本水道ニ於テ颶風ハ其ノ力特ニ猛烈ヲ極ムルヲ常トス。

**潮流及海流** 國後水道ニ於テハ漲潮流ハ南方ニ、落潮流ハ北方ニ流レ、

第60頁對面

南東方ヨリ島登山附近ヲ望ム

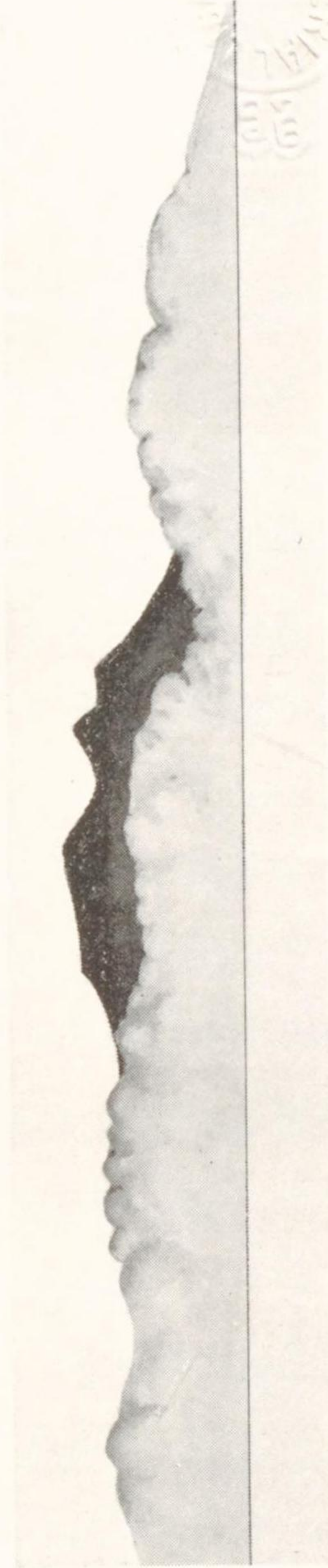


島登山  
305 哩 16 哩

泊山  
272 度

第2

南南東方ヨリ島登山及羅臼嶽ヲ望ム



羅臼嶽  
339 度 23.5 哩

島登山  
339 度 23.5 哩

第3



略高低潮時ニ轉流スルモ不規則ニシテ流速大ナラザルモノノ如シ、又夏季ニハ強烈ナル南向海流アリテ、沿岸ヲ除ク外ハ潮流ヲ壓シテ終日南方ニノミ流レ其ノ流速5節ニ達スルコトアリ。

此ノ水道ニハ時トシテ一面ニ強烈ナル激湍ヲ見ルコトアリ。

**流水** 國後水道ニ於ケル流水ハ概ネ2月上旬ニ始リ4月末ニ至レバ殆ド其ノ跡ヲ絶ツヲ例トスルモ、時トシテ5月上旬ニ於テモ尙流水ヲ見ルコトアリ  
 ◎明治38年3月16日ヨリ同31日ニ至ル間ニ於ケル某船ノ實驗ニ依レバ、流水中國後水道東側ハ氷塊少キコト多シ(反流ノ作用ニ因ルカ)ト謂フ。

### 擇捉島及擇捉海峡

擇捉島(エトロフ)ハ國後水道ヲ隔テテ國後島ノ北東方ニ竝列ス、南西—北東ノ長サ約110哩、幅約3—16哩、島内各部ニ1,000米内外ノ顯著ナル高嶺アリテ航海者ニ好目標ヲ呈シ各岬角ト共ニ頗ル識別シ易ク、且島岸概ネ急深ニシテ距岸1哩以外ニハ離險礁ナキガ故ニ暗夜濃霧ノ日ニ非ザレバ沿岸航行困難ナルコトナシ。

沿岸ニハ何レノ風浪ヲモ保障スベキ安全ナル錨地トシテ數フルニ足ルモノナキモ、風向ニ應ジテ大形船舶ヲ容ルルニ足ル錨地ハ10數箇所アリ、但シ何レモ灣口開闊ナルヲ以テ「ウネリ」ノ方向ニ依リテハ其ノ襲來ヲ免レズ、此等ノ錨地ハ北西岸ニ於テハ丹根崩灣、内保灣、宇多須都灣、老門灣、振別錨地、留別灣、紗那灣、紗萬部錨地、別飛錨地及藥取錨地ノ10箇所、東岸ニ於テハ茂世路灣、南東岸ニ於テハ單冠灣及「ロツコウ」灣ノ2箇所ナリ。

擇捉島ハ行政上全島ヲ3郡ニ分チ各郡共1郡ニシテ1村ヲ成ス、其ノ南部ノモノハ擇捉郡(留別村)、中部ノモノハ紗那郡(紗那村)、北部ノモノハ藥取郡(藥取村)ナリ、各村ノ人口ハ留別村2,554、紗那村2,073、藥取村1,482(昭和10年調)ヲ算セリ。

擇捉島ト得撫島トノ間ノ海面ヲ擇捉海峡トス。

**雨雪** 擇捉島ニ於テハ降雨ハ周年頗ル稀ナリ、6月本洲梅雨ノ節ニモ本島ハ晴和ノ日多ク10月ニ至リテ氣候不順トナリ降雨稍多キヲ見ル程度ナリ◎



降雪ハ10月ニ始リ翌年5月ニ終ル、其ノ中1月及2月最モ多シ、然レドモ流行風ノ爲吹去ラレ各地共山谷凹處ヲ除ク外ハ堆積スルコト少ク僅ニ130種内外ナリト謂フ、而シテ4月下旬ヨリ融雪シ始メ原野ニ在リテハ5月下旬ニ至レバ全ク溶解シ去レドモ高峯溪間ニハ夏季殘雪ノ絶ユルコトナシ。

**霧** 擇捉島沿岸ニ於テハ海霧ハ周年殆ド絶ユルコトナク其ノ最モ多キハ6月至8月ナリ、南東岸ニ於テハ特ニ濃密ニシテ快晴ノ日ヲ見ルコト極メテ稀ナリ、快晴ハ概シテ風向ノ變轉期ニ在ルヲ以テ、5月、6月ノ兩月中ハ月ニ4—5回風向ノ變轉スルニ伴ヒ毎回1—2日位宛ノ快晴ヲ見ルコトアルモ、7月、8月ノ兩月ニ於テハ偏南風ノ連吹スルコト2—3週間ノ長キニ互リ、快晴ノ日ハ兩月間ヲ通ジ僅ニ4—5日アルニ過ギズ、此ノ兩月ハ海霧最モ多ク天候悪キ季節トス◎北西岸ニハ海霧少シ、北西岸ノ海霧ハ大抵風ノ爲南東岸ヨリ吹送ラルルモノナレバ高峯嶺等ハ常ニ靄霧ニ包マルルコト多シ、留別、内保等ノ海霧稍多キハ平地ニ依リ南東岸ニ通ズルニ因ル、特ニ別飛ノ東方留茶留平原ハ南東岸トノ距離僅ニ3哩餘ニシテ、土地低クノ遮蔽物ナキヲ以テ冬季ヲ除ク外殆ド霧ヲ見ザルトキナシト謂フモ可ナリ、又夏季ハ時トシテ北東ノ微風吹キ氣温大ニ低下スルト同時ニ濃霧ヲ伴フコトアリ、9月至3月ノ間ハ海霧少キ季節ナルヲ以テ北西岸ニハ絶無ナリト謂フ。

**風** 擇捉島沿岸ニ於テハ10月下旬ヨリ翌年4月下旬迄ハ強烈ナル北西ノ風多ク波浪高クシテ航海甚ダ困難ナリ、其ノ最モ強烈ナルハ11月及12月ニシテ1月以後ハ稍勢ヲ減ズ、夏季ハ概ネ偏南東風多ク6月至8月ノ間ハ該風屢強吹シ南東岸ニ在リテハ風波高ク、9月ハ時々北西風ヲ來シ、10月上旬ヨリハ北西風多次トナル◎風向ノ偏北若ハ偏南ニ拘ラズ一定スルトキハ氣壓762耗内外ニ在リテ著シキ變化ヲ見ズ、然レドモ風向ノ變轉期ニ際シテハ俄然750耗以下ニ降ルコトアリ、明治43年5月ヨリ8月迄ノ實驗ニ依レバ、此ノ特徴ハ偏南風ヨリ偏西風ニ變ズル場合ニ特ニ多キヲ見タリ。  
紗那測候所永年ノ統計ニ依レバ1年中暴風ノ吹カザルコトナク、其ノ最多ナルハ1月ニシテ12月之ニ次ギ最少ハ8月ナリ、今最多最少ノ月ニ於ケル暴風日

數ヲ示セバ次ノ如シ。

類別 月別	暴風日數			計
	強風	烈風	颶風	
1月	5.2	18.7	3.1	27.0
12月	11.2	13.5	0.3	25.0
8月	3.0	0.6	—	3.6

即チ1月ニ於テハ殆ド連日ノ暴風ト稱スルモ不可ナキガ如シ。

**潮流** 擇捉島北西岸野斗路岬以西ニ於テハ漲潮流ハ地形ニ從ツテ西方又ハ灣首ニ向ツテ流レ、落潮流ハ之ニ反シ、一般ニ流速1節ヲ超ユルコト稀ナルモ「ボロノツ」鼻沖ニ於テハ2節ヲ超ユ、而シテ西端國後水道附近ヲ除キ東向海流ノ影響ヲ受ケテ東流ハ西流ニ比シテ流速稍大ナリ、野斗路岬沖ニ於テハ漲潮流ハ北東方ニ落潮流ハ南西方ニ流レ、高低潮後約1時ニ轉流シ、最強流速東流2節、西流1.3節ニ達ス、又野斗路岬ヨリ紗那灣ニ至ル間ニ於テハ漲潮流ハ東方又ハ海岸ニ向ツテ流レ、落潮流ハ之ニ反スルモ流速0.6節ヲ超エズ、散布半島ヨリ藥取岬ニ至ル間ニ於テハ一般ニ漲潮流ハ南西方ニ、落潮流ハ北東方ニ流ルルガ如シト雖モ不規則ナリ、一般ニ流速1節ヲ超ユルコト稀ナルモ藥取岬附近ニ於テハ2節ヲ超ユルコトアリ、又散布半島「イカバノツ」岬附近ニ於テハ夏季ノ驗流ニ依レバ海水ハ常ニ西方ニ流レ漲潮期ニ流速1.5節ニ達セリ。

南東岸ニ於テハ一般ニ漲潮流ハ南西方ニ、落潮流ハ北東方ニ流ルルモ南西方ニ流ルル海流ノ影響ヲ受ケテ漲潮流ハ流續時間長ク流速稍大ナリ、而シテ「ウルモベツ」岬以西ニ於テハ流速2節ヲ超ユルコトアルモ該岬以東ニ於テハ最強流速1節ヲ超エズ流向不規則ナリ。

**海流** 擇捉島北西岸ノ海流ハ暖流ニシテ北東方ニ向ヒテ流レ、南東岸ニ於ケルモノハ寒流ニシテ概ネ南東方ニ向ヒテ流ル、而シテ其ノ流速ハ1節ヲ超エズ、但シ沿岸ニハ潮流アリテ諸岬角ノ沖合ヲ除ク外流速微弱ナリ。

**水温** 散布半島以西ニ於テハ明治37年及同42年ニ於ケル數十回ノ驗測ニ



依レバ寒暖兩流錯雜スルモノノ如ク、氣溫ノ水溫ヨリ11度以上高キコトアリ、又水溫ノ氣溫ヨリ高キコト2.2度ニ及ブコトアリ、同一地點ニ於テモ兩年度ノ差5.5度ニ及ブコトアリ、是北東方ヨリ海底ヲ流レ來レル寒流若ハ國後水道ヨリ潛入シ來レル寒流アリテ、國後島北東端ヨリ擴延セル200米淺堆及野斗路岬ノ北方ニ在ル200米堆ノ如キ凹凸不同ナル海底ニ衝激シテ表面ニ現ハルルト、北方沖合ヨリ來レル暖流ノ皮流アリテ國後水道ニ於ケル流勢ノ爲左右セララルトニ因リ此ノ狀況ヲ呈スルナラン。

明治42年7月ヨリ9月ニ至ル間「イカバノツ」岬及「ラッキベツ」岬間距岸5哩以内ニ於テ實驗セル狀況ニ依レバ、氣溫ト水溫トノ差ハ93箇所ノ平均5度ニシテ氣溫ノ高キヲ知レリ、而シテ最小差ハ2.2—3.3度、最大差ハ8.3—9.4度ニ達シタリ、此ノ最大最小差ノ起ルハ天候及測得時刻ニ關スルコト多ク朝夕及曇天等ニ於テハ其ノ差小ニ、晴天ノ日中ニ於テハ其ノ差最モ大ナリ、夜間ハ實驗セザリシモ其ノ差小ナルベシ、距岸5哩以外ニ在リテハ其ノ差大ニ減少シ8月9月ノ間軍艦武藏ノ實驗ニ依レバ、5哩以外10—15哩以内ニテ38回ノ驗測中最大差4.4度2回、最小差ハ水溫ノ氣溫ヨリ高キコト0.5度ナルコト2回、平均差ハ氣溫ノ高キコト1.4度ナリ◎「トウロウ」ノ北西方ニ於テ水溫非常ニ低ク氣溫トノ差10.5度ヨリ12.7度ニ及ベルヲ驗セリ、是蓋シ時ニ依リテ北東方ヨリ海底ヲ通過シ來レル寒流「ビラ」淺堆ニ衝突シテ海面ニ顯出セシモノナラン。

**海氷** 擇捉島北西岸ニハ流水多ク冬季ハ氷結シテ氷原トナルモ此ノ氷結ハ其ノ地固有ノモノニ非ズ、風及海流ノ爲ニ北方ヨリ流レ來ル氷塊港灣ニ入り或ハ海岸ニ觸レテ相凝結シ漸次海面ニ延長シテ數哩ニ互ルモノニシテ厚サ3米餘ニ達ス◎南東岸ハ流水少ク又結氷スルコトナシ。

### 擇捉島北西岸

擇捉島西端「ベルタルベ」岬ヨリ同北東端「ミエクシ」鼻ニ至ル間ニシテ「オホック」海ニ面スル海岸ナリ。

**ベルタルベ岬** 國後水道ノ最狹部ニ臨メル擇捉島ノ西端ニシテ此ノ附近船ヲ寄スベキ術ナシ◎岬ノ東方約6軒ニベルタルベ山(高サ1,222米)アリ、此

ノ頂ヨリ降下セル山裾ハ三方海面、一方低地ニ臨ムヲ以テ遠望顯著ナリ。

**丹根萌灣**(海圖13分圖) 擇捉島北西岸ノ最南部ニ在ル開灣ニシテ西方ニ面シ口幅約4哩、彎入1.5哩アリ、水深ハ灣濱ニ近寄ルニ從ヒ漸ク淺ク距岸6鏈ノ處ハ水深約12米ニシテ、距岸1哩ノ處ハ水深45—73米ナリ◎灣首沙濱ノ南端附近水底電線ノ陸揚點タル著屋ノ南西方前面ニ高サ1—1.6米ノ亂岩礁アリ、沙濱ノ北端ニハ小村落丹根萌アリ。

**風** 此ノ灣ニ於テ南西ヨリ南ヲ經テ北東ニ至ル間ノ風ハ常ニ東風ノ如キ感ヲ爲ス、是灣首ノ内方ハ低丘ニ依リ南東岸ニ達シ其ノ兩側ニ高山アル爲衝突反轉シテ正シク風向ヲ示サザルニ因ル。

**潮流** 漲潮流ハ南西方ニ、落潮流ハ北東方ニ向ヒ何レモ流速3節ニ近ク疾風ト雖モ碇泊船舶ノ船首ハ風ニ立タズシテ潮ニ向ヒ、沖合ヨリ來ル「ウネリ」ト激抗スル爲常ニ船體ノ動搖ヲ免レズ。

**水底電線** 灣首ノ著屋附近ヨリ殆ド灣ノ中央ヲ過ギテ西方ニ向ヒタル後、國後水道ヲ斜斷シテ國後島白糠灣首ニ至ル水底電線1條アリ(第53頁同項参照)。

**萌消灣**(海圖13分圖) 丹根萌灣北東隣ノ圓形灣ニシテ東西3.5哩、南北4.5哩、往時ノ噴火口ノ跡ナルガ如ク、灣口ハ北方ニ面シ東西ノ兩口アリ、灣周ハ高サ約150—530米ノ山峯ヲ繞ラシ、峻壁峭立、屏風ヲ以テ圍ムニ似タリ、而モ岸際亂岩ナルヲ以テ著舟シ得ルノ地ナシ◎灣内水深極メテ深ク200米等深線ハ距岸約3鏈ニ在リ、僅ニ北東隅ナル「ニイチセウニ」ニ小舟ヲ假泊シ得ル外錨泊全ク不可能ナリ。

**風** 此ノ灣ハ北風ヲ除クノ外強風吹クトキハ、山頂ヨリ吹下ス風力猛烈ニシテ海面ヲ蹴リ潮霧ヲ飛バシ其ノ狀悽愴ヲ極ム、故ニ小形船舶ハ強風時ニハ灣口ヲ通行スルコト危険ナリ◎夏季ニ於テハ濃霧先ヅ山嶺ヲ掩ヒ次デ山麓ニ及ベバ殆ド颶風ノ如キ烈風ノ來ルヲ常トス、故ニ灣周ノ山頂濃霧ニ没セザル間ハ靜穩ナリト豫察スルヲ得ベシ。

**萌消島** 灣口ノ略中央ニ萌消島アリ、高サ168米ニシテ四周斷崖ヲ成シ西方ヨリ望ムトキハ獅子ノ坐スルガ如ク頗ル顯著ナリ、南端ニ尖岩アリ、「モシロ



ウコッベ」ト稱シ恰モ獅子ノ尾ニ似タリ◎崩消島トカバラ岬トノ間ナル灣口ノ東口ハ幅殆ド1哩ナルモ、中央附近ニ**ノツネツブ**岩(最高岩ハ高サ5.6米、鳥糞ヲ以テ白ク顯著ナリ)ト稱スル一團ノ岩礁アリテ之ト崩消島トノ間ハ岩礁點在スルヲ以テ通航幅ヲ狭ム、此ノ通航水道ハ幅約6鏈ニシテ水道中央ノ水深ハ20米ヨリ深シ(海圖13内保灣分圖参照)◎崩消島西側ノ西口ハ水深49米以上ニシテ危險ナシ。

**内保灣**(ナイボ)(海圖13分圖) 崩消灣ノ北東隣ニ在リ、「カバラ」岬ト「ポロノツ」鼻トノ間ニ彎入シテ一大開灣ヲ成シ、灣口幅約10哩、彎入約5.5哩ナリ◎20米等深線ハ灣首北半ニ於テ距岸約1哩、同南半ニ於テ距岸約5鏈ニ在リ、底質概ネ細沙トス◎灣首北半ハ一帯ノ沙濱ニシテ其ノ殆ド中央ニ**内保川**開口ス、此ノ河ハ海岸ヲ距ルコト内方約2軒ノ内保沼ニ源ヲ發ス、住民ハ此ノ河水ヲ飲用ニ供スレドモ水質不良ナリ、河口ハ高潮時ヲ除ク外短艇ヲ入ルルニ足ラズ、然レドモ濱岸ハ岩石ナキヲ以テ著舟容易ナリ。

灣首南半ノ内方ニ**オンアネノボリ**(高サ751米)、**ボンアネノボリ**(高サ632米)、**クマネシリ**(高サ683米)等ノ山峯連リ、其ノ兩端ハ平低地ニシテ島ノ南東岸ニ通ズルガ爲濃霧ノ襲來スルコト多ク、且夏季灣口沖合ハ南風強吹スルコト殊ニ多シ。

内保川河口北岸ニ内保村落アリ、住民ハ皆漁業ヲ營ム、人口ハ季節ニ依リテ同ジカラズ、冬季ニ少ク夏季ニ多シ、◎此處ニ郵便局(電信取扱)、巡查駐在所、驛遞所アリ、南東岸ノ入里節、具谷、丁寧及年崩ヲ經テ北西岸ノ留別ト交通ス。

**孤立礁** 内保川河口ノ西方約3.5哩、灣ノ中央ヨリ稍北寄りニ最淺水深11.4米ノ礁脈アリ、水深20米ノ區域ハ略三角形ヲ成シ徑約3鏈アリ、此ノ最淺部ハ平波ノトキハ容易ニ認識シ難キモ冬季西風ノ強吹スルトキハ屢破浪スト謂フ。

**錨地** 内保川河口ノ西方10米等深線ト20米等深線トノ間底質細沙ノ地ハ擇捉島北西岸中ノ最好錨地ナリ、出入ニハ灣口ノ兩側何レカニ接シテ航路ヲ探リ以テ上記孤立礁ヲ避クルヲ安全トス。

**アトサノボリ**(海圖13分圖) 内保灣ト宇多須都灣トノ境界ヲ成ス半島ノ頂點ニシテ高サ1,206米、孤立ノ焔火山ナリ、之ヲ内保村落ヨリ望ムトキハ恰モ富士山ノ如ク山頂ニ噴火口アリ、四周峻壁削レルガ如ク摺鉢狀ヲ呈ス◎其ノ北西側ノ勾配ハ急ニシテ沙礫ノ崩壞セル處アリ、灰色ヲ呈シ遠望顯著ナリ◎南東側ノ傾斜ハ稍緩ニシテ中腹ヨリ平地ニ互リ鬱黒タル椴松ノ林ヲ爲スコト數軒ニ達ス。

此ノ半島ノ北西端ヲ**ポロノツ**鼻ト稱シ黑色ノ岩壁ナリ、其ノ前面距岸2鏈以内ハ水深20米以下ナルモ之ヲ過グレバ直ニ200米以上ノ水深トナル◎此ノ鼻ヨリ北東方ニ向ヒ屢湍潮ヲ見ルコトアリ。

**地方磁氣** 陸上ニ於ケル驗測ニ據レバ「アトサノボリ」ノ山磁氣ハ磁針ニ感動ヲ及ボスコト甚シキヲ以テ、此ノ沿岸接航ノ船舶ニ於テモ此ノ事ナキヲ保セズ、宜シク注意ヲ要ス。

**宇多須都灣**(海圖13分圖) 「アトサノボリ」ノ東側ニ彎入セル開灣ニシテ其ノ灣口ノ西端ヲ**イトピリカオイ**(鵜群棲ス)、同東端ヲ**トツカリモイ**トシ口幅約6哩、彎入約3哩ナリ◎灣首ハ沙濱ニシテ其ノ兩端ノ地ハ西ヲ「オタスツ」、東ヲ宇多須都ト稱シ何レモ其ノ前面ニ時々小形船舶來泊ス。

灣首ノ内方ハ土地平低ニシテ東西ニハ高峯屹立スル爲、南東至南西ノ風ハ極メテ強ク吹クヲ常トシ從ツテ濃霧多シ。

**單冠山**(ヒトカッブ) 「トツカリモイ」ノ南東方約7軒ノ内陸ニ在ル高サ1,639米ノ焔火山ニシテ山頂圓形ヲ成シ山麓ニ葡萄樹多シ、山頂ノ西側ニハ著シキ崩壞アリ◎山脈東北東方ニ向ヒテ走リ**シサンマイノ山**(高サ1,428米ニシテ著シキ尖頂ヲ成ス)ニ達シ分レテ2派トナリ、一ハ恩根登山(高サ1,431米)、他ハ**ハクチャウス山**(高サ871米、平頂ニシテ雄大ナリ)ニ至リテ急下シ平低ノ丘陵トナリテ振別頸地ヲ成シ、其ノ東方15軒間ハ山頂ヲ見ザルヲ以テ遠望恰モ臺地ノ如シ。

**ソウテリュシノ瀧** 上記山脈ノ裾タル北西方海岸ハ概ネ險崖ニシテ溪流諸處ニ瀑布ヲ成シ、其ノ直下ハ亂岩沿布スレドモ1哩ヲ距レバ水深40米ヨリ深ク



離險礁ヲ見ズ、瀑布中最モ顯著ナルハ「シサンマイノ」山ノ北西方約6軒ノ海岸ニ位スル「ソウテリュシノ」瀧ニシテ落下32米遠望恰モ白布ノ懸ルニ似タリ。

風 上記海岸ハ距岸約5哩間偏南風期ニハ常ニ靜穩ニシテ無風ノトキニ似タルコト多シ、而シテ南東風ハ東風ノ如ク、南風ハ南西風ノ如ク、南西風ハ西風ノ如ク吹クヲ常トス。

沈船 「ソウテリュシノ」瀧ノ北東方約5哩、距岸約5鏈ニ昭和6年10月沈没セル汽船(新越丸560噸)アリ(昭和7年調)。

トリカモイ灣(海圖12分圖) 「トツカリモイ」ノ北東方約11哩ニ在ル小灣ニシテ、灣口北方ニ向ヒ幅約100米、彎入300米ニ滿タズ、東西兩濱ハ險崖ニシテ灣首及東濱ニ礫濱アリ、水深3.6—9.1米、底質沙ニシテ小形船舶ノ泊地タルニ適シ錨搔キ良ク北風ヲ除ク外諸風ヲ避ケ得ベシ。

ニカイ灣(海圖12分圖) 「トリカモイ」灣ノ東北東方1哩餘ニ在リテ灣口北西方ニ面シ幅約4鏈、彎入約3鏈ナリ、灣奥中央ニ崖岬角斗出シ灣ヲ南北2部ニ分ツ◎此ノ灣ハ偏南風極メテ猛烈ニ溪間ヨリ吹出スヲ以テ戒心ヲ要ス、蓋シ「ニカイ」トハ風烈シク木折ルノ土語ナリト謂フ。

灣内南凹部タル「ボロニカイ」前面ハ水深7.7米ニシテ附近ニ小形船舶ヲ泊スルニ足ル◎北凹部「ボンニカイ」前面ハ灣口北東端ノ岬角ウトリチップコイ竝ニ之ト干出石陂ヲ以テ連結スル岬端ノ大岩(高サ10米)等ニ依リテ近ク遮蔽セラルト雖モ上記灣奥中央ノ崖岬角ヨリ北方ニ約1.5鏈間淺礁擴延スルガ故ニ適當ナル水深區域極メテ狹隘ナリ。

オタモイ灣(海圖12分圖) 「ニカイ」灣ノ北東隣ニ於テ「ウトリチップコイ」ト其ノ北東方約7.5鏈ナルアルウトル埼トノ間ニ位スル開灣ニシテ灣口北西方ニ面シ約4鏈彎入ス、灣口ノ中央ヨリ稍南方寄りニレブン磯ト稱スル3箇ノ干出岩アリ、之ト灣首中央トヲ連スル線ノ北東方即チ灣内ノ大半ハ淺礁及淺水ニシテ近接スベカラズ、且「レブン」磯ト「ウトリチップコイ」トノ間水深8.6—14.6米、底質沙ノ處モ全ク沙ヲ以テ石陂上ヲ蔽フニ過ギザルガ故ニ安全ナル泊地ト謂フヲ得ズ。

老門灣(オイト)(海圖12分圖) 「アルウトル」埼ト其ノ北方約3鏈ノ「アンバシラレ」鼻トノ間ニ於テ、東方ニ僅ニ2.5鏈彎入セル狹長灣ニシテ灣首老門村落ノ前面ハ水深約3米アリ、兩濱ハ岩崖削立シ小舟ハ灣内ニ在リテ各方ノ風ヲ避ケ得ベシ。

老門灣口ノ略中央ニ水深2.6米礁、又其ノ東方約1.3鏈ニ水深0.6米礁アリ、後者ト南濱トノ間ハ水淺キヲ以テ北濱ニ沿ヒテ入進スルヲ安全トス◎「アルウトル」埼ノ西方1.5鏈ニモ礁上水深5米ノ孤立礁アリ、礁周水深9.6—14.6米ナリ。

アムバシラレ鼻(海圖12分圖) 老門灣口北端ニ在リ、高サ39米◎此ノ鼻ノ北方約8.5鏈ニルイラ埼アリ、高サ37米ノ斷崖ニシテ埼上臺形ヲ成ス◎「アムバシラレ」鼻ヨリ「ルイラ」埼ニ至ル間ノ沿岸ハ崖脚淺礁トナリ、連續シテ西方ニ1—2鏈間伸出スルヲ以テ接近スベカラズ。

ウエンロクシ灣 「ルイラ」埼ノ北東方5鏈ニ在ル小灣ニシテ深ク彎入シ灣首ニ漁舍アリ、灣口北西方ニ向ヒ幅僅ニ100米、兩濱ハ斷崖屹立シ灣内水淺ク且岩盤ナルヲ以テ小舟ノ外全ク入ルコトヲ得ズ。

此ノ灣ヨリ北方2哩間ノ海岸ハ一帯ニ臺形地ヲ成シ、險崖ニシテ奇岩淺礁沿布シ距岸2鏈以內ニ近寄ルヲ得ズ◎内方モ亦一帯ノ低臺形地ニシテ野斗路岬ニ至ル迄高キモ150米ニ上ラズ、殆ド平坦ニシテ雜樹繁茂シ顯著ナル物標ヲ見ズ。

振別錨地(フレベツ)(海圖12分圖) 「ウエンロクシ」灣ノ北方約2.3哩ニ於テ八丁島對岸ノ高サ43米凸角ト、其ノ北北東方約4鏈ニ位スル高サ46米ノ赤色土崖(遠方ヨリ振別ヲ認識スルノ好目標ナリ)トノ間ヲ灣口トシ北西方ニ面ス、此ノ灣ハ彎入2鏈、中央線ノ水深5—14.6米アレドモ實際ノ出入路及錨地ハ八丁島(高サ6.5米ノ黑色岩嶼ニシテ顯著ナリ)ト、之ニ對シテ北方約1.3鏈ニ位スル2干出岩トノ間ニ限ラルルヲ以テ、小形船舶ヲ除ク外ハ灣外水深18米以上ノ處ニ錨泊ノ要アリ◎此ノ2干出岩ハ各孤立岩ニシテ岩間水深5.4米ヨリ深ク、南西方ノモノハ干出0.3米、北東方ノモノハ低潮ニ洗フ、此ノ岩ト東方赤色土崖トノ間ハ石陂ニ依リテ連リ、半バ干出シ海藻ニ蔽ハレ能ク波浪ヲ防グ。



灣首ノ振別村落ハ往時ハ郡役所ノ所在地トシテ擇捉島中主要ノ地ナリシガ現在ハ一寒村タルニ過ギズ、此處ニ驛遞所アリ。

**コタンケシモイ** (海圖 12 分圖) 振別錨地ノ北方約 1 哩ノ海岸漁舎アル處ヲ「コタンケシモイ」ト稱シ、其ノ前面石陂ノ間小舟ヲ著クルニ適シ附近漁場中ノ要地ナレドモ好泊地ニ非ズ、函館ヨリ直航ノ小形汽船時々此處ニ寄港スルヲ見ル◎「コタンケシモイ」漁舎ノ南方石陂上ニ奇形ナル巨岩アリ。

海岸ハ「コタンケシモイ」ヨリ北西方ニ向走シ野斗路岬迄 2 哩間險岸ニシテ石陂淺礁沿布ス。

**野斗路岬** (海圖 12 分圖) 振別錨地ノ北北西方約 2.6 哩ニ斗出セル高サ 60 米ノ黑色岩角ナリ、平坦ニシテ雜草茂生シ南北ヨリ望ムトキハ臥牛ノ如シ、岬上標柱アリ、擇捉郡(留別村)ト紗那郡(紗那村)トノ境界ヲ成ス◎岬端ニ近ク高サ 25 米ノ顯著ナル巨岩アリ、**野斗路島**ト稱シ干出石陂ヲ以テ岬ニ連ル◎岬端ヨリ北西方 1 鏈間ハ石陂伸出スルモ其ノ他附近ニハ離險礁ヲ見ズ。

**珊瑚崎** (海圖 12 分圖) 野斗路岬ノ北東方約 5.5 鏈ニ斗出セル崎ニシテ、容易ニ認メ得ベキモ霧アルトキハ崎端之ニ包マレテ奇形ナル斷崖岬角ノ觀ヲ呈スルコト多ク、西方ヨリ來ル船舶ハ誤認スルコトアリ◎崎端ヨリ内方 600 米間ハ一帶ニ平坦ニシテ雜草茂リ、更ニ内方ハ隆起シテ高サ 95 米トナリ松樹繁茂シ南東方ニ向ヒ漸ク高ク恰モ障屏ノ如シ◎崎端ニ**ウトロチツプコシ**ト稱スル高サ 5.5 米岩アリ、之ト崎トノ間ハ僅ニ小舟ヲ行リ得ベク東西ヨリ望ムトキハ顯著ナリ◎崎ノ西方ハ深水ニシテ附近海底ニハ珊瑚多シ◎崎ノ沖合 5 鏈以内ヨリ東北東方ニ向ヒ屢湍潮ヲ起スコトアリ。

**ムノウシモシリ** (海圖 12 分圖) 珊瑚崎ノ東南東方約 6.5 鏈ニ在ル高サ 26 米ノ小島ニシテ、島頂雜草ヲ生ジ陸岸ト判別シ難キモ其ノ北側岩ハ鳥糞ノ爲ニ甚シク白色ヲ呈シ頗ル顯著ナリ◎此ノ島ト陸岸トノ間ハ干出石陂ニ依リテ相連續ス。

此ノ島ノ東南東方約 4.5 鏈ニ險崖岬角アリ、其ノ前面ニ高サ 12 米ノ尖岩アリテ 3 箇相竝ビ顯著ナリ。

**カシコスモイ鼻** (海圖 12 分圖) 珊瑚崎ノ東南東方約 2 哩ニ在ル高サ 36 米ノ斷崖岬角ニシテ其ノ東側岸ニ漁舎アリ◎此ノ鼻附近ヨリ南東方約 1 哩ノ**戸渡崎**(トワタラ)ニ至ル迄ノ沿岸ハ石陂沿布シ露岩竝ニ暗礁散在ス。

**留別灣** (ルベツ) (海圖 12 分圖) 戸渡崎ト其ノ北東方 5.8 哩ニ在ル**シレト岬**(高サ 38 米)トノ間ニ彎入スル大開灣ニシテ、灣口北西方ニ面シ彎入 2.5 哩、擇捉島南東岸ノ單冠灣ト腹背ヲ成ス。

留別村落ハ灣首ノ東端留別川河口ニ在リ、擇捉島中最モ人家多キ村落ニシテ、留別村役場、郵便局(電信取扱)、巡查部長派出所等アリ。

**霧** 3 月下旬ニ起リ 9 月ニ終ル、6 月至 8 月ハ最多季ニシテ時トシテ咫尺ヲ辨ゼザルニ至ルモ島ノ南東岸單冠灣ニ比スレバ甚シカラズ。

**風** 冬季ハ北西風多ク春夏ノ候ニハ南至東ノ風多シ、夏季南東風ノ強吹後ハ必ズ吹返シアルヲ常トス、秋季ハ主ニ東風強烈ニシテ 1 年中ノ荒天季ナリトス。

**流水** 明治 34 年及同 35 年ノ實驗ニ依レバ流水ハ北風、北西風及西風ニ依リ襲來シ東風、南東風及南風ヲ以テ漂去ス◎初來ノ早キハ 1 月 12 日ニシテ終去ノ晚キハ 5 月 30 日ナリ、而シテ水面上露出ノ厚サ約 0.2—1.5 米ナルモ時トシテハ大塊重積シテ 3 米餘ニ達スルコトアリ。

**灣濱** 戸渡崎ノ南側ニ小灣アリ、灣首漁舎アル處ヲ戸渡ト稱ス、灣内水深 1.8—3.6 米ニシテ底質岩多キモ小形船舶ノ好避泊地ナリ、但シ灣内中央ニ洗岩アルヲ以テ北方ニ偏倚シテ出入スルヲ可トス◎小灣ノ灣口南端ニ南北ニ 2 大岩アリ、**戸渡岩**ト稱ス、南岩ハ高サ 36 米、北岩ハ高サ 35 米ニシテ海岸ニ密接シ何レモ同形ヲ成ス。

戸渡岩ヨリ東南東方約 2.3 哩ノ**ルイビラ**崎迄ノ間ハ險岸ニシテ亂岩沿布ス、然レドモ 10 米等深線ハ距岸 2—3 鏈ニ在リテ其ノ線附近ニ離險礁ヲ見ズ。

「ルイビラ」崎ヨリ留別川河口ニ至ル灣首ハ概ネ沙濱ニシテ距岸 3.5 鏈間ハ露岩竝ニ暗礁多ク頗ル危險ナリ◎留別川ハ其ノ源ヲ有萌村落南方ノ山間ニ發シ山林泥沼ノ間ヲ流レテ灣ニ注グ、河口ハ幅約 45 米、底質岩盤ニシテ海水ノ進入スル



コト上流1湮ニ及ビ飲料ニ適セズ。

留別川河口ノ北方7鏈ニ高サ43米ノ險崖岬角アリ、其ノ間ハ淺礁多ク險惡地ナリ、岬ノ南側ヲ「シネウシモイ」ト稱シ漁場ニシテ岬上ニ旗竿ヲ建ツ。

**錨地** 錨地トシテハ「リウエンシリ」ヲ173度約5.5鏈ニ望ム底質細沙ノ處附近ヲ擧グベシト雖モ、細沙ハ石陂ヲ蔽フニ過ギザルヲ以テ錨搔キ甚ダ悪ク北至西ノ諸風ニハ頗ル不安ナリ、又陸地ハ概ネ平低ノ丘陵ニシテ留別川ノ流域ハ平地ヲ成スヲ以テ、僅ニ8軒餘ヲ隔ツル單冠灣ヨリ來ル夏季ノ偏南風モ猛烈ニシテ安全ナラズ。

**上陸所** 留別川河口中央前面ニ位スル2箇所ノ淺瀬ト右岸トノ間ハ暗岩散在スルヲ以テ、小形短艇ヲ左岸ニ沿ヒテ進入セシムレバ低潮時ト雖モ橋迄溯航シ得ベシ◎河口ヨリ北東方約300米ノ海岸ニ棧橋アリ、附近ニ暗岩アレドモ辛ウジテ棧橋ノ先端ニ短艇ヲ達著セシメ得ベシ。

「シネウシモイ」漁場前面ノ北半部ハ亂岸擴延シテ著船セシメ難キモ南方ニ偏スレバ低潮時ニモ著船スルニ便ナリ。

**登山** 留別灣ノ東側ヲ成セル高地ノ頂點ニシテ五葉松ニ蔽ハルル高サ575米ノ大平頂山ナリ、此ノ山頂ヲ過ギテ東西ニ横斷スル山道新舊2アリ、以テ留別紗那間ヲ連絡ス、其ノ道程27.5軒。

**イソバラウリ鼻** 「シレット」岬ヨリ**ピシモイ鼻**ニ至ル登山ノ北西裾岸約8湮間ハ概ネ高キ險崖ニシテ數多ノ溪流アリ、沿岸ニハ露岩及淺礁散在スレドモ20米等深線ハ距岸5鏈以內ニ在リテ離險礁ヲ見ズ、此ノ間ニハ「オタツブモイ」、「オサウス」等ノ小灣アレドモ何レモ良好ナル泊地ニ非ズ、唯南風期ニ於テ留別灣ノ強烈ナル出シ風ヲ避ケントスルトキニハ稍安全ナリトシテ時々小形汽船ノ假泊スルヲ見ル◎此ノ海岸ノ略中央ニ位スル「イソバラウリ」鼻ニ著シキ尖岩アリ、高サ23米ニシテ南西方及北東方ヨリ望ムトキハ極メテ顯著ナリ。

**紗那灣**(海圖20分圖) 上記「ピシモイ」鼻ト其ノ北東方2湮ノ**臺場ノ鼻**トノ間ニ彎入スル露開灣ニシテ、灣口北西方ニ面シ彎入約7鏈アリ◎灣首ノ兩端ニ河流アリ、南西隅ノモノハ**有萌川**ニシテ北東隅ノモノヲ**紗那川**トス、紗那

川ハ源ヲ擇捉島南東岸ニ近キ**指白山**(サシウス)(高サ1,136米)麓ニ發シ、曲流6湮ニシテ紗那湖ノ末流ヲ合シ更ニ7鏈ヲ流レテ**三角山**(高サ548米)麓ニ源ヲ發スル支流**チリセクシナイベツ**ヲ合シ海ニ注グ、紗那川上流ニハ鮭魚ノ孵卵場アリ。

有萌川河口北東方約600米ノ岬角ヨリハ石陂淺礁走出シテ北方6鏈餘ニ達シ其ノ外端ハ水深8.6米、之ヨリ外方ハ直ニ水深20米トナル◎此ノ岬角ヨリ紗那川河口ニ至ル灣首ノ内方ハ隆起シテ連丘トナリ雜樹ニ蔽ハル、其ノ沿岸ハ岩礁沿布シ3鏈以內ニ近寄ルコト危險ナリ◎紗那川河口西方約3.3鏈ノ**八丁瀬**(干出0.9米岩)附近ハ石陂更ニ北方ニ約1.5鏈間擴延ス、八丁瀬ハ少シク波アレバ破浪スルヲ以テ認メ易シ。

有萌川河口ニ有萌村落、紗那川河口ニ紗那市街地アリ、後者ハ擇捉島ノ主邑ニシテ紗那村役場、紗那郵便局(2等局)、紗那警察署、紗那測候所、驛遞所等アリ。

**氣象** 卷末氣象表第1(紗那氣象表)ニ就テ其ノ概要ヲ知ルベシ。

**海水** 紗那灣ニ於テハ平均1月下旬海岸ニ薄氷ヲ結ビ、2月中旬西風或ハ北西風ヲ以テ流氷來リ漸次相凝結シ堅密トナリ爾後數十日間ハ海上一面ノ氷原トナルコト多ク、南至東ノ風流行スルト同時ニ流失シ、4月下旬ニ至リテ全ク其ノ跡ヲ絶ツヲ例トス、昭和9年ニハ沿岸結氷初日ハ2月5日(平均ヨリ11日遅シ)、流氷初日ハ3月18日(平均ヨリ31日遅シ)、流氷終日ハ4月20日(平均2日早シ)ナルヲ驗セリ。

**目標** 下記無線電柱及地方暴風標ノ外天測點ノ南西方約220米ニ在ル神社ハ海上ヨリノ好目標ナリ。

**紗那無線電信局** 測候所ノ東方約380米ノ丘上(北緯45度13分42秒、東經147度52分55秒)ニ紗那無線電信局(固定局)アリ、落石局ト交信ス、其ノ無線電柱ハ海上ヨリノ好目標ナリ(水路誌附録第5卷參照)。

**錨地** 地方暴風標ヲ75度ニ、「ボンモイ」ノ社祠ヲ180度ニ望ム距岸5鏈、水深12.8米、底質沙ノ處ヲ可トス、但シ北至西ノ強風ニハ波浪高クシテ陸上ト



ノ交通杜絶スルニ至ルベク、保錨亦困難ナルヲ以テ速ニ外海ニ出ヅルヲ要ス。小形船舶ハ八丁瀬ト紗那川河口トノ間徑約1.5 鏈ノ區域ヲ以テ錨地ト爲スベク、此處ハ水深8.6 米ヨリ淺ク底質沙ナリ。此ノ錨地ニ到ラントスルモノハ地方暴風標ト其ノ西方著崖トヲ一線93 度ニ保視シテ進ミ、「イタオマイ」山北端ノ最高部(高サ77 米)ヲ146 度ニ視レバ直ニ之ニ向ヒ、地方暴風標ト「イブネブ」山ノ88 米高地著松トヲ一線45 度ニ視テ投錨スベシ。

**地方暴風標** 北海道廳立紗那測候所ニ地方暴風標アリ。

**上陸所** 紗那川河口ヨリ上流約150 米ノ處ニ架橋アリ、其ノ右岸東側ニ上陸所アリテ僅ニ短艇ノ達著可能ナリ。

10 **給水** 紗那川河口ハ海水進入スルヲ以テ飲料ニ適セザレドモ、會流點ヨリ「チリセクシナイベツ」ノ稍上流ニ至レバ水質佳良ニシテ飲料ニ適シ水量モ亦多クシテ短艇ニテ汲取り得。

**内岡灣(ナヨカ)** (海圖20 分圖) 臺場ノ鼻ト下記「イカバノツ」埼トノ間ニ彎入セル開灣ニシテ灣口幅約1.8 湮、彎入7 鏈ナリ。灣内北濱ハ比較的水深深ク10 米等深線ハ距岸1—2 鏈ニ在リ、北濱ノ西端**イカバノツ埼**ハ高サ10 米ノ亂岩岬ニシテ、殆ド平地ノ如ク雜草茂リ沖合ヨリ望メバ顯著ナラズ。灣内東濱ハ一帯ニ亂岩岸ニシテ淺礁遠ク擴延シ3 鏈以内ハ危險ナリ、東濱ノ北端ニ小浦アリ、浦内沿岸ハ概ネ沙濱ニシテ小村落内岡ヲ有シ浦首ニ**内岡川**開口ス。海水ニ關シテハ紗那灣ニ同ジ。

20 「イカバノツ」埼ヲ332 度5 鏈ニ望ム處ハ水深16 米、底質沙ニシテ錨泊ニ適ス、然レドモ底質ハ石陂上僅ニ沙ヲ蔽フニ過ギザルヲ以テ強キ北西錨、西風及南西風ニハ到底安全ナル能ハズ。

**散布山(チリップ)** 内岡以北即チ**散布半島**ノ脊梁山ニシテ高頂2 アリ、南頂ヲ南散布山、北頂ヲ北散布山ト稱ス、兩頂ノ中間ハ往古ノ大噴火口ニシテ四周嶮峻ナル側壁ヲ成シ黑赤若ハ茶褐色ヲ呈シ極メテ顯著ナリ、目下熄火山ナルモ明治2 年春ニハ鳴動10 晝夜ニ及ビシコトアリト謂フ。南散布山ハ高サ1,589 米、尖頂ニシテ峨々タリ、北散布山ハ高サ1,577 米、平頂ヲ成ス、此ノ2 山ノ

第74頁對面

西方ヨリ散布半島ヲ望ム

第4



南散布山  
100 度

北散布山  
93 度 19 湮

北西方ヨリ散布半島ヲ望ム

第5



オ  
ン  
ネ  
シ  
レ  
エ  
ト  
鼻  
128 度 8.8 湮

留  
茶  
留  
山  
28 湮  
125 度

山  
布  
散



半腹ニハ又數多ノ峯巒アリ、雜樹黛ノ如ク相映ジ甚ダ奇觀ナリ(第74頁對面對景圖第4及第5參照)。

**レブンベシュ川** 「イカバノツ」埼ノ北方約6.3哩ニ開口スル「レブンベシュ」川ハ、其ノ南方約2哩ニ於テ海ニ注グヤンケベシュ川ト共ニ散布山ノ同一水源ヨリ流出シ、其ノ水濁シテ青黄色ヲ呈スルヲ以テ河口ノ岩石白褐色ヲ呈シ、又末流遠ク海上1哩ノ沖合ニ達スル迄横線ヲ劃シ何レモ顯著ナリ。

「イカバノツ」埼ヨリ「レブンベシュ」川河口ニ至ル海岸ハ險崖ニシテ半バ礫濱ナリ、漁舍散在シ急深ニシテ其ノ北部ニ在リテハ距岸7鏈ノ處水深200米ヨリ深シ。

「レブンベシュ」川河口ヨリ岸線漸次北北東方ニ折レ「イカバノツ」岬ニ至ル5.5 10 哩間ハ、全ク峻壁ヲ成シ海岸ヨリ直ニ直立200米ヲ超エ其ノ直下ハ礫濱ニシテ急深ナリ。

**パラチリップ岩** 上記海岸中「レブンベシュ」川河口ヨリ北北東方1.5哩ニ在ル方形ノ巨岩ニシテ高サ62米、極メテ顯著ナリ、無數ノ海鳥常ニ群飛ブヲ見ル○此ノ岩ニ對スル海岸ニ漁舍アリ、岩礁ノ間ニ小形船舶ヲ繫泊セシムルコトヲ得。

**イカバノツ岬** 散布半島ノ最北端ニシテ北散布山ノ北麓臺形ヲ成セル處ナリ、之ヲ北方ヨリ望ムトキハ背後ニ高山聳ユルヲ以テ分明ナラザルモ東西ヨリ望ムトキハ稍顯著ナリ○此ノ附近水深甚ダ深ク距岸5哩餘ニシテ2,000米ニ達ス。

**オンネシレエト鼻** 「イカバノツ」岬ノ南東方約2哩ニ位スル岬角ナリ(第74頁對面對景圖第5參照)○此ノ兩岬間ノ海岸ハ險崖絶壁ヲ成シ甚ダ奇觀ヲ呈ス。

**海流** 上記兩岬間ノ沖合約1.5哩ニ於ケル數回ノ驗測ニ依レバ、海水常ニ北西方ニ流レ其ノ流速0.5—1.5節ニ達ス、海流ナルガ如シ。

**タニムシヨノ鼻** 「オンネシレエト」鼻ノ南南東方約1.8哩ニ位スル岬角ナリ○此ノ鼻ノ南側ニ在ル小浦ノ浦首ニ1漁舍アリ。



**紗萬部錨地**(海圖13分圖) [タニムシヨノ]鼻ノ南南東方約3.5 哩ニ斗出スル**クキドノ**埼ノ南側灣ニシテ、灣口東方ニ面シ口幅約8.5 鏈、灣入約2.5 鏈ナリ、灣内險礁ナク水深適宜、距岸2 鏈ニシテ既ニ水深18 米アリ◎灣首ノ漁舍數戸アリ、其ノ後方ハ直ニ内方ニ聳立スル南散布山ノ東麓ニシテ樹木鬱葱タル險崖ナリ、從ツテ本錨地ハ強烈ナル北西風ト雖モ能ク之ヲ遮障シ、冬季該風ノ偏吹スルトキモ頗ル安全ナリ、故ニ定期汽船ノ西航スルモノ北西風ノ爲紗那寄港ノ危險ヲ感ズルトキハ常ニ此地ニ滯泊シテ天候ノ恢復ヲ待ツ、又西風ノ爲別飛錨地ニ於テ貨物ノ積卸ヲ爲スコト能ハザル場合ニハ皆此地ニ寄港ス、依ツテ特ニ別飛ニ通ズル道路アリ。

10 **霧** 明治39年此ノ地ニ於ケル海霧ハ初來3月19日、終去10月27日ナリシト謂フ。

**海氷** 明治39年此ノ錨地ニ於テハ結氷1月7日、融解5月1日、流水初來2月1日、同終去3月15日ナルヲ示セリ◎昭和8年2月ノ調査ニ依レバ流水ハ毎年2月15日頃來リ4月下旬迄灣内ヲ閉鎖スルヲ例トスト謂フ。

**目標** 灣口ノ南端附近海岸ニ接シテ2大岩アリ、其ノ南方ノモノハ**立岩**ト稱シ高サ43米、立岩ノ南方約4 鏈ニモ同ジク海岸ニ接シテ大岩アリ、**ロウソク岩**ト稱ス、此ノ3大岩ハ何レモ目標ト爲スコトヲ得。

**錨地** [クキドノ]埼ヲ354度4 鏈強ニ望ム水深27米、底質沙ノ處附近ヲ最モ好錨地トス、小形船舶ハ尙陸岸ニ接シテ碇泊スルヲ得ベシ。

20 **給水** 灣首ニ溪水アリ、水質純良ニシテ飲料ニ適シ水量モ亦多ク短艇ニテ汲取ルコト容易ナリ、住民ハ之ヲ飲料ニ供ス。

**ボンノボリ山**(海圖13分圖) [ロウソク]岩ノ南南西方1.7 軒、海岸ヨリ内方約400米ノ處ニ在リ、高サ172米ニシテ紗萬部ト別飛トノ略中央ニ位スルヲ以テ兩錨地附近ニ於ケル最好目標ナリ。

**ニウモイ灣**(海圖13分圖) [ボンノボリ]山ノ南東麓ニ在ル小灣ニシテ灣口北方ニ面シ灣首ニ漁舍2-3アリ◎此ノ灣ノ灣口東端ヲ成ス岬角ノ前面ニ高サ8.6米ノ岩アリ、**カバチソイバケ岩**ト稱ス。

**オウヨウ港** [ニウモイ]灣ノ南南東方約6 鏈ニ在ル小灣ニシテ口幅約1.5 鏈、灣入3 鏈、港口ハ北東方ニ面スルガ故ニ北東風ヲ除ク各方向ノ風ヲ遮障スルニ足ル、然レドモ港口外中央ニ北東-南西方向ノ長サ約1.5 鏈、幅100米、最淺水深2.7米ナル淺堆アルヲ以テ、極メテ小形ノ船舶ニ非ザレバ入港スルコト能ハズ◎港首竝ニ南東濱隅ニ漁舍數箇アリ。

**別飛錨地**(ベツトブ)(海圖13分圖) [オウヨウ]港ノ南東方ニ在ル開灣ニシテ北至東ノ間ノ風ニハ全ク暴露ス◎[オウヨウ]港口ノ南東端ヲ成ス岬角ノ東隣ニ位スル**イジユ**鼻ヨリ**内保川**(水質汚穢飲用ニ適セズ)河口迄約8 鏈ノ間、海岸ニハ岩礁散布シ内方ハ直ニ散布山麓ニ接ス◎内保川河口以東ハ一帯ノ沙濱ヲ成シ其ノ後方ハ丘陵稍平坦ナリ。

内保川河口ノ北西方ニ別飛村落アリテ此處ニ郵便局(電信取扱)、巡査駐在所、驛遞所等アリ。

**霧** 紗萬部錨地ニ於ケル同項ニ同ジ。

**海氷** 紗萬部錨地ニ於ケル同項ニ同ジ。

**錨地** [イジユ]鼻ノ東方1,500米附近ハ南東風、南風、西風及北西風ヲ避ケ[ウネリ]ノ侵入スルコト少ク且底質沙ニシテ錨搔キ良好ナリ、但シ此ノ附近ハ漁期ニハ漁網ヲ定置スルコトアリ、定期船ハ[イジユ]鼻△(15米)ノ92度1,520米附近ヲ錨地トスルヲ例トス。

**地方暴風標** 別飛村落ニ紗那測候所管下ニ屬スル私設地方暴風標アリ。

**ビラ沙濱** 別飛ヨリ[ボロス]ニ至ル約14 哩ノ海岸ノ稱ニシテ東西ノ方向ニ一帯直條ノ沙濱ヲ成シ小形船舶ト難モ利用スベキ灣凹ナシ。

[ビラ]沙濱ニ接スル海面ハ皆水深適宜ニシテ底質細沙ナルガ爲、夏季偏南風時ニ於テ到ル處假泊地ト爲スニ足ル、特ニ朱須山ノ項記載ノ白色崖ノ北方ハ能ク此ノ風ヲ遮斷スルヲ以テ最好トス。

**ビラ淺堆** 擇捉島北西側ハ概シテ甚シキ深水ナルモ[ビラ]沙濱ノ沖合ノミハ淺水地遠ク北方ニ斗出シ200米等深線ハ距岸約17 哩ニ達ス。

**バラサン山** 別飛村落南方約11 軒ノ内地ニ在ル高サ934米山ニシテ、其



ノ山脈東西ニ向走シ中央最高部ニ大直立岩アリ、遠望頗ル顯著ナリ◎此ノ山ノ北東方約1 軒餘ニ位スル**フユニノポリ山**ハ高サ 375 米ニシテ平頂ヲ成シ雜樹繁茂ス。

**別様川**(ベツサマ)(海圖 13 分圖) 源ヲ「**パラサン**」山ニ發スル 3 支流「セセキ」川、中ノ川及「**アンコロ**」川ヲ河口ニ近ク相會合セシメ内保川河口ノ東南東方約 1.2 哩ニ於テ「**ビラ**」沙濱ニ開口スル河流ナリ。

**トコチャ川** 「**パラサン**」山ト「**フユニノポリ**」山トノ間ヨリ發シ北流シテ別様川ノ東方約 3.4 哩ニ於テ海ニ入ル◎河口ノ稍東方ニ於テ距岸 3 鏈ニ高サ 1 米ノ小岩**トコチャ岩**アリ、「**ビラ**」沙濱ニ於ケル唯一ノ險礁トス。

10 **朱須山** 「**ビラ**」沙濱ノ略中央ヲ北端トシ北北西—南南東ノ方向ニ全島ヲ横斷スル山脈ハ 10 數箇ノ頂部ヲ有シ其ノ 中南東岸ニ近キ最高頂ニ次デ高キヲ其ノ北方ノ朱須山(高サ 258 米)トス、山脈ノ北端附近ハ海岸ニ平行シテ數山脈ヲ成シ沙濱ニ接シテ大斷崖直立シ高サ 90 米、其ノ地質附近ト全ク異リ白色ノ鑛石ニシテ遠望最モ顯著ナリ。

**留茶留平原**(ルチャル) 上記白色崖ト「**ボロス**」トノ間ノ内方ハ有名ナル留茶留平原ニシテ、擇捉島ノ兩岸ニ互リ島ノ最狹部ヲ成ス、此ノ平原ハ數方軒間坦々トシテ唯雜草灌木ノ繁茂スルアルノミ、兩岸間ノ交通容易ナリ、故ニ夏季南東風ノ偏吹スルヤ南東岸ノ濃霧ハ直ニ此ノ地ヲ横斷シ濛々トシテ海面ヲ覆フ。

**ボロス** 「**ビラ**」沙濱ノ東端ニシテ驛遞所ノ所在地ナリ、其ノ附近ニ小瀑布 2—3 アリ、此ノ地ハ其ノ南方ニ留茶留山及**ボロス山**(高サ 404 米)アルヲ以テ稍南東風ヲ防グニ足ル◎「**ボロス**」ノ北方距岸 4 鏈ニ 1 礁アリ、最淺部水深 0.4 米、少シク風アレバ破浪ス。

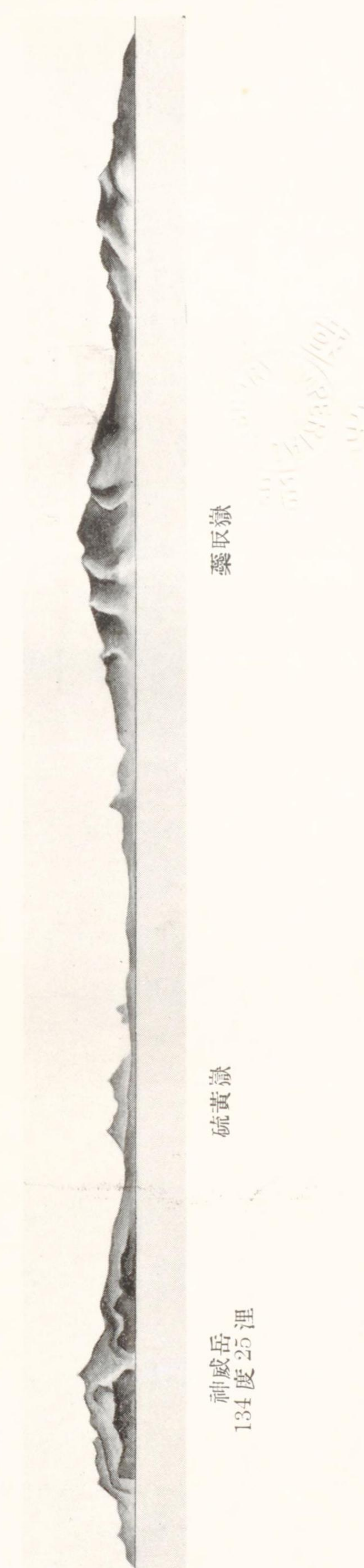
**トウロウ港** 「**ボロス**」ノ北東方 3.5 哩餘ニ在ル小港ニシテ港口北北西方ニ向ヒ幅 5 鏈、彎入 5 鏈、港口ノ東半部ハ狹水道ヲ隔テテ 4 箇ノ直立奇岩アリ、風波ヲ遮斷ス、港内狹隘ナレドモ曾テ 600 噸ノ汽船入港セシコトアリト謂フ◎港濱ニ接シテ漁舍アリ。

港首ノ内方ニ「**トウロウ**」沼アリ、長サ 1.1 哩、幅 6 鏈餘、沼ノ東側ヨリ沼心ニ

第 78 頁對面

北西方ヨリ擇捉島東端部ヲ望ム

第 6



藥取嶽

硫黃嶽

神威岳  
134 度 25 哩



向ヒ屹立 112 米ニ達スル半島斗出ス、沼ノ西側ニハ人工鮭孵化場アリ。

[ボロス]ヨリ[トウロウ]港ニ至ル間ノ海岸ハ險崖連続シ後者ノ入口ニ至リテ直立石崖ト爲ル。

**乙今牛港**(オトイマウシ) [トウロウ]港ノ北東方約 2.5 哩ニ在ル小港ニシテ灣入 5 鏈、港口北西方ニ向ヒ其ノ中央ニ小岩(高サ 4.2 米)アリ、之ヨリ石陂南西方ニ走出シテ陸岸ニ連リ港口半部ヲ閉塞シ小形船舶ノ最好錨地ヲ成ス◎港奥漁舎ノ南東方約 500 米ニ高サ 255 米ノ圓錐形峯アリ、獨立シテ顯著ナル目標ヲ成ス。

**ソキヤ灣** 乙今牛港ノ北東方約 1 哩ニ在リ、灣口幅 1.4 哩、灣入 6 鏈ニシテ灣ノ中央距岸 3 鏈ニ干出 0.6 米岩アリ◎灣内東濱ニ位スル[ソキヤ]村落ニ驛 10 遞所アリ。

**漁場** [ソキヤ]灣ヨリ北東方薬取錨地ニ至ル約 8 哩ノ間沿岸多少ノ凹凸ヲ有シ[マクヨマイ]、[フレボロ]、[ウエンロクシ]、[ラワタリ]、[トイタベツ]及[ビライシベツ]ノ各漁場アリ。

此ノ間ニ 2 險礁アリ、一ハ[ラワタリ]川河口ノ北北西方 7 鏈ニ在ルソイ礁ニシテ水深 2.2 米、礁周水深 25—31 米、底質沙ナリ、他ノ礁ハ[ソイ]礁ノ南西方 6 鏈ニ在リテ最淺部水深同ジク 2.2 米アリ、之ト陸岸トノ間ハ水深 5.4—7.3 米、底質岩ニシテ海藻繁茂ス◎此ノ附近海底凹凸甚シク海面常ニ平穩ナラズ、船舶ハ遠ク避ケテ通航スルヲ可トス。

**ソキヤ山** [ソキヤ]村落ノ東南東方約 5 軒ノ内方ニ[ソキヤ]山アリ、高サ 20 647 米ノ尖峯ニシテ好目標ヲ成ス。

**薬取岳** [ソキヤ]山ノ北東方約 5 軒ニ位スル薬取岳ハ高サ 849 米アレドモ諸山ノ中央ニ在リテ顯著ナラズ(第 78 頁對面對景圖第 6 參照)◎同山ノ北方約 1.7 軒ニ在ル高サ 811 米山ハ其ノ頂尖銳ナル三角形ノ巨岩ヨリ成リ北方ヨリ望ムトキハ最モ顯著ナリ◎此ノ 811 米山ノ北西方約 2 軒ニ高サ 589 米山アリ、其ノ頂ニ尖端 2 箇アルヲ以テ亦好目標タリ。

**薬取錨地**(シベトロ)(海圖 13 分圖) [ソキヤ]灣ノ北東方約 8.5 哩ニ在



リテ南千島方面定期航路線ノ終點地トス、然レドモ錨地トシテハ偏西ヨリ偏北ニ至ル間ノ各風ニ暴露スルヲ以テ南東風ニ對スル一時ノ避泊地タルニ過ギズ、故ニ夏季偏南東風ニ對シテハ稍安全ナレドモ北西風一度強吹セバ直ニ茂世路灣ニ避ケザルベカラズ○錨地ニ面シ藥取川ノ河口アリ、藥取川ハ源ヲ擇捉島南東岸ニ近キ藥取湖ニ發シ水量多ク散布半島以東ニ於ケル最大河ナリ、特ニ春季積雪ノ融解ニ際シ降雨アルトキハ洪水ノ狀況恐ルベキモノアリ。

藥取川河口ノ西側ニ藥取市街地アリ、藥取村役場、郵便局(電信取扱)、巡查部長派出所、驛遞所等ノ所在地ナリ、住民ハ漁業ニ從事シ夏季ハ漁業ノ爲多數ノ出稼人來ル。

- 10 霧 此ノ錨地ハ南東方ニ高山聳立スルヲ以テ海霧ハ極メテ稀ニシテ1年中10數日ヲ算スルニ過ギズ。

流水 流水ハ1月下旬北至西ノ風ヲ以テ漂來シ漸次其ノ區域ヲ擴大シ、2月上旬頃ニハ陸上ヨリノ視界内ハ一面ノ氷原ト爲リ氷塊ノ大ナルモノニ至リテ沿岸ニ於ケルガ如シ、而シテ4月上旬ヨリ中旬ニ至レバ南風、南東風、南西風等ニ依リ全部分散流去ス○明治38年ヨリ同42年ニ至ル5箇年間ノ驗測ニ依レバ流水ノ初來最モ早カリシハ1月19日ニシテ最モ遅カリシハ3月11日、退去ノ早カリシハ4月5日、遅カリシハ5月9日ナリ。

- 大黒島 藥取川河口ノ西方約1.2哩、距岸約1.3鏈ニ在リ、高サ44米ニシテ北面ハ鳥糞ノ爲白色ヲ成シ容易ニ識別シ得ベシ○大黒島藥取川河口間ニハ夥多ノ露岩及干出岩アリ、通航中水深急變スルコト多ク距岸3鏈以内ニ入ラザルヲ可トス。

八丁岩 大黒島ノ東北東方約8.5鏈ニ位スル高サ1.1米ノ露岩ナリ。

辨天島 八丁岩ヲ中央トシ大黒島ノ反對側ニ前者ト約6.5鏈ヲ隔テテ辨天島アリ、高サ22米、島周險崖ニシテ頂部ニハ僅ニ雜草ヲ生ジ最高部ニ小祠アリ、目標トナスニ足ル○辨天島ト之ニ對スル凸角「ビライト」兩側ノ海岸トノ間ハ礁脈相連リ小艇ニ非ザレバ通航スルヲ得ズ○此ノ礁脈ハ尙擴延シ辨天島ノ北西方ニ於テ水深0.4—5米ノ淺礁ヲ成ス。

錨地 八丁岩ノ17度3鏈、水深25米、底質細沙ノ處附近ヲ最良トス○小形船舶ハ八丁岩ト辨天島トノ一線以内ニ入泊スルヲ得ベシ。

上陸所 藥取川河口ハ石陂擴延シ細沙之ヲ覆ヒ僅ニ狹小ナル水路ヲ存スルニ過ギズ、故ニ水淺ク暴風怒濤ノ起ル毎ニ沙嘴ノ形狀ヲ變ジ小艇出入ノ便多ケレドモ、時ニ或ハ高潮ヲ利用スルニ非ザレバ出入シ難キコトアリ、但シ沙嘴ノ内方ニ入ルトキハ水稍深ク汽艇ノ碇泊安全ナリ○藥取川河口東側ヨリ「ビライト」西側ノ「シレエト」漁場迄ハ沙濱ニシテ、「ウネリ」ナキトキハ短艇ノ著岸容易ナリ○「シレエト」漁場ニハ其ノ前面石陂ヲ穿チテ1條ノ狹水路ヲ設ケアルヲ以テ天候ノ如何ニ關セズ小艇ノ發著安全且容易ナリ。

給水 藥取川ノ河水ハ多量ナルモ其ノ質良好ナラズ○近年村落背後ノ山麓ニ横穴ヲ穿チ之ヨリ湧出スル清水ヲ導キテ漸ク舟艇ニ供給スルヲ得ルニ到リシモ水量甚ダ少シ。

漁場(海圖13分圖) 辨天島ヨリ北東方藥取岬ニ至ル約2.8哩間ノ海岸ハ諸處險崖ヲ成シ、其ノ間「ビライト」、「ウエムモイ」、「ビンネベツ」、「チャラシベツ」ノ4漁場アリ。「ビンネベツ」ノ北方海岸ヨリ岩礁遠ク海中ニ斗出シ距岸約5鏈ニ達ス、而シテ其ノ礁端ハ數箇ノ干出岩トナリ最外端ノ干出0.3米岩ハ其ノ外側1鏈ニ於テ水深12.8米アリ、北西風ニ際シ常ニ破浪スルヲ以テ直ニ其ノ所在ヲ知ルヲ得レドモ、南東風ニ於テハ之ヲ發見シ難ク天候溟濛ノトキハ大ニ注意セザルベカラズ「チャラシベツ」漁場ノ南西方約1.5鏈ニ當リ海岸ニ接シテ小瀑布アリ、高カラズト雖モ水量多ク陸岸ニ近寄ルニ當リ良好ノ目標ト爲ル。

錨地(海圖13分圖) 辨天島ト上記礁脈トノ間約1.5哩ハ水深14.6—20米、底質細沙ニシテ南東風ニ對シテハ最モ安全ナル錨地トス。

藥取岬(海圖13分圖) 辨天島ノ北東方約2.8哩ニ於テ北西方ニ稍斗出セル黑色石崖ヨリ成リ北東方及南西方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ○本岬附近ハ海底ノ凹凸甚シク潮流モ亦定率ナキヲ以テ本岬繞航ニ際シ特ニ注意ヲ要ス。

藥取岬東側「トシラリ」漁場ノ北方距岸約2鏈ニ顯著ナル大尖岩臘虎島アリ、其



ノ最高部ハ高サ12米ニシテ南側ニ偏ス。○臘虎島ノ東方約1.3鏈ニ高サ8.8米ノ岩アリ、鳥糞ヲ以テ白色ヲ呈シ岩頂扁平ニシテ直ニ之ト臘虎島トヲ識別シ得ベク又好目標タリ。

**神威嶽(カモイ)** 擇捉島北東端ニハ神威嶽屹立シ高サ1,317米、平頂ニシテ雄大ナリ(第78頁對面景圖第6參照)○神威嶽ヨリ西方ニ走ル山脈ハ高サ979米及779米ノ2峯ヲ成シテ北西方ニ折レ、再ビ高サ639米ノ尖峯ヲ經テ高サ654米ノ尖峯ニ達シタル後絶壁トナリテ急降ス、此ノ南北ニ列スル2尖峯即チ639米山及654米山ハ顯著ニシテ南峯ノ頂ニハ著岩ヲ有ス、散布半島方面ヨリ藥取錨地ニ向ヒテ航行スル船舶ハ雲霧ノ爲神威嶽ヲ見得ザルトキニ於テモ此ノ2尖峯ヲ見ルコト多ク、且西方ヨリ望ミテ好目標ナルヲ以テ有利ナル存在ナリ○神威嶽ヨリ東方ニ向フ山脈ハ約4.5軒ニシテ「ラッキベツ」岳トナリ急降シテ絶壁ヲ成ス。

**カモイワッカ鼻** 藥取岬ノ東方約4哩ニ於テ岩壁海中ニ斗出ス、之ヲ「カモイワッカ」鼻ト稱シ擇捉島ノ最北端ヲ成ス、鼻ノ西側山腹ニ赤色險崖アリテ遠望顯著ナリ○此ノ鼻ノ兩側ニ各小港アリ、西側ノモノヲ「カモイワッカ」、東側ノモノヲ「モヨロマド」ト稱ス。

上記4哩間ノ海岸ハ神威嶽ノ北西麓ニシテ絶壁屹立シ高サ百數十米ニ達スル處アリ、其ノ直下ハ磊石濱ニシテ風波アルトキハ短艇ノ著岸容易ナラズ、此ノ間ニ2漁場アリ、「イトビリカ」及「ニューボロモイ」ト稱ス、其ノ他2—3ノ小瀑布及尖岩ヲ見ル○此ノ間ノ沿海ハ急深ニシテ20米等深線ハ距岸約2鏈ニ在リ、底質多クハ細沙ニシテ偏南風ニ際シ良好ナル避泊地トス、但シ風ノ襲來ニハ注意ヲ要ス。

**ミエクシ鼻** 「カモイワッカ」鼻ヨリ東方3.6哩ニ在ル岬角ニシテ擇捉島ノ北東端ヲ成ス○此ノ間ハ神威嶽ノ北麓ニシテ多クハ絶壁ヲ成シ「オットコムシ」、「タカイサラベツ」及「リヌイサン」ノ3漁場アリ○「オットコムシ」ノ沖合ニ離岩數箇アリ○「タカイサラベツ」ニハ高サ79米ニ達スル大瀑布アリテ遠望顯著ナリ。

### 擇捉島東岸(擇捉海峽西濱)

擇捉島北東端「ミエクシ」鼻ヨリ同鼻ノ南方直距離13哩ノ潮波鼻ニ至ル間ニシテ擇捉海峽ニ面スル海岸ナリ。

**漁場** 「ミエクシ」鼻ヨリハ海岸漸次南東方ニ向ヒ距離3.4哩ニシテ「ラッキベツ」岬ニ至ル、此ノ間ニ「ミエクシ」及「テシカモイ」ノ2漁場アリ、「テシカモイ」ヨリ「ラッキベツ」岬迄ノ間海岸ハ總テ直立セル險崖ナリ。

**ラッキベツ岬**(海圖20分圖) 擇捉島ノ東端ヲ成シ神威嶽ノ高山脈ガ東方ニ盡クル處ニシテ其ノ絶壁百數十米ノ高サニ達ス○岬端ニラッキベツ瀧ト稱スル高サ141米ノ大瀑布アリテ直ニ海中ニ落下シ遠望極メテ顯著ナリ、夏季南東風ノ偏吹スルニ當リテハ此ノ附近ハ地勢ノ影響ヲ受ケ常ニ偏南風ノ強吹ヲ見ルヲ以テ落水悉ク霧トナリテ飛散シ一大壯觀ヲ呈ス。

岬ノ内方2.8軒ラッキベツ岳ハ高サ1,207米ニシテ尖頂ヲ成ス。

**茂世路灣**(モヨロ)(海圖20分圖) 擇捉島東岸中央ニ在ル開灣ニシテ擇捉海峽ニ面ス、灣口ノ北端ヲ岩嶼イコマ磯(高サ14米)、南端ヲ後記ノ大埼トシ口幅約5哩、彎入2哩餘ナリ、灣ハ内方ニ向ヒ漸ク狭クシテ恰モ摺鉢ノ側面形ヲ成ス○灣内ハ水深ク灣首ヨリ2.5鏈ニシテ既ニ水深9.1米アリ、其ヨリ漸次水深ヲ増シ中央部即チ灣首ヨリ1哩ノ處ハ水深約36米ニシテ底質沙ナリ、而シテ20米等深線ハ約6鏈ノ處ニ在リ○灣内距岸1.5鏈以上ニハ危險ナシ。

灣首ニ注グ河流3條アリ、最大ナルヲ其ノ略中央ノ茂世路川トシ秋季ニハ多數ノ鱒、鮭溯ル、他ノ2流ハ硫黃川及ヤマベ川ニシテ何レモ灣首南端附近ニ開口ス。

茂世路村落ハ灣首ノ南隅ニ在リ、人家數戸ノ外請願巡查派出所(冬季以外)、茂世路鑛業株式會社(硫黃採掘精煉經營)等アリ。

**風** 茂世路灣附近ハ高山脈圍繞スルヲ以テ風候ニ變象ヲ現ハスコトアリ、偏東風ハ「ウネリ」ヲ來スヲ例トスルモ茂世路錨地ニ於テハ該風ヲ感ゼザルコトアリ、而シテ此ノトキ藥取ニ於テハ却ツテ陸風ノ烈シク吹下スヲ例トス、之ニ反シ藥取ニ於テハ微弱ナル偏西風吹クトキ此ノ灣ノ内外ニ於テハ偏西風烈シ



ク吹下スコトアリ、故ニ藥取ト相俟ツテ此ノ錨地ヲ利用セントスルモノハ大ナル注意ヲ要ス。

**潮流** 茂世路灣内ニ於テハ漲潮流ハ北東方ニ、落潮流ハ南東方ニ流レ、略高低潮時ニ轉流シ兩流共流速3節ニ達スルコトアリ。

**目標** 茂世路川ニ沿ヒ西方ニ狹長ナル溪谷アリ、5料ニシテ盡ク、其ノ南北兩側ニハ顯著ナル高山聳立シ山脈西方ニ連互ス、其ノ北部ニ在ルハ既記「ラツキベツ」岳、神威嶽等ニシテ、神威嶽ハ元來平頂ナレドモ灣内ヨリ望ムトキハ尖リテ見ユ、南部ノモノハ後記茂世路山、中嶽、硫黃嶽等ニシテ、硫黃嶽中腹ヨリ茂世路村落ニ至ル間ニ設ケラレタル硫黃搬出用架空索道ハ頗ル顯著ナリ

10 ○茂世路灣ハ此等ノ著峯ニ依リ遠距離ヨリ容易ニ識別シ得ベク、又斯ノ如キ好目標ト、灣首内方ニ在ル臺形山ノ顯著ナル北角(高サ373米)及茂世路村落ニ在ル茂世路鑛業株式會社煙突(數本アルモ最高ノモノヲ可トス)トニ依リテ錨地ニ到ルトキハ航行頗ル容易ナリ。

「イコマ」磯ハ之ヲ錨地ヨリ望ムトキハ其ノ容恰モ小斗出岬ノ觀ヲ呈ス。

**錨地** 此ノ灣ノ錨地ハ北北西ヨリ西ヲ經テ南南西ニ至ル間ノ各風ヲ避クルニ適シ、冬季北西風偏吹ノ間ハ假泊地トナスニ足ル、然レドモ潮流強ク海底ノ傾斜急ニシテ底質沙ナルガ爲走錨ニ對スル注意緊要ナリ○此ノ錨地ハ潮流強キモ風力強キトキハ船首風ニ向フヲ例トス、而シテ沖合ヨリ「ウネリ」來ルコト多ク船體ノ動搖ヲ免レズ、嘗テ軍艦磐城(700噸)ノ如キハ偏東風ニ伴ヒ「ウネリ」

20 大ナルトキ其ノ動搖ノ傾斜25度ニ達セリ○冬季ハ風向ニ依リ稀ニ流氷全灣ヲ閉スコトアリト謂フ。

茂世路川ノ溪谷ヲ西ニ望ム處ハ同溪谷ヨリ吹來ル偏西風ノ衝ニ當ルヲ常トス○茂世路村落ノ北東方即チ辨財埼ヲ175度5.5鏈ニ望ミ水深16—18米、底質沙ノ處ヲ最良錨地トス、此處ハ灣内ニ烈シク吹下ス偏西風ノ衝ニ當ラザルノ便アリ、而シテ村落ニ近寄ルニ從ヒ愈避風ノ利アリ○依テ吃水淺キ船舶ハ之ヨリ更ニ南西方辨財埼及硫黃川河口間ノ灣濱ニ近キ處、又ハ辨財埼南東側ノ辨財泊ニ泊スルヲ可トス、此ノ附近ハ比較的海岸近ク迄深水ニシテ且能ク諸風ヲ保障ス。

**上陸所** 灣首ハ約2湮間沙濱ニシテ之ヨリ少距離ノ間ハ遠淺ナル爲、「ウネリ」ハ風向及風力ニ關セズ之ニ激衝シテ磯浪常ニ高ク至輕風ノ際モ濱岸ニ短艇ヲ著クルコト容易ナラズ、假令「ウネリ」低クシテ著岸シ得ルトモ水中ニ入ラザレバ上陸スルヲ得ズ○其ノ他ノ灣濱ハ急深ナルモ斷崖石濱ニシテ著舟ニ適セズ。

茂世路村落前面ニ在リテハ時機ニ依リ硫黃川河口ヲ挾ミテ其ノ兩側海岸ニ魚類陸揚用棧橋ヲ設クルコトアリ、斯カル場合ニハ之ニ短艇ヲ達著セシメ得ベキモ其ノ設備ナキトキハ短艇ノ接岸困難ニシテ上陸ニハ通船及道板ヲ用フルノ要アリ。

**給水** 硫黃川ハ水質硫黃ヲ含有シ且降雨後ハ大ニ濁シテ飲料ニ適セザレドモ、茂世路川及「ヤマベ」川ハ水質佳良ニシテ飲料ニ適ス、但シ濱岸ニ「ウネリ」激衝スルヲ以テ短艇ニ汲取ル作業ハ容易ナラズ。

**大埼(海圖20分圖)** 茂世路灣口ノ南端ニ於ケル最斗出岬ナリ○埼端ニ近ク2箇ノ干出岩アリ、ニツ磯ト稱シ沖寄ノモノハ1米干出ス○此ノ埼1鏈以外ハ急深ナリ。

**茂世路山(海圖20分圖)** 大埼ノ内方ニ3峯東西ニ竝列ス、最東峯ハ茂世路山(高サ1,125米)ニシテ1尖頂ヲ有シ、中央峯ハ高サ1,113米、中嶽ト稱ス、最西峯硫黃嶽ハ高サ989米、常ニ白煙ヲ噴出シ又附近ニ硫黃ヲ散布シ黄色ヲ呈ス、現在硫黃採掘中ニシテ、此ノ山ノ風下側ヲ航スルトキハ硫黃ノ臭氣ヲ感ズ(第78頁對面對景圖第6參照)。

**潮波鼻(シオナミ)** 大埼ヨリ海岸ハ6鏈南南東方ニ向ヒタル後南西方ニ折レ3.7湮ニシテ潮波鼻ニ至ル、此ノ間石濱ニ次グニ峭立セル斷崖ヲ以テシ屈曲少ク茂世路山ノ餘脈ハ海岸ニ沿ヒテ南方ニ走り處々高峻ナル絶壁ヲ成ス。

潮波鼻ハ峭壁ヲ成シ1離岩アリ、鼻ノ内方ハ直ニ隆起シテ高サ422米ノ尖峯ウカボイ山ヲ成シ認識容易ナリ○此ノ鼻ノ北側ニ少シク彎入セル處アリ、「ウカボイ」ト稱シ漁場アリ、其ノ前面ハ附近ニ於ケル唯一ノ上陸所ナリ○此ノ鼻附近ハ潮流激衝スルヲ以テ其ノ烈シキトキニハ小舟ノ通航甚ダ困難ナリ。



潮波鼻端ノ西方約4鏈ニ高サ1米ノ1岩嶼アリ、其ノ外方3鏈以外ハ急深ナリ。

### 擇捉島南東岸

擇捉島東岸ノ南端潮波鼻ヨリ同島西端「ベルタルベ」岬ニ至ル間ニシテ太平洋ニ面スル海岸ナリ。

**脊卸岬** 潮波鼻ヨリ海岸ハ約3哩ノ間西方ニ向ヒテ稍弓形ヲ成シ脊卸岬ニ達ス、此ノ間ハ大埼潮波鼻間ト同ジク石濱ニ次グニ峭立セル斷崖ヲ以テシ處々高峻ナル絶壁ヲ成ス。

脊卸岬ハ斷崖高角ニシテ其ノ1鏈以外ハ急深ナリ◎岬ノ後方ハ直ニ隆起シテ高サ568米ノ臺形山ヲ成ス。

脊卸岬以西ノ海岸ハ地勢稍平低トナリ長サ12.5哩ノ大弓形灣ヲ成シテ年瑠璃岬ニ至ル◎脊卸岬ヨリ年瑠璃岬ヲ經テ留茶留平原迄ノ間ハ磊石岸ニシテ、斷崖直ニ岸ニ逼リ常ニ波浪高シ、沿岸定住者ナク又道路ナキ難境ナリ。

**チコハイ** 脊卸岬ノ西方5哩餘ニ在ル小灣ニシテ灣口ニ石陂擴延セル爲、偏南風ノ外ハ普通ノ天候ニ於テ小舟ノ假泊ニ適シ岸深クシテ破浪セズ、著船容易ナリ、夏季ハ漁業ニ従事スル者ノ移住假屋ヲ設ク。

**猿屋** 「チコハイ」ノ西方1.3哩ニ在ル小灣ニシテ灣奥ハ沙濱ヨリ成リ底質沙ナルモ岸淺クシテ常ニ破浪高ク著岸困難ナリ。

**年瑠璃** 猿屋ノ西南西方6哩餘ニ在ル小灣ニシテ幅3鏈、彎入2鏈、灣内水深5.4米、底質沙ナリ、小形船舶ハ偏南風ニ克ク避泊シ得ベキモ遠淺ニシテ舟艇ノ著岸ニ便ナラズ◎此ノ地夏季ハ海藻採集者ノ移住假屋ヲ見ル。

此ノ地ヨリ内方ノ平低山脈ヲ越エ北西岸「トウロウ」ニ通ズル山道アリ。

**年瑠璃岬** 年瑠璃ノ南南西方約1哩ニ斗出スル平低岬角ナリ◎岬端ニ近ク數箇ノ著シキ小岩島竝列ス、其ノ大ナルモノヲ立岩(タテ)ト稱シ南西方若ハ北東方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

**留茶留山** 年瑠璃岬ノ西方約12軒餘、留茶留平原東側ニ在ル高サ443米ノ扁平ナル圓形山ニシテ南方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ(第74頁對面對景圖第5

参照)。

**乙知志岬**(オッチシ) 年瑠璃岬ノ西南西方約11哩ニ在ル高峻ナル崖岬角ニシテ樹木ナク遠望恰モ島ノ如シ。

**磯谷岬** 乙知志岬ノ南西方5哩餘ニ位シ南方ヨリ遠望スレバ孤立セル大家屋ノ如ク見ユル顯著ナル大岩山ニシテ高サ約77米アリ◎岬兩側ノ沙濱ト岬トヲ以テ各小灣ヲ形成ス、其ノ東側ノモノヲ磯谷ト稱シ底質沙ナリ、磯谷灣奥ニ溪流アリ、其ノ水飲料ニ適スレドモ岸淺クシテ破浪アルヲ以テ舟艇ノ著岸ニ便ナラズ。

**眼鏡岩** 磯谷岬ノ南西方約1.5哩ニ在ル1簇ノ岩嶼ヲ稱ス、其ノ最外岩ハ距岸7鏈ニシテ上部ニ洞穴アル爲此ノ名アリ、此等岩嶼ハ相擁シテ自然ニ小灣ヲ成シ、南東風ノ外諸風ヲ遮障シ小舟ノ假泊ニ適スレドモ水淺ク低潮ニ際シテハ小舟ト雖モ出入困難ナリ。

**程越岬** 磯谷岬ヨリ後記禮文尻岬迄20哩間ハ斷崖磊石岸相連リ殆ト歩行シ難キ險惡ナル海岸ナリ、但シ其ノ中央ヨリ稍西寄ニ位スル小田崩(オダモエ)ニハ定期汽船臨時ニ寄港スルコトアリ。

程越岬ハ小田崩南西方ノ凸出岬ニシテ此ノ海岸中最モ斗出セル岬角ナリ。

**小田崩山** 程越岬ノ北方ニ顯著ナル山脈アリテ其ノ西麓ハ單冠灣東濱ヲ成ス、此ノ山脈東端ノ最高山ヲ小田崩山ト稱シ高サ1,206米アリ、焔火山ニシテ硫黄ヲ産ス◎小田崩山ノ西隣ニ立岩山アリ、高サ999米、山頂ハ尖銳ニシテ奇形ヲ成シ其ノ西方ニ2尖岩屹立シ顯著ナリ◎立岩山ノ西隣ニツラリップ山アリ、高サ1,157米ニシテ時々白煙ヲ噴出シ、其ノ山頂鋸形ヲ成シ其ノ南側及東側ニ顯著ナル赤崖アリ、上記諸峯ハ何レモ良好ナル目標ナリ。

**單冠灣**(ヒトカップ) 擇捉島南東岸ノ略中央ニ位シ彎入4哩餘ニ及ベドモ、灣口ハ禮文尻岬ト其ノ西方「ウエンシリ」岬トノ間約6哩ニ及ビ、開闊ナルヲ以テ南東風及南風竝ニ向岸方向ノ「ウネリ」ニ對シテハ遮障ノ途ナシ◎灣口ノ東端禮文尻岬ハ程越山(ホトコエ)(高サ792米)ヨリ南方ニ延出セル山梁ノ盡クル處ナリ、險崖高ク海ニ臨ミテ聳立シ磊石岸ヲ繞ラシ岬端ニ近ク高サ13米ノ



露岩ヲ有ス ○ 灣口ノ西端**ウエンシリ岬**ハ高サ13米ノ平低臺地ニシテ遠ク恩根登山麓ニ連ル原野ノ北東端ナリ、此ノ岬ノ附近3鏈間ハ岩礁延出シ海藻繁茂ス。

灣内東濱ハ禮文尻岬ニ續ク險崖、又灣内西濱中「ウエンシリ」岬以北4湍間ハ土地低キ礫濱ニシテ灣奥一帯ハ沙濱ナリ○灣内中央ハ水深約40米アリ。

灣内北東隅ニ年崩(トシモエ)村落、同南西隅ニ丁寧(テエネエ)村落アリ、共ニ留別ヨリ内保ニ至ル郵便線路ニ當リ海苔ノ特産地タリ、夏季ニハ漁業關係者ノ來住ニ依リ人口ノ増加ヲ見ルヲ例トス○年崩村落ハ戸數約60ヲ算シ郵便局(電信取扱)、巡查駐在所、驛遞所、東洋捕鯨會社事業部等アリ、此ノ地ヨリ年崩湖  
10 (11月ヨリ3月末迄ハ堅氷ヲ以テ閉サレ氷上ノ交通自在ナリ)岬ヲ經テ留別ニ至ル道路ハ馬車交通シ得、又兩地間ニハ電話ヲ通ズ○丁寧村落ハ之ニ比スレバ劣リ戸數約20、驛遞所アルノミ。

**氣象** 9月ヨリ翌年4月迄概ネ偏北風吹き他ハ偏南風トス、2月上旬ヨリ3月中旬ニ至ル間時々強烈ナル南東風吹き灣内ニ大ナル波浪ヲ伴フ○一般ニ南風ニ對シテハ波浪小ナレドモ東偏スレバ波浪大トナルヲ常トス、住民ハ東風ヲ「ヤマセ」、南西風ヲ「ヒタカ」ト稱シ共ニ灣内ニ三角波ヲ起スヲ以テ之ヲ嫌フ○北西風強吹シテ後風向南東ニ變ジタル際ハ其ノ間ニ於テ約1日ノ晴天ヲ見ルヲ例トス。

12月中旬ヨリ翌年3月中旬迄雪多ク積雪90糎ニ及ブ、4月ハ晴天多ク5月ハ雨季ナレドモ降雨量甚ダ少シ、5月末ヨリ7月中霧多シ。  
20

**潮流** 單冠灣内ニ於テハ流速微弱ニシテ大潮期ト雖モ1節ニ達スルコトナシ、從ツテ其ノ流向モ風向ニ左右セラレ一定セズ。

**海水** 冬季結氷スルコト殆ド無ク、流水ハ4月頃時々灣内ニ入ルコトアルモ稀ナリ。

**目標** 單冠灣東西ノ諸峯及灣内西濱ノ臘虎島(高サ2.7米)ハ入港ノ際良好ナル目標ナリ○丁寧錨地ニ至ルニハ**ウエムベツ川**又ハ**恩根別川**ノ河口右岸ノ斷崖ハ目標ト爲スヲ得ベシ。

**錨地** 灣内東方及西方ハ高キ連山アル爲能ク風ヲ遮ル○錨地ハ年崩及丁寧各村落ノ前面ニ在リ、何レモ錨搔キ良シカラズ、殊ニ南方ノ風強キトキハ走錨ノ虞アリ、注意ヲ要ス、然レドモ風向ニ應ジテ何レカヲ選ベバ稍風波ヲ避クルニ足ル○年崩ニ於テハ距岸6鏈、水深約10米、底質沙ノ處ヲ可トス、年崩湖ニ通ズル北方ノ諸山ハ低ク、留別附近ノ低地ヲ通ジテ來ル偏北風ハ其ノ力極メテ強ク「ウネリ」ヲ伴フコトアルモ、錨泊ニ危險ヲ感ズル程度ニ達スルコトハ少キガ如シ○丁寧ニ於テハ距岸3鏈、水深12米、底質沙ノ處ヲ可トス、丁寧ノ海岸ハ偏南風及偏北風共波浪少キヲ以テ見レバ、兩者ノ比較上小形船舶錨地トシテハ丁寧錨地ノ方可ナルガ如シ○夏季ニハ東洋捕鯨會社ノ捕鯨船(300噸級ノモノ)數隻主トシテ年崩錨地ヲ根據地トシテ從業スルヲ見ル。  
10

**上陸所** 灣内ニ於テハ風向ノ如何ニ關セズ安全ニ著岸シ得ルハ「ウエムベツ」若ハ丁寧ナレドモ、稍遠淺ナル爲低潮ノ際ニハ著岸シ得ズ、年崩及「ヤンケトウ」ニハ和船引揚用ニアレドモ何レモ南方ヨリノ風濤ニ暴露シ著岸シ得ザルコト多シ、殊ニ低潮時ニハ距岸遠キ處ニ於テ岩石水面ニ現ハルルヲ以テ近接スルコト能ハズ、其ノ他ノ沙濱ハ何レモ遠淺ニシテ「ウネリ」襲來シ殆ド著岸シ得ル處ナシ。

**地方暴風標** 年崩村落ニ紗那測候所管下ニ屬スル私設地方暴風標アリ。

**給水** 年崩附近ノ年崩川及上記「ウエムベツ」川ハ其ノ水飲料ニ適セザレドモ水量豊富ニシテ雜用ニハ充分ナリ、前記恩根別川ハ水質良好多量ニシテ飲料ニ適ス。  
20

**恩根登山(オンネノボリ)** 「ウエンシリ」岬ノ西南西方約16軒ニ在リ、高サ1,431米、山脈ハ之ヨリ南西方ニ向ヒ單冠山ニ續ク○恩根登山ヨリ南東方ニ分派セル高山脈ハ4.5軒ニシテ南北2頂峯ヲ成シ、其ノ南峯ハ顯著ナル尖頂ニシテ高サ562米ニ達ス、山脈ハ尙南東方ニ延ビ「チカッポロ」海岸ニ於テ著シキ險崖ト爲リ海ニ臨ム、此ノ險崖ハ高峻ニシテ附近海岸ノ平低ナル爲遙ニ望ムトキハ單冠灣口ノ西端ト誤認スルコトアルベシ。

**具谷(グヤ)** 「ウエンシリ」岬ノ南西方約7.5湍ニ在ル小灣ニシテ、南方ニ



面スル灣口ハ其ノ兩端ヨリ岩礁擴延スル爲頗ル狹隘且淺水ニシテ小舟ト雖モ低潮ニ近キトキハ通過困難ナリ。灣首ハ沙濱ニシテ波浪靜穩ナルヲ以テ好上陸所トス、此處ニ驛遞所及漁舍アリ、留別ヨリ内保ニ至ル郵便線路ニ當ル處ナリ。「ウエンシリ」岬ヨリ具谷ニ至ル間ハ恩根登山ヨリ延下セル高サ15米内外ノ平臺地ニシテ海岸ハ沙濱及磊石ヨリ成リ其ノ間丁寧川河口(「カンケカラウシ」ノ北東方約1哩)及「チカッポロ」前面ニハ淺礁アリテ沖合ニ擴延シ距岸8鏈ニシテ水深7.7—8.6米アリ。

**野塚岬** 具谷ノ南西方約3哩ニ在ル平低岬角ニシテ樹木ナシ。岬ノ北側野塚川ノ左岸ニ1家屋アリ、電信工夫ノ休泊所ニシテ沖合ヨリ認め得ベシ。岬ノ南西方6鏈間ハ淺礁擴延シ其ノ最外方水深5米ナリ。

**入里節岬**(イリリブシ) 野塚岬ヨリ入里節岬迄約6哩ノ海岸ハ稍凹凸アリテ平低ノ沙濱若ハ礫濱ナリ、海上亦隱險多ク距岸6鏈間ハ近寄り難シ。

入里節岬ハ岬頂稍高く高サ30米。本岬ノ東方1.3哩ニ平頂ノ孤立礁アリ、長サ幅各約1.5鏈、最淺水深6.8米、礁周ハ直ニ深クシテ水深16—38米トナル。本岬ノ南方約9鏈ニ水深18米ノ孤立礁アリ、礁周ハ水深21—29米ナリ。

入里節岬ノ西方5鏈ニ入里節アリ、留別ヨリ内保ニ至ル郵便線路ニ當ル處ニシテ驛遞所及漁舍アリ、此ノ地ノ前面ニ在ル小岩嶼辨天島ノ東側ハ波浪稍平穩ニシテ上陸ニ便ナリ。

**ウルモベツ岬** 入里節岬ヨリ本島ノ西端「ベルタルベ」岬ニ至ル間ノ海岸ハ殆ト險崖絶壁相連リ波浪常ニ高クシテ天氣平穩ノ日ト雖モ殆ト著船ノ地ナシ。入里節岬ヨリ南西方約9哩ニ「ウルモベツ」岬アリ、内方ヨリ派出セル山脈ノ斷崖トナリ海ニ臨メル處ニシテ高サ197米ナリ。岬ノ北東方6鏈ニ鳥島アリ、5箇ノ孤立岩ノ簇集セルモノナリ、其ノ最高岩ハ高サ51米ニシテ遠望顯著ナリ、四周ハ深ク水深18—42米アリ。

「ウルモベツ」岬ノ南側ニウルモベツ川アリ、内方ノ「ウルモベツ」沼ニ源ヲ發シ紅鱒ノ溯上スルコト多キヲ以テ有名ナリ。岬ノ南西方5鏈ニ「イラミザル」ト稱スル處アリ、此處ニ漁舍アルモ極メテ平穩ノ日ニ非ザレバ舟艇ノ引揚困難ナリ。

**ブツウ岬** 「ウルモベツ」岬ノ南西方2.6哩ニ在ル樹木ナキ岬角ナリ、岬端ニ接シ岩嶼アリ。岬端ヨリ内方ハ直ニ山勢隆起シテ**ロッコウ山**(高サ912米)ニ連ル。

岬ノ西方1哩餘ノ「チャロイソラッキ」ト稱スル處ニ瀑布アリ、斷崖ニ懸リテ飛散シ遠望顯著ナリ。

**ロッコウ沙濱** 「ブツウ」岬ノ西方約4.5哩ニ於テ灣入部ノ奥ニ位スル沙濱ナリ。沙濱前面ノ灣ハ偏北風ヲ保障シ稍假泊ニ適スト謂フ。

「ロッコウ」沙濱以西「ベルタルベ」岬ニ至ル間ハ全ク著船シ得ル處ナシ。

**シカラガラシ岬** 「ブツウ」岬ノ南西方14哩ニ在ル斷崖高角ニシテ「ベルタルベ」山麓ノ南端ナリ、稍褪赭色ニシテ崖上極メテ狹隘ナル馬脊形ヲ成ス。岬附近ハ海驢及海豹ノ類6月、7月頃分娩期ニ於テ無數ニ群集ス。

此ノ岬附近ハ一般ニ海深く距岸約1哩ニシテ水深100米ニ達ス。

**潮流** 「シカラガラシ」岬至「ベルタルベ」岬間附近ニ於テハ海岸ニ沿ヒテ漲潮流ハ南西ニ、落潮流ハ北東ニ流レ流速3—4節ヲ超ユルコトアリ、其ノ強流時ニ於テハ此等岬角附近ニ競潮ヲ生ズ。

### 擇捉海峡

擇捉海峡ハ擇捉島ト得撫島トノ間ニシテ太平洋ト「オホツク」海トノ通路ヲ成ス、擇捉島東岸ヲ其ノ西濱トシ得撫島伸津岬ヲ其ノ東端トシ最短幅「ラッキベツ」岬、伸津岬間ニ於テ22哩アリ、200米等深線ハ擇捉島側ニ於テハ僅ニ距岸約1.5哩ニ在ルモ、得撫島側ニ於テハ約10哩ノ沖合ニ在ルヲ以テ、深水部ハ水道西寄幅約 $\frac{1}{3}$ ノ處ニ偏シ最短幅部ニ於ケル最深水深936米アリ。海峽西濱ニハ絶エテ危険ナキモ、東端ニ於テハ伸津岬ヨリ南西方2哩ノ間水深20米以下ノ石壁伸出ス。

**氣象** 嘗テ某船ガ2月中擇捉海峡ノ南方及擇捉島南東側ニ於ケル航海中實驗報告スル所ニ依レバ、此ノ附近ニ於ケル天候ハ概シテ晴天多ク雪ハ毎日降ルモ長キハ5—6時間、短キハ數十分ニシテ霧レ長ク降り續クコト稀ナリ、又夏季ニ於ケル霧ノ如ク濃密ナラザルガ故ニ距岸1—2哩ニ接近スレバ陸影ヲ發見



シ得ルコト多シ◎流行風ハ北西ニシテ風力4—5ヲ普通トス、晴雨計下降スルトキハ一般ニ風力増加シ吹雪ノ來襲稍多ク陰雲四方ヲ閉塞シ天候不良ナリ、晴雨計上昇スルニ從ヒ天氣次第ニ快晴トナリ北西風ハ漸衰スルモ、時々偏北東風又ハ偏南東風強吹スルコトアリ、而シテ不良ノ天候數日繼續スレバ其ノ後快晴ノ天氣亦數日繼續シ風波多少平穩ナルガ如シ、又風若シ南東ヨリ吹始ムルコトアレバ通例左轉シテ北東ヨリ北ヲ經テ北西トナルノ傾向アリト謂フ。

### 潮流及海流

未ダ精測ヲ經ザレドモ擇捉海峡ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流レ、高低潮後1—2時ニ轉流スルモノノ如シ、然レドモ海峡ノ南北兩口附近ニ在ル寒暖2流ノ影響ヲ蒙リ海水ノ流ハ甚ダ不規則ナリ、即チ夏季ノ驗流ニ依レバ「ラッキベツ」岬ノ東方約13哩ニ於テハ南流ハ流速2節ヲ超エ低潮後約2時ニ北流ニ轉ゼシモ擇捉島ノ距岸2—3哩ニ於テハ海水ハ殆ド常ニ南方ニ流レ、「ラッキベツ」岬ノ沖合ニ於テハ流速4.5節ニ達シ、得撫島距岸數哩迄ニ於テハ海水ハ常ニ北方ニ流レ流速4.8節ニ達スルヲ驗セシコトアリ。大正3年5月至9月ノ間軍艦武藏ハ屢擇捉海峡ヲ通過シ時々強速ノ海流若ハ潮流ヲ驗シタリ、霧中航行ノ際ハ大ニ警戒ヲ要ス、其ノ通過中何等流壓ヲ感得セザリシコト4回(内2回ハ水道中央、2回ハ東側ニ於テ)、4節ノ北西流ヲ感ゼシコト1回、6節ノ北流ヲ感ゼシコト1回、4—5節ノ北流ヲ感ゼシコト2回(以上ハ總テ水道ノ東側ニ於テ)ニシテ、強潮流ハ偏南風強吹後數日間持續スルガ如ク平靜ナル天候ノ後ニハ一般ニ流速微弱ナルガ如シト謂フ◎要スルニ潮流ハ寒暖兩流ノ流勢ニ影響ヲ生ズルコト大ナリ、即チ東方ヨリ來ル潮流ハ寒流ノ力ヲ増シ西方ヨリ來ル潮流ハ暖流ノ力ヲ助ケ兩者交變轉シテ流勢ニ變化ヲ起サシムルモノノ如シ。

擇捉海峡ニ於テハ海岸附近ト沖合トノ水溫ノ差顯著ナラズ、是寒暖兩流ノ混合甚シキニ因ルナラン、然レドモ尙兩溫度ノ差ハ沖合ニ少ク海岸附近ニ多キヲ見ル。

### 流水

擇捉海峡ニ於ケル流水ハ概ネ2月末頃ヨリ始リ5月中旬ニ至レバ其ノ跡ヲ絶ツヲ例トス。

## 第4編

### 千島列島中部〔中千島〕

本編ニハ千島列島中部即チ擇捉海峡ヨリ溫彌古丹海峡ニ至ル間ノ各島ノ記事ヲ収録ス◎千島列島中部ハ俗ニ中千島ト稱シ農林省所屬吏員ノミ常住スル區域ナリ、政府ハ此ノ區域ニ於テ海獸保獲並ニ養狐事業ヲ經營シ一般船舶ノ猥リニ寄島スルヲ禁止ス。

行政上ハ擇捉海峡ヨリ北得撫水道迄ノ諸島ヲ以テ得撫郡、北得撫水道ヨリ牟知海峡迄ノ諸島ヲ以テ新知郡、牟知海峡以北千島列島北部ヲ合セ占守郡トス、昭和10年10月1日ノ國勢調査ニ依ル人口ハ得撫郡29(男23、女6)、新知郡32(男17、女15)、占守郡2,820(男2,530、女290)ニシテ、得撫郡及新知郡ノモノハ前記農林省吏員及其ノ家族ナルモ占守郡ノモノハ千島列島北部ノ漁期間來集者其ノ大部分ヲ占ム。

### 諸海峡ノ潮流

得撫島以北ノ諸海峡ニ於ケル潮流ハ一般ニ北西方及南東方ニ流レ不著シクシテ1日僅ニ2回ノ轉流ヲ見ルコトアリ、潮流ノ状態ハ概ネ次ノ如シ、即チ春秋ノ大潮期ニハ南東流ハ低潮前約4—5時ヨリ低潮後1—2時迄、北西流ハ高潮前4—5時ヨリ高潮後1—2時迄各約6時間流ル、夏季大潮期ニハ轉流ハ1日2回アルノミニシテ、南東流ハ午前ノ低潮前約6時ヨリ低潮後約2時迄約8時間流レ流速大ナレドモ、北西流ハ約16時間流續シ流速小ナリ、冬季大潮期ニハ夏季大潮期ニ於ケル午前ト午後トヲ換ヘタルモノト爲ル、又小潮期ニハ春秋ニハ不著甚ダ大ナレドモ夏冬ニハ不著大ナラズ、狹水道ニ於テハ強烈ナル流勢アリ、又列島南東側ニハ南西方ニ流ルル海流アリ、北西岸ニハ北東方ニ向フ海流アリ、處々ノ海峡ニ於テ海水ノ流動ニ影響ヲ及ボス。



**遠隔ナル洋上ノ破浪** 汽船神海丸ハ大正3年6月羅處和島ノ南東方約250  
 哩ナル北緯45度39分、東經158度0分ノ處ニ於テ、暗礁ノ存在セルガ如キ破  
 浪ヲ發見セリト報告セリ○昭和6年5月汽船盛祥丸ノ報告ニ依レバ同船ハ前記  
 ノ位置ヲ屢通航セシモ破浪ヲ認メタルコトナシト謂フ、又昭和9年8月汽船「ノ  
 ルホウク」丸及同年10月汽船日枝丸ハ何レモ此處ヲ通過セルモ其ノ事ナシト報  
 告セリ(本洲沿岸水路誌第1卷第226頁沖合ノ水深ノ項參照)。

### 得撫島(ウルップ)

千島列島中部ニ於ケル最大島ニシテ擇捉海峽ヲ隔テテ 擇捉島ノ北東方約22哩  
 ニ位ス、南西—北東ノ長サ約65哩、最大幅約11哩、火山島ニシテ今尙島ノ中  
 10 央附近ニ硫氣ノ噴出スルヲ見ル、島ノ縱長中央線ニ高山脈連互シ之ヨリ北西側  
 ニハ山峯隆起スルニ反シ、南東側ハ緩傾斜ヲ成シテ海岸ニ達ス、全山大樹林ナ  
 ク這松、熊笹等最モ多ク繁茂ス、島周ニハ沙濱少ク島ノ南西端ノ部分ヲ除ケバ  
 平地ナシ○島岸ハ一般ニ險崖ヲ成シ海岸ニ沿ヒ俗ニ「オニワカメ」ト稱スル  
 海藻水面ニ浮泛シ屢5—6哩ニ互リテ茂生ス、島ノ南西部沿岸ニハ特ニ多ク遠  
 ク之ヲ望メバ岩礁ノ如ク舟行困難ナリ、又島ノ北西岸ニ於テハ距岸1哩以外ハ  
 急深ナルモ、南東岸ハ距岸1哩以上ニ擴延セル淺礁岩嶼アルヲ以テ沿岸ノ航行  
 ニハ警戒ヲ要ス。

島岸ハ一モ安全ナル泊地ヲ有セズ、唯稍灣形ヲ成シテ僅ニ一時ノ假泊地ト爲シ  
 得ベキモノハ二子島泊地、床丹灣、鐘灣及見島灣ヲ舉ゲ得ルニ過ギズ、何レモ  
 20 島ノ北西岸ニ在リ。

農林省養狐場番舎ハ北西岸ノ床丹灣、見島灣及南東岸ノ小舟港ニ在リ○本島ニ  
 於ケル獸類ニハ陸ニ狐、鼠等、海ニ海豹、海驢等アリ、鳥類ニハ陸ニ鳥、鶯、  
 鶺鴒等、海ニ鴨、「エトピリカ」、鶉ノ類、魚類ニハ鱒、鮭等ヲ主トス。

**氣象** 大正3年ヨリ同4年ニ互ル夏季ノ實驗ニ依レバ、5月ヨリ7月迄  
 ハ天候一般ニ平穩ニシテ偏南風流行シ偏北風ハ極メテ稀ナリ、此ノ期間ニ於ケ  
 ル當地方ノ平均氣壓ハ概シテ低ク其ノ傾度ハ極メテ緩ナルヲ以テ烈風以上ノ風  
 ヲ誘起シタルコトナシト雖モ、8月下旬ヨリハ漸次平均氣壓ノ上昇ヲ來スト共

ニ屢猛烈ナル強風ノ影響ヲ受ク、9月中旬ニ及ベバ氣候寒冷トナリ漸次偏西風  
 ヲ増シ北西岸ハ波浪常ニ高シ、秋分時ニハ風向變ジ易ク北東至東ノ風ハ常ニ雨  
 及惡天ヲ伴ヒ晴雨計屢744耗ニ降下ス、然レドモ風向東又ハ南南東ニ變ズルト  
 キハ晴雨計ノ下降停止シ暫ク無風ノ後上昇ヲ始メ、同時ニ風力加ハリ最高772  
 耗ニ達スルヲ常トス、斯カル場合ノ錨地ニハ二子島泊地ヲ選ブヲ可トス○5月  
 中ハ殘雪海岸ニ存在シ殊ニ高嶺頂ハ積雪2.7米ニ及ブ所アリ、尙屢降雪ヲ見タ  
 ルモ、6月ニ入リテ氣溫ノ上昇スルニ從ヒ其ノ融解急速ニシテ、7月ニ到リテハ  
 溪谷ノ一部ヲ除ク外雪ヲ見ズ、山頂ニ殘レル白雪モ8月ニ入レバ概ネ消失ス、然  
 レドモ溪間ニハ周年殘雪ヲ存ス○雨ハ6月、7月、8月ノ3箇月ハ甚ダ多キモ  
 其ノ量比較的少シ。

霧期ハ5月至9月ノ間ニシテ特ニ6月至8月ニ於テ顯著ナリ、濃厚ニシテ濕氣  
 多キ霧ハ殆ド雨ニ類ス、島ノ南東岸ニ於テハ偏南風時一般ニ霧ヲ豫期シ得ベク、  
 北西岸ニ於テハ風向、風力ニ關セズ常ニ霧帶漂蕩シ執拗ニシテ去來常ナキヲ見  
 ル、又6月、7月ニ於テハ低クシテ濃密濕潤ナレドモ時ニ山峯ヲ露出シ、8月、9  
 月ニ於テハ霧稍高ク海岸、高角ヲ望ミ得ルモ山ノ中腹以上ハ常ニ霧帶ニ包マル  
 ○霧ノ來襲ハ晴雨計ニ依リ豫知スルヲ得ベク上昇ノ極ニ達セバ概ネ快晴又ハ晴  
 天ナルモ、其ノ下降スルヤ霧ヲ伴ヒ氣壓ノ變化少キトキハ霧モ亦停滯スルガ如  
 シ○海面ニ近キ霧ハ午前9時ヲ過グレバ薄ラダカ若ハ霧ルルコトアルモ此ノ時  
 機ニ至リ尙去ラザルモノハ概シテ終日霧ルルノ機ナク屢晝夜連續シテ數日ニ互  
 ルコトアリ、殊ニ南東岸ニ多シ。

### 潮流

未ダ精測ヲ經ザルモ 得撫島北西岸ニ於テハ 擇捉海峽、南得撫水道  
 附近ヲ除キ一般ニ漲潮流ハ南西方又ハ西方ニ、落潮流ハ北東方又ハ東方ニ流レ  
 流速1.5節ニ達ス、然レドモ風候海流等ノ影響ヲ受クルコト大ナリ。  
 南東岸沖合ニ於テハ漲潮流ハ南西方ニ、落潮流ハ北東方ニ流ル、沿岸ニ於テハ  
 漲落兩流ノ流向ハ場所ニ依リテ異ルモ流速微弱ニシテ1節ヲ超エズ風候、海流  
 等ノ影響ヲ受ク。

是ニ由リテ沿岸航行中往々意外ノ潮流ニ會スルコトアル事實ニ留意スルヲ要



ス。

### 得撫島北西岸

得撫島ノ南西端伸津岬ヨリ同北東端鳥ノ尾岬ニ至ル間ニシテ〔オホツク〕海ニ面スル海岸ナリ。

**伸津岬**(ノブノツ) 得撫島ノ南西端ニシテ平臺地ノ突端險崖ヲ成シテ海ニ臨ム。岬端及其ノ兩側ニハ距岸8鏈以內ニ多數ノ岩礁存在シ、且石陂ヲ成シテ南西方ニ延出スルコト2哩ニ及ビ、其ノ間水深20米以下ニシテ不規則ナリ、石陂ノ略中央距岸7鏈ニ常時破浪スル岩アリ。此ノ附近一帯ニ〔オニワカメ〕茂生ス。

- 10 伸津岬ノ北方1.2哩ニ**外ノ岩**ト稱スル高サ20米ノ小岩嶼アリ、北西方ヨリ望メバ其ノ形獅子ノ如シ。外ノ岩ノ南東方對岸ニ小灣入アリテ舟艇ノ著岸ニ適ス。外ノ岩ノ北東方1.1哩ニ高サ13米ノ**内ノ岩**アリ、2離岩竝立シ北西岩ハ高サ15米、南東岩ハ高サ13米ナリ(海圖1017分圖参照)。

**潮流** 伸津岬端ヨリ2哩以內ニ於テハ漲落兩流共強烈ニシテ危險ナル激湍ヲ起ス。本岬沖合ニ於テハ漲潮流ハ北北東ニ流レ、落潮流ハ之ニ反シ高低潮後1—2時ニ轉流スルモノノ如シ、然レドモ海流ノ影響ヲ受ケテ海水ハ常ニ北北東方ニ流レ流速4.8節ニ達セシコトアリ。

- 二子島泊地**(フタゴシマ)(海圖1017分圖) 伸津岬ノ北東ナル内ノ岩ト其ノ北東方約2.7哩ノ二子島トノ間ニ在ル泊地ナリ。二子島ハ高サ52米ニシテ平臺地ヲ成シ〔エトピリカ〕無數ニ棲息ス、島ノ南東方ハ岩石點在シテ本島ニ連續シ其ノ間淺礁多クシテ水路ナシ、岩石中最モ島ニ近キ1尖岩ハ高サ33米ニシテ顯著ナリ。

二子島ノ南東方對岸ニ高サ164米ノ顯著ナル岩崖アリ、其ノ南西側約5鏈、**鷲ノ巢**北側ニ水流アリ、水量豊富ニシテ飲料ニ適ス。該岬ノ南西方約1.2哩距岸約2鏈ニ1尖岩アリ、其ノ形釣鐘ノ如ク高サ25米ニシテ顯著ナリ。

二子島ノ南方約7鏈、水深18米ノ處ニ偏西ノ強風以外ノ各風ニ對シ假泊シ得ベキ小形船舶ノ泊地アリ、此處ハ水深適度ニシテ底質亦良好ナリ、但シ潮流稍

強ク船首風ニ立タズ船體ノ動搖大ナルコトアレドモ先ヅ春夏ノ候ノ安全錨地ト稱スルヲ得ベシ、大正3年5月至9月間軍艦武藏ハ屢此ノ地ニ錨泊セリ。

**潮流** 二子島ノ南西方1—2哩間ニ於テハ北東流ハ低潮後2—3時ヨリ高潮後2—3時迄、南流ハ高潮後2—3時ヨリ低潮後2—3時迄流レ流速1節ニ達ス。

**高崎** 二子島ノ北東方約1.6哩ニ在ル高角ニシテ其ノ南方ハ著シキ褐色崖ヲ成ス。崎ノ前面約4鏈ニ連續シテ岩石羅列ス、其ノ最南ノ最高岩ハ高サ14米ナリ。

高崎ト其ノ北東方約8哩ノ高角**赤崎**トノ間ノ海岸ハ磊石岸多ク、直上概ネ高キ險崖ヲ成シ平地少ク其ノ間處々ニ溪流アリ。此ノ海岸中高崎ヨリ3哩餘ニ灰白色ノ險崖アリ、顯著ニシテ目標ト爲スベシ、險崖ノ前面ニハ長サ5鏈ニ互リテ露岩散點シ其ノ最高ナルモノハ高サ6米ニシテ、最西端ニ在ルモノハ高サ3.8米ナリ。同海岸中赤崎ニ近キ部分ハ赤色ノ岩崖ナリ、此ノ岩崖中赤崎ヲ距ル約1.7哩ノ處ノ前面至近ノ海中ニ**玄武岩**アリ、高サ46米ノ尖形岩ニシテ南方ヨリ望メバ顯著ナリ。

**山峯** 赤崎ノ南方約6軒ノ内方ニ**二見山**(高サ1,319米)アリ、岩山ニシテ北方ハ險崖ト爲リ南方ハ急傾斜ヲ成ス、二見山ヨリ北東方ニ高山脈連互シ中ニ尖峯數箇アリ。山脈中二見山ノ東方約5軒ニ高サ1,348米ノ山峯アリ、全山這松繁茂シ最モ目標ニ適ス。此ノ山ノ北東方約5.2軒ニ**白妙山**(高サ1,325米)アリ、赤褐色ヲ呈セル高峰ナリ。白妙山ノ北東方約3.3軒ニ**白旗山**(高サ1,308米)ト稱スル高臺山アリ、全山這松ヲ生ジ黑色ヲ呈ス。

**高瀧** 赤崎ノ北東方3哩ニ在リ、高キ險崖ヨリ落下シ顯著ナリ。

**イワンイ** 崎(海圖1017分圖) 赤崎ノ北東方約5.2軒ニ在ル磊石岸角ニシテ直上ハ高崖ニ接ス。崎ノ北方約3鏈ニ高サ2.6米ノ岩アリ、又其ノ内方ニ高サ16米ノ灰白色尖岩アリ、此ノ附近ニ於テ最モ顯著ナル高岩ナリ、該2.6米岩ノ西方約1鏈ニハ常ニ破浪スル岩アリ。

**ピリカモヘ** 崎(海圖1017分圖) 「イワンイ」崎ノ東方7.5鏈ニ在ル尖銳ナ



ル高角ニシテ褐色ヲ呈ス。此ノ崎ノ前方ニハ距岸約1鏈ノ間岩盤廣延シ其ノ西方ノ岩ハ最高ニシテ高サ5.6米ナリ。

**床丹灣**(海圖1017分圖) 「ピリカモヘ」崎ト其ノ北東方約8哩ノ温泉崎トノ間ニ在ル弓形開灣ニシテ、灣口北西方ニ面シ灣入約1.5哩ナリ。灣濱一帯ハ磊石礫岸ニシテ距岸3鏈ノ間海藻及淺礁多ク床丹川河口附近ノ沙濱ヲ除ク外著舟不便ナリ。○**床丹川**ハ河口ヨリ上流約2鏈ニ於テ床丹湖ニ連ル、湖水ハ飲料ニ供シ得ベク、湖ノ中央水深ハ12.8米ニ達スルモ、河口内淺水ナルヲ以テ高潮時ニ限リ僅ニ小舟ヲ入レ得ルニ過ギズ。

此ノ地ニ農林省所屬ノ養狐場番舎アリ。

- 10 **風** 5月至7月中ハ床丹低地ノ吹キ風盛ニシテ南東風力4—5ニ達スルコトアルモ、是單ニ温泉崎附近及床丹川河口ノ地方風ニ外ナラズ、灣外ニ向フト共ニ風向變化シ風力鎮衰スルヲ常トスト謂フ。

**潮流** 床丹沖合1—3哩ニ於テハ漲潮流ハ南西方ニ、落潮流ハ北東方ニ流レ、南西流ハ流續時間長ク流速1.5節ニ達スルモ、北東流ハ高潮後數時間流續スルノミニシテ流速1節ヲ超エズ。

- 目標** 灣首床丹川河口ノ南西側海岸ニハ距岸150米ニ互リ露岩アリ、扁平ニシテ黒褐色ヲ呈ス。○同川河口ヨリ南西方1哩餘ニ於テ海岸ニ接シテ高サ86米柱狀ノ顯著ナル岩崖山アリ、又其ノ前面距岸1.3鏈ノ海中ニハ高サ1.1米ノ岩アリ。○**床丹川**河口ノ北東方約6鏈ニハ顯著ナル沙崖アリ、床丹灣入港時ノ好目標ナリ。○灣奥ニ於テ最モ凸出スル**臺場崎**ハ高サ47米ノ圓岬角ニシテ裾濱磊石ヨリ成ル、此ノ崎ノ南方約1.2軒ノ内方ニ隆起スル**臺場山**ハ高サ542米、全山這松茂生シ其ノ北側ニハ著シキ岩崖アリ。○灣口ノ北東端**温泉崎**ハ高サ138米ノ險崖岩岬ニシテ磊石ノ裾濱ヲ有ス、崎ノ南方ニハ顯著ナル赤色ノ岩崖アリ、該岩崖中ニ硫黃温泉ノ湧出シテ落下スル處アリテ其ノ附近白色ヲ呈ス。

**錨地** 床丹川河口ヨリ302度8鏈、水深20米、底質細沙ノ處附近ヲ可トスベシ、河口ヨリ北西方約4鏈間底質岩ニシテ水淺ク且錨地附近ハ潮流稍強キモ夏季偏南風時ハ概シテ安全ナリ、但シ海底ハ沖ニ向ヒ急傾斜ヲ成セルヲ以テ

注意ヲ要ス。

**上陸所** 上陸所ハ床丹川河口ノ北東側ヲ最良トスルモ、水流ノ増減及風浪ノ強弱ニ依リ常ニ其ノ河口ヲ變ジ海上平穩ナルトキノ外著陸困難ナリ。○温泉崎ノ南方約1哩ノ沙濱ハ天候良キトキニ限リ著舟シ得ベシ。

**八丁澗** 温泉崎ヨリ北東方2.8哩ニ海岸ヨリ突出セル顯著ナル岩盤アリ、其ノ北側ニ在ル礫濱ヲ八丁澗ト謂ヒ小舟達著ノ好適地ナリ、八丁澗ノ南側ニハ小川アリ、水量多ク飲料ニ適ス。○八丁澗ノ前面約4鏈ニ高サ2米ノ岩アリ。温泉崎ヨリ八丁澗ニ至ル間ハ磊石岸ニシテ直ニ斷崖ヲ成シ諸處ニ瀑布アリ、著舟所ナシ。

**アリムイ岬** 八丁澗ノ北北東方約1.1哩ニ在ル高角ニシテ、尖形ヲ成セル岩角連立シ南方ヨリ望メバ顯著ナリ。○岬ノ北北東方9鏈、距岸約4鏈ニ**鷗島**アリ、高サ15米ノ孤立セル尖岩嶼ナリ。

**山峯** 温泉崎ヨリ南東方約3軒ノ内地ニ圓錐形山アリ、**丸山**ト稱ス、高サ501米、這松ヲ生ズ、下記硫黃山ノ連山霧中ニ埋没セルトキノ好目標タリ。○丸山ヨリ連リ其ノ北東方約2.5軒ヲ南端トシテ3嶺南北約1.5軒ニ連互スルアリ、總稱シテ**硫黃山**ト謂フ、北嶺ハ高サ990米、尖頂ニシテ最モ目標ニ適ス、南嶺ハ高サ999米ニシテ東側ニ著シキ岩崖アリ、形摺鉢ノ如シ。○硫黃山南嶺ヨリ連續シ南東方約2.5軒ニ**双岑山**アリ、稍同形ヲ成セル釜伏形ノ2高山ニシテ西頂ノ高サ1,026米ナリ。○双岑山ヨリ主脈ハ北東方ニ向ヒ數多ノ高嶺ヲ形成ス、其ノ中**尖山**ハ高サ844米ニシテ双岑山ヨリ約11.3軒ノ處ニ位シ同山ニ次ギ北西岸ニ於ケル好目標タリ。

「アリムイ」岬ノ東方約4軒ニ圓頂山アリ、**摺鉢山**ト謂ヒ高サ562米、全山這松ニテ黒色ヲ呈ス。

**名古島** 「アリムイ」岬以北ハ海岸線北東方ニ向フト約9.5哩ニシテ「スタテン」岬ニ至ル、其ノ間海岸ハ概ネ磊石濱ニシテ斷崖連續シ「アリムイ」岬ヨリ2哩ノ間ハ處々ニ瀑布アリ。○兩岬間ノ中央ヨリ稍北寄ニ於テ距岸約5鏈ニ名古島ト稱スル岩嶼アリ、其ノ北西部ニハ高サ92米、遠望角塔ノ如キ奇岩聳



立シ、南西部ニハ高サ79米ノ尖頂アリテ遠望顯著ナリ、「エトピリカ」群棲ス。

**得撫富士** 名古島對岸ヨリ南東方約4軒ノ内方ニ得撫富士アリ、高サ1,326米、得撫島中床丹川以北ニ於ケル最高峰ニシテ遠望富士山ニ似タリ。

**鐘灣**(ツリガネ)(海圖1014分圖) 床丹灣ノ北東方約20哩ニ在リ、往時ノ名稱ハ「オトイマモイ」灣ナルモ今ハ使用セズ、得撫島中ノ最大灣ニシテ「スタテン」岬ヲ灣口ノ南西端トシ伸岬ヲ同北東端トスル開灣ナリ、口幅約6哩、彎入約2.5哩ニシテ灣口北西方ニ面ス、灣濱ニ接シテ高山連互シ灣内甚ダ深水ナルモ灣首ニ至レバ底質細沙ニシテ錨搔キ良ク水深18米内外ノ處ニ好錨地ヲ得ベシ。

10 **風** 夏季ハ東至南東ノ風多ク時ニ強烈ナル風アリ。

**潮流** 鐘灣ニ於テハ一般ニ漲潮流ハ灣首ニ向ツテ流レ、落潮流ハ之ニ反スルモ流速微弱ニシテ風候等ノ影響ヲ受クルコト大ナリ、又灣外約5哩附近ニ於テハ漲潮流ハ西方ニ、落潮流ハ東方ニ流レ流速1節ヲ超ユルコトアリ。

**目標** 入港ノ際顯著ナル目標ハ西岩、灣首鐘川河口南方高サ229米山直下ノ崖及鐘岩等トス◎其ノ他目標タルベキモノヲ次項以下ニ舉グ。

**スタテン岬** 灣口ノ南西端ニシテ其ノ形石地藏ノ如キ高サ94米ノ岩頭ヲ有シ頂上ニハ雜草ヲ生ズ◎此ノ附近距岸2—3哩ノ間海藻密生シ海底險惡ナリ◎岬ヨリ東方約5哩ニ當リ高サ11米ノ巨岩海岸ヨリ突出シ其ノ前面ニ**姉岩**(高サ3.3米)、**妹岩**(高サ2.7米)ノ兩岩竝立ス。

20 「スタテン」岬ノ南南西方約2.8軒ニ**牛頭山**(高サ807米)アリ、岩頂ニシテ顯著ナリ◎牛頭山ノ南東方約2軒ニ**赤山**(高サ1,100米)アリ、赤禿ニシテ顯著ナリ。

**磯鼻** 「スタテン」岬ノ東方1.7哩ニ在ル高サ11米ノ岩岬角ニシテ附近ニハ奇形ナル熔岩重疊ス◎鼻ノ西方瀧川ノ上流ニハ溫泉ノ湧出スル處アリ。

磯鼻ノ南方約3軒餘ニ**地獄山**(高サ1,017米)アリ、活火山ニシテ常時水蒸氣ヲ噴出スルモ其ノ場所ハ一定セズ◎地獄山ノ背後(南南西方約1.5軒)ニ**極樂山**アリ、高サ1,220米(海圖1017参照)。

**東岩** 磯鼻ノ東方1.9哩ニ在ル高サ14米ノ岩岬ニシテ其ノ西方2.5哩ニハ高サ7米ノ**西岩**アリ、共ニ熔岩ニシテ附近一帶ニハ岩岬多シ◎東岩ノ東側ハ口幅約5.5哩、彎入約4.5哩ノ小灣ヲ成ス、此ノ小灣ノ西濱ニ近ク干出0.9米ノ平坦ナル岩礁内ノ瀨アリ、之ト西濱附近ノ干出岩トノ間ニハ小舟ノ通路アリ◎内ノ瀨ノ南方約1.5哩ニ海岸ニ接シテ**潮見岩**アリ、高サ6.1米、尖頂ヲ有シ顯著ナリ◎小灣灣首ノ七曲川ハ鐘灣灣濱ノ諸流中最モ鱒多キ河流ナリ。

小灣ノ灣口東端ニハ**鉢卷岩**アリ、高サ7.3米ノ尖岩ニシテ附近ニ4箇ノ露岩アルモ此ノ岩最モ高シ◎鉢卷岩ノ北西方約1哩ニ水深0.9米ナル岩礁アリ、「ウネリ」アルトキハ破浪ス。

小灣灣首ノ南東方約1.7軒ニ**烏帽子山**(高サ283米)アリ、其ノ北方及西方ハ峻峻ナリ◎烏帽子山ノ東北東方約3.5軒ニ**岩見山**(高サ708米)アリ、其ノ山頂ノ北方約650米ニハ突起セル岩山アリ、高サ638米ニシテ最モ顯著ナリ。

**伸岬** 鐘灣口ノ北東端ヲ成ス高角ニシテ高サ224米、絶壁ヲ成ス◎岬ノ北西方ニ之ニ近ク鐘岩アリ、海中ニ直立セル高サ101米ノ峻峻ナル奇岩ニシテ其ノ形破鐘ノ如ク遠望顯著ナリ。

伸岬ノ東方約4.5軒ニ尖頂ヲ有スル**鐘山**聳立ス、其ノ西側ハ中腹以上殆ド直立セル斷崖ニシテ兩尖頂間ハ常ニ土崩ヲ成シ高サ南頂ハ1,222米、北頂ハ1,217米ナリ◎鐘山ノ南南西方約2.5軒ニ在ル高サ688米ノ山峯ハ其ノ西方灣内ヨリ望メバ三角形ノ尖頂ヲ成シ顯著ナリ。

**上陸所** 灣首鉢卷岩西側ノ小灣ニ注グ**年越川**ノ河口(其ノ東方溪谷内ニ舊漁舍アリ)及同岩東北東方約2軒ノ鐘川ノ河口附近ハ共ニ沙礫濱ニシテ小舟ノ著岸容易ナリ◎其ノ他「ウネリ」ナキトキハ灣濱一帶ニ海藻及岩石多キ處ヲ除キ他ハ著濱シ得ベシ。

**給水** 灣内ニ注グ數多ノ小川ハ水質佳良ニシテ飲料ニ供シ得ベク又短艇ニテ汲取容易ナルモ、沼川以西ノ河水ハ其ノ源ニ活火山アルヲ以テ水質良好ナラズ。

**劍埼** 伸岬ヨリ北東方2.5哩ノ劍埼ニ至ル迄ハ海岸概ネ磊石岸ニシテ其ノ



中間距岸7.5 鏈ニ高サ45 米ノ尖岩烏帽子岩海中ニ孤立ス、其ノ形烏帽子ノ如ク鐘岩ト相俟ツテ遠望顯著ナリ◎劍埼ハ高角ニシテ高サ數十米ノ斷崖ヲ成シ數箇ノ岩石崖下ニ在ルヲ以テ顯著ナリ。

**獅子岩埼** 劍埼ヨリ北東方約4.5 哩ノ獅子岩埼ニ至ル間ハ海岸嶮峻ニシテ岩石多ク僅ニ大崩山ノ北東方ニ當レル約8 鏈ノ間ニ沙磧濱アルノミ◎**大崩山**ハ劍埼ノ東方約4.2 軒ニ位シ高サ739 米、其ノ北側ハ崩壞シテ赤色ヲ呈シ遠望顯著ナリ◎獅子岩埼ハ細長キ突出岬ニシテ尖端ニ數多ノ高岩アリ、大ナルモノハ高サ33 米アリ、其ノ北方ニ獅子形岩アリ、附近ハ石陂ニシテ海豹等ノ海獸群棲スルヲ見ル。

10 **見島灣** 灣口ハ獅子岩埼ヲ西端トシ大三頭山ノ山麓ニ當レル臺地ノ突出部ヲ東端トス、水深適度ノ小灣ニシテ口幅約1 哩、彎入5 鏈、北方ニ露開ス◎鐘灣以北ニ於テハ此ノ灣以外適當ノ假泊地ナク、殊ニ天候良好ナルトキハ知理保以、武魯頓各島ヲ望ミ得ベク、錨泊ノ儘ニテ此等ノ島嶼竝ニ得撫水道ニ於ケル霧ノ狀況ヲ知ルニハ最適ノ處ナリ◎此ノ灣ハ夏季偏南風屢強吹スルコトアルモ概シテ夏季ノ風浪ニ對シ避泊地ト爲スニ足ル、又灣ノ背面ハ高山ヲ以テ蔽ハルルガ故ニ偏南風時濃霧ノ際ト雖モ灣口ノ沖合ニ達スレバ霧霽ルルコト多シ◎潮流ハ灣外ニ於テ強キコトアレドモ灣内ニ於テハ風向潮流ノ方向ト相反スルトキ之ガ爲假泊中船體ノ動搖ヲ生ズルガ如キコト稀ナリ。

灣内東濱ニ近ク海中ニ突出セル高サ21 米ノ尖岩蠟燭岩ハ好目標タリ◎灣首約20 6 鏈間ハ沙濱ニシテ其ノ略中央ニ海面川アリ、此ノ河ニハ鱒及「ヤマベ」甚ダ多シ、河ニ沿ヒテ少シク平地アリ、河口附近ハ短艇ノ著岸容易ニシテ河口ハ高潮時ニ短艇ヲ入レ得ベク河水ハ飲料ニ適ス。

大正4 年夏季中軍艦武藏ハ屢此ノ灣ニ寄泊シ常ニ蠟燭岩ヲ105 度距離約5 鏈ニ望ム水深21 米底質沙ノ處ニ投錨セリ。

此ノ地ニ農林省所屬ノ養狐場番舎アリ。

**大三頭山** 見島灣灣首ノ南東方4.5 軒ニ在ル山峯ニシテ其ノ頂ハ南北ニ長ク3 頭アリ、北峯ハ高サ873 米、中央峯ハ同867 米ナリ◎大三頭山ノ北東方約4

軒ニ**小三頭山**アリ、3 箇ノ著峯ヲ有シ遠望顯著ニシテ其ノ北峯ハ高サ436 米ナリ。

**鷗島** 見島灣以東ノ島岸ハ概シテ險崖ノ下ニ磊石濱多ク又泉濱ニ於テ沙濱ヲ見ル外一般ニ石陂多シ、此ノ海岸中見島灣口東端ノ東方約2.5 哩ニ位スル海岸ノ突出部ハ高サ38 米、雜草ヲ生ジ遠望小島ノ如ク黑色ヲ呈ス。

上記突出部ノ北東方約8 鏈ニ鷗島アリ、高サ5.9 米ノ岩嶼ニシテ遠望扁平ナリ、鷗群棲ス◎鷗島ノ南東方約3 鏈ニ高サ3.1 米ノ岩嶼アリ、之ト海岸トノ間ハ礁脈ヲ以テ連結ス、尙同方向約1.2 哩ニハ高サ1.3 米ノ小岩アリ。

**二子岩島** 鷗島ノ東方約3.4 哩ニ在ル2 岩嶼ニシテ其ノ西方ノモノハ高サ131 米及97 米ノ2 尖頂ヲ有シ、東方ノモノハ高サ86 米、頂ハ扁平ニシテ摺鉢形ヲ成ス◎2 島ノ中間ヨリ南方ニ奇形ノ洞岩アリテ石門ヲ成ス◎上記131 米頂ヨリ西南西方約1 哩ニ洗岩アリ、附近ニハ海藻多ク礁脈ハ南方海岸ノ干出岩ト連レルモノノ如シ。

二子岩島ノ對岸ニ在ル泉濱ハ長サ約2 鏈ノ沙濱ニシテ其ノ西部ノ沙中ヨリ常時泉水ヲ湧出ス、此ノ地以西島ノ尾岬ニ至ル海岸中ニ於ケル唯一ノ清水ニシテ水質佳良ナリ、飲料ト爲スヲ得、但シ高潮ノトキハ海水之ヲ掩フ。

**鳥ノ尾岬** 得撫島ノ北東端ニシテ狹長平坦ナル陸舌端ナリ、岬端ハ高サ31 米ノ險崖ヲ成ス◎岬ノ内方ニ沙丘(高サ42 米)アリ、平坦ナル陸舌上ニ隆起スルヲ以テ海上ヨリ望ミ顯著ナル目標ナリ◎岬ニ接シ小舟ノ通路アルモ潮流強キトキハ通航危險ナリ。

岬端ヨリ東北東方ニ4 箇ノ小嶼及數多ノ岩礁飛石ノ如ク散列ス、其ノ中最大ナルモノヲ**平島**ト稱シ高サ24 米アリ◎礁脈ハ更ニ之ヨリ北方ニ1 哩餘、東方ニ約1.5 哩、各突出シ海底險惡ニシテ激湍アリ◎附近ニハ海藻繁茂シ海豹、海馬甚ダ多シ。

**潮流** 得撫島北西岸見島灣以東ニ於テハ漲潮流ハ東方ニ、落潮流ハ西方ニ流ルルモノノ如ク流速2.5 節ニ達ス。

鳥ノ尾岬沖合ノ潮流ニ就テハ第108 頁南得撫水道ニ於ケル潮流ノ項ヲ參照スベ



シ。

**得撫島南東岸**

得撫島ノ北東端ノ尾岬ヨリ同南西端伸津岬ニ至ル間ニシテ太平洋ニ面スル海岸ナリ◎南東岸ハ一帯ニ高崖岸ニシテ磊石多ク沖合ニ數多ノ淺岩アリ、且北西岸ニ比シ海藻ノ繁殖著シク海岸ノ接航極メテ危険ナリ、夏季ハ偏南風ノ爲常ニ浪高ク小舟ノ達著所ハ皆無ナラザルモ汽船ニ對スル安全ナル泊地ナシ。

**吉野濱** 烏ノ尾岬ヨリ穴崎ニ至ル約24哩ノ海岸ハ概シテ高サ30米以上ノ險崖ニシテ岸線ノ屈曲少ク、海藻繁殖シ「ウネリ」ノ爲平穩ナルコト稀ナリ、從ツテ小舟ト雖モ著岸容易ナラズ、殊ニ20米等深線ノ外方ニ在リテモ昆布瀨、竹松礁等點礁存在スルヲ以テ沿岸ノ航行ニハ警戒ヲ要ス。

此ノ海岸中烏ノ尾岬ヨリ南西方約3.7哩ニ吉野濱ト稱スル沙濱アリ、其ノ前面ニハ岩礁多キモ海上平穩ノトキハ小舟ヲ著岸セシメ得ベク、之ヨリ陸路北西岸ノ泉濱ニ到ルハ容易ナリ◎烏ノ尾岬ト吉野濱トノ間ノ略中央ニ於テ島岸ニ接シテ高サ22米ノ尖岩**人形岩**アリ、其ノ形護謨人形ノ如ク遠望顯著ナリ。

**潮流** 吉野濱沖合2—3哩ニ於テハ漲潮流ハ東方ニ流ルルモノノ如ク流速1.5節ヲ超ユ。

**昆布瀨** 吉野濱ノ南方約2哩ニ於テ距岸約1.4哩ニ在ル點礁ニシテ水深2.7米、昆布繁茂ス。

**中岬** 吉野濱ノ南西方約4.6哩ニ在ル比較的突出セル險崖岬ニシテ高サ23米アリ。

**黒石濱** 中岬ノ南西方約1.5哩ニ在ル礫濱ナリ、南方入口ノ兩側ニ岩礁アリテ風濤ヲ遮屏ス、故ニ小舟ニ對シテハ南東岸中穴崎以北ニ於ケル唯一ノ泊地ニシテ著岸容易ナリ◎黒石濱ノ南方約1.5哩、距岸8鏈ニ水深8.6米ノ暗礁アリ、之ヨリ礁脈島岸迄連リ礁上昆布ヲ生ズ。

**山峯** 黒石濱ノ西方約5.5軒ニ**海鼠山**(高サ858米)アリテ目標ニ適ス◎海鼠山ノ北西方約4軒ニ**海面山**(高サ1,137)米アリ、3頂ヲ有シ南東岸ヨリ望メバ雄大ニシテ好目標タリ◎海鼠山ノ南方約2.2軒ニ高サ484米ノ岩山アリ、3

頂ヲ有シ遠望顯著ナリ◎484米山ヨリ南西方約4.2軒ニ**四方山**(高サ590米)アリ、尖頂ヲ有シ顯著ナリ。

**日和崎** 黒石濱ノ南西方約5哩ニ在ル高サ39米ノ險崖岬角ニシテ遠望顯著ナリ◎日和崎ノ南側ニハ之ニ接シテ露岩2箇ト其ノ西隣ノ**鷹島**(高サ36米)トアリ、前者ニハ海豹及海驢群棲ス。

**竹松礁** 日和崎ノ南東方約1哩ニ在ル點礁ニシテ礁上水深4.1米、昆布ヲ生ジ周圍急深ナリ。

**兄岩及弟岩** 日和崎ノ南西方約1.3哩ニ當リ海岸ニ接シテ2箇ノ高岩アリ、其ノ日和崎ニ近キ方ヲ弟岩ト謂ヒ高サ14米、他ヲ兄岩ト稱シ高サ21米、共ニ遠望顯著ナリ◎兄岩ヨリ南南西方約1哩ニ破浪岩アリ、「ウネリ」ノ爲常ニ破浪シ近ヅキ得ザルヲ普通トス、其ノ附近一帯ニ礁脈擴延スルモノノ如ク昆布繁茂シ距岸1哩ニ及ブ。

**淺川沖錨地** 日和崎ヨリ南西方約6哩ニ於テ淺川河口ノ東方約1哩、水深18米内外ノ處ハ底質細沙ナルヲ以テ假泊ニ適ス◎淺川河口ノ西方約6.4軒ニ在ル高サ602米ノ山峯ハ尖頂ナルヲ以テ目標ト爲スニ足ル。

日和崎ヨリ下記穴崎ニ至ル海岸ハ沙礫濱ナルモ常ニ「ウネリ」アルヲ以テ平穩ナラズ、淺川河口南南西方ニ在ル小流口ノ北方海岸ノミハ比較的靜穩ニシテ、小舟ニテ著岸シ得ベク該小流ノ水ハ飲料ニ供シ得ベシ。

**鵜ノ岩** 淺川河口ノ南方約1.4哩、距岸約4鏈ニ位スル高サ6.3米ノ岩ニシテ、岩頂ハ鳥糞堆積シテ白色ヲ呈シ顯著ナリ◎鵜ノ岩附近ハ海底岩礁多ク礁脈東南東方ニ約1.5哩擴延シ、昆布繁茂セルヲ以テ容易ニ識別シ得ベク、礁脈ノ外端ハ水深14米アリ。

**穴崎** 淺川河口ノ南方2.7哩ニ突出セル高サ51米ノ岩岬角ニシテ、南西方ヨリ望メバ岬端ニ大ナル洞穴アリテ顯著ナリ◎崎ノ北側ニ接シテ高サ25米ノ顯著ナル岩アリ、其ノ他崎ニ接シテ小尖岩アリ。

**小舟港** 穴崎南側ノ西隅ニ在ル小灣入ナリ、灣口南東方ニ面シ幅約1鏈アリ、灣入約3鏈ニシテ灣内水深5.9米ニ達シ南東方ノ風浪ヲ除ケバ300—400



噸級船1隻ノ假泊ニ適ス、但シ灣口ニ近ク一帯ニ海藻茂レルヲ以テ入港ニ注意ヲ要ス。

此ノ地ニ農林省所屬ノ養狐場番舎アリ◎昔時此處ニ土人數十名穴居セシコトアリト謂フ。

**尖岩** 穴崎ヨリ南南西方約1.3哩ノ海中ニ孤立セル尖岩アリ、高サ28米、小舟港入港時ノ好目標タリ、農林省所屬監視船霧中小舟港入港ノ場合ニハ先ヅ橈艇又ハ機動艇ヲ卸シ之ニ依リテ本岩ヲ發見シタル後港口ニ向フト謂フ◎該尖岩ノ西方約8鏈ニ暗岩アリ、常ニ破浪ス。

**中央崎** 穴崎ヨリ南西方約10哩ノ中央崎ニ至ル間海岸ハ殆ド礫石及磊石岸ニシテ小舟港ノ外好著舟所ナク、海岸ニ近ク暗岩及露岩點在シ其ノ間海藻繁殖シ接岸航行危険ナリ。

中央崎ハ得撫島南東岸ノ略中央ニ位ス◎崎端ニ接シ高サ31米ノ1平島アリ。

又此ノ島ノ東方ニハ稍鉤形ヲ成セル高サ3.5米及4.5米ノ2岩アリ。

**尖崎** 穴崎ノ南西方約8.7哩ニ在ル岬角ナリ◎崎端ノ南東方約4鏈ニハ水深2.2米ノ暗礁アリ、破浪スルコト多シ、此ノ礁ノ南東方約3鏈ニモ水深5.4米ノ暗礁アリ◎崎ノ北東方約4鏈ニ海岸ニ接シテ高サ48米ノ巨岩アリ、鐘形ニシテ顯著ナリ。

**伽藍崎** 中央崎ノ西南西方5哩ニ位スル甚ダ奇形ナル柱狀ノ岩崖高角ナリ、崎上ニ殆ド同形ノ2箇ノ小頂山アリ、南頂ハ高サ127米ニシテ南西方ヨリ望メバ著シ、霧ノ爲諸高嶺ノ隠ルルトハ殊ニ好目標ナリ、但シ冬季積雪アルトキハ餘リ顯著ナラズ。

**潮流** 伽藍崎東方3—4哩ノ沖合ニ於ケル驗測ニ依レバ、落潮流ハ西方ニ流レ漲潮流ハ北東方ニ流ル、兩流共大潮期ニ於テ流速0.8節ヲ超エズ。

**伽藍崎北東方錨地** 中央崎西方約1哩ノ岬角ト伽藍崎トノ間ハ口幅4哩、灣入約1哩ノ露開灣ヲ成ス、灣濱一帯ニ離岩多ク且海藻茂生シ航行危険ナルヲ以テ注意ヲ要ス、下記92米岩ノ南東方約3鏈ニ位スル水深1.8米礁ノ附近ニハ殊ニ海藻多シ◎灣首北東隅ニ近キ2頭ノ高岩(高サ92米)ハ顯著ニシテ、其ノ

西方9鏈附近陸岸ニ近キ黑色岩モ亦好目標ナリ。

此ノ灣ハ天候良好ナルトキニハ假泊シ得ベシ、錨地トシテハ伽藍崎ノ57度1.4哩、水深22米ノ處附近ヲ以テ可トスベク、同處ハ底質沙ニシテ錨搔キ良シ、但シ風向北西ナルモ「ウネリ」南方ヨリ侵入スルトキハ船首ハ風ニ立チツツ船體動搖スルヲ例トス◎92米岩ノ北西灣濱ニハ小舟ヲ著ケ得ルモ偏南ノ風浪アルトキハ危険ナリ。

**上陸所** 伽藍崎ヨリ南西方約10哩ニ小灣入アリ 沙濱ニシテ小舟ノ好達著所ナリ。

**平崎** 伽藍崎ノ南西方約14.5哩ニ位スル極メテ平低ナル岬角ナリ◎平崎ノ西側ニ小灣入アリ、礫石濱ナレドモ小艇ノ達著所タルヲ得ベシ。

**鉾崎** 平崎ノ西南西方約4.3哩ニ在リテ稍黒褐色ノ岩崖高角ナリ、崎上ニ芝草アリ、高サ130米。

**櫛ノ岬** 鉾崎ノ西南西方約2.2哩ニ在リテ南西方ヨリ望メバ其ノ形櫛ノ齒ノ如キ高角ナリ◎岬端ノ前面ニ高サ41米ノ顯著ナル高岩アリ。

平崎ト櫛ノ岬トノ間ノ海岸ハ殆ド沙濱ナク高崖連続シ距岸5鏈ニ岩石羅列點在ス、故ニ接航ハ危険ナリ。

**海馬岩** 櫛ノ岬ト其ノ西方約3.5哩、距岸8鏈ニ在ル海馬岩トノ間ノ沿岸ニハ淺礁多シ◎海馬岩ハ高サ8.4米ニシテ多數ノ海驢群集ス◎海馬岩ノ北西方ニハ高岩羅列ス、其ノ最高岩ハ高サ15米ナリ。

海馬岩ヨリ西方約1.6哩ノ處即チ伸津岬ノ南南東方約6鏈ニ高サ19米ノ1岩アリ、其ノ北東方ニハ露岩點在スルヲ以テ此ノ附近1哩以内ニ接近セザルヲ要ス。

## 得撫水道

得撫島ト新知島トノ間ニシテ中間ニ知理保以島及「オホツク」海側ニ於テ稍列外ノ位置ニ武魯頓島存在ス、從ツテ太平洋ト「オホツク」海トヲ通ズル水路ハ南北ニ兩分セラル◎西曆1797年英人長 Broughton 得撫水道ヲ探險セシコトアリ、武魯頓島ノ名稱之ニ起因ス。



### 南得撫水道

得撫島ト知理保以南島トノ間ニシテ幅15哩、危険ナシ、但シ得撫島北東端ノ低地ハ霧帯ノ上ニ其ノ頂部ヲ現ハスコトナキヲ例トシ、且下記ノ如ク潮流強ク渦流及激湍アルヲ以テ霧アルトキ此ノ水道ノ通航ハ危険ナリ。

**潮流** 南得撫水道ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流レ、流速2—3節ニ達スルコトアリ、然レドモ海流等ノ影響ヲ受ケテ海水ノ流動ハ不規則ナリ、即チ夏季鳥ノ尾岬ノ東方約7哩ニ於テ低潮後約4時ヨリ數時間南流シ流速2.5節ニ達スルヲ驗セシコトアリ。

### 知理保以島(チリホイ)

10 南得撫水道ヲ隔テテ得撫島ノ北東方ニ列シ南北ノ2島ヨリ成ル、南東方ヨリ望ムトキハ各高低不等ナル3圓錐峯ノ觀ヲ呈ス、山腹ハ主ニ雜草及蘚苔ヲ以テ蔽ハレ溪間ニハ稀ニ矮小ナル赤楊樹ヲ生ズ、沿岸處々殊ニ沙濱ニハ流木多ク聚積スルヲ見ル◎島内溪流ナク僅ニ2—3ノ瀦水アレドモ石灰、鹽分、硫化物ノ多量ヲ含ミ飲料ニ適セズ、只6月下旬頃迄山間溪谷ヨリ融解シテ流出スル雪水ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得。

本島ニ棲息スル獸類ニハ陸ニ狐、海ニ海驢、海豹等、鳥類ニハ鴉、鶴、胸白鴨、鷗、[エトピリカ]等ナリ。

**霧** 知理保以島ハ小ナルヲ以テ何レノ風ニモ霧ヲ伴ヒ來ルコト多シ、5月至7月ノ間ハ偏南東風ノ爲南島巽崎、臘虎水道、北島東崎附近最モ多シ◎大正

20 5年5月下旬ヨリ7月中旬ニ至ル53日間、北島沙灣ニ於ケル經驗ニ依レバ濃霧30日、淡霧15日ヲ算シ濃霧ハ連日ニ互ルコトアリタリ。

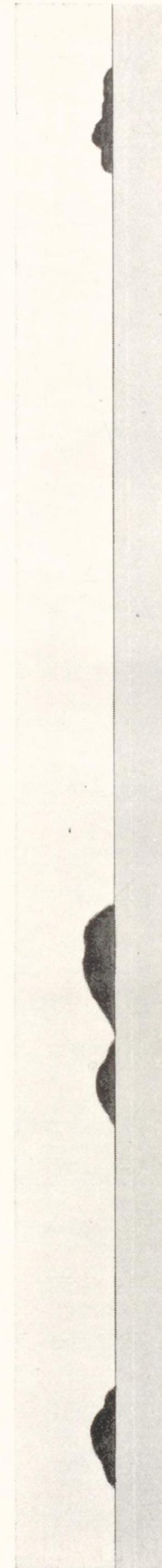
**南島** 南島ハ西部ニ偏シテ高サ752米ノ圓錐形島頂ヲ有スル熄火山島ニシテ周圍約9哩アリ(第108頁對面對景圖第7參照)◎南岸ノ中央及北西岸ニ在ル高サ15米ノ岩附近ハ海驢最モ多シ。

島ノ西端ニ近ク獅子岩(高サ37米)アリ、南北ヨリ望メバ獅子ノ伏セルガ如ク附近ニ往々湍潮及渦流ヲ見ル◎島ノ北端ニ近キ部分ノ北東岸ニ接シ臘虎島(高サ153米)ト稱スル登攀シ難キ圓錐形島アリ、附近海鳥極メテ多シ、此ノ島ノ

第108頁對面

東南東方ヨリ知理保以島及武魯頓島ヲ望ム

第7



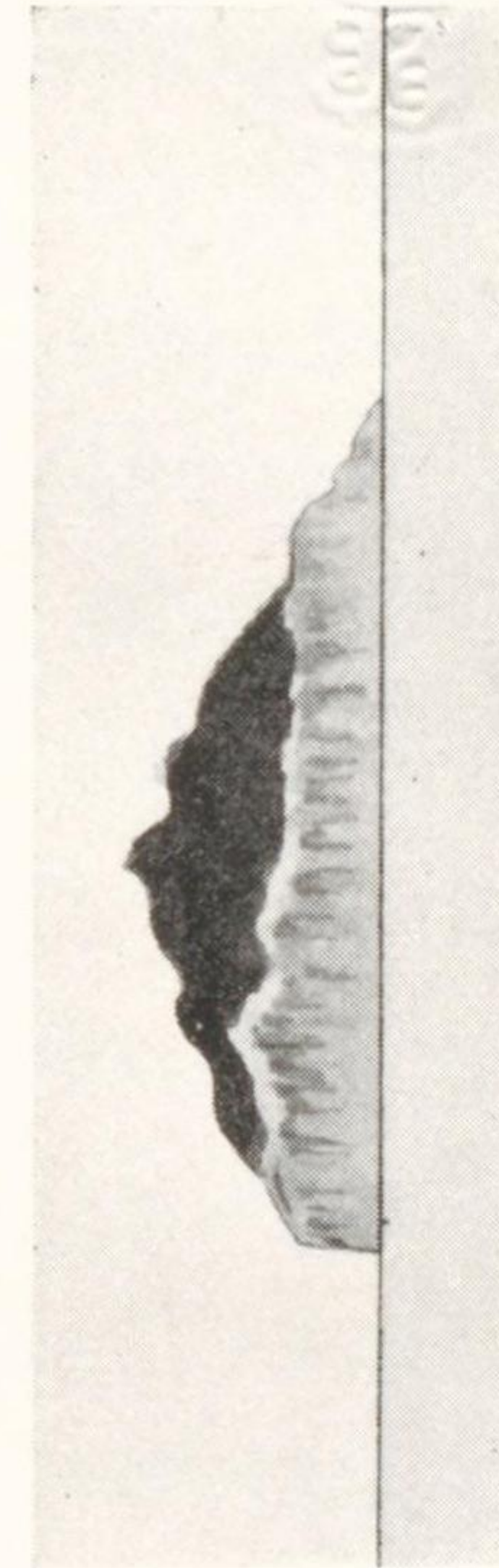
武魯頓島  
294度

北島  
286度 52哩

知理保以島

南島  
281度

第8 西北西方ヨリ武魯頓島ヲ望ム



112度 18哩



東側ニハ2.5 鏈ノ間露岩暗礁散在ス、又臘虎島ノ南東方約5 鏈ニハ干出0.9 米ノ岩アリ◎北東岸中央ノ最大溪間ヨリ流出スル雪水ハ8 月頃迄存在スト謂フ◎島ノ南東端異崎(高サ33 米)ハ緩傾斜ノ山嘴ニシテ夏季霧ノ霽ルルコト少シ。

**臘虎水道** 南島ト北島トノ間ノ水道ニシテ幅1.2 哩、深水ニシテ臘虎島附近ノ岩礁ノ外離險礁ナシ。

**潮流** 臘虎水道ニ於テハ漲潮流ハ北西方ニ、落潮流ハ南東方ニ流レ、其ノ流速2—3 節ニ達ス、而シテ北西流ハ低潮後2—3 時ニ始マル◎水道ノ東口ニ於テハ屢湍潮ニ遭遇スルコトアリ。

**北島** 北島ハ南島ノ北東方1.5 哩餘ニ在リテ周圍約12 哩(第108 頁對面對景圖第7 參照)、南北ニ連ル3 箇ノ圓錐峯アリ、其ノ最北峯**大崩山**ハ最モ高ク 10  
691 米ニ達ス、其ノ噴火口ノ北西部ハ崩壞シテ幾多ノ直立險崖ヲ成ス◎中央ノ**硫黃山**ハ頂上ノ噴火口ヨリ常ニ白煙ヲ吐キ風下側ノ沿岸ニ於テハ烈シキ硫氣ヲ感ズ◎最南峯ハ最モ低ク現時僅ニ數條ノ蒸氣ヲ發生ス◎本島ノ東岸沙灣内ヨリ南岸ヲ繞リ島ノ西端**燒石鼻**ニ至ル間ハ全土噴出セル大小ノ多孔質熔岩ヨリ成リ暗褐色ヲ呈ス。

**旭ヶ岡半島**(海圖1015 分圖) 北島ノ北東端ヲ成ス半島ニシテ其ノ地頸ハ大崩山麓ト旭ヶ岡(高サ167 米)トヲ連ヌル低沙地ナリ◎旭ヶ岡ノ北東側岸ニハ海鳥多ク啼聲半湮沖ニ達ス。

此ノ地頸ノ北側ハ南方ヨリノ「ウネリ」ヲ避クルノ便アリ、大正5 年中軍艦武藏及農商務省巡邏船等屢此處ニ假泊セシコトアリ、漲潮流ヲ感ズト謂フ。 20

**潮流** 旭ヶ岡半島ノ南東端**東崎**附近ニ於テハ、漲潮流ハ最強流速2 節ニシテ北流シ、落潮流ハ南流スルヲ驗セリ。

**沙灣**(海圖1015 分圖) 旭ヶ岡半島ノ南側灣ニシテ東崎ヲ灣口ノ東端トシ口幅約8 鏈、彎入約7 鏈アリ、灣首地頸ノ部及灣内西側ニ沙濱アレドモ夏季ハ南方ヨリ「ウネリ」侵入シ常ニ破浪スルヲ以テ著舟困難ニシテ只平靜ナル日西濱ニ上陸シ得ルノミ◎沙灣附近ニ於テハ時ニ猛烈ナル風ヲ受クルコトアリ。

**浪速崎**(海圖1015 分圖) 沙灣口西端ノ南方約1 哩ニ在ル高サ62 米ノ險崖



岬角ニシテ埼附近海鳥多ク啼聲半湮沖ニ達ス○埼端ノ南側ニ近ク**海馬岩**(トド)アリ、高サ3.4米ノ孤立圓嶼ニシテ海驢ノ常ニ横臥スルヲ見ル。

埼ノ南側岸西隅ニ半圓形ヲ成セル礫濱アレドモ岸高シ、此處ニハ嘗テ硫黃山ヨリノ硫黃採掘ヲ經營セシ工場ノ跡アリ。

### 武魯頓島(プロトン)

知理保以北島ト幅約11哩ノ水道ヲ隔テテ其ノ北北西方ニ位スル周圍約6哩ノ圓頂島(高サ801米)ナリ(第108頁對面對景圖第7及第8参照)、島周ハ高サ約300米ノ險崖ヲ以テ圍繞シ磊石濱アレドモ僅ニ上陸シ得ルニ止マリ山上ニハ登リ難シ○島ノ西端附近竝ニ東岸水深20米以内ノ處ニハ長大ナル海藻繁茂ス○

10 島ノ北端及同南端南埼附近ニハ數百ノ海驢常ニ群棲咆吼ス。

島ノ西岸北部**鷗岩**ノ内側ハ北西風ノ外本島ニ於ケル唯一ノ小舟泊地ナリ、此ノ岩附近ニハ海鳥群ヲ成シテ叫鳴ス○北東岸ニ2條ノ溪流アリ、煮沸スレバ飲料ニ適ス。

**潮流** 武魯頓島附近ノ潮流ハ流速大ナラズ、海水ハ主トシテ北北東ニ流ルルモ最強流速2節以内ナルガ如シ。

**地方磁氣** 軍艦武藏ノ報告ニ依レバ武魯頓島ノ周圍8哩以内ニ於テハ磁氣擾亂アルモノノ如シト謂フ。

### 北得撫水道

知理保以北島及武魯頓島ヲ西側トシ新知島郎林岬阿崙岬間ヲ東濱トスル幅約20 37哩ノ水道ニシテ、千島列島ノ諸海峡中最モ廣ク水深亦極メテ深ク危險ナシ、但シ偏東風ノ際吹送ラレタル太平洋側ノ濃霧ハ帶狀ヲ成シテ海峡ヲ充塞シ、且方向未知ノ強潮流ニ出會スルコトアルヲ以テ霧アルトキハ通航上最モ注意ヲ要ス。

### 新知島至摺手海峡

新知島ヨリ北東方摺手海峡ニ至ル全長約73哩間ニハ、新知島ヲ最南島トシテ計吐夷島、宇志知島ノ順序ニ竝列シ島形ノ大小モ亦此ノ順位トス。

**氣象** 新知島至摺手海峡ノ天候ハ比較的諸島ノ北西側ニ良好ナリ、但シ

計吐夷島、宇志知島方面ハ島形小ナル爲其ノ差異ヲ認メズ、千島列島ノ通性トシテ一般ニ大氣濕潤晴天ニ乏シク風力強烈ナリ。

次表ハ大正5年10月ヨリ翌年9月迄新知島武魯頓灣駐在ノ農商務省吏員ノ氣象觀測ト、大正6年5月至9月水路部測量班ノ天候記錄トニ依リ調製セシモノナリ、但シ氣溫ハ毎日正午ノ觀測ニ依ル。

月次	氣壓	氣 溫			濕度	最多風向		平均風力	暴 風			天 氣 日 數			
	平均	平均	最高	最低	平均	第 1	第 2		風向	風力	日數	快晴	霧	雨	雪
1	751.6	1.4	1.7	-6.1	85.3	NW	W	4	WNW	10	12	0	0	0	12
2	751.1	-4.4	0.6	-10.0	88.8	NW	E	4	NW	10	18	1	0	0	5
3	755.9	-3.1	1.1	-7.8	97.3	NW	W	3	W	10	16	2	0	0	6
4	755.1	0.8	5.6	-2.2	—	NW	SE	3	NW	10	14	1	1	1	6
5	752.8	4.1	10.0	0	—	NW	SE	3	SW	10	17	3	4	2	2
6	754.9	7.3	15.6	1.1	—	SE	NW	7	SE	8	7	5	12	5	0
7	758.7	10.6	17.2	5.6	—	SE	W	3	W	10	9	4	19	6	0
8	759.7	14.2	22.2	9.4	—	SE	W	3	SE	10	10	7	17	1	0
9	761.2	13.1	15.6	9.4	—	W	SE	4	W	8	14	10	5	4	0
10	762.5	8.7	13.9	2.8	83.2	W	SW	3	W	5	6	4	0	1	0
11	764.5	3.8	9.4	-0.6	83.1	W	NW	3	S	10	12	1	0	0	3
12	753.0	-2.9	3.9	-3.9	86.9	W	NW	4	W	10	17	1	0	0	7
全年	756.9	4.4	—	—	—	NW	SE	3	—	—	—	—	—	—	—

**氣溫** 一般ニ氣溫甚ダ低ク6月ヨリ稍春ノ狀況ヲ呈シ、8月ニ至レバ秋冷ノ候トナリ殆ド夏ヲ知ラズ、9月中ノ氣溫ハ6月ヨリ遙ニ高シ、10月ヨリ翌年5月迄ハ冬季ナレドモ寒威ハ比較的嚴ナラズシテ北海道本島石狩國上川地方ヨリモ溫暖ナルヲ例トス。

**雨雪** 降雨ハ一般ニ少シ、故ニ湧泉ナキ處ニ於テ雨水ヲ集メテ飲料ト爲スコト殆ド不可能ナリ、但シ冬季ハ積雪ヲ融解シテ用ヒ得ベシ○雪ハ11月ニ始リ翌年5月ニ終ル、7月ニ至レバ平地ノ雪ハ全ク融解スルモ山谷低窪地ニハ尙殘雪アリ、1月、2月ニハ降雪最モ多ク積雪ノ量ハ地勢ニ依リ同ジカラザレドモ6米餘ニ達スルコトアリト謂フ。



霧 新知島以北ノ霧ハ其ノ以南ノモノニ比シ濃密ニシテ發生頻繁ナリ、夏季ハ常ニ之ニ掩蔽セララルモノト謂フヲ得ベシ、而シテ濃霧ハ5月下旬ヨリ偏東風ニ伴ヒ屢襲來シ、7月及8月ハ南東風ノ季節ニシテ殆ド終日霧ナキコトナク、9月ニ至レバ北西風ノ初期ニ入り大ニ減少ス。

霧ノ現象ニハ次ノ3種アリ。

- (1) 濃厚ノ霧ニシテ濕氣ニ富ミ殆ド雨ニ類シ概ネ曇天ニ伴フ場合○之ヲ遠望スレバ頂邊平圓狀ヲ成シ比較的廣區域ニ互リ移動スルコト少シ。
- (2) 低キ濃濕ノ霧ニシテ堤塘狀ヲ成シ約25米以下ニ瀰蔓シテ上層ハ太陽輝ケル場合○之ヲ遠望スレバ上部波形ヲ成シ又檣頭ヨリ遠距離ノ陸地ヲ認メ得ベク且消散シ易シ。
- (3) 比較的乾燥ナル場合ノ霧ニシテ通例著シキ高處ニ及ビ無風時ニハ霧ノ下底ハ海面上25—30米以上ニ達シ下層ハ全ク霧ナキ場合○廣區域ニ互リ移動スルコト少シ。

霧襲來ノ初期即チ6月中旬頃迄ニ起ルモノハ主トシテ上記(3)ノ高キ霧ニ屬シ之ニ屢(2)ノ低キ霧ノ加ハルニ過ギザレドモ、次デ來ルモノハ2種混生シ其ノ一旦來襲スルヤ往々濃霧連日消散セザルコトアリ、8月以後ニ起ルモノハ主トシテ(1)ノ低キ霧ニ屬スルモノ多キガ如ク其ノ消散比較的速ナリ。

夏季風若干時連吹スルトキハ其ノ風向ノ如何ニ關セズ濃霧ヲ伴フヲ常トシ、其ノ中偏南東風及偏北西風(輕風)ニ伴フモノ最モ多シ、一般ニ前者ハ濕潤ニシテ濃厚ニ、後者ハ凝結シテ細雨狀ヲ成ス○風向變轉ノ前後竝ニ南西及北東風ノ初期ニハ一般ニ霧消散ス○霧ノ發生ハ常ニ氣壓ノ降下ニ伴ヒ低氣壓中ハ殆ド霧ルルコトナク、氣壓ノ上昇ト共ニ風向右偏シ低霧狀ヲ成シ遂ニ霧ルルヲ常則トス。

霧ハ常ニ風ニ伴ヒ來ルヲ以テ風下側ヲ蔽フコト少シ○一般ニ洋上ヨリ島上方霧多キガ如ク又風雨ノ後天候恢復ニ際シ一兩日霧ナキコト多シ。

風 6月ハ北西風ノ末期ニ屬スル爲海面尙波高ク島岸ニ達著シ難シ○7月及8月ハ南東風ノ季ニシテ風力ニ應ジ屢太平洋側ヨリ[ウネリ]到ルモ一般ニ海

10

20

上平穩ナリ、殊ニ北西側ニ於テ然リトス、6月至8月間ハ暴風最モ少シ○要スルニ夏季ハ時々暴風ノ襲來アリト雖モ常ニ風力3—4ヲ平均トシ比較的平穩ナリ。

9月ニ至レバ北西風ノ初期ニ入り偏西強風屢襲來スルヲ以テ海上荒レ始ム○9月以後翌年5月迄ヲ偏北西風季トシ海上荒レ航海スルモノ少シ○要スルニ冬季ハ一般ニ偏西風強烈ニシテ、多數ノ流木ガ列島ノ北西岸ニ於テ遠ク内方ニ打揚ゲラレアルヲ以テ觀ルモ暴風ノ程度激甚ナルヲ推知シ得ベシ。

低氣壓 低氣壓來襲ニ際シ一般ニ氣壓ノ變化急峻ナルヲ常トス、6月至7月ニ在リテハ氣壓下降セバ南東風ヲ豫期シ得ベク、晴雨計示度766.5—767耗附近ニ達セバ短キモ1日長クモ3日間ヲ出デズシテ南東風強吹シ天候不良ト爲ルヲ常トス、而シテ強風吹來ノ時機ハ氣壓將ニ下降セントスル際若ハ下降ノ途中ニシテ、最低示度附近及上昇セントスル際ハ大ナル風速ヲ見ズ。

夏季ニ於ケル主ナル低氣壓ニ伴フ風候ヲ示セバ次ノ如シ。

月 別	風 向	風 力	吹 續 時 間
6	SE—E	6—7	9
7	SE	6—8	72
8	NE—NW	5—8	36

而シテ9月ニ入り颱風ノ影響ヲ受クルコト比較的多ク風向稍旋轉性ヲ帶ブルニ至ル。

潮流 潮流ハ1日僅ニ2回ノ轉流ヲ見ルコト多シ、且諸島附近ニハ海流存在スル爲之ニ左右セラレ甚ダ複雑ト爲ル○諸島ノ南東方約5—6哩以外ノ沖合ニ於テハ多ク偏南西流ヲ驗シ其ノ流速1.5—3.5節ナリ、是海流ノ影響ヲ受クルガ爲ナルベシ○諸島ノ北西側ニ於テハ殆ド海流ノ影響ヲ認メザルモノノ如シ。

流氷 流氷ノ漂來ハ北西風ニ從ヒ1月下旬ニ始リ、3月頃ニハ諸島ノ周圍及新知海峽ノ全部氷塊ニ閉塞セララルコトアリト謂フ、此等ノ氷塊ハ風ト共

10

20



ニ漸次太平洋ニ流出シ5月中旬以後ニ至レバ其ノ跡ヲ絶ツベシ。

新知島(シムシル)

千島列島中部ノ各島中得撫島ニ次ギ狭長ナル島ニシテ北得撫水道ヲ隔テテ知理保以北島ノ北東方約37哩ニ位ス、南西—北東ノ長サ約32哩、幅1.5—6哩、新知灣地頸部以北ハ數坐ノ熄火山連互ス、一般ニ南西部ハ樹木少キ山丘、又北東部ハ概シテ其ノ山腹榎松、雁皮樹等ヲ以テ蔽ハレタル山丘ヨリ成リ、山丘ノ間ハ急峻ナル山地ヲ以テ相連リ平地ナシ○北西岸ハ新知灣ヲ除キ同灣以北ハ岸線ノ小屈曲多ク一般ニ多岩ニシテ海藻叢生ス、然レドモ岩石ハ總テ濱岸ニ密接シ遠ク海岸ヲ離ルルモノナシ○南東岸ハ屈曲少ク一般ニ高陸ニシテ殆ド斷崖相

10 連ル、海方ハ急深ニシテ礫沙濱極メテ少ク著舟ノ箇所稀ナリ。

島岸ニハ一モ安全ナル泊地ヲ有セズ、北東端ノ武魯頓灣ハ一見良港ノ形狀ヲ成セドモ灣口ノ開鑿ニ人工ヲ加フルニ非ザレバ全然用フルヲ得ズ。

農林省所屬ノ養狐場番舎ハ北西岸ノ新知灣、中泊浦及前記ノ武魯頓灣ニ在リ○本島ニ於ケル獸類ニハ陸ニ狐、海ニ海馬、海豹、海驢等、鳥類ニハ鴉、胸白鴨、鷗、[エトピリカ]等アリ、海岸到ル處雲丹ヲ産ス。

潮流 新知島北西岸西端「アロン」埼沖ニ於テハ夏季大潮期ノ驗流ニ依レバ海水ハ殆ド常ニ南西方ニ流レ流速3節ヲ超ユ、北西岸東部ニ於テハ潮流ハ海岸ニ沿ヒテ北東方及南西方ニ流レ南西流ハ低潮後2—3時ニ始リ流速1節ヲ超ユルモ北東流ハ0.7節ヲ超エズ。

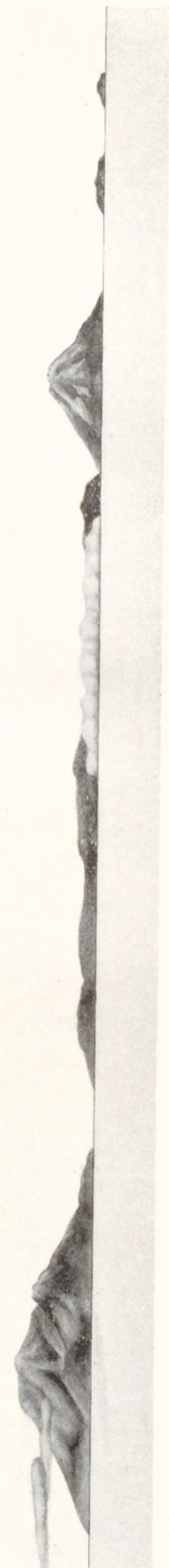
20 南東岸ニ於ケル潮流ハ一般ニ流速微弱ニシテ海流ノ影響ヲ受ケテ海水ハ殆ド常ニ南西方ニ流レ其ノ流速1.5節ヲ超エズ、然レドモ東端沖合數哩ニ於テ流速3節ヲ超ユル南西流ヲ驗セシコトアリ、又大見埼附近以東ニ於テハ低潮後2—3時ヨリ北東方ニ流ル。

郎林岬 新知島ノ南端ニシテ高サ136米、附近一帶矮樹雜草茂生ス。

郎林岬ヨリ北東方約6哩ノ阿崙岬ニ至ル間即チ北得撫水道ニ面スル島岸ハ新知嶽(高サ1,526米)(第114頁對面對景圖第9參照)ノ山麓ヲ成シ、礫濱又ハ險崖ニシテ舟艇ノ著陸困難ナリ、此ノ間2—3ノ離岩アリ。

第114頁對面

南方ヨリ新知島ヲ望ム



新知富士  
2度

新知嶽  
344度  
42哩

第9



**阿崙岬**(アロン) 新知島ノ西端ニシテ新知嶽中腹ノ**燒山**(高サ 897 米)ヨリ連続セル火山岩ヨリ成リ高サ 49 米アリ。

**梅浦**(海圖 1013) 阿崙岬ヨリ東方新知灣口西端ニ至ル約 4.5 哩ノ間海岸ハ高サ約 60 米ノ絶壁ニシテ處々ニ洞窟アリ、海鳥群棲ス。

上記海岸中阿崙岬ヨリ 4 哩ノ處ニ梅浦ト稱スル小灣アリ、新知嶽ノ崖下ニ包容セラレ北風時ノ外海上平穩ニシテ霧少ク小船ノ假泊ニ適ス、灣濱ノ大部分ハ礫濱ナレドモ短艇ヲ著岸セシメ得ベク灣首ニ若干ノ平地アリ、灣首東端ニ水流アリ、豊富ナラザルモ水質良好短艇ニテ汲取リ得ベシ◎浦口西端ヨリ西方約 4.5 鏈ノ海岸ニ在ル小岩頂ハ高サ 119 米ニシテ稍顯著ナル目標ナリ。

**新知灣**(海圖 1013) 新知灣ハ梅浦ノ浦口東端ヲ灣口ノ西端トス、口幅約 10 2.5 哩、彎入約 7 鏈ノ露開灣ニシテ本島唯一ノ泊地ナルモ風濤ノ影響多ク安全ト謂フヲ得ズ◎灣首ハ沙濱ニシテ其ノ内方約 400 米間ハ低キ草地ナリ。

此ノ地ニ農林省所屬ノ養狐場番舎アリ。

**霧** 灣南東方ノ南浦ニ通ズル陸上ハ土地低ク其ノ兩側ニ高峻ナル山峯アルヲ以テ何レノ風向ニ對シテモ其ノ通路ト爲ル、從ツテ偏東風ノ際ハ常ニ濃霧ヲ伴ヒ來リ爲ニ灣外兩側高山ノ風下側ニ於テハ屢晴天ヲ見ルニモ拘ラズ灣内ニ於テハ霧甚シキコトアリ。

**潮流** 灣内ニ於テハ漲落兩流共西流スルコト多ク其ノ流速 0.8—2.5 節アリ、北東方ニ流ルルコトハ稀ナリ。

**流水** 養狐場吏員ノ言ニ依レバ 3 月下旬至 4 月上旬ニ於テ風向ニ依リ流水 20 灣内ニ侵入スルコトアルモ、其ノ回数極メテ少ク(昭和 7 年ニ於テハ 3 回)厚サ 1.5 米程度ナリ、而シテ灣内ニ滞留スルコト 1 日内外ニシテ退去スルヲ例トスト謂フ。

**錨地** 錨地トシテ先ヅ適當ナルハ灣内兩側濱寄ノ部即チ灣首南西端ノ北方若ハ同北東端ノ西方各水深 20 米附近ノ處ナルベシ、但シ後者ハ外方ニ向ヒ水深ノ變化急ナルコトニ留意スルヲ要ス。

**針路法** 霧中錘測法ニ依リ入灣セント企圖スルトキハ灣首ノ平低地頸部ト



思惟スル處ニ向首シ、灣首海岸線ニ直角ナル入進針路ヲ採ルヲ可トス、但シ200米等深線ハ灣内ニ向ヒ凸形ヲ成セルノミナラズ灣首ニ近ク偏西強流アルコト多ク、且山嵐往々強烈ナルヲ以テ船位ノ推定ニハ深キ注意ヲ要ス。

**給水** 灣口西端附近ノ溪流ヨリ多量ノ良水ヲ得◎灣首中央**新知川**ノ河水モ水量多ク良質ナレドモ河口ハ水淺ク且磯波高ク著舟不便ナルヲ以テ汲取容易ナラズ。

**外輪山** 新知灣北東方ノ外輪山ハ其ノ外縁廣ク數峯ニ分レ中央ニ綠湖アリ、諸峯中南東岸ニ近キ最高峯**東外輪山**ハ高サ624米ナルモ遠望顯著ナラズ。

**中泊浦** 新知灣ノ北東方約10哩ニ在ル小灣入部ニシテ南一東ノ風ヲ避クル小船錨地タリ、中央水深約36米、底質沙ナリ◎此處ニ農林省所屬ノ養狐場番舎アリ。

**新知富士** 中泊浦ノ東北東方約6.2軒ニ位シ高サ1,360米、圓錐狀ヲ成シ遠望甚ダ顯著ナリ(第114頁對面對景圖第9及第120頁對面對景圖第10參照)。

**瀧浦錨地**(海圖1015分圖) 中泊浦ノ北東方約9.5哩ニ位スル陸岸小凹部ノ前面ニシテ、東一南ノ各風ヲ避ケ新知島北部ニ於ケル唯一ノ好錨地トス、就中該凹部奥ノ崖岸ニ懸レル瀑布ヲ120度距離6.5鏈ニ見ル水深27米、底質泥ノ處ヲ最モ可トス、但シ此ノ錨地ノ南西方約4鏈ニハ水深ク7.3米ノ岩礁アルコトニ留意スベシ◎上記瀑布ヨリハ常ニ殆ド無限ノ良水ヲ供給シ得ベク其ノ汲取亦便ナリ。

20 **西岩** 瀧浦奥瀑布ヨリ北東方約2哩、距岸約1.5鏈ニ位スル岩嶼ニシテ高サ8.2米、赭色ヲ呈シ北東方及南西方ヨリ望メバ顯著ナリ。

**武魯頓灣**(海圖1015分圖) 新知島ノ北東端ニ位シ噴火口ノ遺跡ナリ、千島列島中最モ囑望スベキ良港ノ形狀ヲ成セドモ、灣内大部分水深過大ナルノミナラズ灣口ノ岩礁ヲ破壊シ水路ヲ開鑿スルニ非ザレバ出入路ナシ◎灣内ハ長徑約3哩ノ弦月狀ヲ成シ周圍山岳ヲ繞ラスヲ以テ暴風ノトキト雖モ波浪起ラズ、水深ハ灣口ノ6.4米ヨリ最深部299米ヲ經テ灣中央ニ至リ243米ト爲ル、而シテ船舶入灣可能ノ時機來ルトモ錨泊ニ適スベキ水深部ハ灣内凸角**三日月埼**

ノ北西方ナル20米等深圈附近小區域ニ限ラル◎灣口ハ幅僅ニ1鏈餘ニシテ水深1.8米ヨリ淺ク岩礁其ノ間ニ點在シ、且海藻密生シテ水面ニ露出スルヲ以テ舟艇ノ外船舶ノ出入ヲ妨グ。

此ノ灣ハ小海老ヲ多ク産ス◎灣内東端ノ南隅ニ狭キ平地アリ、島内ニ稀ナル草生野トス、嘗テ露國商人ノ居住セシ遺跡ニシテ灣濱ニ清泉湧出シ飲料ニ適ス、此處ニ農林省所屬ノ臘虎、臘獸保護監督員詰所竝ニ柵圍ヲ設ケタル狐飼養場アリ。

**潮流** 灣口ニ於テハ漲潮流ハ灣内ニ向ツテ流レ、落潮流ハ之ニ反シ高低潮後約1時ニ轉流シ流速2.6節ニ達ス。

**目標** 灣口ノ東端ヲ**武魯頓埼**ト稱シ高角ナリ、其ノ内方ハ高サ244米ノ尖頂峯**神威嶽**ト爲リ遠望顯著ナリ◎埼ノ北東方約5鏈ニ突出セル岩多キ岬角ヲ**神威埼**ト謂フ◎灣口ノ西端**日本埼**ハ礫濱ヲ繞ラセル短小ナル低角ナリ。

**灣口外錨地** 日本埼ヲ202度(此ノ方位ハ灣内ノ三日月埼ヲ稍重ス)ニ、神威埼ヲ125度距離5鏈ニ望ム水深43米ノ處ナルモ此處ハ底質岩ニシテ好錨地ニ非ズ。

**牛角**(海圖1015分圖) 神威埼ヨリ南東方ハ崖岸連互シ約1.6哩ニシテ牛角ニ至ル◎牛角ハ新知島ノ最東端ニシテ高サ56米ノ險崖岬角ナリ◎牛角ノ外方ニハ殆ド常ニ湍潮アリ。

牛角ヨリ南南西方約1.8哩ニ淺入浦アリ、磊石岸ニシテ上陸甚ダ難ク且崖上斷崖ヲ成セドモ、農林省監視船秋冬北西風連吹ノ候武魯頓灣口ニ近ヅク能ハザルトキハ、此ノ地ニ投錨シ其ノ船員崖岸ヲ攀ゲ低地ヲ通リテ灣濱ノ吏員詰所ニ至ルコトアリト謂フ。

**三日月山**(海圖1015分圖) 牛角ノ南西方約5軒ニ位シ高サ679米、急峻ニシテ矮樹叢生シ黑色ヲ呈ス、同山麓ノ北東側ハ武魯頓灣ニ臨ミ南東側ハ島ノ南東岸ニ面ス(第120頁對面對景圖第10參照)。

**中浦** 牛角ノ南西方約6.5—8.5哩間ニ於テ稍彎入セル處ニシテ東西ノ2浦ニ分タレ數條ノ小流之ニ注グ、海岸ハ低地ニシテ概ネ礫濱ヲ成ス、附近ハ海



藻繁茂シ、且「ウネリ」アルヲ常トスルヲ以テ舟艇ノ著岸甚ダ困難ナリ。○浦ノ略中央距岸2鏈弱ニ高サ1.4米ノ大岩アリ、好目標タリ、○此ノ岩ノ南東方沖距岸約7.5鏈、水深23—31米ノ處ハ偏北西風時ノ好錨地トス、但シ潮流強クシテ船首風ニ立タザルコト多シ。

1.4米岩北北東方ノ東中浦海岸ニ注グ小流ハ水量豊富ニシテ飲料ニ適シ其ノ河口ハ著舟可能ナリ。

**大見埼** 新知富士南東方海岸ニ突出セル岩多キ崖岬ヲ大見埼ト謂フ、黑色ヲ呈シ北東方及南西方ヨリ望メバ甚ダ著明ナルモ南東方ヨリハ視認困難ナリ。

**扇浦** 大見埼ノ西南西方約3哩ノ彎凹ヲ扇浦ト稱シ浦首ハ沙濱ナリ。○沙濱ノ前面1哩弱ノ處ハ水深21—25米、底質沙ニシテ北西風ヲ避クル爲ノ錨地ト爲スニ足ル、大正6年5月軍艦武藏ハ浦首中央平低部ノ凹處(溪水ノ流域)ヲ316度ニ望ミテ向進シ末廣岳ヲ256度ニ見、水深23米、底質沙ノ處ニ投錨セリ。

**末廣岳** 新知富士ノ南西方6.5軒ニ聳立シ甚ダ顯著ナリ。○末廣岳ヨリ南西方約3.5軒ノ處ニ海岸ニ接シテ高サ202米ノ1丘アリ、圓錐狀ヲ呈シ附近ノ山頂雲霧ニ蔽ハルル際ノ好目標タリ。

**南浦** 扇浦ノ南西方約11哩ニ於テ低地頸ヲ隔テテ新知灣ト腹背ヲ成ス淺入部ナリ、浦首ノ沙濱ニハ著舟シ得ベク沙濱ノ南北ニ黑色ノ大岩アリ、共ニ顯著ニシテ殊ニ其ノ北方岩ニハ洞窟アリ。○沙濱ノ前面ハ偏西風ノ際假泊ニ適ス。南浦ヨリ南西方郎林岬ニ至ル約6哩餘ノ海岸ハ全部險崖ニシテ崖下ハ直ニ磊石濱ヲ成ス。

### 新知海峡

新知島ト計吐夷島トノ間ニシテ太平洋ト「オホツク」海トノ通路ヲ成ス、幅約11哩、海峡中央ノ水深320米以上ニシテ隱險ナシ(第120頁對面對景圖第10参照)。

**潮流** 新知海峡ニ於テハ漲潮流ハ北西方ニ、落潮流ハ南東方ニ流ルルモノノ如シ、然レドモ日潮不等大ナル頃ニハ1日1回ノ北西流ト1日1回ノ南東流トノミヲ見ルニ至リ、夏季ノ觀測ニ依レバ南東流ハ武魯頓灣ノ低低潮前

5—6時ヨリ低低潮後3—4時迄約9時間流續シ流速3節ニ達スルモ、他ノ約15時間ハ北西方ニ流レ其ノ流速ハ南東流ニ比シテ小ナリ。

### 計吐夷島(ケトイ)

新知海峡ヲ隔テテ新知島ノ北東方約11哩ニ位ス、略圓形ヲ成セル火山島ニシテ徑東西5.5哩、南北5哩アリ(第120頁對面對景圖第10参照)○島ノ西岸及北西岸ハ高峯聳立シ急峻ナル險崖ヲ成ス○北岸ハ險崖内方ニ退キ稍彎形ヲ成シ北東岸ニ至リテ險崖再ビ聳立ス○東岸及南岸ハ高峯ヨリ漸降シ海岸ニ至リテ高サ30—60米ノ斷崖ト爲リ、崖下ハ平低ナル磊石濱ヲ成シ岩礁伸出ス。

農林省所屬ノ養狐場番舎ハ南岸ノ三竝灣ニ在リ○本島ニ於テ見ル海獸ニハ海驢多ク夏季育兒ノ爲海邊石壁上ニ蝟集シ咆號絶エズ、鳥類ニハ鷗、「エトピリカ」等最モ多ク其ノ他鷓、胸白鴨、鶺鴒等ノ小禽ヲ見ル○高峯ノ南東ニ面スル部ハ概ネ密生セル椴松ヲ以テ掩ハレ、溪谷又ハ崖端等ニ於テハ赤楊樹茂生シ溪谷附近ニハ笹繁茂ス。

**葦埼** 島ノ南端ニ在ル險崖岬ニシテ高サ38米アリ○崖下ヨリ平低ナル石陂南東方ニ約1鏈擴延ス○葦埼ノ東方3鏈ニ鷗島(高サ32米)アリ、海鳥群集シ好目標ナリ、鷗島ノ内方ニ在ル小灣ハ稍波濤ヲ遮リ小舟ノ假泊ニ適ス○葦埼ノ東方約1.5哩ニ臘虎岩(高サ3.2米)アリ、島岸トノ間海藻繁茂ス。

**三竝灣** 葦埼ト其ノ西方約2.5哩ニ在リテ島ノ南西端ヲ成ス岩岬角中桐埼トノ間ナル淺入開灣ナリ、偏北風時ニ稍風波ヲ遮斷シ得ルモ海底岩多ク水深18米以内ハ海藻繁茂ス、北風ノトキ新知海峡及本島北岸ニハ濃霧アルモ此ノ灣ハ霧ルルコト多シト謂フ、灣附近ノ潮流ハ稍強シ○大正6年6月軍艦武藏ハ葦埼ノ方形ニ突起セル部ヲ28度ニ、中桐埼南側ノ尖頂顯岩冠岩(高サ15米)ヲ284度ニ見水深42米、底質細沙ノ處ニ錨泊セリ。

葦埼ノ北西方約5鏈ニ在ル溪流ノ前面卵石濱附近ハ本島ニ於ケル唯一ノ上陸所ト稱スベキモ低潮時ハ著舟困難ナリ○該溪流ヨリ淡水ヲ汲取り得ベシ、水量豊富ニシテ水質良好ナリ。

此ノ地ニ農林省所屬ノ養狐場番舎アリ。



西浦 中桐崎ト其ノ北北西方約1.3 哩ノ烏帽子崎トノ間ノ開灣ニシテ灣入約4 鏈ナリ、距濱3 鏈、水深18 米、底質沙ノ處ニ小形船舶ノ錨地ヲ得、北至南東ノ風ニハ避泊ニ適ス。

計吐夷岳 烏帽子崎ノ北東方約3 軒ニ位シ島内ノ最高峯ナリ、高サ1,172 米、其ノ西側ハ海岸迄殆ト高サ1,200 米ノ斷崖狀ヲ成シテ急斜シ遠望甚ダ顯著ナリ○計吐夷岳ノ東方約3.2 軒ニ白烟山(高サ1,002 米)アリ、赭色ニシテ其ノ北面ヨリ絶エズ白煙ヲ噴出ス、此ノ兩山ノ中間ノ南方ニ計吐夷湖アリ。

兜崎 島ノ北端ヲ成ス岬角ナリ○此ノ岬内方ノ兜岳(高サ872 米)ハ計吐夷岳ヨリ北走セル山脈中ノ岩峯ニシテ顯著ナリ○兜崎ノ東方約9 鏈ニ瀑布アリ、北方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

東角 島ノ東端ヲ成ス凸角ナリ、此ノ岬角附近及其ノ北方約1 哩ノ海岸ニ各溫泉湧出ス。

### 計吐夷海峡

計吐夷島ト宇志知島トノ間ニシテ太平洋ト「オホツク」海トノ通路ヲ成シ幅約14 哩アリ(第120 頁對面對景圖第10 參照)、海峡ノ兩側200 米等深線間ノ幅員ハ約9.5 哩ニシテ中間深水ナルモ、海峡中央ニ其ノ北端ヲ有スル幅約2 哩、南北ノ全長6 哩ニ互ル水深129—200 米、海底岩ノ區域海峡西半部ヲ斜斷スルヲ以テ附近常ニ湍潮ヲ生ズ。

### 宇志知島(ウシシル)(海圖1016 分圖)

20 計吐夷海峡ヲ隔テテ計吐夷島ノ北東方約14 哩ニ位シ南北ノ2 島ヨリ成ル(第120 頁對面對景圖第10 參照)○南北兩島間ヲ鈴木瀬戸ト稱シ長サ約2.5 鏈ノ干出礁脈瀬戸ヲ横斷シテ兩島端ヲ相連接ス、瀬戸ノ北側ハ平均水面以上ノトキ短艇ヲ通ジ得ベシ○鈴木瀬戸ノ兩側ニ泊地アリ、風向ニ應ジテ何レカヲ用フルノ便アリ。

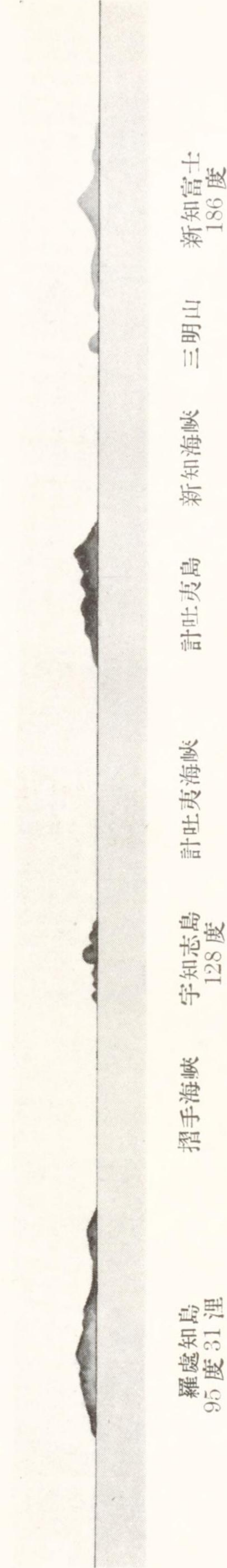
農林省所屬ノ養狐場番舎ハ北島ニ在リ○宇志知島ニハ水流ト稱スベキモノナシ。

潮流 宇志知島附近ニ於テハ漲潮流ハ北流シ其ノ流速2 節以內、落潮流

第120 頁對面

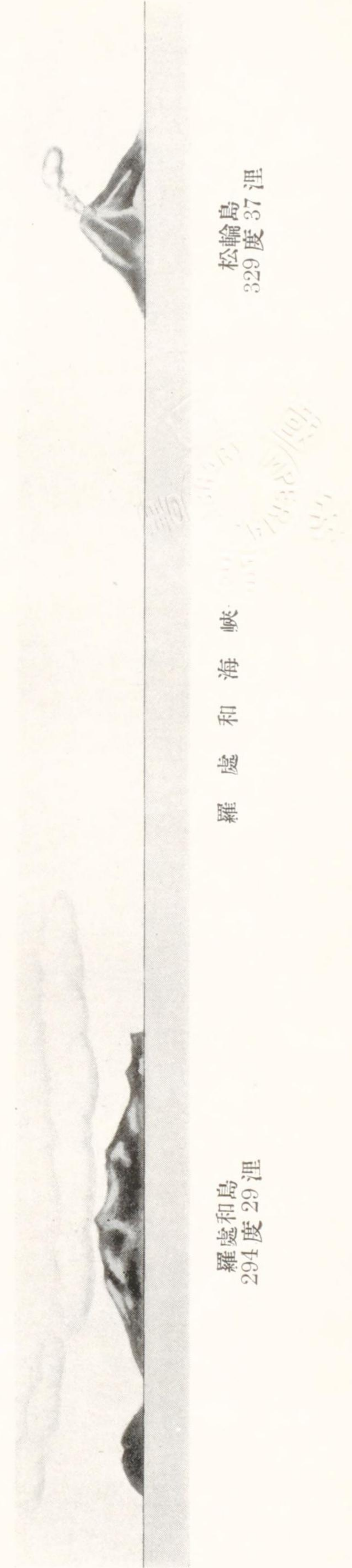
北西方ヨリ計吐夷海峡及摺手海峡ヲ望ム

第10



南東方ヨリ羅處和島ヲ望ム

第11





ハ南流シ其ノ流速4節ニ及ブコトアリ、然レドモ時ニ依リ終日南流ヲ驗スルコトアリテ其ノ狀況明ナラズ。

**南島** 北島ニ比シ較大ニシテ四周險崖ヲ成ス○西岸ニ近ク高サ399米ノ尖峯**御笠山**アリ、之ヨリ南方ニ列スル諸山ハ鋸齒狀ヲ呈ス○島ノ北端ヲ**鈴木埼**ト稱シ其ノ南方ニハ**暮田山**(高サ267米)アリ。

**暮田灣**(クレタ) 島ノ南側即チ島ノ南西端暮田埼ト其ノ東方約7鏈ニ位スル圓頂岩トノ間ヲ灣口トシ、北方島央ニ迄凹入スル袋狀灣ニシテ内灣外灣ノ2部ニ分タル。

外灣ハ灣入約2鏈アリ、灣口ノ西端**暮田埼**ハ斷崖高角ニシテ其ノ基部南東側ニ若干ノ礫濱ヲ有シ溫泉湧出ス、灣口ノ東端ヲ成ス**圓頂岩**ハ高サ125米ニシテ石柱狀ヲ呈シ顯著ナリ、岩ノ南東側ハ20米以下ノ淺水部延出シ湍潮ヲ生ズ。

内灣ハ外灣ノ灣首ニ開口シ其ノ灣口兩端ヨリハ圓石ノ裾礁突出シ、突出礁端間ノ距離僅ニ18米ニシテ殆ド干出シ高潮時僅ニ短艇ヲ通ズルノミ、而モ破浪高キ爲通航シ難キコト多シ、之ヨリ内方ハ兩側ヨリ沙泥堆擴延シ中央僅ニ小舟ヲ通ジ得ル淺水水道ヲ存スルノミ○該東側沙泥堆ノ北端ニハ東方ヨリ突出セル高サ110米ノ岩岬角アリ、岬頂ハ峯形ヲ成シ草ニ覆ハル○此ノ岩岬角ヨリ内方ハ圓形灣ヲ成シ水深10.9—56米アリ、灣ノ中央ニ近ク高サ32米及72米ノ2小嶼アリ、何レモ草ヲ生ズ○圓形灣ノ周圍ハ高サ120—400米ニシテ全ク風波ヲ遮リ水面鏡ノ如シ、灣内ヨリ外洋ヲ見ルヲ得ズ、快晴ノトキハ唯蒼天ト數萬ノ鳥群ノ飛翔スルヲ認ムルノミ、灣内南東隅附近ニ山麓ヨリ湧出シ灣内ニ流入スル溫泉アリ、途中滯留シテ入浴ニ便ナルモ著シク皮膚ヲ刺戟ス。

**婆武岩** 南島西端ノ前面ニ横タハル高サ37米ノ平頂岩ナリ、海鳥常ニ群集ス。

**北島** 北島ハ其ノ南端ニ最高地タル**石山**(高サ131米)アリ、之ヨリ北東方ニ向ヒ漸降シ北部ハ平原ヲ成ス、島周ハ險崖圍繞シ崖下ニ狹隘ナル石濱アリ○鈴木瀬戸ニ面シ礁脈ノ西側ニ於テ島岸若干ノ礫濱ヲ成ス處ニ上陸所アリ、此處ニ農林省所屬ノ養狐場番舎アリ。



**西灣** 鈴木瀬戸ノ西側ニ於テ南島北岸ヲ其ノ南濱トシ北島南端ト瀬戸内ノ干出礁脈トテ東濱トスル開灣ナリ○西灣ノ北方ニハ北島西岸ヨリ西方ニ向ヒ約1哩延出スル水深14—20米ノ狭長ナル礁脈アリ、此ノ附近落潮流アルトキニハ湍潮ヲ生ズ。

**錨地** 北島南端ノ西方水深25—34米、底質沙ノ處ヲ可トス○大正6年7月軍艦武藏ハ暮田山頂ノ329度8鏈餘、水深32米、底質細沙ノ處ニ錨泊セリ。

**針路法** 西灣ノ北方ニ擴延セル水深20米以下ノ礁脈ヲ避ケ鈴木崎ヲ106度ニ見テ之ニ向進シ御笠山頂ヲ201度ニ見ルニ至ラバ投錨スベシ○西灣ニ於テハ南北兩島及離岩附近ニ無數ノ海鳥群游シ其ノ啼聲半哩以上ニ達シ霧中入灣ノ一助ト爲ルベシ。

**給水** 鈴木崎西側ノ崖ヨリ滴下スル淡水ヲ集ムレバ1晝夜漸ク約2珎ヲ採集シ得ベシ、然レドモ飲料用トシテハ濾過煮沸セザルベカラズ。

**東灣** 鈴木瀬戸ノ東側ニ於テ北島南岸ヲ其ノ北濱トシ、瀬戸内ノ干出礁脈ト南島ノ北端トテ西濱トスル開灣ニシテ等深線ノ形狀順調ナリ。

**錨地** 鈴木崎ノ東方水深25—34米、底質沙ノ處ヲ可トス○大正6年7月軍艦武藏ハ石山頂ノ126度7鏈、水深29米、底質細沙ノ處ニ錨泊セリ。

**針路法** 沖合ヨリ石山頂ヲ306度ニ見テ之ニ向首入進シ此ノ線上四ツ岩42米岩東端ト圓頂岩東端トノ一線28度(208度)ニ到リテ投錨スベシ。

**摺手海峡(スリデ)**

20 宇志知島ト羅處和島トノ間ニシテ太平洋ト「オホツク」海トノ通路ヲ成セドモ、南側ニ摺手岩等、北側ニ「ボタン」岩(第124頁參照)等存在シテ可航幅ヲ約4哩ニ狭ム、加之水深不規則ニシテ且流速4節以上ノ強潮流アリ、激湍亦多ク千島列島中最モ危険ナル海峡ナリ、故ニ船舶ハ成ルベク本海峡ノ通航ヲ避クルヲ可トス(第120頁對面對景圖第10參照)。

**摺手岩** 摺手海峡内ニ於テ宇志知島北端ヨリ北東方約3哩ニ當リ北北西—南南東ノ長サ約2.5哩ニ及ブ狭長ナル岩礁脈ノ總稱ニシテ、其ノ一部ハ水面ニ露出シ一部ハ隱没ス○黑岩ハ摺手岩ノ最北端ニ位シ長サ約3鏈、高サ17米、城

壁狀ヲ成ス○黑岩ノ南方約5鏈ニ平岩アリ、卵形ノ平低岩ニシテ長サ約1鏈、高サ3.6米、海驢群居ス○摺手岩ノ南端附近ニ海嶺岩アリ、數箇ノ露岩ヨリ成リ最高1.2米。

宇志知島北端ト黑岩トノ中間ノ孤立岩ヲ鈕岩(ボタン)ト稱シ、高サ1.8米、周圍水深9.1—21米アリ。

上記諸岩ノ周圍竝ニ之ト宇志知島トノ間ハ一般ニ淺水ニシテ海藻繁茂シ島ニ近キ部ニ激湍アリ。

**羅處和島至牟知海峡**

羅處和島ヨリ北東方牟知海峡ニ至ル全長約75哩間ニハ羅處和島ヲ最南島トシテ、松輪島、雷公計島北北東方ニ順位シ前2者ハ略同大ニシテ後者ハ遙ニ小形ナリ。

**洋上ノ霧** 昭和2年7月松輪島南東方約45哩附近(海圖1020參照)ヲ通航セル汽船馬拉加丸及翌3年同月此ノ附近ヲ通航セル汽船辨加拉丸兩船ノ經驗ニ依ルニ、何レモ此ノ附近ニ於テハ濃霧霧レ羅處和島及松輪島ノ各島頂ヲ霧帶ノ上ニ認メ以テ充分ニ船位ヲ測定スルヲ得タリト謂フ。

**羅處和島(ラシュウ)**

摺手海峡ヲ隔テテ宇志知北島ノ北北東方9哩餘ニ位ス、島形南北線ヨリ稍東ニ傾キテ長ク、長サ8.5哩ニシテ最大幅約3.5哩アリ○本島ハ南北2高地ニ分レ北方ハ數峯屹立シ這松其ノ他ノ矮樹密生シ、且雜草繁茂スルヲ以テ解雪後ハ山野ノ歩行困難ナリ、南方ハ高地殆ド東西ニ馳走ス(第120頁對面對景圖第10及第11參照)○島岸ハ概シテ高斷崖ヲ成ス、島ノ南端ニ近ク狭小ナル平地アルモ其ノ海岸ニハ巨岩累積シ高潮時タリトモ著岸容易ナラズ○島周ニハ離礁多ク殊ニ北端ノ北角附近ハ距岸4鏈ノ間ニ散在ス、此等岩礁ニハ海藻繁茂シ其ノ外方ハ水深ク無礙ナルモ錨地トシテ保障シ得ベキモノナシ。

農林省所屬ノ養狐場番舎ハ島ノ南端ニ近キ處ニ在リ。

**南角** 島ノ南端ニシテ附近ニ穴居ノ跡アリ○南角ノ北方約1.5哩附近鷗岩ニ相對スル島西岸ノ突角ヲ村落崎ト稱シ、此處ニ臘虎、臘肭獸保護用假見張所



ヲ兼ネタル養狐場番舎アリ。

**ボタン岩** 南角ノ南南西方約1.5 哩、摺手海峡内ニ「ボタン」岩アリ、高サ1.2 米ナレドモ附近潮流速ク常ニ破浪シ岩影ヲ認ムルコト稀ナリ、其ノ周圍ハ水深27 米以上アリ。

**長頭山**(チョウトウ) 南角ノ北方約4 軒ニ位シ高サ509 米アリ、島内南方高地ニ於ケル最高部ナリ◎此ノ山ト北方高地トノ中間ニ在ル凹地ニ湖アリ、之ヨリ流出スル小流ハ島ノ東岸ニ注グ。

**幌茶茶登山**(ホロチャチャノボリ) 島内北方高地ノ略中央ニ在ル最高峯ニシテ高サ956 米◎此ノ山ノ南東側ニ1 噴火峯アリ、火口ノ東半部ハ崩壊シ常ニ10 硫氣ヲ噴出シ附近ニ硫黄ノ露出スルヲ見ル。

**沈船** 昭和6 年5 月北角ヨリ南方約2 哩ニ於ケル東岸ノ孤立岩ニ坐礁シ横倒ト爲リタル沈船(汽船大連丸)アリ(昭和6 年調)。

### 羅處和海峡

羅處和島ト松輪島トノ間ニシテ太平洋ト「オホツク」海トノ通路ヲ成シ幅約15 哩アリ(第120 頁對面對景圖第11 参照)、松輪島南端ノ礁脈ノ外危険ナキモ海潮流強キヲ以テ視界不良ナルトキハ通航ニ危険率多シト知ルベシ。

**潮流** 羅處和海峡ニ於テハ漲潮流ハ北西方ニ、落潮流ハ南東方ニ流ルモノノ如シ、然レドモ日潮不等大ナル頃ニハ1 日1 回ノ北西流ト1 日1 回ノ南東流トノミヲ驗スルニ至ルベシ、北西流ハ低低潮後2—3 時ニ始ル、而シテ夏季ノ觀測ニ依レバ松輪島ノ距岸數哩ニ於テハ兩流共ニ流速2 節ヲ超エザルモ、羅處和島ノ距岸數哩ニ於テハ5 節ヲ超ユ、又海峡ニハ激湍アリ、松輪島側ハ漲潮時ニ、羅處和島側ハ落潮時ニ大ナリ。

### 松輪島(マツワ)

羅處和海峡ヲ隔テテ羅處和島ノ北北東方約16 哩ニ位ス、島形南北線ヨリ稍西ニ傾キテ長ク略蝸頭狀ヲ成シ長サ6.5 哩ニシテ最大幅約3.5 哩アリ◎島頂芙蓉山ノ山麓ハ南東方ニ向ヒテ長ク傾斜ヲ成シ其ノ盡クル處低丘臺地アリ、其ノ南方ハ一帯ノ沙濱ニ限ラル、全島雜草ニ蔽ハレ樹木ハ溪谷ノ間ニ唯白楊ノ伏生ス

ルアルノミ(第120 頁對面對景圖第11 参照)◎島ノ西岸、北岸及北東岸ハ險崖削立、岩石之ヲ圍繞シ急深ナルヲ以テ舟艇ノ達著容易ナラズ◎島ノ南岸ノ西端岬ヨリ約1 哩間、又同東端岬ヨリ約0.5 哩間、何レモ南方ニ向ヒ礁脈伸出シ處々水面ニ洗ヒ且海藻茂生ス、其ノ他ノ島周ハ障碍ナク距岸1 鏈ニシテ18 米内外ノ水深アリ◎東岸大和灣ニ兩錨地アリ、風向ニ應ジテ其ノ何レカヲ用フルノ便アリ。

昭和3 年芙蓉山ノ大噴火ニ伴ヒ島ノ北東側ニ於テハ降灰降礫ノ厚サ3 米以上ニ及ビ、爲ニ北東岸竝ニ南西岸ハ形状稍變化セル處アリト謂フ。

農林省所屬ノ養狐場番舎ハ大和灣ニ在リ。

**潮流** 松輪島ノ北東岸及東岸距岸7—8 哩迄ニ於テハ潮流ハ流速3 節ヲ超エ北方及南方ニ流レ、北流ハ低低潮後2—3 時ニ始ル、又磐城島ノ南方約1 哩ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流レ流速2 節ヲ超ユ。

**アイヌ灣** 島ノ南西岸ノ南端ニ近ク「アイヌ」灣アリ、此ノ灣奥沙濱ノ部ニ1 水流アリ、「ヘスポ」ト稱シ其ノ水飲料ニ適ス、該沙濱ニハ舟艇ヲ著岸セシメ得ベシ。

**芙蓉山** 島頂タル圓錐形活火山ニシテ島内北半部ニ偏シ高サ1,485 米、常ニ白煙ヲ噴出シ屢熔岩ヲ北東方傾斜面ニ向ヒ流下ス、最近ニ於テハ昭和3 年2 月13 日大噴火ヲ爲セリ◎南東方傾斜面ノ頂點ニ近ク小峯(高サ1,302 米)アリ、北東方ヨリ之ヲ望メバ富士山ニ似タリ。

**磐城島**(バンジョウ)(海圖1016 分圖) 島ノ東岸ニ在ル平低島ニシテ雜草20 茂ル、其ノ略中央ニ最高頂(高サ70 米)アリ、海上ヨリ視認シ易シ。

**大和灣**(海圖1016 分圖) 磐城島ト松輪島東岸池田崎多岩角間トノ間ニ介在スル水域ニシテ、磐城島西岸ト對岸トノ間ニ擴延スル海藻茂生ノ礁脈ニ依リ南北兩錨地ニ分タル、此ノ礁脈上ニハ其ノ東側寄ニ幅約1 鏈ナル水深9.1—9.6 米ノ水路アリテ兩錨地ヲ連絡ス◎兩錨地ノ中適宜何レカヲ選定スルコトトセバ兩者ハ相俟ツテ稍海方ヨリノ風浪ヲ避クルニ効アルベシ、然レドモ灣内廣闊ナラズ、底質亦良好ナラズ、且「ウネリ」ノ侵入ヲ免レザル缺點アリ。







爲ル。

**水溫** 夏季農林省監視船ノ經驗ニ依レバ牟知海峡以北ナル本區域ニ於テ屢海水溫度ノ急昇スルヲ驗測セリト謂フ。

**捨子古丹島**(シヤスコタン)

牟知海峡ヲ隔テテ 雷公計島ノ北東方約 40 哩ニ位ス、南西—北東ノ方向ニ長ク長サ約 13.5 哩、最大幅約 5 哩アリ、而シテ中央部ハ地頸ヲ成スヲ以テ島形飄ニ似タリ◎該地頸部ハ高サ 90—150 米ノ平低ナル臺地ヲ成シ、最狹部ノ幅員約 1 軒ニ過ギザルヲ以テ之ヲ越エテ反對岸ニ出ヅルコト容易ナリ◎山峯ハ島ノ南北ニ分立ス、島ノ南西部ノ略中央ニハ高サ 820 米前後ノ高峯起伏シ山頂廣ク一ノ著峯ナシ、島ノ北東部ハ面積南西部ニ 2 倍シ高サ 800 米以上ノ山峯數箇アリ、島内ノ最高頂(高サ 943 米)亦此ノ部ニ在リ◎島岸ハ多クハ險崖ニシテ石壁廣ク海藻繁茂シ舟艇ノ著岸容易ナラズ(第 128 頁對面對景圖第 12 參照)。  
10 錨泊地トシテハ風向ニ應ジ地頸部北西側ノ乙女灣、又ハ同南東側ノ東浦ヲ用ヒ得ベシ。

**荒埼** 島ノ南西端荒埼ハ峻峻ナル高崖ナリ、埼ノ前面ニハ露岩數箇アリ◎埼附近ノ潮流ニ就テハ第 127 頁牟知海峡ノ潮流ノ項ヲ見ルベシ。

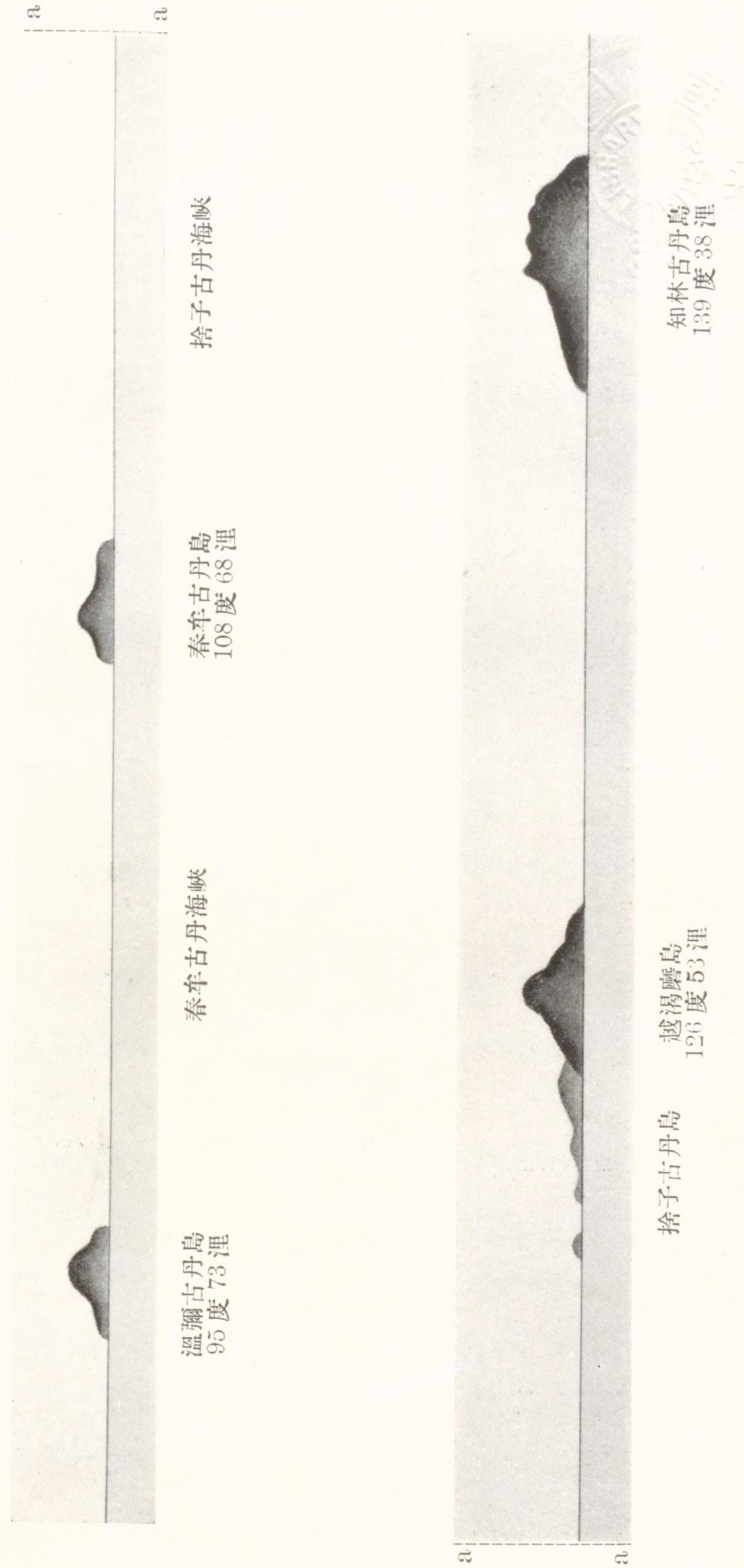
**北硫黃嶽** 島ノ南西部ニ起伏スル高峯中ノ北頂ニシテ高サ 829 米アリ、其ノ西麓ハ往時ノ噴火口ニシテ今尙水蒸氣ノ盛ニ噴出スルヲ見ル、附近ニハ硫黃堆積ス◎南頂ハ北硫黃嶽南西隣ノ**南硫黃嶽**(高サ 818 米)ナルモ此ノ 2 者ハ山頂廣キ爲何レモ著シカラズ◎北硫黃嶽ノ北西方約 2.3 軒ニ**三角山**(高サ 343 米)アリ、黑色ノ尖峯ニシテ遠望著シ◎北硫黃嶽ノ北東方約 2 軒ニ在ル**天津山**(海圖 1018 分圖參照)ハ高サ 516 米ニシテ圓錐形ノ著峯ナリ。  
20

**乙女灣**(海圖 1018 分圖) 島ノ中央地頸部ノ北西側ニ在ル半圓形灣ニシテ灣口幅 2 哩餘、灣入約 8 鏈、西至北ノ風ニ對シ露開スレドモ水深適度、底質沙ニシテ危險物ナク、春夏ノ流行風ヲ避ケ稍安全ニ錨泊シ得ベシ、但シ此ノ灣ハ地頸部低キ爲南東岸ノ霧ハ之ヲ越エテ來襲スルヲ常トシ、又東至南東ノ強風時ニハ風甚ダ猛烈ナリ◎灣濱ハ一帶ニ高サ 30—90 米ノ險崖ニシテ下部ニ

第 128 頁對面

西北西方ヨリ捨子古丹海峡及春牟古丹海峡ヲ望ム

第 12





狭キ礫濱或ハ磊石濱ヲ有シ干出石陂廣ク延出ス、灣濱中平磯埼ノ南方約5.5 鏈ノ處ニハ溫泉湧出ス。

**潮流** 灣首ノ前面距岸2.5 湮附近ニ於テハ漲潮流ハ北東ニ、落潮流ハ南西ニ流レ、略高低潮時ニ轉流ス、最強流速前者ハ1.5 節、後者ハ1 節ヲ驗シタリ。

**目標** 灣口ノ南西端鐘ヶ埼ハ高サ30米、黑色ノ斷崖ニシテ上部ハ平臺地ヲ成ス○埼ノ南方約4 鏈ナル灣ノ南西隅ニ稍顯著ナル褐色ノ崩崖アリ、此ノ崩崖ヨリ南東方約1 鏈ニ在ル險崖ノ中腹ニ之字形ノ攀路アリ、其ノ上方ニ穴居ノ跡3—4 存在ス○之字形攀路ノ東方約2.5 鏈ノ瀑布ハ薄霧ノ際ニモ明瞭ニシテ良好ナル入灣目標ナリ○上記ノ天津山ハ錨地指導上好目標ナリ○灣口ノ北東端平磯埼ハ高サ110米、褐色ノ高崖ニシテ頂ハ平臺ナリ、此ノ埼ヨリ西方へ2 鏈ノ間干出石陂擴延ス。 10

**錨地** 軍艦大和ハ鐘ヶ埼ノ62 度距離6.5 鏈、水深27 米、底質沙ノ處ニ屢錨泊セリ。

**上陸所** 上記褐色崩崖ト瀑布トノ間ノ前面岩礁間海藻稍疎ナル處ハ夏季偏南風ニ限リ舟艇ノ著陸可能ナリ。

**給水** 目標ノ項ニ記載セル瀑布ハ水質佳良ニシテ飲料ニ適シ水量亦豊富ナリ。

**靴岩** 乙女灣ノ北東方ナル島ノ北西端ヲネタ岬ノ前面ニ靴岩アリ、高サ28 米、平頂ニシテ禾草茂リ四周削レルガ如ク下部ニハ石陂擴延シ、遠望恰モ長靴ノ如ク頗ル顯著ナリ。 20

**赤嶽** 島ノ北東部ニ起伏スル高峯中略中央ニ在ルヲ赤嶽トシ高サ898 米、尖峯ニシテ褐色ヲ呈シ其ノ北方ニハ處々ニ硫黃堆積ス○赤嶽ノ北東隣ニ在ル高サ938 米ノ平頂山ハ黒嶽ト稱シ黑色ヲ呈シ四周斷崖ヲ成ス、此ノ兩山ハ共ニ遠望甚ダ顯著ナリ○黒嶽ノ北方約2.3 軒ニ位スル高サ561 米ノ山峯ハ尖頂ヲ有シ稍著シ。

**赤埼** 島ノ北端ニシテ褐色ノ崩土ヨリ成ル○南風ノ際ハ埼ノ附近ニ假泊スルヲ得ベシ。



**大埼** 赤埼ノ南東方約2.5哩ニ在ル岬角ナリ。

**潮流** 大埼附近ハ常ニ偏北ノ漲潮流強烈ニシテ湍潮ヲ伴ヒ夏季大潮時漲潮ノ中期ニハ流速5節ニ達スルヲ驗セリ。

**東浦** 島ノ中央地頸部ノ南東側ニ在ル弓形灣入部ニシテ大和灣錨泊ニ適セザル風向ノトキ假泊シ得ベシ○灣内ノ沙濱ニハ流木極メテ多シ○弓形灣ノ略中央ニ海獺礁アリ、又灣口ノ北東端前面ニハ角柱ノ如キ形狀ヲ成セル稍著明ナル**栓岩**(高サ18米)アリ。

嘗テ軍艦大和ハ海獺礁ノ北東方水深27米ノ處ニ假泊セシコトアリ、附近ハ一帯ニ底質沙ナリ○海獺礁ノ北西方對岸沙濱ノ端ニ近キ處ハ舟艇ノ著岸困難ナラズ。

### 越渴磨海峡(エカルマ)

捨子古丹島ト越渴磨島トノ間ニシテ幅約4.5哩、危險物ナシ。

**潮流** 越渴磨海峡ニ於テハ漲潮流ハ北東方ニ、落潮流ハ南西方ニ流レ、北東流ハ低潮後2—3時ニ始ル、然レドモ海流ノ影響ヲ受ケテ海水ハ南西方ニ流ルルコト多シ、而シテ其ノ流速2.7節ニ達ス。

### 越渴磨島

越渴磨海峡ヲ隔テテ捨子古丹島ノ北西方約4.5哩、即チ島列ノ側方ニ偏位ス、東西ノ長サ約4哩、幅約3哩ニシテ稍長方形ニ似タリ、島頂**越渴磨嶽**ハ高サ1,179米ノ尖峯ニシテ稍西側寄ニ在リ(第128頁對面對景圖第12參照)○島周ハ急深ニシテ概ネ斷崖ナルモ北岸及東岸ニハ磊石濱アリ○南西岸ニハ海鳥多ク、北岸ニハ温泉ノ湧出スル處アリ。

**兜埼** 島ノ南東端ヲ成ス岩岬角ニシテ高サ360米、兜ヲ伏セタルガ如ク遠望甚ダ顯著ナリ○兜埼ノ西方約3軒ニ位スル791米山南側ノ崩崖及其ノ南方海岸ニ在ル崩崖ハ何レモ融雪後褐色ヲ呈シ遠望顯著ナリ。

### 知林古丹島(チリンコタン)

深水ナル水道ヲ隔テテ越渴磨島ノ西方約16哩ニ在リ、列島中最モ外方ニ偏セル島ニシテ、徑約1.5哩、圓形若ハ稍方形ヲ成ス、島頂(高サ737米)ハ西岸ニ

近ク位シ南西壁ノ缺損セル二重ノ圓錐形峯ニシテ最高部ハ尖頂ヲ成ス、其ノ缺損セル部分ハ赤色ノ崩崖ヲ成シ顯著ナリ○島岸ハ多ク斷崖ニシテ清水ナク無數ノ海鳥棲息ス(第128頁對面對景圖第12參照)。

**立岩** 島ノ南西岸ニ近ク位スル筍狀ノ岩ニシテ高サ48米アリ。

**大岩** 島ノ北東端附近ニ在ル大岩ニシテ高サ25米アリ○大岩ニ面スル島岸ニハ少許ノ磊石濱アリ、夏季靜穩ノ日僅ニ小艇ヲ寄せ得ルニ過ギズ。

### 捨子古丹海峡

捨子古丹島ト春牟古丹島トノ間ニシテ太平洋ト「オホツク」海トノ通路ヲ成シ幅約16哩アリ、水深ハ200米以下ナルモ危險物ナシ(第128頁對面對景圖第12參照)。

**潮流** 漲潮流ハ北方ニ落潮流ハ南方ニ流レ、夏季ノ觀測ニ依レバ北流ハ流速2節ヲ超ユルコト稀ナリ、然レドモ海峡ノ兩側島岸ニ近ヅクニ從ヒ流速ヲ増シ5—6節ニ達シ、且湍潮ヲ伴フ(第130頁大埼附近並ニ第132頁崩レ石鼻附近ノ各潮流ノ項參照)。

### 春牟古丹島(ハルムコタン)

捨子古丹海峡ヲ隔テテ捨子古丹島ノ北東方約16哩ニ位シ長サ約6.5哩、最大幅約5哩、島形北西端ヲ頂點トシ南西—北東ノ方向ニ底邊ヲ有スル二等邊三角形ニ稍似タリ○島ノ中央部ハ廣キ二重ノ截頭圓錐形山ニシテ遠望恰モ鐘ノ如シ、此ノ山ハ島頂タル其ノ内峯ヲ**春牟古丹嶽**ト稱シ昭和7年ノ噴火以前ニ於テハ高サ1,213米アリ、又其ノ外輪山ハ東壁破壊シ直ニ緩傾斜ヲ成シテ島ノ東端岬ヲ成セル火山トシテ知ラレタリ(第128頁對面對景圖第12參照)○島ノ西岸ハ殆ド屈曲ナキ礫濱相連リ、島頂ヨリ急下セル山勢高險崖ト爲リテ海ニ迫ル○島ノ北西部ハ低ク沙丘點在シ丘間ニハ1湖沼及多數ノ小池アリ○島周ニハ海藻密生シ北岸ハ殊ニ甚シク距岸約5鏈ニ達ス○泊地トシテハ島ノ北側ニ春牟古丹錨地アレドモ錨搔キ良好ナラズ。

本島ハ昭和7年1月8日大噴火ヲ爲シ降灰遠ク幌筵、占守、阿頼度ノ諸島ニ達シ同時ニ津浪ヲ誘發セシ爲幌筵島突加里ニ於テハ越年者ノ死傷ヲ見ルニ至レ



リ、本島ニ於テハ島形島高甚シク變化シ南東部ヨリ北東部ニ互リ一面ニ黑色ノ熔岩流出シ尖山鼻附近ノ海岸ニハ黒紫色熔岩ノ臺地ヲ生ジタリ、又尖山鼻ヨリ島ノ東端温石角ニ至ル一帯ハ水蒸氣ヲ噴出シ陸ニ草木、海ニ海草ヲ見ズ(昭和9年8月調)、從ツテ附近ノ水深亦必ズヤ多少ノ異變ヲ來セシ處アラン。

農林省所屬ノ養狐場番舎ハ春牟古丹錨地ノ陸上ニ在リ。

**崩レ石鼻** 春牟古丹島ノ南端ヲ成ス岬角ナリ。

**潮流** 崩レ石鼻附近ハ湍潮激シク6節ノ北西流アルヲ驗シタルコトアリ。

**北臺山** 島頂春牟古丹嶽ノ北方約2.5軒ニ在ル圓頂山ニシテ高サ713米◎北臺山ノ西隣ニ尖山(海圖1018分圖参照)アリ、高サ489米、尖頂ヲ有ス。

- 10 **春牟古丹錨地**(海圖1018分圖) 島ノ北側ニ在ル小灣ニシテ偏南風ニ對シテ能ク風波ヲ遮障シ且潮流強カラズ、避泊地ト爲シ得ベキモ錨搔キ良シカラズ◎灣口ノ西端砂山崎ハ低キ沙丘ノ北端ニシテ夏季ハ雜草密生ス、各丘間ニハ數多ノ小池アリ、崎ノ西側ニハ舊村落ノ遺址アリ◎灣濱ニハ到ル處流木山積ス、灣濱ノ略中央ニ開口スル安登川ハ水量豊富ニシテ舟艇ニ依ル汲取容易ナリ、灣濱中西方寄ノ灣首ノミハ沙濱ニシテ前面一帯ニ海藻密生シ波浪ヲ遮障スル爲風向ノ如何ニ關セズ著岸シ易シ◎灣口ノ東端丸崎ハ高サ約150米高臺地ニシテ崩崖ト爲リテ海ニ臨ム、岬端1.3軒ニ干出1.2米岩アリ、平瀨ト稱ス◎上記ノ尖山ハ錨地附近ヨリ望メバ極メテ顯著ナリ。

此ノ地ニ農林省所屬ノ養狐場番舎アリ。

## 20 春牟古丹海峡

春牟古丹島ト温禰古丹島トノ間ニシテ太平洋ト「オホツク」海トノ通路ヲ成シ幅約8哩ナルモ、兩濱ヨリ20米等深線少許宛突出スルヲ以テ其ノ外端間ノ幅員ハ約6哩ト爲ル、水道中央ノ水深ハ約64—89米ナリ(第128頁對面景圖第12參照)。

**潮流** 春牟古丹海峡内ニ於テハ漲潮流ハ北西方ニ、落潮流ハ南東方ニ流ルルモ海流ノ影響ヲ受ケテ北西ノ強流ヲ見ルコト多ク湍潮及渦流ヲ伴フ、流速ハ海峡中央ニ於テ2.5節、春牟古丹島側ニ於テ4節ヲ驗シタルコトアリ。

## 温禰古丹島(オネコタン)

春牟古丹海峡ヲ隔テテ春牟古丹島ノ北北東方約8哩ニ位ス、南南西—北北東ノ方向ニ長ク長サ23哩ニシテ北半ハ幅約4—5哩、南半ハ稍圓形ヲ成シ最大幅約9哩アリ◎島内概ネ高山脈ニシテ高キハ900—1,200米、低キモ180米ヲ下ラズ、1,000米以上ノモノハ南北ニ離レテ各1峯アリ、其ノ南方ノモノヲ島頂トス、本島ハ之ヨリ南方計吐夷島迄ノ諸島ニ比スレバ植物繁茂スレドモ喬木ヲ生ゼズ、融雪後ハ山野ノ跋涉困難ナリ(第128頁對面景圖第12參照)◎島岸多クハ巉岸峭立シ僅ニ沙濱アルモ附近ニ岩石アリテ容易ニ近寄ルコトヲ得ズ、殊ニ島ノ南北兩端ハ高崖絶壁之ヲ圍繞ス、西岸ニハ流木甚ダ多ク内方意外ノ距離ニ打上ゲラレ堆積セルモノアルヲ見受ク、主トシテ冬季ニ於ケル暴風強濤ニ因ルモノナルベシ◎島周ハ南岸ノ長藻瀨ヲ除クノ外3鏈ヲ距レバ隱險ナシ。本島ニハ遮障セラレタル好錨地ナシ、唯當時ノ風向ニ應ジ其ノミヲ避クルニ適スル露開錨地2—3アルニ過ギズ。

農林省所屬ノ養狐場番舎ハ南岸北部ノ根茂灣ニ在リ◎本島ニ於テ見ルモノ獸類ニ野鼠及赤狐多ク、海獸ニハ海驢及海豹アレドモ多カラズ、海鳥ニハ海雀、鷗、「エトピリカ」ノ類多シ◎本島ノ周圍ニハ西岸ニ鱈ノ稍多キ處アルヲ驗セル外魚族極メテ稀薄ナリ、是此ノ附近ハ寒流ノ衝ニ當リテ海水寒冷ナル爲ナラン、尙島周ニハ多量ノ海苔ヲ産ス。

**氣象** 温禰古丹島附近ノ天候ヲ月別ニ概言スレバ、6月ハ尙北西風ノ期ニ屬シ霧天少カラザルモ霧レ易ク晴朗ナル天氣亦少カラズ、天候ハ比較的太平洋側ニ良好ナリ◎7月、8月ハ南東風ノ季節ニシテ終日霧ナキコトナク、太平洋岸ハ「ウネリ」頻ニ到ルモ西岸ハ海上平穩ナリ、此ノ兩月ハ暴風ト見ルベキモノ殆ドナシ◎9月ハ北西風期ノ初期ニ入り霧ハ大ニ減少スレドモ偏西強風屢襲來スルヲ以テ「オホツク」海側ハ海上荒シ。

**氣温** 6月中ハ7、8兩月ニ比スレバ1日中寒暖ノ差甚シク、晝間20度ニ昇ルコトアレドモ夜間ハ氷點ニ下降スルコト屢ナリ、7月中ハ其ノ上旬ニ於テハ尙氷點ノ如キ低温ヲ見ルコトアリ、最高ハ16.1度ニシテ却ツテ6月ニ及バ



ザルモ平均温度ハ高シ、8月中ハ最高22.8度、最低5度ナリ、9月ハ中旬迄8月ト大差ナク即チ6月ヨリ遙ニ温暖ナリ◎7月ヨリ9月中旬迄ハ平均気温明ニ西岸ヨリ東岸ノ方1.5—2.8度低シ、是ハ此ノ期ノ流行風タル偏東風東岸ヨリ上昇シテ高山脈ヲ越エ、西岸ニ下降スルニ由リ温度上昇セル気温ヲ齎スト、一ハ此ノ期ノ此ノ作用ニ依リ東岸ハ霧多ク西岸ハ少ク、從ツテ兩岸日照ニ差異アルガ爲ナラン。

**雨雪** 一般ニ稀少ナレドモ7月ハ最多ニシテ5—6日ヲ數フベシ、而シテ多クハ濃霧ノ一層凝縮シタルモノニシテ偏東風ニ伴ヒ下降スル場合多シ、故ニ通常ノ濃霧ヨリ展望廣ク此ノ凝縮層ノ低キトキハ雨中青空ヲ透視シ得ルコト珍シカラズ、豪雨ハ絶エテナク6月上旬ニ於テハ雹若ハ雪ト爲リテ下降スルコトアリ◎雪ハ6月下旬迄著シク残存スレドモ、7月ニ入レバ平均温度ノ高昇ト降雨トノ爲頗ル急速ニ融解シ、中旬ニハ溪谷凹所ノ外殆ド認めザルニ至ル、從ツテ此ノ期間ニハ河水深ク、午前徒涉シ得ルモノモ夕刻ニハ水量ヲ増シ徒涉シ得ザルコトアリ。

**湿度** 6月至8月ハ平均湿度90—96ニシテ7月ヲ最下トス、9月ニ入レバ著シク乾燥ト爲ル、而シテ湿度ハ概ネ西岸ヨリ東岸ニ大ナリ。

**風** 本島ハ概ネ高山脈ナルヲ以テ風ハ一般ニ屏風ノ如キ地勢ノ影響ヲ受クルコト多大ニシテ、風力3—4ノ風ハ島ノ風上側ニ於テハ距岸約1哩ノ處迄感知シ得ザル程微弱ナレドモ、其ノ風下側ニ於テハ風力倍加シ吹下スヲ常トス、故ニ風上側ハ殆ド無風ニシテ細雨ノ如キ濃霧ニ閉塞セラルルモ、風下側ハ向海風強ク晴天(山頂ヲ除ク)ナル奇現象ヲ呈スルコトアリ、即チ夏季中部以北ノ千島列島ノ航海ハ流行南東風ノ風下側ナル「オホツク」海側ニ由ルヲ良トスルノ理玆ニ在リ、然レドモ風向島側ニ直角ナラザルトキハ風下側ニ於テハ其ノ方向少シク偏スルノミニシテ島ノ東西兩側ニ於ケル風速ニ大差ナシ。

**潮流** 大正4年夏季ノ観測ニ依レバ温禰古丹島ノ東西兩岸ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流ルルモ、海流ノ影響ヲ受ケテ海水ハ東岸ニ於テハ南方ニ、西岸ニ於テハ北方ニ流ルルコト多ク、其ノ流速2.5節ニ達スルコトア

リ。

**長藻瀨** 島ノ南岸ノ中央ヨリ南南西方ニ向ヒ1.5哩ノ間水深20米以内ノ礁脈擴延ス、之ヲ長藻瀨ト謂ヒ海藻夥シク茂生シ潮流弱勢ノトキ水面ニ浮ビ暗黒色ヲ呈スルヲ以テ視認ニ便ナリ。

**黒石山** 島ノ南部ニ聳ユル島頂(高サ1,328米)タル圓錐形火山ニシテ遠望顯著ナリ、高サ600—900米ノ外輪山ヲ以テ圍繞セラレ其ノ中間ハ幽仙湖ト稱スル環狀湖ヲ成ス。

**天龍灣** 西岸ノ略中央部ニ在ル夏季ノ好錨地ナルモ全ク灣形ヲ成サズシテ偏東風以外ノ各方向ノ風ニ暴露ス、但シ陸岸ニハ東風ノ風アリ、且錨地ノ東方500米附近迄風速10—12米ノ東風強吹スルトキモ錨地附近ハ全ク無風ナルコトアリ、錨地ニ臨ム陸上ハ東岸黒石灣ニ通ズル最適ノ地ニシテ分水地ハ高サ184米ナリ、其ノ附近ハ只蘚苔ヲ生ズルノミ◎大正4年夏季中軍艦大和ハ屢根茂山ヲ41度、圓頂山ヲ68度ニ見ル水深31米ノ處ニ投錨セリ、本錨地ニ於テハ溪谷ヨリ偏東風猛烈ニ吹下スコトアリ、之ヲ避クルニハ少シク北方ニ投錨スルヲ可トス、昭和8年8月假泊セシ船舶ノ報告ニ依レバ**昆布埼**ヨリ3度2.8哩、水深44米、底質沙ノ處ハ錨搔キ良好ナラズシテ、其ノ南東方水深40米ノ處ヲ可トスト謂フ◎灣首ニ注グ**天龍川**ノ河口附近ハ礫濱ナレドモ「ウネリ」ナキトキハ小舟ノ著岸困難ナラズ、天龍川ハ水量豊富ニシテ飲料ニ適シ短艇ニテ容易ニ汲取リ得。

**圓頂山** 天龍灣ノ北東方ニ於テ海岸ニ近ク位スル高サ707米ノ圓頂山ナリ、但シ南西方ヨリ望メバ尖頭ヲ成ス。

**潮見浦** 天龍灣錨地ヨリ北北東方約4哩ニ在ル小灣入ナリ、礫濱ナレドモ南西方以外ノ各風ヲ遮障シ著陸容易ナリ、之ニ注グ小流ハ良水ニシテ多量ナリ。

**根茂山(海圖1014分圖)** 潮見浦ノ北東方約7.5軒ニ聳ユル高サ1,019米ノ圓錐形活火山ニシテ島ノ北部ニ於ケル最高頂ナリ、其ノ南東側ノ頂部ヨリ噴煙ス、遠望顯著ナリ。



**根茂灣**(海圖 1014 分圖) 西岸北端ニ近キ弓形灣ニシテ水深 18—25 米、底質沙ノ處ニ好錨地アリ、錨搔キ良ク夏季南東風ニ伴フ「ウネリ」ニモ堪ヘ得ベシ◎灣奥沙濱上ニ上陸所アリ、此ノ沙濱ノ部ハ低クシテ偏西強風アルトキハ遠ク之ヲ洗フ、該沙濱ノ南隅ニ**根茂川**アレドモ河口低ク高潮ノトキハ海水ヲ混フルモノノ如シ、之ヨリ少許南方ノ沙濱ニ小瀑布アリ。

此ノ地ニ農林省所屬ノ養狐場番舎アリ。

**潮流** 根茂灣錨地(根茂山ヲ 167 度、金平岬ヲ 38 度ニ見ル處)ニテ實驗セル處ニ依レバ漲潮流ハ南西方ニ、落潮流ハ北東方ニ流レ、最強流速 0.8 節ニ達セズ、是沖合流ノ反流ナラン。

- 10 **金平岬**(キンベイ)(海圖 1014 分圖) 島ノ北西端ヲ成ス岬角ナリ◎此ノ岬ヨリ北西方ニ 2 鏈ノ間礁脈斗出シ海藻之ヲ掩フ。

**潮流** 金平岬ノ西方 2 哩ノ處ニ於テハ漲潮流ハ北東方ニ流レ最強流速 1.5 節ニ達スルモノノ如シ。

**金東埼**(キントウ) 島ノ北東端ヲ成ス岬角ナリ◎埼ノ前面ニ**釣鐘岩**ト稱スル高サ 88 米ノ高孤立岩アリ、好目標ナリ、該岩ニハ各種ノ水禽群棲シ噪然タル鳥聲ハ 3 鏈以外ニ達シ、且附近海面ニ群集浮游スルヲ以テ霧中同岩ニ接近セルヲ知ルノ便アリ、又海驢モ群棲ス。

**小泊** 金東埼ノ南方約 3 哩ニ在ル小舟ノ好著岸所ナリ。

- 黒石灣**(海圖 1014 分圖) 東岸中央ノ弓形灣ニシテ**鷗埼**(埼ノ丘上ニ土人住居ノ址アリ)ト**淡菜埼**(イノカイ)トノ間ニ在リ、灣奥ニ至ルニ從ヒテ水深漸次淺ク底質沙ニシテ偏西風時ニ假泊シ得ベシ◎南方ヨリ來リテ本錨地ニ到ルニハ上記圓頂山ト其ノ南東方約 3.4 軒ノ**目標山**(高サ 481 米)トノ一線 298 度ニ向進シ水深 18—27 米ノ處ニ至リ投錨スベシ、灣ノ中央部ニ注ゲル**黒石川**ノ溪谷ヨリ吹出ス強西風ハ時ニ猛烈ヲ極ムルヲ以テ之ヲ避クル爲稍北方ニ偏シテ投錨スルヲ可トス◎灣奥ハ濱岸稍遠淺ニシテ 6 月下旬乃至 8 月下旬迄一帯ニ「ウネリ」破浪シ著舟シ得ザルモ、其ノ北端鷗埼ノミハ平均水面以上ノトキ諸岩ノ間ニ著舟シ得ベシ。

**潮流** 黒石灣ノ中央部距岸 1 哩ノ處ニテハ夏季ハ 24 時間中ノ 8 割(主トシテ晝間)ハ北方流ナリ、是落潮時ニ於テ其ノ大部分ハ反流ト爲ルニ因ル、北流ノ最強流速 1 節ナリ。

**大泊** 淡菜埼南方ノ大泊ハ小舟ノ著岸所トシテ良好ナリ。

### 大和水道

溫禰古丹島ト磨勘留島トノ間ニシテ最短幅約 15 哩アリ、此ノ水道ニハ全ク隠險ナキモ水深 200 米内外ノ處ハ海底甚ダ不齊ニシテ且概シテ急深ナリ、磨勘留島側ニ於テ殊ニ然リトス。

**水温** 大和水道ヲ中央トシ磨勘留島及溫禰古丹島ノ周圍ヲ含ム海面ニ於ケル大正 4 年夏季ノ實驗ニ依レバ、磨勘留島方面ハ一般ニ溫禰古丹島附近ヨリ海水温度高シ、少シク之ヲ詳述スレバ 6 月ハ大和水道ヨリ磨勘留島西方ニ至ル迄ノ海面ハ温度一般ニ 2.2 度ニシテ處ニ依リ差異ヲ認メザルモ、7 月ニ至レバ磨勘留島ヨリ大和水道方面ヘ距岸 4 哩迄 4.4—7.2 度ノ高温ト爲ル、此ノトキ溫禰古丹島方面ハ 2.8—3.9 度ニシテ劃然タル差異アリ、是列島ノ北西側ヲ流ルル暖流隆盛ト爲リ列島ニ接近シ來ル爲ナラン、8 月ニ至レバ前記高温帶ハ漸次東方ニ擴延シ來リ溫禰古丹島ノ西側距岸 4 哩ニ至ル、而シテ此ノ境界以西ノ水温ハ 7.2—11.1 度ナルニ以東ハ 3.3—4.4 度ヲ示ス、其ノ差ノ劃然タルコト斯クノ如シ。

8 月頃ニハ濃霧帶常ニ前記ノ境界附近ニ存スルヲ以テ、霧ノ發生上密接ノ關係アルガ如シ、9 月ニ入レバ前記高温帶ハ益溫禰古丹島ニ接近シ來リ一般ニ沿岸ノ水温ヲ高メ、其ノ南東側距岸 2 哩ノ處ニテ約 6.7 度ノ高温ヲ驗スルニ至ル、此ノトキ磨勘留島附近ニ在リテハ平均 10 度ヲ示ス。

**潮流** 本水道内ノ海面タル溫禰古丹島西岸ニ於ケル潮流ノ狀況ハ第 134 頁記載ノ同項、又同ジク磨勘留島東岸ニ於ケルモノハ第 138 頁記載ノ同項ニ就テ見ルベシ。

### 磨勘留島(マカンル)

大和水道ヲ隔テテ溫禰古丹島北東端ノ北西方約 16 哩、即チ島列ノ側方ニ偏位



ス、南北ノ長サ約5.5 哩、幅約4 哩ナル熄火山島ニシテ最高點ハ島ノ略中央ニ在リ(第142 頁對面對景圖第13 参照)◎北岸、北東岸及南岸ハ礫濱ニシテ其ノ直後ニハ低丘連亘ス、其ノ他ノ島岸ハ總テ高崖峭立シ崖下ハ狹隘ナル濱岸ヲ成ス、島ノ西側及南西側ニハ離岩數箇アレドモ悉ク距岸5 鏈以內ニ在リ◎西岸ニハ流木甚ダ多キコト竝ニ本島棲息ノ陸獸、海獸及海鳥ノ種類ニ就テハ總テ溫禰古丹島ニ同ジ◎本島ノ周圍ハ比較的魚類多シ、又多量ノ海苔ヲ産ス。

島周ハ概シテ急深ニシテ好錨地ナク唯其ノ南側其ノ他2 箇所ニ假泊シ得ベシ◎島ノ近傍ニハ一般ニ海藻多ク且濱岸ニハ低潮ニ干出スル亂形岩散布シ小舟ヲ著クル處ナク僅ニ北岸附近其ノ他2 箇所ニ上陸スルヲ得ルノミ◎本島ニ於ケル水流ハ多ク硫黃ヲ含ムモノノ如シ。

**潮流** 磨勘留島西岸及北岸ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方又ハ東方ニ、東岸ニ於テハ漲潮流ハ南方ニ、落潮流ハ北方ニ流ルルモ流速1 節ヲ超ユルコト稀ナリ。

**西浦** 島ノ西岸南部ニ於ケル小灣入ニシテ其ノ前面距岸約7.5 鏈、水深36 米以內ノ處ハ錨地ト爲スヲ得ベシ◎西浦ニハ小舟ヲ著ケ上陸スルコトヲ得。

**三高山** 西浦ノ北東方ニ聳ユル本島ノ最高頂ニシテ高サ1,168 米、此ノ附近ニハ殆ド同高ノ山峯2—3 アレドモ特ニ著シキモノナク唯其ノ南東方約2 軒ニ在ル**八面山**(高サ995 米)ノミハ圓錐形ニシテ顯著ナリ。

**東浦** 東岸ノ南端ニ近キ處ニ在ル小灣入ニシテ其ノ前面距岸約7.5 鏈、水深36 米以內ノ處ハ錨地ト爲スヲ得ベシ◎東浦ニハ小舟ヲ以テ著岸上陸可能ナリ、浦首ニ注グ小流ノ水質稍佳良ナルハ本島ニ於テハ珍トスベク雜用水ニ適ス。

**帆掛岩〔アボス岩〕** 磨勘留島ノ西方約11 哩ニ在ル灰白色三角形ノ裸岩ニシテ其ノ高サ35 米、少シク離レテ之ヲ望メバ恰モ展帆セル船ノ如シ◎該岩ニ接シテ高サ7.2—16 米ノ4 小岩アリ、之ヨリ北東方5 鏈ノ間海藻及淺礁擴延シ其ノ外端ニ干出岩アリ◎此等ノ岩上ニハ海驢及水禽群棲ス、諸岩ノ周圍ハ急深ニシテ帆掛岩ヲ距ル1 哩ノ處水深約200 米ニ達ス。

## 溫禰古丹海峽

溫禰古丹島ト幌筵島トノ間ニシテ太平洋ト「オホツク」海トノ通路ヲ成シ幅約29 哩ニ及ビ危險ナシ、溫禰古丹島側ハ水深ク其ノ200 米等深線ハ同島岸ヲ距ル僅ニ約2 哩ノ處ナルモ幌筵島側ハ距岸14 哩ノ遠キニ在リ、即チ海峽ノ北半ハ水深200 米以下ナルニ南半ハ甚ダ深水ナルノ特徴ヲ有ス、Kamchatka 東岸及「オホツク」海間ヲ往復スル船舶ハ概ネ此ノ海峽ヲ通航ス◎幌筵島樺里崎竝ニ俱樂部崎ハ土地低ク霧中他ノ高地見ユルトキニモ往々見エザルコトアリ、加之此ノ兩崎端ニハ各岩礁擴延スルヲ以テ濃霧ノ際ニハ遠ク幌筵島側ヲ避ケテ通航スベシ、然レドモ霧中通峽ニ前記水深ノ特徴ヲ利用スルハ賢明ナル航法ト謂フベク、之ガ爲ニハ稍幌筵島側ニ寄リテ航行スル必要ヲモ生ズベシ。

**潮流** 溫禰古丹海峽ニ於テハ漲潮流ハ西北西方ニ、落潮流ハ東南東方ニ流レ流速2 節ヲ超ユ、轉流時ハ明ナラザルモ幌筵海峽ニ於ケルモノト大差ナカルベシ。



## 第 5 編

## 千島列島北部〔北千島〕

本編ニハ千島列島北部即チ幌筵、占守及阿頼度ノ3主島ヲ収録ス○千島列島北部ハ俗ニ北千島ト稱シ各島共多數ノ大規模ナル漁場アリテ夏季ハ關係者數千其ノ業ニ從ヒ冬季ハ少數ノ越年者ノミ居住スル區域ナリ。

各島ノ沿岸ニハ主トシテ鮭、鱒、鱈ノ漁獲竝ニ罐詰作業ヲ經營スル私設會社ノ漁場(工場)多數アリ、殊ニ幌筵島ニ多シ、附近ノ海ハ上記ノ外、蟹、鯨、大鯨、鰯、鰈、大鮫、雲丹、昆布、海苔等海産物ニ富ム○從ツテ夏季各島沿岸ニハ概ネ海岸ト直交シテ定置漁網(鮭鱒建網)敷設セラレ其ノ外端ハ往々距岸4哩ニモ及ブモノアリ、又附近沖合ニハ發動機付漁船ノ鮭鱒沖取漁業(流シ網)、或ハ鱈 10 漁業(延繩又ハ一本釣)ニ從事スルモノ多ク、流シ網ノ如キハ長サ約3哩ニ達スルモノアリ、定置漁網及流シ網共晝間ハ浮標又ハ旗ニ依リ其ノ端ヲ知ルコトヲ得レドモ、夜間ハ燈火ヲ掲グルモノト全然無燈ナルモノトアリ、從ツテ霧中又ハ夜間ニ於テハ特ニ行船上留意ヲ要ス。

行政上千島列島北部ハ占守郡ニ屬ス(第4編第93頁参照)。

**諸海峡ノ潮流** 第4編第93頁ヲ見ルベシ。

**幌筵島**(パラムシル)

幌筵島〔幌筵島〕ハ千島列島北半部ニ於ケル最大島ニシテ濶禰古丹海峡ヲ隔テテ濶禰古丹島ノ北東方約29哩ニ列ス、南西—北東ノ長サ約55哩、最大幅約15哩アリ、島ノ縦長中央線ニ高山脈連互シ諸處ニ顯著ナル峻嶺ヲ成ス、島内道路 20 ク矮小ナル赤楊樹、五葉松等繁茂ス○島岸ハ一般ニ險崖ニシテ沿岸ニハ幾多ノ岩礁散布ス、南東岸ハ殊ニ甚シク遠キハ距岸2哩ニ及ビ概ネ海底險惡ニシテ接



航危険ナリ、北西岸ハ比較的嶮峻ニシテ距岸1哩以外ニハ離險礁ナシ。  
 島周ニハ處々ニ灣入アルモ完全ニ風浪ヲ保障シ錨泊ニ好適ナル港灣殆ドナシ◎  
 夏季ニハ主トシテ南東岸ニ多數ノ定置漁網ヲ見ルベシ。  
 本島ニ於テハ陸獸ニ熊、狐等、鳥類ニ鴨、雷鳥等ヲ主トス。

註 幌筵島東岸及鳥島列嶼ノ記事ハ第153頁幌筵海峡附近ノ部ニ在リ。

**氣象** 氣温ハ島ノ北西岸ト南東岸トニ於テ其ノ差甚ダ顯著ニシテ 約4—  
 4.7度ニ及ブ、大正3年夏季3箇月間觀測ノ結果ヲ見ルニ、北西岸鯨灣ニ於テ  
 ハ8月中ノ平均氣温9.7度ニ對シ、南東岸四岩(波川崎附近)ニ於テハ13.7度ニ  
 達シ其ノ差4度ニ及ブ、6月中ハ前者ノ5度ニ對シ後者ハ9.7度ニシテ實ニ4.7  
 10 度ノ差アルヲ見タリ。

雪ハ10月ニ始リ翌年5月ニ終ル、7月下旬ニ至レバ平地ノモノハ全ク融解スル  
 モ山谷凹所ニハ殘雪絶ユルコトナシ、1月及2月ハ降雪最モ多シト謂フ◎降雨  
 ハ一般ニ少シ。

風ハ10月下旬ヨリ翌年4月下旬迄ハ強烈ナル偏西風多ク、夏季7月、8月ハ  
 概ネ偏東風ニシテ晴雨計下降中ハ概シテ溫和ナレドモ、其ノ上昇ヲ始ムルヤ強  
 風襲來シ天候險惡ト爲ルヲ常トス。

霧ハ甚ダ頻繁ニシテ殊ニ南東岸ニ多シ、其ノ去來ノ狀況ハ溫禰古丹島附近ニ同  
 ジ◎島ノ西岸即チ樺里崎至幌津崎間(志林規海峡東濱)ハ本島沿岸中霧殊更ニ頻  
 繁ニシテ濃密ナルコト多シ。

20 **潮流** 本島北西岸沖ニ於テハ漲潮流ハ北北東方又ハ陸岸ニ向ツテ流レ、  
 落潮流ハ之ニ反スルモ海流ノ影響ヲ受ケテ海水ハ殆ド常ニ北東ニ向ツテ流ル、  
 然レドモ流速微弱ニシテ1節ヲ超ユルコト稀ナリ◎南東岸ニ於テハ立神崎附近  
 ニ於テ漲落兩流相反スルガ如ク、即チ其ノ北東ニ在リテハ漲潮流ハ北或ハ東ニ  
 向ヒ落潮流ハ南或ハ西ニ流レ、其ノ最強流速ハ約1節内外ナリ、立神崎以西ニ於  
 テハ其ノ方向之ニ反シ漲潮流ハ南西方ニ落潮流ハ北東方ニ島周ニ沿ヒテ流ル。

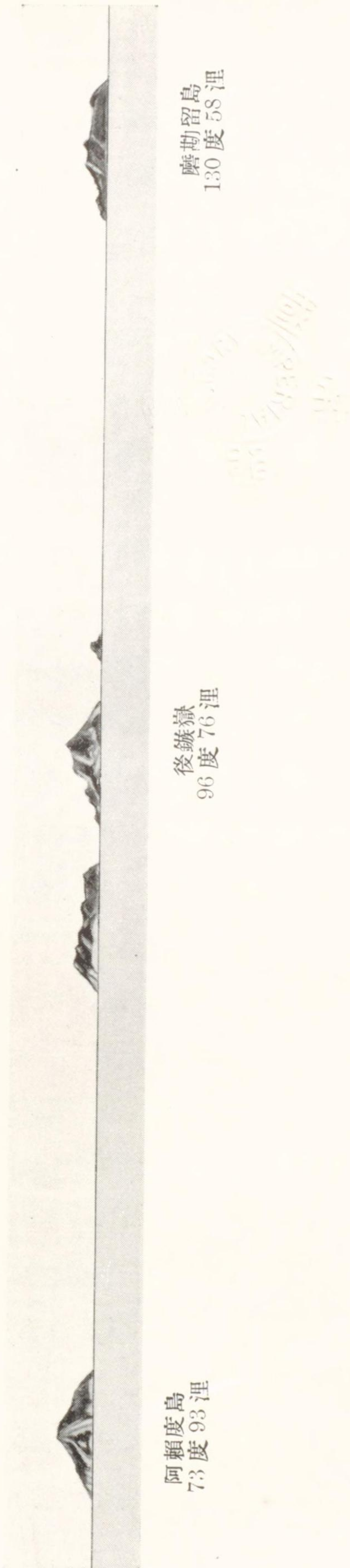
**幌筵島西岸(志林規海峡東濱)**

幌筵島南西端樺里崎ヨリ同西端幌津崎ニ至ル間ニシテ志林規海峡ニ面スル海岸

第142頁對面

西方ヨリ幌筵島附近ヲ望ム

第13





ナリ。

**樺里埼**(カバリ) 本島ノ南西端ニシテ干出石陂擴延シ遠望スレバ遠ク海中ニ突出セルガ如ク、埼端一帯ニ昆布密生ス◎埼端ノ南側ニ**離レ岩**ト稱スル高サ3.9米ノ岩アリ、鳥糞ヲ以テ白色ヲ呈ス、此ノ岩ヨリ南南西方約5鏈ニ水深0.9米ノ險礁アリ、常ニ破浪ス。

**負瀨山** 樺里埼端ヨリ北北東方約6.5軒附近海岸ヲ距ル約1.5軒ノ内方ニ在リ、小山(高サ273米)ナレドモ尖頂ヲ有シ顯著ナリ。

**茂寄灣**(モヨロ) 樺里埼ノ北方約9.5湊ニ於テ稍灣形ヲ成セル處ナリ、灣奥ハ磊石濱ニシテ波浪常ニ高シ。

**山峯** 幌筵島西岸ノ内方ニ於テ南北ニ列スル諸高峯中顯著ナルモノハ**白煙山**(高サ1,344米、白煙ヲ吐出ス)、**南山**(高サ1,274米、白煙山ノ南西隣ニ在リ、尖頂ヲ有ス)、**斧ヶ嶽**(高サ1,204米、尖頂)、**燒山**(高サ1,262米、尖頂)、**赤嶽**(高サ1,464米、尖頂)、**冠嶽**(高サ1,681米、山頂冠ノ如シ)等ナリ。

**後鐵嶽**(シリヤジリ) 本島西岸ノ北端ニ於テ北西方ニ突出スル半島ノ頂點(高サ1,798米)ヲ成ス圓錐狀ノ熄火山ニシテ最モ著明ナル目標ナリ、其ノ北西ニ面スル處ハ險崖絶壁ヲ成ス(第142頁對面對景圖第13及第146頁對面對景圖第14參照)。

**幌津埼** 後鐵嶽西麓ノ盡クル處ニシテ本島ノ最西端ヲ成シ險崖絶壁ナリ、埼附近ハ昆布茂生ス。

**志林規海峽**(シリシキ) 幌筵島西岸ト志林規島トノ間ニシテ危險物ナキモ霧ハ特ニ濃密且頻繁ナリ、最短幅8湊、兩側200米等深線間ノ最短幅約4湊ニシテ海峽中央ハ深水ナリ。

**潮流** 此ノ海峽ハ北流急ナルヲ以テ航海者ハ注意ヲ要ス◎樺里埼附近ニ於テハ漲落兩流共ニ北西方ニ流ルル場合多ク流速2—3節ニシテ往々激湍ヲ生ズ◎幌津埼ノ沖合ハ潮流特ニ強烈ナリ。

**志林規島** 志林規海峽ヲ隔テテ幌筵島西岸中央部ノ西方約10湊ニ位シ東西ノ長サ約2.3湊、幅約1.8湊ノ小島ニシテ樹木及水流ナシ、遠望スレバ6箇



ノ山頂蓮華ノ如ク凹凸不平ノ圓錐形ヲ成ス、其ノ噴火口壁ノ西方ハ破壊シテ廣闊ナリ、島頂ハ略島ノ中央ニ在リテ高サ751米◎山麓海ニ臨ム處ハ險崖直立シ島ノ東端岬附近ニ於テノミ僅ニ小舟ヲ寄セ得ベシ、沿岸ハ四周昆布茂生ス。

### 幌筵島北西岸

幌筵島西端幌津崎ヨリ同北端平田崎ヲ經テ幌筵海峽西濱ノ北端磐城崎ニ至ル間ニシテ「オホツク」海ニ面スル海岸ナリ、此ノ區域中平田崎以東ノ海岸ハ幌筵海峽北口外海ノ西側濱ニシテ、同崎以西ノ略半部ハ阿頼度海峽(磐城海峽)ノ南東濱ヲ成ス◎北西岸ハ灣入極メテ少ク、且一帶ニ傾斜急ニシテ平地ニ乏シク從ツテ沿岸多クハ急深ナリ。

- 10 鯨灣(海圖 35 分圖) 後鐵嶽北麓 **本多岬**ノ東方約1.7 哩ニ於ケル海岸ノ凸處ト、其ノ北東方約4.3 哩ノ**穴澗崎**トヲ灣口ノ兩端トスル開灣ニシテ、北西方ニ開口シ灣入約2 哩アリ、灣内海底ハ急斜面ヲ成シ水極メテ深ク、且偏北ノ風アルトキハ高浪侵入スルノミナラズ、偏南風ニ際シテモ本灣兩側峻峯ノ溪間ヨリ吹下ス風力猛烈ナルヲ以テ何レノ場合ニ於テモ安全ナル錨地ト爲スニ足ラズ。

冠嶽ハ本灣進入時ノ好目標ナリ◎軍艦大和ハ嘗テ灣首南隅**大谷川**河口ノ北東方約1.1 哩ニ在ル漁舎ヲ180度約8 鐘ニ見ル處附近ニ假泊セシコトアリ◎灣濱ハ磊石ニシテ殆ト著舟シ得ル處ナキモ僅ニ大谷川河口ノ鯨濱漁場附近ヨリ上陸スルコトヲ得◎大谷川ヨリ清水ヲ汲取リ得ベシ。

- 20 **千倉嶽**(チクラ) 後鐵嶽ト相對シテ鯨濱ノ東方ニ聳立ス、高サ1,817 米、往昔噴火シタルコトアリ、頂ノ南側ニ崩壞ノ跡ヲ留ム(第146 頁對面對景圖第14 參照)◎千倉嶽ノ南方約2 軒ノ**大硫黃山**(高サ1,493 米)ハ其ノ東側ニ今尙硫氣ノ噴出スルヲ見ル。

**暗岳**(クラガリ) 千倉嶽北東方約5 軒ニ在リ、高サ419 米ニ過ギザルモ海岸ニ接スルヲ以テ高ク聳エテ見エ好目標ト爲ル。

**大後崎**(ダイゴ)(海圖 35 分圖) 暗岳ノ東北東方約3.5 哩ニ在リ、北方ニ斗出セル岬角ニシテ加熊別灣口ノ西端ヲ成ス。

穴澗崎ヨリ大後崎ニ至ル約9 哩ノ海岸ハ概シテ斷崖多ク且沿岸ハ概ネ急深ナリ◎此ノ海岸中穴澗崎ヨリ約9 距離ニ在ル**仙波崎**附近ノ海面ハ風アルトキハ常ニ尖波ヲ生ジ、又同ジク大後崎ヨリ約9 距離ニ在ル**西川**河口附近ハ俗ニ「西川出シ」ト稱スル風吹出スコトアリ、附近航行ノ小船ハ注意ヲ要ス。

**加熊別灣**(カクマベツ)(海圖 35 分圖) 大後崎東側ノ北面露開灣ニシテ灣入約1 哩アリ、北風ノ外ノ各風ヲ遮リ水深亦適度ナルヲ以テ本島内ニ於テハ唯一ノ良灣タリ◎灣濱ハ概シテ沙濱ニシテ遠淺ナリ、西濱中阿天消(アテケシ)及間ノ鼻ニ漁舎アリ、又間ノ鼻加熊別間ノ略中央ニ日米水産株式會社ノ漁業根據地アリ(第146 頁對面對景圖第14 參照)。

當地陸上ニハ驛遞所ヲ設ク、又夏季間函館稅關出張所、根室警察署巡查派出所、無線電信取次所(日米水産株式會社ノ私設無線電信局ニシテ其ノ無線電柱ハ好目標ナリ)ヲ開設ス。

**氣象** 4 月乃至8 月ハ東至南東ノ風、8 月、9 月ハ北西ノ風多シ、強風ハ主トシテ「ヤマセ」ニシテ錨地附近モ時ニ相當風強キコトアリ◎北方ヲ除ク外周圍山ヲ負フヲ以テ夏季南東ノ流行風ニ伴フ濃霧ヲ防ギ、島ノ南東岸及幌筵海峽ニ於テハ殆ト濃霧ヲ見ザル日尠キニ拘ラズ此ノ灣ニ於テハ霧比較的少シ。

**潮流** 阿天消附近ノ潮流ハ相當ニ強ク流速2 節内外ニ達ス、依テ霧中ニハ殊ニ注意ノ要アリ。

**目標** 大後崎南方約2.6 軒ノ**三戸山**(高サ345 米)ハ北西方ヨリ望ムトキハ稍平頂ナレドモ北東方ヨリ望メバ尖頂ヲ成シテ顯著ナリ、又西方ヨリ望ムトキハ屏風形ヲ成シ下記ノ大屏風嶽ト混同シ易キコトアリ(第146 頁對面對景圖第14 參照)◎三戸山東南東方約1.7 軒ノ高サ168 米山ハ稍著シカラザルモ、他ノ高山雲霧ニ蔽ハルトキ船首目標ト爲スコトヲ得◎三戸山東南東方約5 軒ノ**大屏風嶽**(高サ388 米)、及同南東方約4.5 軒ノ**雨降嶽**(高サ530 米、海圖 1012 參照)ハ共ニ平頂ナレドモ本灣ヲ識別スルノ好目標タリ。

**黑崎**(高サ31 米)ハ附近一帶ノ沙濱中ヨリ北方ニ斗出セル黑色ノ岩岬角ニシテ、本灣進入目標トシテ可ナルモ初航者ニハ判別困難ナルコトアリト謂フ◎黑崎南



西方ノ四段瀧及同東北東方ノ二段瀧ハ5月、6月ノ候水量多キ頃ニハ顯著ナリ  
◎黒埼北東方約8鏈ノ**幽霊岩**(高サ6.2米)ハ稍顯著ナラズ。

**錨地** 黒埼ヨリ280度1湮ノ處ハ水深約20米、底質細沙ニシテ錨搔キ良シ◎黒埼ヨリ338度6鏈、水深21米、底質沙ノ處モ亦好錨地ナリ。

**上陸所** 阿天消竝ニ間ノ鼻ノ漁場ニハ北方ニ開口セル淺礁ノ切レ間アリ、小舟ノ著岸ニ好適地ナリ◎間ノ鼻南方ノ日米水産株式會社建物ノ前面ニハ長サ約60米ノ突堤アリ、堤側滿潮時水深2.4米アルモ附近ニ岩石多キヲ以テ注意ヲ要ス◎加熊別、黒埼間ノ海岸ハ沙濱ニシテ舟艇ノ達著可能ナリ◎東濱ノ**曲川**河口モ著舟ニ便ナリ。

10 **給水** 阿天消漁舎ノ側ニ水量相當ニ多キ溪流アリ、水質亦適良ニシテ短艇ニテ汲取ルニ便ナリ◎灣首南隅ニ開口スル**加熊別川**ハ水量豊富且水質佳良ナレドモ、河口淺キ爲高潮時以外ハ短艇ヲ使用シテ汲取ルコト能ハズ。

**鴨川崎** 黒埼ノ北東方約4.5湮ニ在リ、赭色ヲ呈スルヲ以テ顯著ナリ。

**山峯** 鴨川崎ノ南東方約8.5籽ノ内地ニ在ル**高平嶽**(高サ896米)、其ノ北東隣ノ**尖リ山**(高サ757米)、尖リ山ノ北方約5.5籽ノ**井口山**(高サ903米)及井口山北東方約5.7籽ニ在ル**霧降嶽**(高サ905米)ノ諸山ハ何レモ好目標ナリ、殊ニ尖リ山ハ駒ヶ嶽ト共ニ本島ノ東西兩側何レヨリ望見スルモ殆ド同形ノ尖峯ヲ成シ顯著ナリ。

**長岩崎** 鴨川崎ノ北東方約5.5湮ニ位スル岬角ナリ◎此ノ崎ノ北北西方9.20 鏈餘ニ水深10.9米ノ暗礁アリ。

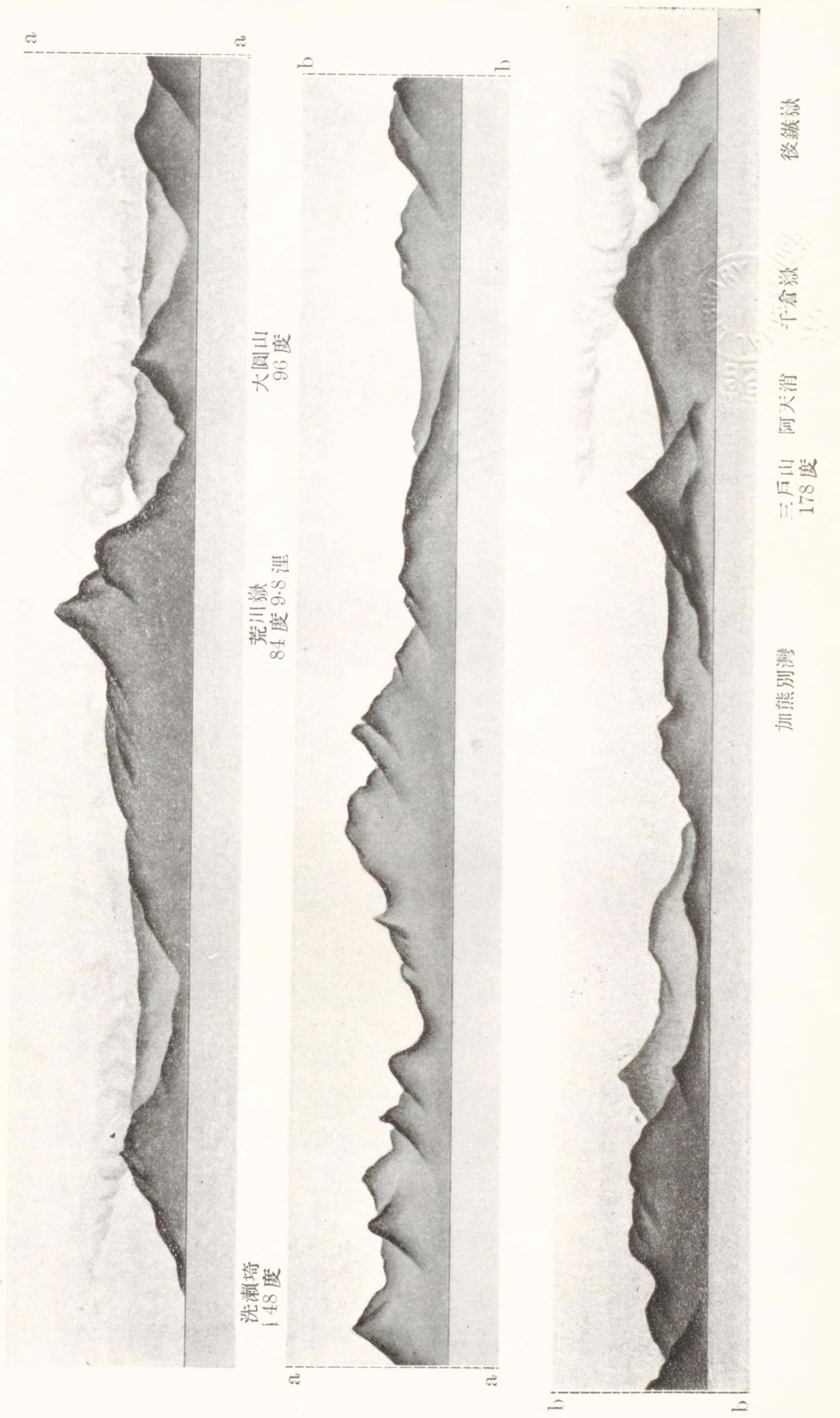
黒埼ヨリ長岩崎ニ至ル海岸約10湮ノ間ハ平低ニシテ**四岩鼻**ヲ除ク外ハ沙濱ナレドモ、其ノ間石陂延出スルヲ以テ2—3箇所ヲ除キ小舟ノ著岸ニ適スル處ナシ。

**荒川嶽** 長岩崎ノ東方約4.3籽ニ位スル高サ1,053米ノ山峯ニシテ山頂雲霧ニ蔽ハルルコト多シ、此ノ山ハ其ノ南南西方同距離ニ在ル高サ727米ノ**大圓山**(オウマル)ト相對シテ共ニ圓錐狀ヲ成シ、岩質ノ尖峯ニシテ附近ニ於テ最モ顯著ナリ(第146頁對面對景圖第14參照)。

第146頁對面

加熊別灣北方ヨリ幌筵島北西岸ヲ望ム

第14





**洗瀬崎** 長岩崎ヨリ北北東方洗瀬崎ニ至ル海岸約9哩ノ間ハ概シテ礫濱ニシテ小舟ノ著岸困難ナリ(第146頁對面對景圖第14参照)。

洗瀬崎ハ高サ116米、南西方及北東方ヨリ望メバ險崖ヲ成シ頗ル顯著ナリ。

**萩屋山** 洗瀬崎ノ南南東方約4.2軒ニ位スル高サ522米ノ萩屋山ハ西方ヨリ望ムトキハ截頭圓錐形ヲ成シ好目標ナリ、而シテ他ノ諸山其ノ頂ヲ隠ストキモ多ク其ノ全形ヲ現ハス○萩屋山ノ南東方約3.5軒ニ在ル**鞍ヶ嶽**(高サ799米)モ亦顯著ナリ。

**江原崎** 洗瀬崎ヨリ北東方約4.2哩ニ在ル岬角ナリ。

洗瀬崎ヨリ江原崎ニ至ル海岸中洗瀬崎ヨリ**夜叉ヶ崎**ニ至ル約3哩間ハ險崖ニシテ磊石岸ヲ成シ、夜叉ヶ崎ヨリ江原崎ニ至ル間ハ磊石濱ナリ。

10

**小白川** 江原崎ヨリ北東方平田崎ニ至ル約6哩ノ間ハ殆ド一直線ノ礫濱ナリ○此ノ海岸中江原崎ヨリ約9鏈ノ處ニ小白川ノ河口アリ、硫黃流出シ河口ノ海水灰色ヲ呈スルヲ以テ視界不良ノ場合ニハ目標ト爲ル。

**山峯** 本島ノ北端ニ近ク數箇ノ著峯アリ、小白川河口ノ東方約4軒ニ在ルヲ**犀角嶽**(サイカク)トシ高サ1,108米アリ○犀角嶽東方ノ**一文字嶺**(高サ1,088米)、同南方ノ硫黃山(高サ1,134米)並ニ**富士形山**(フジガタ)(高サ1,078米)ハ何レモ今尙噴煙アリ、共ニ顯著ナレドモ雲霧ニ蔽ハルルコト多シ。

**平田崎** 本島ノ最北端ヲ成ス低丘ノ亂岩岬角ニシテ好目標ナリ、距岸3鏈ニシテ水深20米ニ達シ危險物ナシ。

平田崎ヨリ東南東方磐城崎ニ至ル約4哩ノ間ハ幌筵海峽北口外海ノ西側濱ニシテ亂岩散在シ著舟困難ナリ○此ノ海岸中平田崎ノ東側ニ漁舍アリ、鱈場ト稱ス。

20

註 幌筵島東岸(磐城崎至荒畑崎)ノ記事ハ第156頁幌筵海峽西濱並ニ其ノ南隣濱(幌筵島東岸)ノ部ニ在リ。

### 幌筵島南東岸

幌筵島東岸ノ南端荒畑崎ヨリ同島南西端樺里崎ニ至ル間ニシテ太平洋ニ面スル海岸ナリ。

**荒畑崎** 幌筵島東岸ノ最南端ニシテ楔形ヲ成シ險崖崎端ニ直立ス、崎ニ接



シテ2尖岩アリ、好目標ト爲ル。○埼ノ北側ニ瀑布アリ、飲料ニ適ス。

**泊埼** 荒畑埼ノ南西方約2哩ニ在ル礫岬角ナリ。○埼端ヨリ南東方へ9鏈ノ間淺礁擴延シ頗ル危険ナリ。

**幌筵無線電信局** 泊埼上ニ幌筵無線電信局(海岸局、固定局)アリ、無線標識業務ヲモ取扱フ、夏季ノミ(例年5月21日ヨリ9月20日迄)直接又ハ島内取次所ヨリノ一般電信發受ヲ落石局經由取扱フ、但シ無配達局ナリ、其ノ4基ノ無線電柱ハ海上ヨリ好目標ト爲ル。

無線電信局ト隣接シテ北海道廳立幌筵測候所アリ。

**朝日灣** 泊埼ヲ灣口ノ北端トシ間宮埼ヲ同南端トスル大露開灣ニシテ灣口南東方ニ面シ幅約6.5哩、彎入約2哩アリ。○灣濱ハ諸處岩崖ナレドモ概ネ沙濱礫濱ト交錯シ遠淺ニシテ著陸ニ困難ナリ、背面ノ丘陵ハ海岸ニ迫ルヲ以テ漁場トシテノ作業ハ總テ丘上ニ於テ行ハザルヲ得ズ、其ノ後方ハ高山連互シ水流ニ乏シカラズト雖モ硫黄ヲ含ムモノ多ク、又下流ハ海水進入シテ飲料ニ適スルモノ少シ、上陸所ハ河口ヲ可トスルモ多少「ウネリ」アルトキハ磯波アリテ上陸困難ナリ。○地形上記ノ如ク且底質岩盤ノ處多キガ故ニ南風及東風ニハ錨泊安全ナラズ。

**泊浦** 灣内北端ニ於テ泊埼西側ニ南至西以外ノ風ヲ防グ小船ノ避泊地アリ泊浦ト謂フ、海岸ハ礫濱ニシテ波浪アリ、殊ニ距岸2.5鏈ノ間岩礁擴延シ高潮時ニ非ザレバ上陸困難ナリ、又距岸4鏈ニ於テ無線電信柱ノ西方約6鏈ノ處ニ水深2.8米ノ暗岩アリ。○此ノ水深2.8米暗岩ノ南西方約4鏈、水深16米ノ處ハ底質沙ナルモ南方ヨリノ風濤アルトキハ錨地トシテ適當ナラズ。

泊浦ニ面スル海岸漁舍アル處附近ヲ**壘山**(ルイサン)ト稱ス、壘山ハ朝日灣ノ代表地名トシテ使用セラル。

**鷗島** 泊埼ノ南西方約1.5哩ニ在ル嶼岩ノ總稱ニシテ常ニ鷗及「エトビリカ」群集ス、夏季ハ此等鳥類ノ孵卵場ト爲リ又海豹ノ兒ヲ伴ヒ來ルモノ多シ。○最大嶼ハ高サ7.5米、頂ニハ雜草茂生ス、他ハ其ノ東方及南方ニ在ル數箇ノ露岩ニシテ最高岩ハ高サ15米ナリ。○附近暗礁多ク海藻叢生スルヲ以テ近接セザ

ルヲ要ス。

**平岩** 間宮埼ノ北方2.2哩、灣内西濱ニ近ク距岸約6鏈ニ在リ、黑色ノ露岩ニシテ高サ5.7米、夏季海豹ノ群集スルヲ見ル。

**錨地** 鷗島ノ西方1,500米、水深18米ノ處附近ハ南東ノ「ウネリ」ヲ避ケ得ベシ。

**間宮埼** 朝日灣口ノ南端ヲ成ス埼ナリ。○埼端ニ近ク4箇ノ露岩アリ、中間ニ在ルモノ最モ高ク茸形ヲ成シ東方ヨリ望ムトキハ特ニ顯著ナリ、**松茸岩**ト謂フ、高サ19米。

**向井根** 間宮埼ヨリ渡邊埼ニ至ル約11哩ノ海岸ハ處々ニ離岩淺礁アリ、昆布茂生シ水深不規則ニシテ海底險惡ナリ。

淺礁中最モ沖合ニ在ルヲ向井根トス、間宮埼ノ南方約1.6哩ニ於テ距岸約1.2哩ニ在ル水深5.4米ノ淺礁ニシテ附近一帶波浪高シ。

**三越岩** 上記離岩中間宮埼、渡邊埼間ノ略中央距岸約6鏈ニ在ル3箇ノ小岩ナリ、其ノ最モ高キモノハ高サ7.2米、黑色ニシテ白キ尖頂ヲ有ス、此ノ岩ト島岸トノ間ハ海藻茂生シ破浪スルコトアリ、小舟ト雖モ通航セザルヲ可トス。三越岩ノ對岸以北約3.5哩間ノ海岸ハ多クハ險崖ニシテ溪流處々ニ瀑布ヲ成ス。

**波川埼** 間宮埼ノ南南西方約8.3哩ニ在ル岬角ナリ。○此ノ埼ヨリ南南東方約5鏈ニ水深3.9米ノ暗岩アリ。

**四岩(奥ノ四ツ岩)**(海圖1011分圖) 波川埼南側西隅ニ位スル小灣入ノ名ナリ、此ノ稱呼ハ其ノ南方ニ在リテ低潮時ニ干出シテ島岸ト連ル石段上ノ4岩ニ因由ス、彎入部ノ内方ハ直ニ約30米ノ臺地ヲ成シ能ク各方向ノ風ヲ防グト雖モ、東方ニ面スル爲荒天ノ際ハ波川埼ト、4岩中ノ最北岩ナル**兄岩**(高サ11米)トノ一線以外ニ於テ破浪ヲ起シ小舟ノ出入不可能ナリ。○兄岩ノ西方ハ低潮時ニハ水淺ク、且岩質ナルヲ以テ著岸困難ナルモ此ノ沿岸中ニ於ケル小舟ノ好避泊地ナリ。○灣奥ニ在ル漁舍附近ニ2瀑布アリ、北方ノモノ大ニシテY字形ヲ成シ**連理ノ瀧**ト稱ス、此ノ水流ハ豊富且良質ナルヲ以テ瀧過シテ飲料ト爲スベク短艇ニテ汲取ルコト容易ナリ。



**梅木山**(海圖 1011 分圖) 上記兄岩ノ南西方1 軒ニ在リ、高サ 147 米、山頂扁平ナレドモ其ノ南東麓ハ四岩〔奥ノ四ツ岩〕ノ南方岸ニ向ヒ急下スルヲ以テ認識容易ナリ。

**渡邊埼**(海圖 1011 分圖) 四岩〔奥ノ四ツ岩〕ノ南南西方2 哩餘ニ在ル岬角ナリ◎此ノ埼ノ北方ニ**立石山**(高サ 133 米)アリ、山勢埼ニ向ヒ急下シ其ノ頂上ノ稍南方ニ1 箇ノ大立岩アリ、好目標タリ。

**中島** 渡邊埼ヨリ南西方立神埼ニ至ル間ハ稍彎入シテ開灣ヲ成シ灣濱概シテ沙濱ナリ◎灣内海岸ニ接シテ岩嶼2—3 アリ、其ノ中灣濱ノ略中央ニ在ル小孤島ヲ中島ト稱シ、高サ 27 米ニシテ遠望スレバ岬端ノ如ク見エ識別シ易シ。

10 中島對岸ヨリ内方約1 軒ノ處ニ**次郎山**(高サ 128 米)アリ、東方ヨリ望メバ孤立山ノ如ク認識シ易キモ山頂ハ扁平ナリ。

**駒ヶ嶽** 次郎山ノ北西方約9.2 軒ニ駒ヶ嶽(高サ 819 米)アリ、此ノ山ハ前記尖リ山ト共ニ本島ノ東西兩側何レヨリ望見スルモ殆ド同形ノ尖峯ヲ成シ顯著ナリ。

**立神埼** 渡邊埼ノ南西方約4.8 哩ニ在ル長鬣ニ似タル細長キ岬角ニシテ高サ 26 米、識別容易ナリ◎此ノ附近海岸ハ石陂延出シ昆布茂生シ常ニ破浪スルヲ以テ小舟ト雖モ近寄ラザルヲ可トス。

立神埼ト其ノ西方約1.8 哩ナル**丸鼻**トノ間ノ沖合ハ距岸1.2 哩ニ互リ**沖ノ磯**(干出0.6 米)等ノ干出岩及多數ノ淺礁アリ(海圖 1011 分圖参照)。

20 **禮文岩** 立神埼ノ東方約1.7 哩ニ在ル極メテ平低細長ノ孤立岩ニシテ高サ7.8 米、其ノ形馬鞍ノ如ク中央ニ凹處アルモ遠望スルコト難シ。

**摺鉢灣〔摺鉢灣〕**(海圖 1011 分圖) 丸鼻西側ノ小灣ニシテ南方ニ開ロス、海底ハ岩質險惡、彎入淺ク且灣口沖合モ一帯ニ石陂擴延シテ昆布茂生シ、加之「ウネリ」多キヲ以テ錨泊ニ困難ナリ、然レドモ近年出漁根據地トシテ著シク發展セル爲夏季ニハ灣内ニ發動機漁船ノ碇泊スルモノ多ク時トシテ50—60 隻ヲ算スルコトアリ◎灣ノ西方ニ**平島**アリ、平低島ニシテ其ノ南端常ニ破浪ス。

東濱内方ノ**摺鉢山**(高サ 79 米)ノ南方ヨリ西北西方約1 軒ニ至ル間ノ海岸ニ驛

遞所及東邦水産株式會社、幌筵水産株式會社、北千島合同株式會社等ノ漁業根據地竝ニ鑛詰工場(煙突多數)アリ、尙夏季ニハ函館稅關出張所、近海郵船株式會社出張所、無線電信取次所(幌筵水産株式會社ノ私設無線電信局ニシテ其ノ無線電柱2 基ハ好目標ナリ)ヲ開設ス。

丸鼻ヨリ南四ツ岩〔ナサブキ〕ニ至ル約8 哩ノ間ハ岩岸沙濱斷續ス。

**矢送埼**(海圖 1011 分圖) 丸鼻ノ西方約3.5 哩ニ在ル崩壞崖岬ニシテ乙前灣口ノ東端ヲ成シ遠望顯著ナリ◎埼ノ南西方ニ於テ距岸約4 鏈ニ延出スル岩礁ヲ**堤ノ磯**ト稱シ礁上常ニ破浪ス。

矢送埼北西方6 軒ノ**直藏山**(ナオザウ)ハ高サ 103 米、山頂赭色ヲ呈スルモ比較的顯著ナラズ。

**乙前灣**(海圖 1011 分圖) 矢送埼西側ノ露開灣ニシテ灣口南方ニ面シ幅約2 哩、彎入約6 鏈、北東ヨリ西ヲ經テ南西ニ至ル各風ハ完全ニ避ケ得ベク灣内水深適度ニシテ底質細沙ナルヲ以テ錨搔キ良シ、又灣ノ東方ハ堤ノ磯ニ依リテ概ネ遮蔽セラル◎灣首ノ**轟川**ハ本島中ノ最大河ニシテ河幅約55 米ナルモ河口ニ小岩アリ、高潮時ニハ小舟ヲ入レ得ベシト雖モ「ウネリ」アルトキハ危險ナリ◎轟川河口ヨリ北西方約1.5 軒ニ在ル**取木山**(高サ 80 米)ハ遠望灣首ノ**乙前山**(高サ 86 米)ト誤認シ易シ。

**錨地** 乙前山ヲ0 度ニ見テ進入シ、播鉢山ヲ矢送埼ト堤ノ磯トノ中間ニ望ム附近ニ良好ナル錨地ヲ得ベシ、偏南東風ニ對シテモ堤ノ磯ヲ90 度以上ニ望ム線ノ内方ニ入レバ避泊スルニ足ルベシ◎直藏山ヨリ210 度2,100 米ノ處ハ底質沙ニシテ偏南風ニ暴露シ「ウネリ」侵入スルモ、冬季ノ錨地トシテハ武藏灣ヨリ良好ナリト謂フ◎小舟ハ直藏山西方海岸熊泊漁舍ノ前面ニ安全ニ碇泊シ得ベシ。

**上陸所** 熊泊ハ小舟ノ著岸容易ナリ。

**給水** 熊泊ニ注グ**熊泊川**ヨリ清水ヲ汲取リ得ベク水質佳良ナリ。

**南四ツ岩〔ナサブキ〕**(海圖 1011 分圖) 乙前灣口西端ヨリ南西方約1.4 哩、漁舍アル處ニシテ其ノ前面ニ小舟ノ著陸場アリ、其ノ南方沿岸ニ4 岩アルヲ以